

富士吉田青年の家本館棟長寿命化改修工事（建築工事）

意 匠		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺 (A1版)
A-00	図面リスト	_____
A-01	建築改修工事特記仕様書 (1)	_____
A-02	建築改修工事特記仕様書 (2)	_____
A-03	建築改修工事特記仕様書 (3)	_____
A-04	建築改修工事特記仕様書 (4)	_____
A-05	建築改修工事特記仕様書 (5)	_____
A-06	建築改修工事特記仕様書 (6)	_____
A-07	建築改修工事特記仕様書 (7)	_____
A-08	建築改修工事特記仕様書 (8)	_____
A-09	案内図・配置図	1/600
A-10	本館棟 概要・外部仕上表・内部仕上表 (1)	_____
A-11	本館棟 内部仕上表 (2)	_____
A-12	本館棟 内部仕上表 (3)	_____
A-13	本館棟 1階平面図 改修前	1/100
A-14	本館棟 1階平面図 改修後	1/100
A-15	本館棟 2階平面図 改修前	1/100
A-16	本館棟 2階平面図 改修後	1/100
A-17	本館棟 屋根伏図 改修前	1/100
A-18	本館棟 屋根伏図 改修後	1/100
A-19	本館棟 立面図 (1) 改修前	1/100
A-20	本館棟 立面図 (1) 改修後	1/100
A-21	本館棟 立面図 (2) 改修前	1/100
A-22	本館棟 立面図 (2) 改修後	1/100
A-23	本館棟 断面図 (1) 改修前	1/100
A-24	本館棟 断面図 (1) 改修後	1/100
A-25	本館棟 断面図 (2) 改修前	1/100
A-26	本館棟 断面図 (2) 改修後	1/100
A-27	本館棟 矩計図 (1) 改修前	1/30
A-28	本館棟 矩計図 (1) 改修後	1/30
A-29	本館棟 矩計図 (2) 改修前	1/30
A-30	本館棟 矩計図 (2) 改修後	1/30
A-31	本館棟 談話ホール 平面詳細図 改修前・改修後	1/20.50
A-32	本館棟 談話ホール 展開図 改修前	1/20.50
A-33	本館棟 談話ホール 展開図 改修後	1/20.50
A-34	本館棟 談話ホール 暖炉詳細図 改修前	1/10.50
A-35	本館棟 談話ホール 暖炉詳細図 改修後	1/10.50
A-36	本館棟 1階便所(男女) 平面詳細図・展開図 改修前	1/50
A-37	本館棟 1階便所(男女) 平面詳細図・展開図 改修後	1/50

意 匠		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺 (A1版)
A-38	本館棟 機械室 平面詳細図 改修前・改修後	1/50
A-39	本館棟 機械室 煙突詳細図・展開図 改修前	1/50
A-40	本館棟 機械室 煙突詳細図・展開図 改修後	1/50
A-41	本館棟 管理住居 便所・洗面所 平面詳細図 改修前・改修後	1/20
A-42	本館棟 厨房 平面詳細図・展開図 (参考図)	
A-43	本館棟 2階便所(女子) 平面詳細図・展開図 改修前	1/50
A-44	本館棟 2階便所(女子) 平面詳細図・展開図 改修後	1/50
A-45	本館棟 2階便所(男子) 平面詳細図・展開図 改修前	1/50
A-46	本館棟 2階便所(男子) 平面詳細図・展開図 改修後	1/50
A-47	本館棟 1階天井伏図 改修前	1/100
A-48	本館棟 1階天井伏図 改修後	1/100
A-49	本館棟 2階天井伏図 改修前	1/100
A-50	本館棟 2階天井伏図 改修後	1/100
A-51	本館棟 2階廊下 展開図 改修前	1/50
A-52	本館棟 2階廊下 展開図 改修後	1/50
A-53	本館棟 1階建具キープラン図 改修前	1/100
A-54	本館棟 1階建具キープラン図 改修後	1/100
A-55	本館棟 2階建具キープラン図 改修前	1/100
A-56	本館棟 2階建具キープラン図 改修後	1/100
A-57	本館棟 建具表 (1) 改修後	-
A-58	本館棟 建具表 (2) 改修後	-
A-59	本館棟 建具表 (3) 改修後	-
A-60	本館棟 各部詳細図 (1)	-
A-61	本館棟 各部詳細図 (2)	-
A-62	本館棟 各部詳細図 (3)	-
A-63	本館棟 各部詳細図 (4)	-
A-64	本館棟 外構図 改修前	1/300
A-65	本館棟 外構図 改修後	1/300
A-66	本館棟 仮設計画図 (外部) (ステップー 1)	1/300
A-67	本館棟 仮設計画図 (外部) (ステップー 2)	1/300
A-68	本館棟 仮設計画図 (外部) (ステップー 3)	1/300
A-69	本館棟 仮設計画図 (内部 1 階)	1/300
A-70	本館棟 仮設計画図 (内部 2 階)	1/300

[illegible]

習志野市 政策経営部 資産管理室 施設再生課	決 裁 欄	技 監	室 長	課 長	主 幹	係 長	担 当

工事名称

富士吉田青年の家本館棟長寿命化改修工事（建築工事）

特記仕様書

I 工事概要

1 工事場所

山梨県富士吉田市上吉田4 4 4 3番地

2 改修建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	備 考
本館	R C造	2階	774.490	1002.740	

3 工事種目

（ ●印の付いた種目）

●大規模改修

構造改修

その他

4 工事内容

（ ●印の付いた種目）

(1) 大規模改修

外 部

●屋上防水改修(屋根)

●外壁改修

●金属製建具一部取り替え

●ガラス取り替え

●サッシ廻りシーリング打ち替え

ガラスシール替え

屋上手摺取り替え

●堅腰取り替え

内 部

●天井張り替え

●内壁塗り(貼り)替え

●巾木塗り(貼り)替え

●床張り替え

●便所改修

障害者便所設置

便所地下ビット設置

土間配管(配線)ビット設置

木製建具取り替え

黒板張り替え

掲示板張り替え

教壇取り替え

ロッカー取り替え

(2) 構造改修

構造壁設置（鉄骨ブレース壁 箇所、RC造 箇所、 箇所）

柱設置（RC造 箇所、S柱 箇所、 箇所）

柱補強（鉄板巻き 箇所、RC増打 箇所、 箇所）

その他（RC袖壁 箇所、RC床 箇所、基礎補強 箇所）

(3) その他

別途工事等あり（電気設備工事・機械設備工事・機器等物品の納入）

II 建築改修工事仕様

1 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●を付けたものを適用する。

●公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）

公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下、「標準仕様書」という。）

建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。

なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に●印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する。（※及び○は適用しない。）

(3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
また、（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 図印は「図等による環境物品等の調達に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごと判断の基準）を満たすものを示す。

(5) 構造改修については、別記構造特記仕様による。

● 5 電気保安技術者

● 6 工事用電力設備の
保安責任者

● 7 条件明示項目

● 9 材料の品質等

● 10 材料の試験

● 11 ワンデーレス
ポンス

● 12 石綿含有建材の
調査

● 13 技能士

● 14 化学物質の濃度
測定

● 15 中間検査

● 16 完成時の
提出図書等

● 17 CADデータ

● 18 電子納品

● 19 施工図等の取扱

● 20 県内生産品

● 21 施設点検

● 22 埋設配管・配線
及び鉄筋調査

● 23 設備工事との
取合い

● 24 設計G L

● 25 安全対策

● 26 保険等

● 27 過積載による
違法運行の防止

● 28 工事現場管理

● 29 環境対策

● 30 創意工夫等

● 31 補償

1 本工事は、電子納品の対象工事である。
電子納品は、「千葉県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】令和4年1月」（以下、「ガイドライン」という。）に基づいて行う。
2 工事完成検査時には、（公財）千葉県建設技術センター（以下、センターという。）から発行される「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」を、携行すること。
3 工事完成検査後は、速やかに電子媒体1部と「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」をセンターに送付すること。また、その後、センターから発行される「千葉県電子媒体（副本）受領書」を監督職員に提出すること。
なお、電子成果品は工事請負契約書第45条の対象とし、電子データに不備が確認された場合、受注者は修正作業を行わなければならない。
4 「ガイドライン」の解釈に疑義がある場合は、監督職員と協議の上で決定すること。

施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

受注者は「県内生産品使用状況調査票」を作成し工事完了時に監督職員に提出するとともに、完成検査後に以下の技術管理課メールアドレスに電子データで提出しなければならない。
メール送付先：kansanhin@n.pref.chiba.lg.jp
なお、監督職員への提出にあたっては、この特記仕様書の完成図等を含むものとし、「千葉県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン」【営繕工事編】に基づき、その他フォルダに保存し、電子成果として提出することとする。

本工事完成（「工事物目的引渡し」を行った日）後、2年以内（原則として1年目）に施設点検（不具合の有無を確認し、その処理について協議）を行うので、施設改修課から依頼があり次第、施設点検に立ち会い協力するものとする。

あと施工アンカー工事
●建築改修工事特記仕様書（構造）第5章による。

コア抜き、はつり工事等
※既存資料調査
●探査機（電磁波レーダー法又は電磁誘導法）による探査
配管 配線等の位置の差出しを行う。
範囲 図示
放射線透過試験
労働安全衛生法、「電磁放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
(1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射機より離れる。また、作業者以外の立ち入り禁止措置を講ずる。
(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
(5) 躯体の差出しは、表裏でズレないように措置を講ずる。
撮影枚数 枚
フィルムサイズ
コンクリート厚さ cm

設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
施工範囲は別記2（工事区分表）による。

※図示 ●設計G L＝現状G L

1 受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全かつ円滑に実施することが必要な場合は、「工事関係者連絡会議」を設置すること。
2 発注者で組織する安全対策委員会が行う安全審査、施工条件検討、安全点検等に協力すること。

1 本工事の完成引渡しまで工事物資及び工事材料を火災保険、建設工事保険その他の保険に付すること。
2 「建設業退職金共済制度」に基づく「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」は工事契約締結後、1か月以内に提出すること。
3 法定外の労災保険に加入し、工事着手までに保険証券の写し又はこれに代わるものを提出すること。

工事の施工にあたっては、次の事項を厳守すること。
(1) 積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また、積み込ませないこと。
(2) さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また、積み込ませないこと。
(3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受けるなど、過積載を助長することのないようにすること。
(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状況を解消する措置を講じること。

受注者は、工事の施工にあたっては、不法 違反無届局（不法パーソナル無線）を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。

受注者は、環境保全対策関係法令に従い工事現場地域の保全と円滑な工事施工を図ること。
(1) 受注者は、施工計画書「環境対策」内に、下記の項目について記載するものとする。
大気汚染対策 ※騒音、振動対策 水質汚濁対策
地盤沈下対策 防塵対策 一般廃棄物対策 交通障害対策
その他（ ）
(2) 建設機械は、排ガス対策車及び低騒音型を使用すること。
(3) 特定粉じん排出等作業（法定外建築物 作業を含む）は、「建築物の解体に係る石綿飛散防止対策マニュアル」に基づき施工する。
(4) 本工事で使用する軽油については、J I S規格軽油を使用すること。
(5) 受注者は、乗務事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の採取調査に対しては、監督員の指示により協力しなければならない。
(6) 国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材の梱包及び容器は可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄物の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。

受注者は、工事施工において、自ら立案した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。

本工事において建物その他の工事物品に損害等が生じた場合の補償については、習志野市公共工事損失補償要領に基づき対応するものとする。

工事用電気工作物 ●一般電気工作物

ただし、自家用電気工作物の場合は[1. 3. 3(1)～(3)]の他、次によるものとする。
工事現場に置く電気保安技術者は、千葉県自家用電気工作物保安規程第3条に定める工事管理者（ ）の任命する監督職員の指示に従い保安業務を行う。

工事用電力設備の保安責任者は、使用区域を変更しようとする場合は、千葉県自家用電気工作物保安規程第26条第3項の規定による「自家用電気工作物使用区域変更届出書」の作成に必要な資料を提出すること。

フレックス工期契約制度
適用する 工事着手期限（令和__年__月__日）、工期の終期日（令和__年__月__日）
留意事項（千葉県建設工事フレックス工期契約制度実施要領第5条）
(1) 受注者は、工事着手日を明らかにするため、契約締結後7日以内に工事着手日通知書を発注者に届けなければならない。
(2) 契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設業法第26条に基づく主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。
(3) 契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設工事請負契約書第11条に基づく現場代理人の設置を要しない。
(4) 工事着手日までの間は、工事の施工（現場事務所等の設置、資機材等の発注及び工場製作等を含む）を行ってはならない。
(5) 前金払は、工事着手日の10日前までは請求できない。
(6) 工事実績情報システムへの登録に際しては、主任（監理）技術者及び現場代理人の従事期間は、工事着手日をもって登録するものとする。
（工事契約日から工事着手日の前日までのを除くこととする。）
●適用しない

工事を施工しない日・時間帯
令和__年__月__日～__年__月__日 __: __～__: __
令和__年__月__日～__年__月__日 __: __～__: __

資材置場及び駐車場所
●敷地内 敷地外（ 無償 有償）
（千葉県__市__町__丁目__番地__号）

部分使用
●有り 無し
令和__年__月__日までに下記部分について、部分使用するので協力すること。
部分使用箇所（管理居室・風呂）

●アスベストについて、事前調査報告書有り。
●アスベスト含有建材の除去について、「建築物の解体に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散削減い防止対策徹底マニュアル」に基づき、適切に作業を行う。
●大気汚染防止法により、解体作業に係る材料に関し、アスベスト含有の有無について事前調査、調査結果の提示及び発注者への報告等が、一定規模以上の工事については石綿事前調査結果報告システムへの報告が、事前調査の結果に基づき含有建材の除去を行う場合は作業結果の発注者への報告等義務付けられている。発注者が事前に実施した石綿分析調査結果については、受注者に対して開示するものとする。

●本館棟内の宿泊は令和7年8月中旬まで行い、令和7年8月中旬以降契約工期までの期間は本館棟内への宿泊は不可とするものとする。ただし宿泊可能期間であっても仮囲い等の仮設工事は協議の上施工可能とする。
●工事期間中であっても、体育館棟での宿泊は引き続き行う。従って、本館棟の風呂は宿泊者が安全に利用出来るよう、工事区画等に配慮するものとする。
●工事期間中、本館棟事務室等の管理諸室は、職員が安全に利用出来るよう、工事区画等に配慮するものとする。

●敷地内及び法令で定められている箇所は禁煙とする。

建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。
(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、紙貼、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
(2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
(3) 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
(4) (1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

1 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
3 標準仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4 本工事に使用する材料のうち、5 に指定する材料の製造業者等は、次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。
ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
(1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
(2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
(3) 安定的な供給が可能であること。
(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
(6) 販売、保守等の営業体制を整えていること。
5 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、閉門式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバヘッドドア、防水材、現場発泡断熱材、フリースクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマセメントモルタル、鋼鉄製ふた

コンクリートの圧縮試験及び鉄筋の張張り試験については、（公財）千葉県建設技術センター等の試験機関で実施すること。

11 ワンデーレス
ポンス

● 12 石綿含有建材の
調査

● 13 技能士

● 14 化学物質の濃度
測定

● 15 中間検査

● 16 完成時の
提出図書等

● 17 CADデータ

本工事は、ワンデーレスポンス対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは、受注者からの質問、協議への回答は基本的に「その日のうち（24時間以内）」に回答するよう対応することである。
ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者に確認の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
(1) 受注者は、施工計画に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先手を予見しながら施工すること。
(2) 受注者は、工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照し、差異が生じる恐れがある場合は、原因を究明すると共に速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

調査
●石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料（アスベスト調査報告書）
○分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

分析方法
材料名 (JIS A 1481-1)または (JIS A 1481-2) (JIS A 1481-3)、(JIS A 1481-4)または(JIS A 1481-5)
○ (箇所) ○ (箇所)
○ (箇所) ○ (箇所)
○ (箇所) ○ (箇所)

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所
○図示による ○

適用工事種別 技能検定の職種
防水改修工事 7x7x7防水工事作業 7x7x7系遮断防水工事作業 7x7x7系遮断防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業
●シーリング防水工事作業 改質7x7x7シート工法防水工事作業 F R R 防水工事作業 左官作業 ●内外装板金作業
外壁改修工事 左官作業 タイル張り作業 ●建築塗装作業
建具改修工事 ビル用サッシ工事作業 ガラス工事作業
内装改修工事 自動ドア施工作业 7x7x7系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ作業
●ボード仕上げ工事作業 ●鋼製地下工事作業
●塗装作業 ●大工工事作業 ●タイル張り作業
塗装改修工事 ●建築塗装作業
耐震改修工事 鉄筋組立作業 型枠工事作業 とび作業
ブロック工事 コンクリートブロック工事作業
A L C工事 A L Cパネル工事作業
石工事 石張り作業
植栽工事 造園工事作業

施工完了時及び部分使用引渡しに先立ち、室内空気中の揮発性有機化合物の濃度を測定し、監督職員に報告すること。
測定対象物質は、次による。
学校施設 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン
庁舎、住宅等 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン
着工前の測定 ●行う 行わない
測定対象室 仕上表による 図示 ●（1階：男子便所 2階：男子便所）
測定箇所数 仕上表による 図示 ●（合計：2箇所）
測定時間 ●24時間
（「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」（平成24年4月5日 国営室第4号）、「官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」参照）
測定はパッシブ型採取機器により行う。
その他、濃度測定方法等については、監督職員の指示による。

中間検査を実施する（回数： 1回）
実施時期： 足場解体前
中間検査の範囲（足場設置範囲を重点的に行うこととする）
本工事が低入札価格調査制度調査対象工事（以下、「調査対象工事」という）に該当した場合は、千葉県建設工事検査要綱（検査の区分を規定）及び中間検査実施細則（中間検査実施区分を規定）の定めに関わらず中間検査の指定対象工事として、中間検査を実施する。
(1) 調査対象工事の中間検査の実施は、「中間検査実施細則」に関わらず原則として2ヶ月に1回、及び主要工程を考慮して施工上の変化点等で行うが、実施時期は監督職員が指定する。なお、検査日及び検査監氏名は別途通知する。
(2) 中間検査は、通知日までに完了した出来形部分の出来形確認及び技術的確認等を行うが、給付の対象とはしない。

工事完成時の提出図書等は以下のものとする。
提出図書等 仕様 部数
●完成図面 ●図面（A1版）折りたたみ製本 ●A4 版 ●A4版 ●2部 ●1部
●工事関係図書 本工事中に作成した工事関係書類等をまとめたもの ●1部
●完成写真 ●キャビネリ 撮影箇所 ●6箇所 ●1部
●保証書 ● 部
●電子成果品 電子納品による ●1部 ●部
●完成写真の撮影者は、監督員が承諾した撮影者とする。

設計図CADデータ ●貸与する 貸与しない
貸与するCADデータを当該工事の施工図または完成図の作成以外の目的に使用してはならない。

18 電子納品

● 19 施工図等の取扱

● 20 県内生産品

● 21 施設点検

● 22 埋設配管・配線
及び鉄筋調査

● 23 設備工事との
取合い

● 24 設計G L

● 25 安全対策

● 26 保険等

● 27 過積載による
違法運行の防止

● 28 工事現場管理

● 29 環境対策

● 30 創意工夫等

● 31 補償

1 本工事は、電子納品の対象工事である。
電子納品は、「千葉県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】令和4年1月」（以下、「ガイドライン」という。）に基づいて行う。
2 工事完成検査時には、（公財）千葉県建設技術センター（以下、センターという。）から発行される「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」を、携行すること。
3 工事完成検査後は、速やかに電子媒体1部と「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」をセンターに送付すること。また、その後、センターから発行される「千葉県電子媒体（副本）受領書」を監督職員に提出すること。
なお、電子成果品は工事請負契約書第45条の対象とし、電子データに不備が確認された場合、受注者は修正作業を行わなければならない。
4 「ガイドライン」の解釈に疑義がある場合は、監督職員と協議の上で決定すること。

施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

受注者は「県内生産品使用状況調査票」を作成し工事完了時に監督職員に提出するとともに、完成検査後に以下の技術管理課メールアドレスに電子データで提出しなければならない。
メール送付先：kansanhin@n.pref.chiba.lg.jp
なお、監督職員への提出にあたっては、この特記仕様書の完成図等を含むものとし、「千葉県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン」【営繕工事編】に基づき、その他フォルダに保存し、電子成果として提出することとする。

本工事完成（「工事物目的引渡し」を行った日）後、2年以内（原則として1年目）に施設点検（不具合の有無を確認し、その処理について協議）を行うので、施設改修課から依頼があり次第、施設点検に立ち会い協力するものとする。

あと施工アンカー工事
●建築改修工事特記仕様書（構造）第5章による。

コア抜き、はつり工事等
※既存資料調査
●探査機（電磁波レーダー法又は電磁誘導法）による探査
配管 配線等の位置の差出しを行う。
範囲 図示
放射線透過試験
労働安全衛生法、「電磁放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
(1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射機より離れる。また、作業者以外の立ち入り禁止措置を講ずる。
(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
(5) 躯体の差出しは、表裏でズレないように措置を講ずる。
撮影枚数 枚
フィルムサイズ
コンクリート厚さ cm

設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
施工範囲は別記2（工事区分表）による。

※図示 ●設計G L＝現状G L

1 受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全かつ円滑に実施することが必要な場合は、「工事関係者連絡会議」を設置すること。
2 発注者で組織する安全対策委員会が行う安全審査、施工条件検討、安全点検等に協力すること。

1 本工事の完成引渡しまで工事物資及び工事材料を火災保険、建設工事保険その他の保険に付すること。
2 「建設業退職金共済制度」に基づく「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」は工事契約締結後、1か月以内に提出すること。
3 法定外の労災保険に加入し、工事着手までに保険証券の写し又はこれに代わるものを提出すること。

工事の施工にあたっては、次の事項を厳守すること。
(1) 積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また、積み込ませないこと。
(2) さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また、積み込ませないこと。
(3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受けるなど、過積載を助長することのないようにすること。
(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状況を解消する措置を講じること。

受注者は、工事の施工にあたっては、不法 違反無届局（不法パーソナル無線）を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。

受注者は、環境保全対策関係法令に従い工事現場地域の保全と円滑な工事施工を図ること。
(1) 受注者は、施工計画書「環境対策」内に、下記の項目について記載するものとする。
大気汚染対策 ※騒音、振動対策 水質汚濁対策
地盤沈下対策 防塵対策 一般廃棄物対策 交通障害対策
その他（ ）
(2) 建設機械は、排ガス対策車及び低騒音型を使用すること。
(3) 特定粉じん排出等作業（法定外建築物 作業を含む）は、「建築物の解体に係る石綿飛散防止対策マニュアル」に基づき施工する。
(4) 本工事で使用する軽油については、J I S規格軽油を使用すること。
(5) 受注者は、乗務事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の採取調査に対しては、監督員の指示により協力しなければならない。
(6) 国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材の梱包及び容器は可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄物の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。

受注者は、工事施工において、自ら立案した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。

本工事において建物その他の工事物品に損害等が生じた場合の補償については、習志野市公共工事損失補償要領に基づき対応するものとする。

SHIN

株式会社 慎設計事務所

一級建築士事務所

千葉事務所 千葉県船橋市二宮2-13-2

千葉県知事登録 第1-2406-7210号
一級建築士（大臣）登録 第253589号
鳥村 司

REMARKS

SEAL

TITLE 富士吉田青年の家本館棟長寿命化改修工事（建築工事）
建築改修工事特記仕様書(1)

SCALE A1: —
A3: —

CHECKED

DATE 2024.12.26

DRAWN

SHEET NO. A-O1

4-3

外壁改修工事
タイル張り仕上げ外壁

6

目地改修工法

有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
シーリング材の種類
打雑ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系
伸縮調整目地その他の目地 変成シリコーン系
シーリングのその他事項は、改修標準仕様書3章7節による

目地ひび割れ部改修工法
伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法 図示
シーリング 改修標準仕様書3章7節による

[4.1.4][4.4.5、16]

4-4

外壁改修工事
仕上塗材仕上げ外壁等改修

1

既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲	[4.5.4][表4.5.4~7] 下地処理（下地のひび割れ部等の補修）
サンダー工法	既存仕上全面全体	ひび割れ部改修工法
高圧水洗工法 加圧力 30MPa程度以上	既存仕上全面全体	浮き部改修工法
	図示 （既存塗膜の除去範囲は 既存塗膜の劣化部とする）	欠損部改修工法
塗膜はく離剤工法	既存仕上全面全体	
水洗い工法 加圧力 12MPa程度	サダー工法、高圧水洗工法、 塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の 既存仕上全面全体	図示

2

下地調整塗材

下地調整塗材（C-1）
下地調整塗材（C-2）
下地調整塗材（CM-2）
下地調整塗材E
ポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は建築材料等品質性能表(改修)(1)による）

[4.5.2][4.5.4、5]

3

仕上塗材仕上げ

新規仕上塗材の種類
薄付け仕上塗材
種類（呼び名）防火材料仕上りの形状及び工法等

外装薄塗材Si	砂壁状	
可とう形外装薄塗材Si	ゆず肌状（吹付け ローラー塗り）	
外装薄塗材E	さざ波状 平たん状	
可とう形外装薄塗材E	凹凸状（吹付け こて塗り）	
防水形外装薄塗材E	着色骨材砂壁状（吹付け こて塗り）	
外装薄塗材S	砂壁状じゅらく 京壁状じゅらく	

厚付け仕上塗材
種類（呼び名）防火材料仕上りの形状及び工法等

外装厚塗材C	放散し 凸部処理 平たん状	
外装厚塗材Si	凹凸状 ひき起こし かき落とし	
外装厚塗材E	上塗材 適用する 適用しない	

複層仕上塗材
種類（呼び名）防火材料仕上りの形状及び工法等

複層塗材CE	ゆず肌状 凸部処理 凹凸状	
可とう形複層塗材CE	耐候性 耐候形3種	
複層塗材Si	上塗材の種類	
複層塗材E	溶媒 水系 溶剤系 弱溶剤系	
複層塗材RE	樹脂 Aクリル系 シリコン系 αクリル系	
防水形複層塗材CE	Aクリル系 ふっ素系	
防水形複層塗材E		
防水形複層塗材RE	外観 つやあり つやなし メリツク	

可とう形改修用仕上塗材
種類（呼び名）防火材料仕上りの形状及び工法等

可とう形改修塗材E	平たん状 さざ波状 ゆず肌状	
	耐候性 耐候形3種	
可とう形改修塗材RE	上塗材の種類	
	溶媒 水系 溶剤系 弱溶剤系	
可とう形改修塗材CE	樹脂 Aクリル系 シリコン系 αクリル系	
	Aクリル系 ふっ素系	
	外観 つやあり つやなし メリツク	

4

マステック塗材塗り

種類 A種 B種

[4.1.5][4.6.2][表4.6.1]

5

外壁用
塗膜防水材塗り

仕上りの形状
工法
仕上塗料の耐候性

下地準動緩衝材の適用
適用する
適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修標準仕様書4章2節による
ただし、下地準動緩衝材を適用する場合は改修特記仕様書4-1章 外壁改修工事
コンクリート打直し仕上げ外壁による
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修標準仕様書4章3節
による ただし、下地準動緩衝材を適用する場合は改修特記仕様書4-2章
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁による
吹付け工法の根椋材の種類 （所要量 (kg/m²））
外壁用仕上塗料の種類 （所要量 (kg/m²））
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修標準仕様書4.5.4(1)～(6)による

[4.1.5][4.7.2～4][表4.7.1]

5

建具改修工事

1

改修工法

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	[5.1.3]
アルミニウム製建具			建具表による	
樹脂製建具			建具表による	
鋼製建具	外部		建具表による	
	内部		建具表による	
鋼製軽量建具			建具表による	
ステンレス製建具			建具表による	
木製建具			建具表による	

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 図示
新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示
建具周囲のシーリング 改修標準仕様書3章7節による

2

防火戸

防火戸の指定
指定する（適用箇所 建具表による 指定しない
防火戸の自動開鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
連動させる（ 建具表による 連動しない

[5.1.4]

3

見本の製作等

建具見本の製作 行う（建具符号： 行わない
建具見本制作の目的等（

[5.1.5]

4

防犯建物部品

適用する（ 建具表による
適用しない

[5.1.7]

5

アルミニウム製建具

性能値等
耐風圧性等級 （建具符号： 建具表による
気密性の等級 （建具符号： 建具表による
水密性の等級 （建具符号： 建具表による

[5.2.2～5][表5.2.1]

6

網戸等

種類	材種	線径	[5.2.3][5.3.3]
防虫網	合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス(SUS316)製	0.25mm以上	16～18メッシュ
防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

7

樹脂製建具

性能値等
耐風圧性の等級 （建具符号： 建具表による
気密性の等級 （建具符号： 建具表による
水密性の等級 （建具符号： 建具表による

[5.2.2][5.3.2～5]

8

鋼製建具

性能値等
簡易気密型ドアセット 適用する（建具符号： 建具表による
適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 S-4（建具符号： 建具表による
S-5（建具符号： 建具表による
S-6（建具符号： 建具表による
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
（建具符号： 建具表による
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
（建具符号： 建具表による

[5.2.2][5.4.2～5][表5.4.2]

9

鋼製軽量建具

性能値等
簡易気密型ドアセット 適用する（建具符号： 建具表による
適用しない
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
（建具符号： 建具表による
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
（建具符号： 建具表による

[5.2.2][5.5.2～5]

10

ステンレス製建具

性能値等
簡易気密型ドアセット 適用する（建具符号： 建具表による
適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 S-4（建具符号： 建具表による
S-5（建具符号： 建具表による
S-6（建具符号： 建具表による
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）
（建具符号： 建具表による
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
（建具符号： 建具表による

[5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]

11

木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 A種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
F
フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による

[5.7.2～4][表5.7.5]

表面材の合板の種類
合板の種類 規格等 備考

普通合板 G	表面の樹種		
	板面の品質（ 広葉樹1等 接着の程度（ 1類 2類 ）		
天然木化粧合板 G	樹種名（ 接着の程度（ 1類 2類 ）		
特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板		
MDF G	接着の程度（ 1類 2類 ）		

表面板の厚さ 改修標準仕様書5.7.6による
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 適用しない 適用する
かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 36mm 建具表による
ふすま
張りの種別（ 型 型）
上張り（押入等の裏側以外） 鳥の子 新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ 塗り縁 生地縁（素地） 生地縁（ウレタンクリアー塗装）
見込み寸法 19.5mm 建具表による
戸ぶすま
表面板の仕上 建具表による
見込み寸法 30mm 建具表による
紙張り降子
見込み寸法 30mm 建具表による
枠、くつずりの材料 建具表による

[5.8.2、3]

12

建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等
○改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
○改修標準仕様書表5.8.2による
建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
○改修標準仕様書表5.8.3による
建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
○改修標準仕様書表5.8.4による
建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
○改修標準仕様書表5.8.5による
建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
建具表による

[5.8.2、3]

13

鍵

錠前類
シリンダ箱錠及びシリンダ本錠まり錠（品質 性能、試験方法は別表による）
クローザ類（品質 性能、試験方法は別表による）

[5.8.4]

14

自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 建具表による
引き戸用駆動装置
性能値 改修標準仕様書表5.9.1による（ 防錆 適用する 適用しない）
以下による
種類 開閉方式 （ ）
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置
性能値 改修標準仕様書表5.9.2による（ 防錆 適用する 適用しない）
以下による
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
引き戸用検出装置
性能値 改修標準仕様書表5.9.3による（ 防錆 適用する 適用しない）
以下による
耐電圧 （ ）
防錆 （ ）
防滴 （ ）
電源 （ ）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目
建具表による

[5.9.2、3] [表5.9.4]

株式会社 慎 設計事務所

SHIN

千葉県知事登録 第1-2406-7210号
一級建築士（大臣）登録 第253589号
千葉事務所 千葉県船橋市二宮2-13-2
鳥村 司

REMARKS

SEAL

TITLE 富士吉田青年の家本館棟長寿命化改修工事（建築工事）
建築改修工事特記仕様書(4)

SCALE A1: -
A3: -

CHECKED

DATE 2024.12.26

DRAWN

SHEET NO. A-04

5

建具改修工事

15

自閉式上吊り引戸装置

性能値等
改修標準仕様書表5.10.1による
以下による
手動開き力 ()
手動閉じ力 ()
閉じ速度の調整 ()
制動区間 ()
開閉繰返し ()
耐衝撃性 ()

[5.10.2、3]

16

重量シャッター

シャッターの種類
管理用シャッター
外壁用防火シャッター
屋内用防火シャッター
防塵シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa
開閉方式の種類
電動式 (手動併用) 手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 建具表による)
電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 建具表による)
屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの危害防止装置 (設置箇所 建具表による)
管理用シャッターのシャッターケース 設ける 設けない
スラット及びシャッターケース用銅板
銅板の種類 JIS G 3302 (塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯)
JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯)
めっきの付着量 Z12又はF12
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス銅板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

[5.11.2、3]

17

軽量シャッター

開閉方式の種類
手動式 電動式 (手動併用)
耐風圧強度 () Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 建具表による)
スラットの材質の種類
JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯)
めっきの付着量 Z06又はF06
JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板及び銅帯)
めっきの付着量 AZ90
スラットの形状 インターロッキング形 オーバーラッピング形

[5.12.2～4]

18

オーバーヘッドドア

セクション材料による区分
風圧力による強さの区分
開閉方式による区分
収納形式による区分
ガイドレールの材料
スチールタイプ 50 バランス式 スタンダード形 溶融亜鉛
アルミニウムタイプ 75 チェーン式 ローヘッド形 めっき銅板
ファイバーグラス 100 電動式 ハイリフト形 ステンレス銅板
タイプ 125 パーチカル形

[5.13.2、3]

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 建具表による)

[5.14.2～4]

適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組み合わせは建具表及び図面による。
フロート板ガラス
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
建具表による
型板ガラス
型板ガラスの厚さによる種類
建具表による
組入板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
建具表による
合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
建具表による
形状による種類
平面合わせガラス 曲面合わせガラス
落球衝撃及び離特性及びショットバック衝撃特性による種類
類 1類 2類 類
強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
類 類
熱線吸収板ガラス
板ガラスの種類及び厚さによる種類
建具表による
性能による種類
1種 2種
複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ、並びに複層ガラスの厚さ
建具表による
断熱性による区分
T 1 T 2 T 3 T 4
T 5 T 6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分
G S
乾燥気体の種類
空気 アルゴン
熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
建具表による
日射熱遮へい性による区分
1種 2種 3種
耐久性による区分
(日射熱遮へい性が2種の場合)
A種 B種
倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
建具表による

5

建具改修工事

20

ガラスブロック

ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類
ガラス留め材
アルミニウム製 シーリング材
グレイジングチャンネル
鋼製及び鋼製軽量
シーリング材
建具の製造所の仕様による図示
ステンレス製
シーリング材
建具の製造所の仕様による図示
樹脂製
グレイジングチャンネル
建具の製造所の仕様による図示

[5.14.5]

呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 防火性能
160×160 95
200×200 95
壁用金属枠及び補強材 図示
力骨 材質 ステンレス鋼 (SUS304)
寸法 径5.5mm
形状 はしご形状複筋及び単筋
化粧地目モルタルの色 (白 グレー)
シーリングの種類 (SR-1 PS-1)
金属製化粧カバー 材質 ステンレス製 アルミニウム製
寸法 図示 形状 図示
目地部の横力骨の納まり
4mm ガラスブロック製造所の仕様による 図示
工法 1-4 適用区分による風圧力の (1 1.5 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

[5.15.2、3]

種 類 記 号 その他性能等
内貼り用 外貼り用
日射調整フィルム G SC-1 SC-2
低放射フィルム LE
衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム GI-1 GI-2
相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム GD-1 GD-2
ガラス貫通防止フィルム SF
品質 JIS A 5759による

21

ガラス用フィルム

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
壁面より両側600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
既存のまま 図示

[6.1.3]

ビニル床シート等の除去
仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルとも (図示の範囲 除去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法
機械的除去工法 目荒し工法
改修後の床の清掃範囲 室内の改修箇所

[6.2.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
(全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示)

[6.3.2]

材料のホルムアルデヒド放散量
F 又は改修標準仕様書6.5.2(1)(9)(b)による

[6.5.2]

JAS 1083-6 製材-第5部に基づく下地用製材
施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
2級 A種 B種
2級 A種 B種

[6.5.2]

JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材
施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
見え係り面 上小節 A種 B種
見え係り面以外 小節以上 A種 B種

[6.5.2]

JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材
施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用
1級 10%以下 A種 B種
1級 10%以下 A種 B種
1級 10%以下 A種 B種

[6.5.2]

JAS 1083 (製材) 以外の製材
施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用
() 適用する A種
() 適用しない B種
() 適用する A種
() 適用しない B種

[6.5.2]

6

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等の適用
1等 2等
1等 2等
「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材
施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板 (mm)の厚さ (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等の適用
化粧薄板: 1等 2等
芯材: 1等 2等
化粧薄板: 1等 2等
芯材: 1等 2等
「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用
15%以下
「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材
施工箇所 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板 (mm)の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用
化粧薄板: 15%以下
芯材: 15%以下
JAS 0701に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理 間伐材等の適用
適用する
適用しない
JAS 0701以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用
14%以下
適用する
適用しない
JAS 3079に基づく直交集成板
施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) 間伐材等の適用
「合板の日本農林規格」による普通合板 G
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用
5.5 1類 広葉樹 2等以上 1等 適用する
2類 針葉樹 C-D以上 適用しない
「合板の日本農林規格」構造用合板 G
施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の厚さ (mm) 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用
2級 1類 C-D 12 適用する
以上 特類 以上 適用しない ()
1級 適用しない 適用しない
「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 G
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用
特類 適用する
1類 適用しない
2類 適用しない
「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 化粧加工方法 防虫処理の適用
1類 適用する
2類 適用しない
パーティクルボード G
施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態 曲げ強さ 耐水性 難燃性
による区分 による区分 による区分 による区分
15 13タイプ F又はH
JAS 0360に基づく構造用パネル
施工箇所 寸法 (mm)
MDF G
施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態 曲げ強さ 接着剤 難燃性
による区分 による区分 による区分 による区分

9

接合具等

造作材の化粧面の釘打ち
隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し
諸金物
かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)
(形状: 寸法: 材質:)

[6.5.3]

接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量
F

[6.5.3、4]

防塵・防蟻処理
薬剤の加圧注入による防塵・防蟻処理
適用部材 保存処理性能区分
K 2 K 3 K 4
K 2 K 3 K 4
K 2 K 3 K 4
薬剤の塗布等による防塵・防蟻処理
適用部材 処理の方法 薬剤の種類
薬剤の製造所の仕様による JIS K 1571に適合又は同等品
薬剤の接着材への混入による防塵、防蟻処理
適用部位 ()
合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位 ()

[6.5.5]

内部間仕切輪組及び床組み
間仕切輪組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
杉又は松
床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
杉又は松

[6.5.6]

窓、出入口その他
窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

[6.5.7]

軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類
屋外 (25 形 19 形) 屋内 (19 形 25 形)
屋外の形式及び寸法
野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔 図示
周辺部の端からの間隔 図示
野縁の間隔 図示
既存の埋込みインサート 使用する 使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
行う
試験箇所数 屋内の場合、該当階において3箇所 ()箇所
引張試験にて確認する強度
つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度 ()N
行わない
つりボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 図示
天井のふところ高が3.0mを超える場合
補強方法 図示
天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 図示 補強方法 図示

[6.6.2～4] [表6.6.2]

軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナーの種類
改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

[6.7.3、4]

ビニル床シート
種類の記号 色 柄 厚さ (mm) 備考
F S (複層ビニル床シート) 無地 2.0
使用内部は防汚耐汚仕上とする マーブ柄柄物 2.5
2.0 2.5

[6.8.2、3]

ビニル床タイル
種類の記号 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考
K T (300×300×20mm) 無地 300×300 2.0
柄物 450×450 3.0
T T (単層ビニル床タイル) 無地 300×300 2.0
柄物 450×450
F T (複層ビニル床タイル) 無地 300×300 2.0
柄物 450×450 2.5
3.0
F O A (置敷きビニル床タイル) 無地 500×500 4.0
柄物
F O B (薄型置敷きビニル床タイル) 無地
柄物

[6.8.2]

特殊機能床材
帯電防止床シート 厚さ、寸法、形状 (mm) 性能 種類
帯電防止床タイル × (mm)
視覚障害者用床タイル (mm)
耐動荷重性床シート (mm)
防滑性床シート (mm)
防滑性床タイル × (mm)
視覚障害者用床タイル 突起の形状、寸法及びその配列は JIS T 9521 による

[6.8.2]

SHIN

株式会社 慎 設計事務所

一級建築士事務所

千葉事務所 千葉県船橋市二宮2-13-2

千葉県知事登録 第1-2406-7210号

一級建築士 (大臣) 登録 第253589号

鳥村 司

REMARKS

SEAL

TITLE 富士吉田青年の家本館棟長寿命化改修工事 (建築工事)
建築改修工事特記仕様書(5)

SCALE A1: -
A3: -

CHECKED

DATE 2024.12.26

DRAWN

SHEET NO. A-05

内装改修工事	19	ビニル床材	<div> <div> <div>材質の種類</div> <div>軟質</div> <div>硬質</div> </div> <div> <div>高さ(mm)</div> <div>60</div> <div>75</div> <div>100</div> </div> <div> <div>厚さ(mm)</div> <div>1.5以上</div> <div></div> </div> </div> <div> <div> <div>種類</div> <div>単送品</div> <div>積層品</div> </div> <div> <div>色柄</div> <div>()</div> </div> <div> <div>厚さ(mm)</div> <div>3.0</div> <div>4.5</div> <div>6.0</div> <div>9.0</div> </div> <div> <div>寸法(mm)</div> <div>() × ()</div> </div> </div>	[6.8.2]	内装改修工事	25	せっこうボード その他のボード張り	<div> <div>MD F及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量</div> <div>[6.13.2、3] [表6.13.1]</div> </div> <div> <div>合板のホルムアルデヒド放散量</div> <div>改修標準仕様書6.13.2(2)(f)の(a)～(d)のいずれか</div> </div> <div> <div>接着剤のホルムアルデヒド放散量</div> <div>F</div> <div>木質系セメント板</div> <div> <div>種類</div> <div></div> <div>厚さ(mm)、規格等</div> <div></div> </div> <div> <div>硬質(HW)</div> <div>15</div> <div>20</div> <div>25</div> </div> <div> <div>中質(MW)</div> <div>15</div> <div>20</div> <div>25</div> </div> <div> <div>普通(NW)</div> <div>15</div> <div>20</div> <div>25</div> </div> </div> <div> <div>木片セメント板</div> <div> <div>種類</div> <div></div> <div>厚さ(mm)、規格等</div> <div></div> </div> <div> <div>硬質(HF)</div> <div>12</div> <div>15</div> <div>18</div> <div>21</div> </div> <div> <div>普通(NF)</div> <div>30</div> </div> </div> <div> <div>繊維強化セメント板</div> <div> <div>種類</div> <div></div> <div>厚さ(mm)、規格等</div> <div></div> </div> <div> <div>けい酸カルシウム板</div> <div>普通ボード0.8FK</div> <div>タイプ2(無石綿)</div> <div>6</div> <div>8</div> </div> <div> <div>化粧けい酸カルシウム板</div> <div>普通ボード0.8FK</div> <div>タイプ2(無石綿)</div> <div>6</div> <div>8</div> </div> <div> <div>表面への化粧張り等の加工</div> <div>アクリル樹脂系焼付け</div> </div> </div> <div> <div>火山性ガラス質増層板</div> <div> <div>種類</div> <div></div> <div>厚さ(mm)、規格等</div> <div></div> </div> <div> <div>火山性ガラス質増層板</div> <div>図示</div> </div> </div> <div> <div>繊維板</div> <div> <div>種類</div> <div></div> <div>厚さ(mm)、規格等</div> <div></div> </div> <div> <div>ハードボード(素地)</div> <div>スタンダードボード(無処理)</div> <div>素地ハードボード(未研磨板(RN) 研磨板(RS))</div> <div>内装用化粧ハードボード(DI)</div> <div>2.5</div> <div>3.5</div> <div>5</div> <div>7</div> </div> <div> <div>テンバードボード(処理)</div> <div>素地ハードボード(未研磨板(RN) 研磨板(RS))</div> <div>外装用化粧ハードボード(DE)</div> <div>2.5</div> <div>3.5</div> <div>5</div> <div>7</div> </div> <div> <div>ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)</div> <div>インシュレーションボード</div> <div>A級(天井仕上)</div> <div>9</div> <div>12</div> <div>15</div> <div>18</div> </div> <div> <div>内装仕上</div> </div> </div> <div> <div>パーティクルボード</div> <div> <div>種類</div> <div></div> <div>厚さ(mm)、規格等</div> <div></div> </div> <div> <div>単板張りパーティクルボード</div> <div>無研磨板(VN) 研磨板(VS)</div> <div>10</div> <div>12</div> <div>15</div> <div>18</div> </div> <div> <div>化粧パーティクルボード</div> <div>単板オーバーレイ(DV)</div> <div>塗装(DC)</div> <div>10(難燃)</div> <div>12(難燃)</div> </div> </div>
--------	----	-------	---	---------	--------	----	----------------------	---

吸音材料

種類

厚さ(mm)、規格等

ロックウール化粧吸音板(DR)

フラットタイプ(9(不燃))

12(不燃)

凹凸タイプ

12(不燃)

ロックウール吸音板・D・1号

25

グラスウール吸音板・D・32K

25(800mm)

せっこうボード製品

種類

厚さ(mm)、規格等

せっこうボード(GB-R)

12.5(不燃)

15(不燃)

9.5(不燃)

不燃種層せっこうボード(GB-NC)

9.5(不燃)

化粧無(下地張り用)

化粧有(トラバーチン模様)

シージングせっこうボード(GB-S)

12.5(不燃)

強化せっこうボード(GB-F)

12.5(不燃)

15(不燃)

せっこうラスボード(GB-L)

9.5

化粧せっこうボード(GB-D)

木目

12.5(不燃)

幅440mm程度

模様(柱目 板目)専用下地材有り

トラバーチン模様

9.5(準不燃)

合板

種類

厚さ(mm)、規格等

普通合板

表面の樹種

生地、透明塗料塗り

(刃合板程度)

不透明塗料塗り

(しな合板程度)

板面の品質

厚さ(mm)

図示

防虫処理

行方

行わない

天然木化粧合板

化粧板の樹種名

厚さ(mm)

図示

防虫処理

行方

行わない

特殊加工化粧合板

化粧加工の方法(オーバーレイ プリント 塗装)

表面性能

()タイプ

厚さ(mm)

図示

防虫処理

行方

行わない

化粧板

メラミン樹脂化粧板

JIS K 6903による

(1.2 3.0)

ポリエステル樹脂化粧板

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合

図示

合板類の張付け

A種 B種

せっこうボードの目地工法等

目地工法の種類

仕上表による

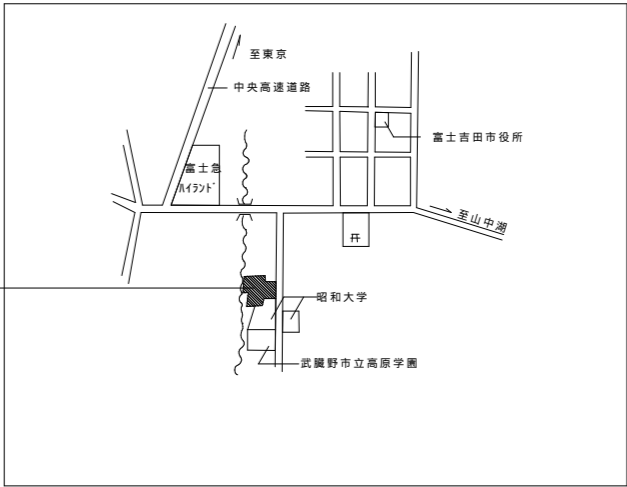
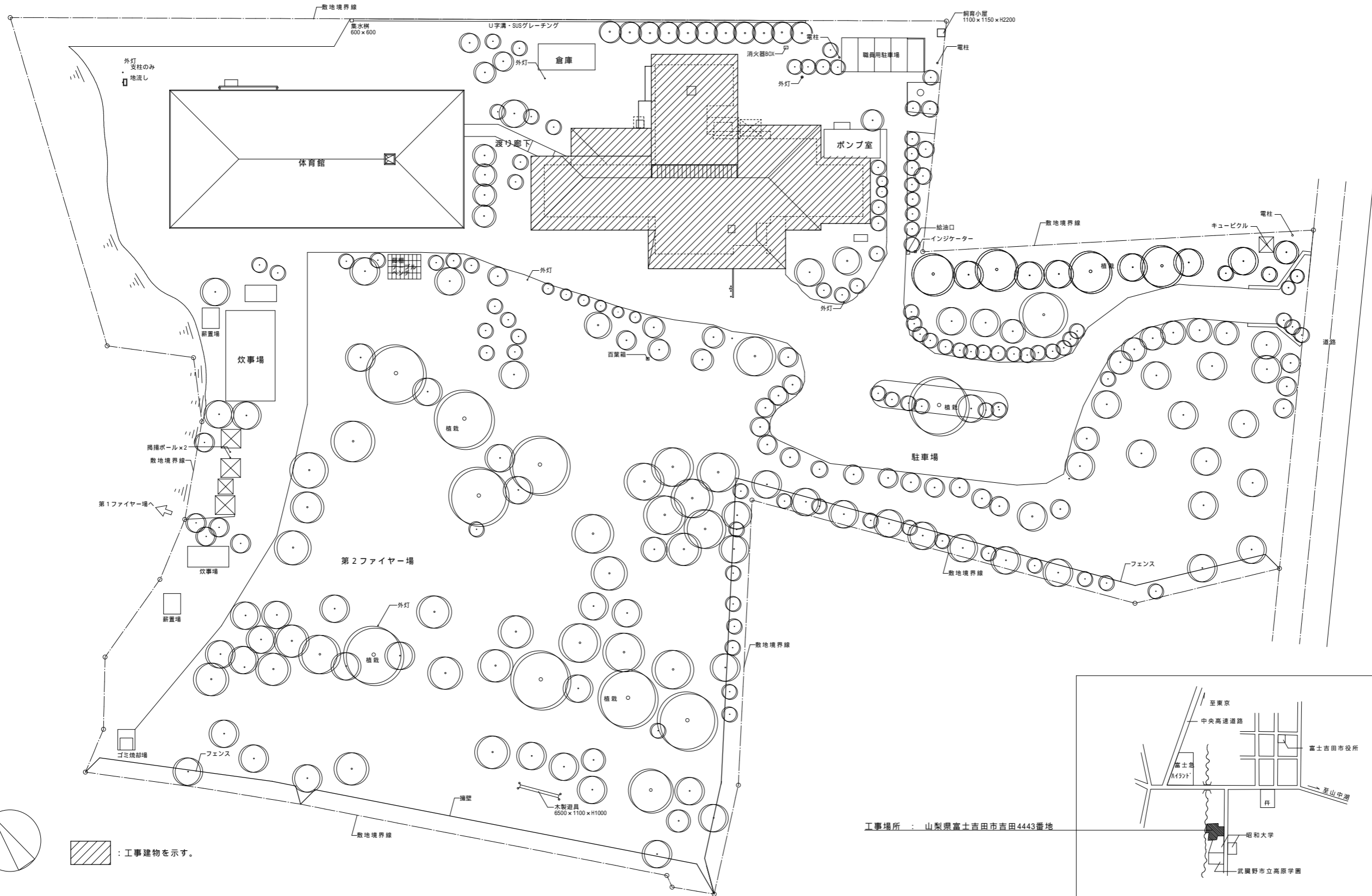
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類

突付け工法のエッジの種類

目透し工法のエッジの種類

化粧加工の方法(オーバーレイ プリント 塗装)

 26 | 壁紙張り | ホルムアルデヒド放散量 F 壁紙の種類 施工箇所 紙 繊維 ビニル 無機質 その他 防火性能 備 考 モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別 B種 A種 コンクリート面の素地ごしらえの種別 B種 A種 せっこうボード面及びその他の素地ごしらえの種別 B種 A種 モルタル 現場調合材料 既調合材料 既製品目地材 設ける 施工箇所 設けない 床目地 設ける 目地割り 2㎡程度(最大目地間隔3㎡程度) 目地の種類 押し目地 設けない 壁面の仕上げ厚は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 図示 伸縮調整目地の位置 床タイル 縦、横とも4m以内ごと 図示 伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修標準仕様書3章7節による 見本焼き 行う(施工箇所:) 行わない 試験張り 行う(範囲、仕様等は図示による) 行わない セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り タイルの形状、寸法等 施工箇所 種類 形状/寸法(mm) 再生材料の適用 吸水率にいうくよる区分 すり 役物 色 耐摩 耐滑 備考 図示 100角 施工範囲: 図示 備考: 施工範囲: 備考: 施工範囲: 備考: 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 既調合モルタルの品質、性能、試験方法は建築材料等品質性能表(改修)(1)4章 既調合モルタル(内装改修工事共通)による モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 既調合目地材の品質、性能、試験方法は建築材料等品質性能表(改修)(2)6章 タイル張りによる 内装タイル 密着張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り タイルの形状、寸法等 施工箇所 種類 形状/寸法(mm) 再生材料の適用 吸水率にいうくよる区分 すり 役物 色 耐摩 耐滑 備考 施工範囲: 備考: 施工範囲: 備考: 施工範囲: 備考: 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 29 セルフレベリング材塗り 塗厚(mm) 12.5</ |



案内図

工事場所：山梨県富士吉田市吉田4443番地

：工事建物を示す。


配置図 1/300

概要				凡例				法定不燃・準不燃・耐火材料一覧表（シックハウス種別）						
工事名称	富士吉田青年の家本館棟長寿命化改修工事（建築工事）			RC	鉄筋コンクリート	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	材料名	認定番号 <th>S.H. 種別</th> <th>材料名</th> <td>認定番号<th>S.H. 種別</th></td>	S.H. 種別	材料名	認定番号 <th>S.H. 種別</th>	S.H. 種別	
建設地	地名地番：山梨県 富士吉田市 上吉田 熊穴 4443-2地			ALC	軽量気泡コンクリート	OS	オイルステイン塗り	GB-Rt=12.5（石こうボード）	不燃NM-8619	規制対象外	ソフト巾木		F	
	住居表示：山梨県富士吉田市上吉田443番地			ECF	中空押出成形セメント板	WP	木材保護塗料塗り	GB-Rt=9.5（石こうボード）	不燃NM-0441	規制対象外	長尺塩ビシート		規制対象外	
敷地面積	14,951（㎡）			S	鉄骨	HL	ヘアーライン	GB-St=12.5（耐水石こうボード）	不燃NM-9639	規制対象外	ビニル床タイル		規制対象外	
道 路	区道（法42条1項1号道路）			LGS	軽量鉄骨下地	GB-R	石膏ボード	GB-Ft=21、15、12.5（強化石こうボード）	不燃NM-8615	規制対象外	タイルカーペット		F	
	北側前面道路幅員：6.0m			W	木	GB-D	化粧石膏ボード	GB-R-Ht=9.5（硬質石こうボード）	不燃NM-9645	規制対象外	SOP、EP、EG、G、NAD	不燃NM-8585	F	
地域地区 及び 防火指定等	用途地域	なし		SOP	合成樹脂調合ペイント塗	GB-S	耐水石膏ボード	GB-Dt=9.5（天井用）（化粧石こうボード）	不燃NM-1864	規制対象外	ガルバリウム鋼板	不燃NM-8697	規制対象外	
	高度地区	なし		CL	クリヤラッカー塗	GB-F	強化石膏ボード	0.8FKt=6（けい酸カルシウム板）	不燃NM-1217	規制対象外	グラスウール	不燃NM-8605	F	
	防火地域	国立公園普通地域（自然公園法）			NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗	GB-NC	不燃種層石膏ボード	化粧0.8FKt=6（化粧けい酸カルシウム板）	不燃NM-2371	規制対象外	ロックウール	不燃NM-8600	F
		里地里山・富士山麓景観形成地域（富士吉田市景観計画）			DP-A	耐候性塗料塗（フッ素樹脂塗装）	DR	岩綿吸音板	FKt=10（けい酸カルシウム板）	不燃NM-8578	規制対象外	アルミスバンドレル	不燃NM-3448	規制対象外
	法廷建蔽率	70%	法定容積率 200%	DP-B	耐候性塗料塗（アクリルシリコン樹脂塗装）	FK	ケイ酸カルシウム板	DRt=9、12、15（岩綿吸音板）	不燃NM-8599	規制対象外				
	日影規制	なし		DP-C	耐候性塗料塗（ポリウレタン樹脂塗装）	SUS	ステンレス	ビニルクロス（防火種別1・6程度）	不燃NM-0850	F	ビニルクロス（防火種別1・6程度）	不燃NM-0850	F	
	その他	なし		EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗									
	建築面積	774.490㎡												
	延床面積	1002.740㎡												
	建物高さ	10.765m												

外部仕上表			・・・アスベスト含有の箇所					
			改 修 前		改 修 後			
	屋上	アスファルトシングル葺の上、ポリマーセメント系塗膜防水【既存のまま】 屋根下地：母屋＋垂木＋合板 t＝12＋アスファルトルーフィング敷【既存のまま】	平場、立上り：高圧洗浄の上トップコート【塗替】		デッキ 建具開口部廻り 塗装 2階・手摺 煙突 軒種 堅種	床：唐松換立材 t＝30、手摺：丸太末口 210 【既存のまま】 手摺子：丸太末口 180 @1800 全て防腐剤処理【既存のまま】	床：下地調整の上、SOP塗装【新設】、手摺・手摺子：木材保護塗料（浸透系、カビ抵抗性あり）【新設】	
	庇 プロパン置場	天端：防水モルタル・金ゴテ【既存のまま】 見付・庇裏：合板型枠コンクリート打放しアクリルリシン吹付【既存のまま】	天端：下地調整の上、ウレタン塗膜防水（X-2）【新設】 見付：下地調整の上、可とう形改修塗材CE（フッ素）【新設】 庇裏：下地調整の上、外装薄塗材 Si【新設】			窓：アルミニウム製（一部ジュラクロン処理）、扉：鋼製（ジュラクロン処理）OP塗【既存のまま】 窓台：プレキャストコンクリート製一部防水モルタル金ゴテ＋シーリング【シーリングのみ撤去】	変成シリコン系シーリング【新設】	
	袖床	スラブ又は土間コンクリートの上、レンガタイル貼、厨房前、スロープ部も同様 一部、鉄筋コンクリート木ゴテ押え	既存のまま			鉄部：OP塗、木部：OS又は防腐剤処理【既存のまま】	鉄部：下地調整の上、DP塗装（2級）【新設】、木部：下地調整の上、SOP塗装【新設】	
	軒天	コンクリート打放しの上リシン吹付【既存のまま】 一部、フレキシブルボード t＝4の上リシン吹付【一部撤去】	下地調整の上、外装薄塗材 Si【新設】 フレキシブルボード t＝4＋外装薄塗材 Si【一部新設】				木材保護塗料（浸透系、カビ抵抗性あり）【新設】	
	外巾木	コンクリート打放し モルタル金ゴテ【既存のまま】	水洗い後、ポリマーセメント系微弾性塗材【新設】					
	バルコニー	袖壁：コンクリート打放しリシン吹付（内外）、前面：唐松丸太末口 100 横張り【既存のまま】 床：防水モルタル塗の上木製スノコ張り、木部 防腐剤処理【既存のまま】	袖壁（内外）：下地調整の上、可とう形改修塗材CE（フッ素）【新設】 前面：木材保護塗料（浸透系、カビ抵抗性あり）【新設】			空木：SUS製 1260×1260・910×910【撤去】 軒種：硬質塩ビ製 V型200【既存のまま】 堅種：硬質塩ビ管（VP管） 100【既存のまま】	下地調整の上、可とう形改修塗材CE（フッ素）【新設】 塞ぎ板：SUS304 PL-4.0 端部：曲げ加工【新設】 既存のまま	
	外壁	コンクリート打放し（フカシ t＝20） アクリルリシン吹付【既存のまま】	下地調整の上、可とう形改修塗材CE（フッ素）【新設】					
	柱型・梁型	コンクリート打放し（フカシ t＝20） アクリルリシン吹付【既存のまま】	下地調整の上、可とう形改修塗材CE（フッ素）【新設】					
防水改修 ・高圧洗浄の上トップコート塗替による改修。			外壁補修 ・劣化部位の補修後（爆裂・ひび割れ）、可とう形改修塗材CE（フッ素）を施工する。（劣化部位は立面図参照）		外構改修 ・敷地入口部分の植栽一部撤去 ・設備改修（配管）に伴う一部植栽の伐採、伐根		内部改修 ・内装劣化箇所（クラック、膨れ、塗装剥げ等）の部分的な改修を行う。 ・既存湿式の便所を乾式へ改修を行う。	

内部仕上表																	
階	室 名		床				壁						天井				備考
			下地	仕上	巾木		腰壁		下地	仕上	柱型	梁型	下地	仕上	遮縁	天井高	
					仕上	高さ	仕上	高さ									
1階	玄関	既存	モルタル	フローリングブロック t = 15 OSW 踏込：レンガタイル貼	ラワン OSC L	100			LGS RC	GB・Rt = 12.5 寒冷紗貼 VP【既存のまま】 モルタル下地 寒冷紗貼 VP【既存のまま】	モルタル金ゴテ VP		RC LGS	合板型枠コンクリ・ト打放しリシン吹付 一部合板貼り目透貼 OSC L		2850	
		改修後															
	玄関ホ・ル	既存	モルタル	フローリングブロック t = 15 OSW	ラワン OSC L	100			LGS RC	GB・Rt = 12.5（一部モルタル） 寒冷紗貼 VP 一部：丸太半割OSC L	モルタル金ゴテ VP		LGS	合板貼り目透貼 OSC L		2250	
		改修後														2250	
	談話ホ・ル	既存	軽量コン 【一部撤去】	フェルト t = 10 + 絨毯敷 t = 8【撤去】	ラワン OSC L 【既存のまま】	100			LGS RC	GB・Rt = 12.5（一部モルタル） 寒冷紗貼 VP【既存のまま】 モルタル下地 寒冷紗貼 VP【既存のまま】	モルタル金ゴテ VP		LGS	寒冷紗貼GB・Rt = 9.5下地VP【既存のまま】	増ビ	3290 - 5250	
		改修後		調整床 + 下地合板 t = 12 + 温水式床暖房パネル（調整用合板） t = 12 + 合板 t = 12 + タイルカーベット t = 6【一部新設】	EP・G塗装	100		既存のまま	モルタル下地部：浮き部補修 + EP・G塗装 その他壁：下地調整 + EP・G塗装	左同		既存のまま	下地調整 + EP・G塗装	増ビ	3290 - 5250	暖炉：煙道封じ込め【新設】 床暖房【新設】（設備工事）	
	食堂	既存	モルタル	フローリングブロック t = 15 OSW 一部スラブ上乗立	ラワン OSC L	100			LGS RC	GB・Rt = 12.5（一部モルタル） 寒冷紗貼 VP 一部：丸太半割OSC L、ケイカル板	モルタル金ゴテ VP		RC LGS	合板貼り目透貼 OSC L、一部ケイカル板 増築部：ジブ・トン	増ビ	2550	
		改修後															
	厨房	既存	アスファルト防水 軽量コン	磁器モザイクタイル 25角敷、スノコ敷 側溝廻り：モザイクタイル 50角敷					RC	モルタル下地 + 100角 半磁器タイル 下り壁フレキシブルボード	100角 半磁器タイル		LGS	フレキシブルボード t = 4 目透し張 VP【既存のまま】	増ビ	2800	
		改修後	既存のまま	既存のまま					既存のまま	既存のまま	左同		既存のまま	既存のまま	増ビ	2800	厨房機器【一部改造】（設備工事）
	食品庫	既存	モルタル	ビニルタイル t = 2.0 踏込レンガタイル貼	ビニル巾木	100			RC	モルタル（VP塗）	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	RC	合板型枠コンクリ・ト打放しリシン吹付		3120	
		改修後															
便所（男・女）	既存	モルタル防水	磁器モザイクタイル 25角敷【既存のまま】 踏込：フローリングブロック t = 15 OSW【既存のまま】					RC 【既存のまま】	モルタル下地 + 100角 半磁器タイル【一部撤去】	100角 半磁器タイル		LGS	フレキシブルボード t = 4 目透し張 VP【撤去】	増ビ	2190	トイレブース（男女共）【撤去】、天井点検口（男女共）【撤去】 和便器、小便器【撤去】（設備工事）	
	改修後	既存のまま	下地調整（レベリング材 t = 13.0）の上 長尺塩ビシート t = 2.0（防汚防漏）【新設】	ビニル巾木【新設】 （男子のみ）	100			RC LGS【新設】	下地調整 + 100角 半磁器タイル【一部新設】（男女共） 壁（新設）：耐水合板 t = 12 + 12 + メラミン化粧合板 t = 3.0【新設】（男子のみ）	左同		既存のまま	フレキシブルボード t = 4 目透し張 + EP・G塗装【新設】	増ビ	2175	トイレブース（男女共）【新設】、天井点検口（男女共）【新設】 ライニング（男子）【新設】 洋便器、小便器【新設】（設備工事）	
廊下A	既存	モルタル	フローリングブロック t = 15 OSW	ラワン OSC L	100			LGS RC	GB・Rt = 12.5 寒冷紗貼 VP 寒冷紗貼モルタル下地VP	モルタル金ゴテ VP		LGS	寒冷紗貼GB・Rt = 9.5下地VP	増ビ	2250		
	改修後																
裏玄関	既存	モルタル	フローリングブロック t = 15 OSW 踏込：レンガタイル貼	ラワン OSC L 踏込モルタル	100 150			LGS RC	GB・Rt = 12.5 寒冷紗貼 VP 寒冷紗貼モルタル下地VP	VP		RC	モルタル金ゴテVP		直天井		
	改修後																
倉庫（1）	既存	RC	モルタル金ゴテ					RC	モルタル刷毛引き リシン吹付	モルタル 刷毛引き	モルタル 刷毛引き				直天井		
	改修後																
機械室	既存	軽量コン	モルタル金ゴテ【既存のまま】					防水モルタル金ゴテ	1250	RC	モルタル刷毛引き【既存のまま】	モルタル 刷毛引き	モルタル 刷毛引き	コンクリ・ト打放し【既存のまま】		直天井	配管保温材（雑排水管）、パッキン（温水ボイラー）、パッキン（真空暖房ポンプ）【撤去】 設備基礎【撤去】
	改修後	既存のまま	モルタル金ゴテ【一部新設】					既存のまま	1250	既存のまま	劣化部補修 + EP・G塗装【新設】	左同	左同	劣化部補修 + EP・G塗装【新設】		直天井	照明器具【新設】

内部仕上表															・・・アスベスト含有の箇所					室名					・・・改修工事実施範囲				
階	室 名		床				壁				天井				備考														
			下地	仕上		巾木		腰壁		下地	仕上		柱型	梁型					下地	仕上		廻縁	天井高						
						仕上	高さ	仕上	高さ																				
1階	研修室	既存	モルタル	フローリングブロックt=15 OSW		ラワン OSCL	100			LGS RC	GB・R t=12.5 寒冷紗貼 VP 寒冷紗貼モルタル下地VP		モルタル全ゴテ VP		LGS	寒冷紗貼+プラスタ・ボードt=9 VP【一部撤去】		増ビ 【一部撤去】	2650 2250	換気扇【新設】（設備工事）									
		改修後	既存のまま	既存のまま		既存のまま	100			既存のまま	既存のまま		左同		既存のまま	GB・R t=9.5+EP・G塗装【一部新設】		増ビ 【一部新設】	2650 2250										
	洗濯室兼便所	既存	モルタル	ビニルタイル t=2.0		ラワン OSCL	100			RC	モルタル全ゴテ【既存のまま】		モルタル全ゴテ	モルタル全ゴテ	LGS	寒冷紗貼+プラスタ・ボードt=9 VP【一部撤去】		増ビ 【一部撤去】	2230										
		改修後	既存のまま	既存のまま		既存のまま	100			既存のまま	既存のまま		左同		既存のまま	GB・R t=9.5+EP・G塗装【一部新設】		増ビ 【一部新設】	2230										
	物入	既存	モルタル	ビニルタイル t=2.0		ラワン OSCL 【撤去】	100			RC	モルタル全ゴテ		モルタル全ゴテ	モルタル全ゴテ	LGS	プラスタ・ボードt=9 VP		増ビ	2230										
		改修後																											
	事務室	既存	モルタル	フローリングブロックt=15 OSW		ラワン OSCL	100			LGS RC	GB・R t=12.5 寒冷紗貼 VP 寒冷紗貼モルタル下地VP		モルタル全ゴテ VP		LGS	GB・R (VP塗：白、グレー)		増ビ	2500										
		改修後																											
	廊下B	既存	モルタル	フローリングブロックt=15 OSW		ラワン OSCL	100			LGS【一部撤去】 RC	GB・R t=12.5 (一部モルタル) 寒冷紗貼 VP 一部：丸太半割OSCL		モルタル全ゴテ VP		LGS	合板貼り目透貼 OSCL			2250										
		改修後																											
	通门口 （洗濯場）	既存	モルタル	フローリングブロックt=15 OSW 蹴込：レンガタイル貼		ラワン OSCL 蹴込レンガタイル貼	100 100			LGS RC	GB・R t=12.5 寒冷紗貼・ジュラクサテン吹付；モルタル全ゴテ 寒冷紗貼モルタル下地VP		モルタル全ゴテ VP		LGS	合板貼り目透貼 OSCL			2250										
		改修後																											
	リネン室	既存	モルタル	ビニルタイル t=2.0		ラワン OSCL	100			LGS RC	GB・R t=12.5 寒冷紗貼 VP 寒冷紗貼モルタル下地VP		モルタル全ゴテ VP		LGS	合板貼り目透貼 OSCL			2250										
		改修後																											
	倉庫（3）	既存	モルタル	ビニルタイル t=2.0		ラワン OSCL	100			RC	モルタル全ゴテ		モルタル全ゴテ	モルタル全ゴテ		合板型枠コンクリ・ト打放しリシン吹付		直天井											
		改修後																											
	湯沸室	既存	モルタル	塩ビタイル		ラワン OSCL	100			RC	モルタル (VP塗：ベージュ)		モルタル全ゴテ		LGS	フレキシブルボードt= 4 目透し強 VP		増ビ	2250										
		改修後																											
	館長室	既存	モルタル	フローリングブロックt=15 OSW 蹴込共		ラワン OSCL 蹴込モルタル	100 150			LGS RC	GB・R t=12 寒冷紗貼 VP 寒冷紗貼モルタル下地VP		モルタル全ゴテ VP	寒冷紗貼 ジュラクサテン吹付	LGS	プラスタ・ボードt=9 布クロス貼		増ビ	2200										
		改修後																											
	管理住居 便所 洗面所	既存	モルタル	フローリングブロックt=15 OSW【撤去】		ラワン OSCL	100			RC	モルタル全ゴテ VP		モルタル全ゴテ VP		LGS	フレキシブルボードt= 4 目透し強 VP		増ビ	2250										
		改修後	既存のまま	モルタル下地補修 t=15+長尺塩ビシート t=2.0 (防汚防漏)【新設】		既存のまま	100			既存のまま	既存のまま		左同		既存のまま	既存のまま		増ビ	2250										
	管理住居 更衣室	既存	モルタル	フェルトt=10、絨毯敷t=8		ラワン OSCL	100			LGS	寒冷紗貼GB・R t=12下地ビニルクロス貼		モルタル全ゴテ ビニルクロス貼		LGS	寒冷紗貼GB・R t=9下地ビニルクロス貼		増ビ	2250										
		改修後																											
管理住居 DK	既存	モルタル	フローリングブロックt=15 OSW		ラワン OSCL	100			LGS RC	GB・R VP塗装 キッチン廻り100角タイル貼		モルタル全ゴテ VP		LGS	プラスタ・ボードt=9		増ビ	2300											
	改修後																												
管理住居 和室4.5帖	既存	モルタル	タタミ		タタミ寄せ				LGS RC	GB・R VP塗装 寒冷紗貼モルタル下地VP		モルタル全ゴテ VP		LGS	プラスタ・ボードt=9		増ビ	2300											
	改修後																												
管理住居 和室6帖	既存	モルタル	タタミ		タタミ寄せ				LGS RC	GB・R VP塗装 寒冷紗貼モルタル下地VP		モルタル全ゴテ VP		LGS	プラスタ・ボードt=9		増ビ	2300											
	改修後																												
階段A	既存	モルタル	蹴面：ラワンt=35 蹴込：ラワンt=25、OSCL		ラワン OSCL	100			LGS【撤去】 RC	丸太半割OSCL【撤去】 手留壁：寒冷紗貼GB・R t=12.5下地VP		モルタル全ゴテ VP		LGS	寒冷紗貼GB・R t=9下地VP		増ビ		手留：ラワンOSCL										
	改修後																												
階段B	既存	モルタル	蹴面：ラワンt=35 蹴込：ラワンt=25、OSCL		ラワン OSCL	100			LGS RC	寒冷紗貼GB・R t=12下地VP 寒冷紗貼モルタル下地VP		モルタル全ゴテ VP		LGS	寒冷紗貼GB・R t=9下地VP		増ビ		手留：ラワンOSCL										
	改修後																												
2階	廊下	既存	モルタル	フローリングブロックt=15 OSW		ラワン OSCL 【既存のまま】	100			RC	モルタル全ゴテ VP【既存のまま】		モルタル全ゴテ VP		LGS	寒冷紗貼GB・R t=9下地VP【既存のまま】		増ビ	2250	ルーバー：ケイ酸カルシウム板t=4@150【撤去】									
		改修後	既存のまま	既存のまま		EP・G塗装	100			既存のまま	クラック補修 下地調整+EP・G塗装		左同		既存のまま	下地調整+EP・G塗装【新設】		既存のまま	2250	取付下地+アルミルーバー（木目調シート）150×20 @200【新設】									
	談話コ・ナ	既存	モルタル	フェルトt=10、絨毯敷t=8		ラワン OSCL	100			LGS	寒冷紗貼GB・R t=12下地ビニルクロス貼		モルタル全ゴテ ビニルクロス貼		LGS	寒冷紗貼GB・R t=9下地ビニルクロス貼		増ビ	2250										
		改修後																											
	宿泊室A	既存	モルタル	タタミ		タタミ寄せ				LGS RC・木	寒冷紗貼GB・R t=12下地VP、モルタル下地 ジュラクサテン吹付、一部クロス貼		モルタル全ゴテ VP	寒冷紗貼 ジュラクサテン吹付	LGS	寒冷紗貼GB・R t=9下地ジュラクサテン吹付 一部下り天井クロス貼		増ビ	2450										
		改修後																											
	宿泊室B	既存	モルタル	タタミ		タタミ寄せ				LGS RC・木	寒冷紗貼GB・R t=12下地VP、モルタル下地 ジュラクサテン吹付、一部クロス貼		モルタル全ゴテ VP	寒冷紗貼 ジュラクサテン吹付	LGS	寒冷紗貼GB・R t=9下地ジュラクサテン吹付 一部下り天井クロス貼		増ビ	2450										
		改修後																											
	宿泊室C	既存	モルタル	タタミ		ソフト巾木		100		LGS RC・木	寒冷紗貼GB・R t=12下地VP、モルタル下地 ジュラクサテン吹付、一部クロス貼		モルタル全ゴテ VP	寒冷紗貼 ジュラクサテン吹付	LGS	寒冷紗貼GB・R t=9下地ジュラクサテン吹付 一部下り天井クロス貼		増ビ	2450										
		改修後																											
	宿泊室D	既存	モルタル	タタミ		ソフト巾木		100		LGS RC・木	寒冷紗貼GB・R t=12下地VP、モルタル下地 ジュラクサテン吹付、一部クロス貼		モルタル全ゴテ VP	寒冷紗貼 ジュラクサテン吹付	LGS	寒冷紗貼GB・R t=9下地ジュラクサテン吹付 一部下り天井クロス貼		増ビ	2450										
		改修後																											
	宿泊室E	既存	モルタル	タタミ		ソフト巾木		100		LGS RC・木	寒冷紗貼GB・R t=12下地VP、モルタル下地 ジュラクサテン吹付、一部クロス貼		モルタル全ゴテ VP	寒冷紗貼 ジュラクサテン吹付	LGS	寒冷紗貼GB・R t=9下地ジュラクサテン吹付 一部下り天井クロス貼		増ビ	2450										
		改修後																											

 株式会社 慎 設計事務所 一級建築士事務所 千葉事務所 千葉県船橋市二宮2-13-2	千葉県知事登録 第1-2406-7210号 一級建築士（大臣）登録 第253589号 鳥村 司	REMARKS	SEAL	TITLE 富士吉田青年の家本館棟長寿命化改修工事（建築工事） 本館棟 内部仕上表(2)	SCALE A1:- A3:-		DATE 2024.12.26 DRAWN	SHEET NO. A-11		
					CHECKED					

内部仕上表																	
階	室 名		床				壁						天井				備考
			下地	仕上	巾木		腰壁		下地	仕上	柱型	梁型	下地	仕上	廻縁	天井高	
					仕上	高さ	仕上	高さ									
2 階	宿泊室D	既存	モルタル	タタミ	ソフト巾木	100			LGS RC・木	寒冷紗貼GB・R t = 12下地VP、モルタル下地 ジュラクサテン吹付、一部クロス貼	モルタル金ゴテ VP	寒冷紗貼 ジュラクサテン吹付	LGS	寒冷紗貼GB・R t = 9下地ジュラクサテン吹付 一部下り天井クロス貼	塩ビ	2450	
		改修後															
	宿泊室E	既存	モルタル	タタミ	ソフト巾木	100			LGS RC・木	寒冷紗貼GB・R t = 12下地VP、モルタル下地 ジュラクサテン吹付、一部クロス貼	モルタル金ゴテ VP	寒冷紗貼 ジュラクサテン吹付	LGS	寒冷紗貼GB・R t = 9下地ジュラクサテン吹付 一部下り天井クロス貼	塩ビ	2450	
		改修後															
	宿泊室F	既存	モルタル	タタミ	ソフト巾木	100			LGS RC・木	GB・R t = 12 寒冷紗貼 VP、モルタル下地 ジュラクサテン吹付、一部クロス貼	モルタル金ゴテ VP	寒冷紗貼 ジュラクサテン吹付	LGS	寒冷紗貼GB・R t = 9下地ジュラクサテン吹付 一部下り天井クロス貼	塩ビ	2450	
		改修後															
	宿泊室廊下	既存	モルタル	フェルト t = 10、絨毯敷 t = 8 一部フローリングブロック t = 15 OSW	ラワン OSCL	100			LGS RC・木	GB・R t = 12 寒冷紗貼 VP、モルタル下地 ジュラクサテン吹付	モルタル金ゴテ VP	寒冷紗貼 ジュラクサテン吹付	LGS	寒冷紗貼GB・R t = 9下地ジュラクサテン吹付 一部下り天井クロス貼	塩ビ	2600	
		改修後															
	宿泊室押入	既存	木	合板 t = 5、中棚共					木	合板 t = 3	合板 t = 3	合板 t = 3	LGS	合板 t = 3		2250	
		改修後															
	宿泊室ロッカ・	既存	木	合板 t = 5、					木	合板 t = 3	合板 t = 3	合板 t = 3	LGS	合板 t = 3		1780	
		改修後															
	脱衣室(A・B)	既存	木	ナラフローリング t = 15 OSW 蹴込：長尺床用シ・ト t = 2.8入口前：塩ビシート	ラワン OSCL	100			RC	モルタル(VP塗)	モルタル (VP塗)		LGS	フレキシブルボード t = 4 目透し張 VP	塩ビ	2500 一部2300	
		改修後															
	浴室(A・B)	既存	モルタル	アスファルト防水、磁器小口タイル貼				磁器小口タイル貼	870～ 940	RC	モルタルリシンカキ落し	モルタル リシンカキ落し		リシンカキ落し		直天井	
		改修後															
洗面所 (男・女)	既存	モルタル	ビニルタイル t = 2.0	ラワン OSCL	100			RC	モルタル金ゴテVP	モルタル金ゴテ VP		LGS	フレキシブルボード t = 4 目透し張 VP	塩ビ	2250		
	改修後																
便所 (男・女)	既存	モルタル	アスファルト防水 25角磁器モザイクタイル貼【既存のまま】					RC	モルタル下地 + 100角 半磁器タイル【一部撤去】	100角 半磁器タイル		LGS	男：ケイカル板 目透し張 VP 女：ケイカル板 目透し張 吹付タイル		2300	トイレブース(男女共)【撤去】 和便器、小便器、洋便器【撤去】(設備工事)	
	改修後	既存のまま	下地調整(レベリング材)の上 板尺塩ビシート t = 2.5(抗菌タイプ)【新設】	ビニル巾木【新設】 (男子のみ)	100			RC LGS【新設】	下地調整 + 100角 半磁器タイル【一部新設】(男女共) 壁(新設)：断水合板 t = 12 + 12 +メラミン化粧合板 t = 3.0【新設】(男子のみ)			LGS	既存のまま	既存のまま	2275	トイレブース(男女共)【新設】 ライニング(男子)【新設】 洋便器、小便器【新設】(設備工事)	
洗濯場	既存	モルタル	フローリングブロック t = 15 OSW	ラワン OSCL	100			LGS RC	寒冷紗貼GB・R t = 12下地VP 寒冷紗貼モルタル下地VP	モルタル金ゴテ VP		LGS	フレキシブルボード t = 4 目透し張 VP		3300		
	改修後																



株式会社 慎 設計事務所
一級建築士事務所

千葉事務所 千葉県船橋市二宮2-13-2

千葉県知事登録 第1-2406-7210号
一級建築士(大臣)登録 第253589号

鳥村 司

REMARKS

SEAL

TITLE 富士吉田青年の家本館棟長寿命化改修工事(建築工事)

本館棟 内部仕上表(3)

SCALE A1:-
A3:-

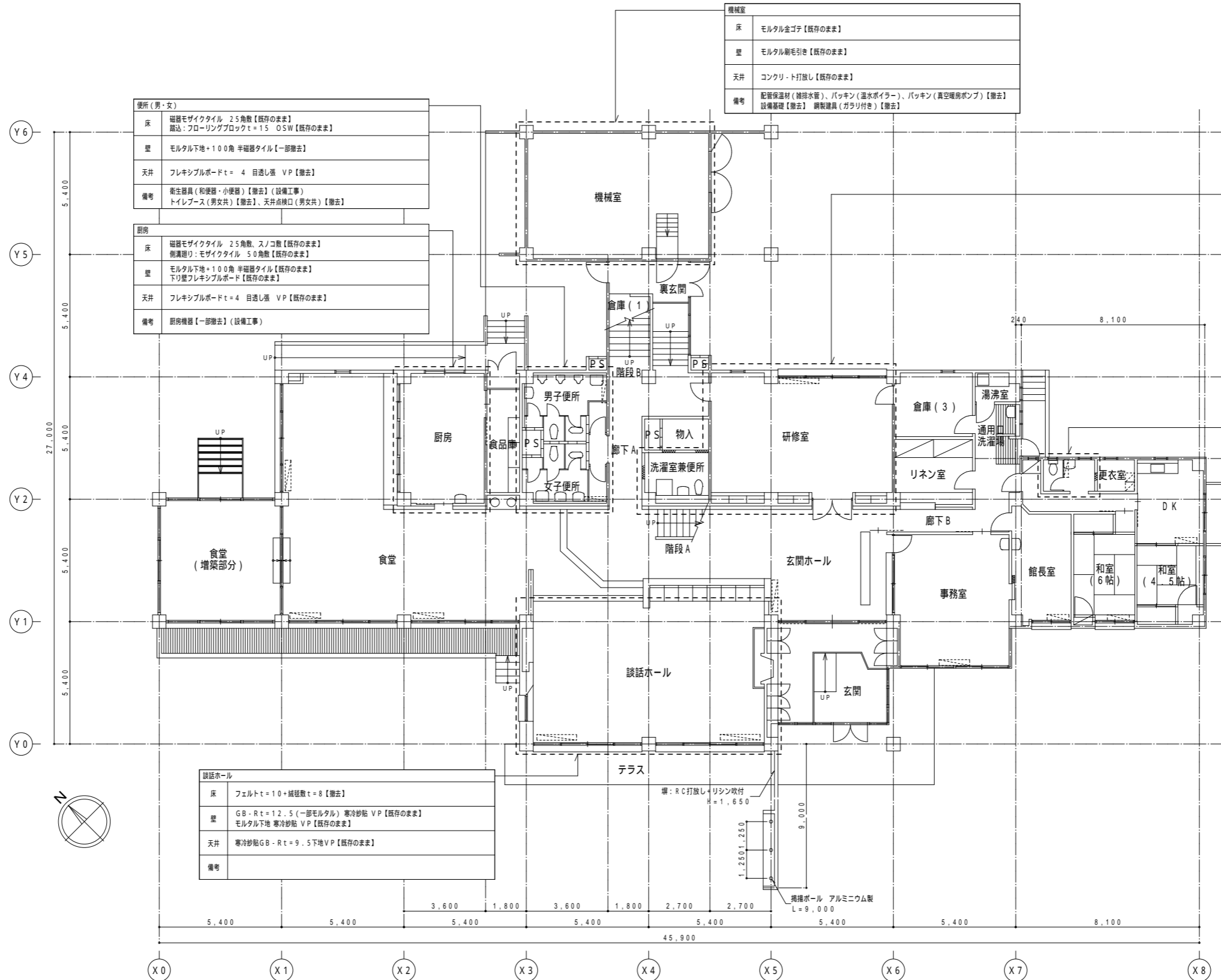
CHECKED

DATE 2024.12.26

DRAWN

SHEET NO.

A-12



便所 (男・女)	
床	磁器モザイクタイル 25角敷【既存のまま】 床込：フローリングブロックt=15 OSW【既存のまま】
壁	モルタル下地+100角 半磁器タイル【一部撤去】
天井	フレキシブルボードt= 4 目透し張 VP【撤去】
備考	衛生器具 (和便器・小便器)【撤去】 (設備工事) トイレブース (男女共)【撤去】、天井点検口 (男女共)【撤去】

厨房	
床	磁器モザイクタイル 25角敷、スノコ敷【既存のまま】 側溝廻り：モザイクタイル 50角敷【既存のまま】
壁	モルタル下地+100角 半磁器タイル【既存のまま】 下り壁フレキシブルボード【既存のまま】
天井	フレキシブルボードt=4 目透し張 VP【既存のまま】
備考	厨房機器【一部撤去】 (設備工事)

機械室	
床	モルタル金ゴテ【既存のまま】
壁	モルタル刷毛引き【既存のまま】
天井	コンクリート打放し【既存のまま】
備考	配管保温材 (排水水管)、パッキン (温水ボイラー)、パッキン (真空暖房ポンプ)【撤去】 設備基礎【撤去】 網製建具 (ガラリ付き)【撤去】

研修室	
床	フローリングブロックt=15 OSW【既存のまま】
壁	GB・Rt=12.5 寒冷紗貼 VP【既存のまま】 寒冷紗貼モルタル下地VP【既存のまま】
天井	寒冷紗貼+プラスターボードt=9 VP【一部撤去】
備考	

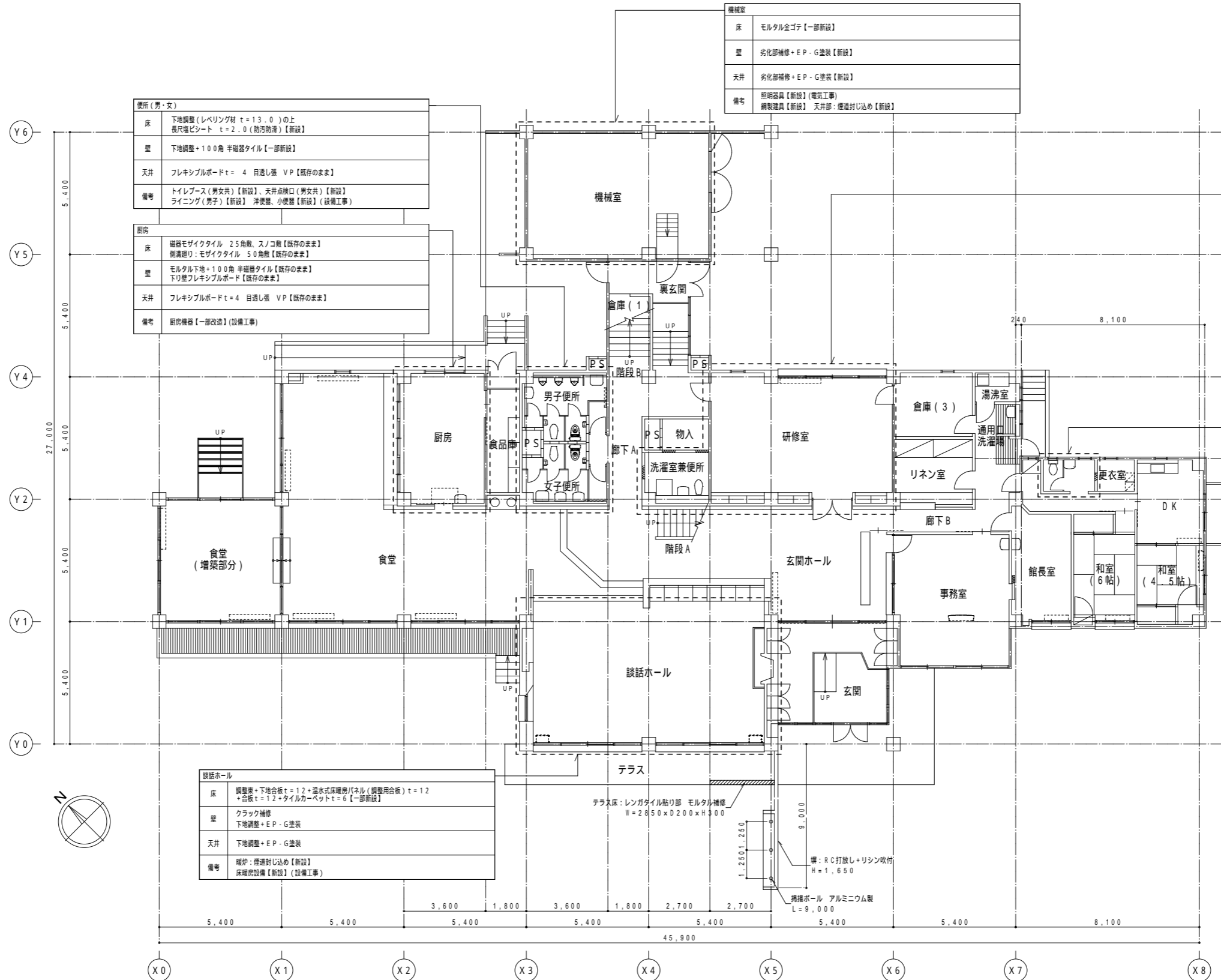
洗濯室兼便所	
床	ビニルタイル t=2.0【既存のまま】
壁	モルタル金ゴテ【既存のまま】
天井	寒冷紗貼+プラスターボードt=9 VP【一部撤去】
備考	

管理住居 便所・洗面所	
床	フローリングブロックt=15 OSW【撤去】
壁	モルタル金ゴテ VP【既存のまま】
天井	フレキシブルボードt= 4 目透し張 VP【既存のまま】
備考	

談話ホール	
床	フェルトt=10+絨毯敷t=8【撤去】
壁	GB・Rt=12.5 (一部モルタル) 寒冷紗貼 VP【既存のまま】 モルタル下地 寒冷紗貼 VP【既存のまま】
天井	寒冷紗貼GB・Rt=9.5下地VP【既存のまま】
備考	

1 階平面図

改修範囲を示す。



機械室	
床	モルタル金ゴテ【一部新設】
壁	劣化部補修+EP-G塗装【新設】
天井	劣化部補修+EP-G塗装【新設】
備考	照明器具【新設】(電気工事) 鋼製建具【新設】 天井部：煙道封じ込み【新設】

便所(男・女)	
床	下地調整(レベリング材 t=13.0)の上 長尺塩ビシート t=2.0(防汚防漏)【新設】
壁	下地調整+100角 半磁器タイル【一部新設】
天井	フレキシブルボード t= 4 目透し張 VP【既存のまま】
備考	トイレブース(男女共)【新設】、天井点検口(男女共)【新設】 ライニング(男子)【新設】 洋便器、小便器【新設】(設備工事)

厨房	
床	磁器モザイクタイル 25角敷、スノコ敷【既存のまま】 側溝廻り：モザイクタイル 50角敷【既存のまま】
壁	モルタル下地+100角 半磁器タイル【既存のまま】 下り壁フレキシブルボード【既存のまま】
天井	フレキシブルボード t=4 目透し張 VP【既存のまま】
備考	厨房機器【一部改造】(設備工事)

研修室	
床	フローリングブロック t=15 OSW【既存のまま】
壁	GB-R t=12.5 寒冷紗貼 VP【既存のまま】 寒冷紗貼モルタル下地VP【既存のまま】
天井	GB-R t=9.5+EP-G塗装【一部新設】
備考	

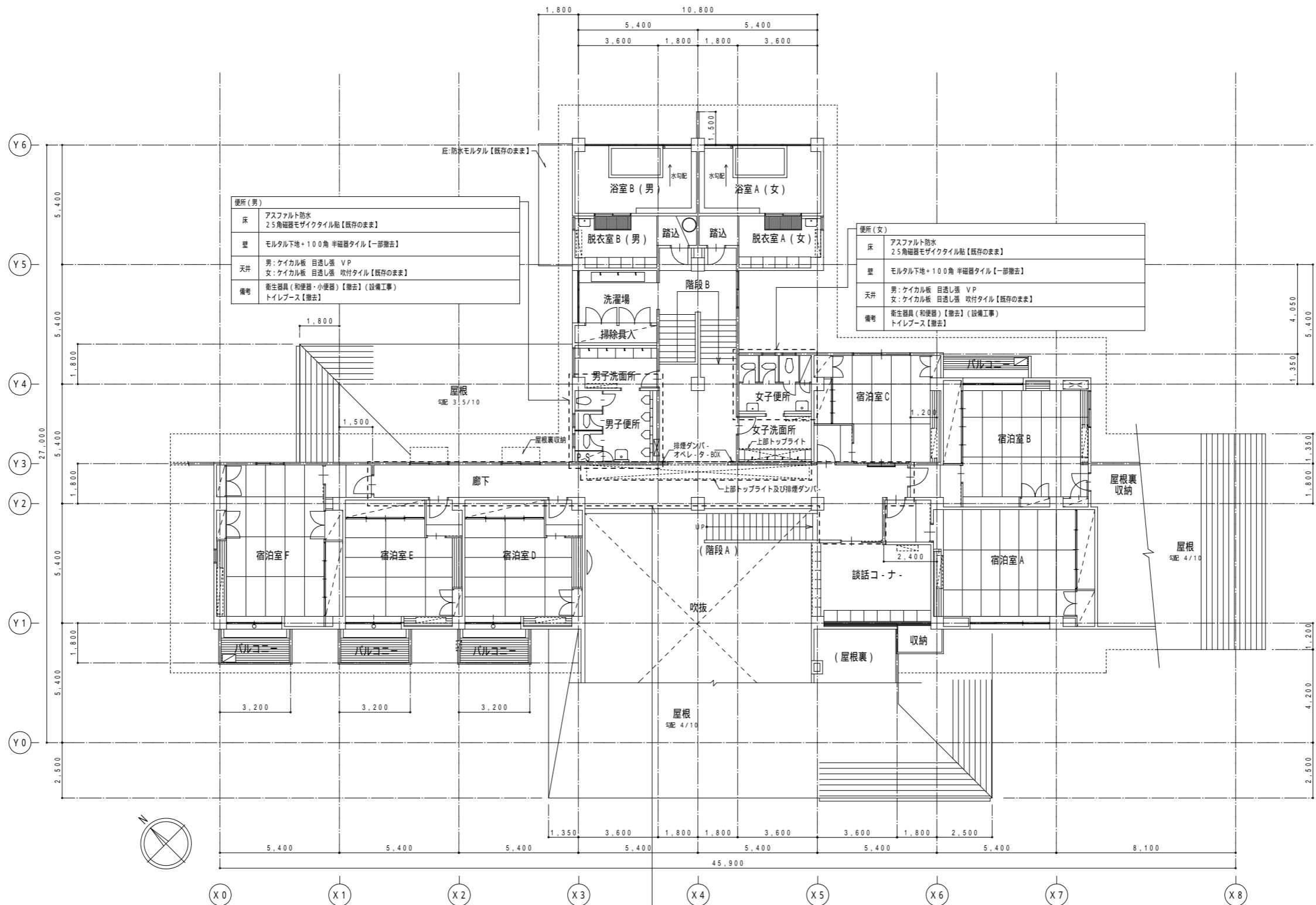
洗濯室兼便所	
床	ビニルタイル t=2.0【既存のまま】
壁	モルタル金ゴテ【既存のまま】
天井	GB-R t=9.5+EP-G塗装【一部新設】
備考	換気扇【新設】(設備工事)

管理住居 便所・洗面所	
床	モルタル下地補修 t=15+長尺塩ビシート t=2.5(抗菌タイプ)【新設】
壁	モルタル金ゴテ VP【既存のまま】
天井	フレキシブルボード t= 4 目透し張 VP【既存のまま】
備考	

談話ホール	
床	調整床+下地合板 t=12+温床式床暖房パネル(調整用合板) t=12 +合板 t=12+タイルカーペット t=6【一部新設】
壁	クラック補修 下地調整+EP-G塗装
天井	下地調整+EP-G塗装
備考	暖炉：煙道封じ込み【新設】 床暖房設備【新設】(設備工事)

1階平面図

改修範囲を示す。



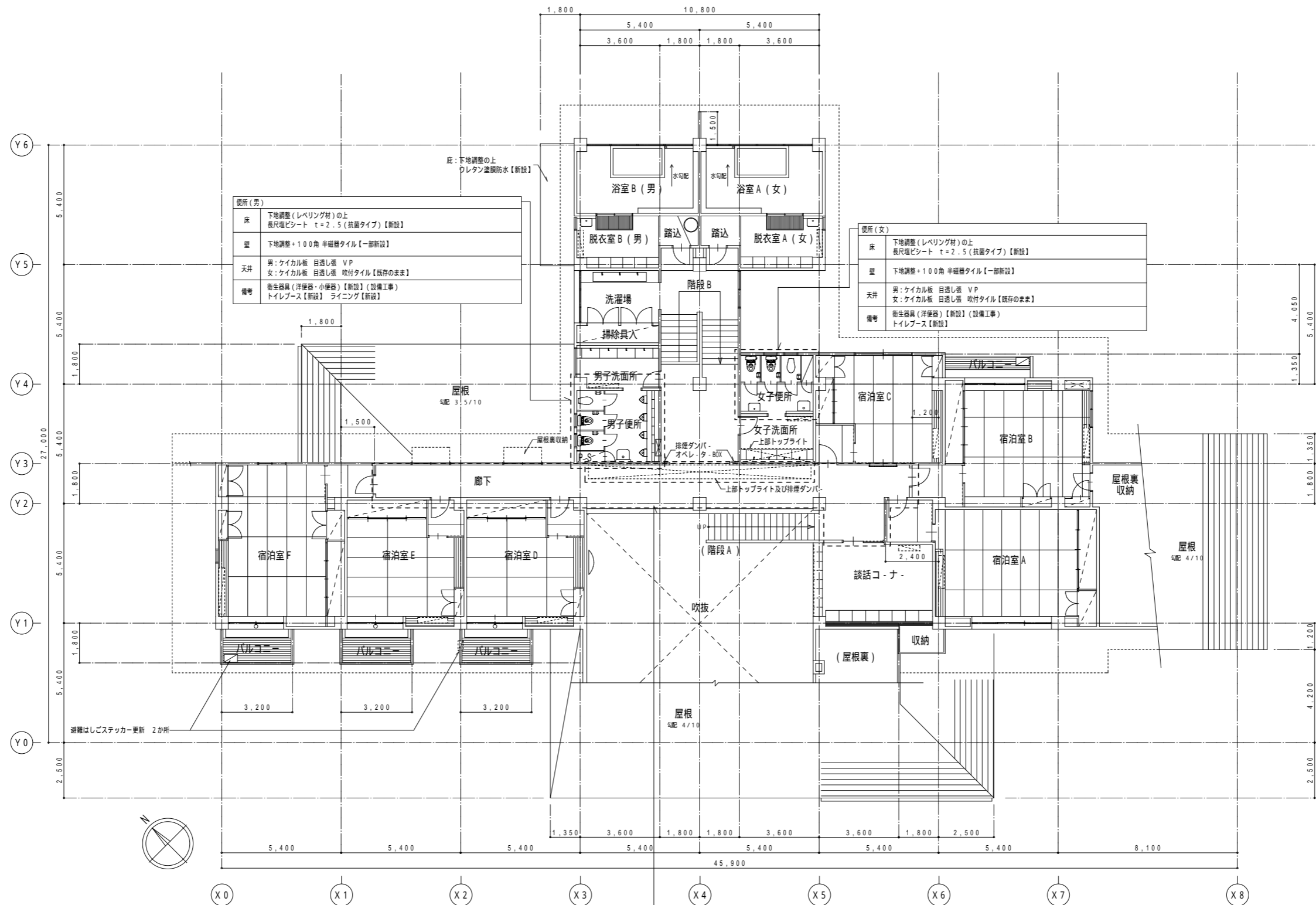
便所 (男)	
床	アスファルト防水 2.5角磁器モザイクタイル貼【既存のまま】
壁	モルタル下地+100角 半磁器タイル【一部撤去】
天井	男:ケイカル板 目透し張 VP 女:ケイカル板 目透し張 吹付タイル【既存のまま】
備考	衛生器具 (和便器・小便器)【撤去】 (設備工事) トイレブース【撤去】

便所 (女)	
床	アスファルト防水 2.5角磁器モザイクタイル貼【既存のまま】
壁	モルタル下地+100角 半磁器タイル【一部撤去】
天井	男:ケイカル板 目透し張 VP 女:ケイカル板 目透し張 吹付タイル【既存のまま】
備考	衛生器具 (和便器・小便器)【撤去】 (設備工事) トイレブース【撤去】

廊下	
床	フローリングブロック t=15 OSW【既存のまま】
壁	モルタル全ゴテ VP【既存のまま】
天井	寒冷紗貼 GB-R t=9 下地 VP【既存のまま】
備考	ルーバー:ケイ酸カルシウム板 t=4@150【撤去】

2 階平面図

改修範囲を示す。



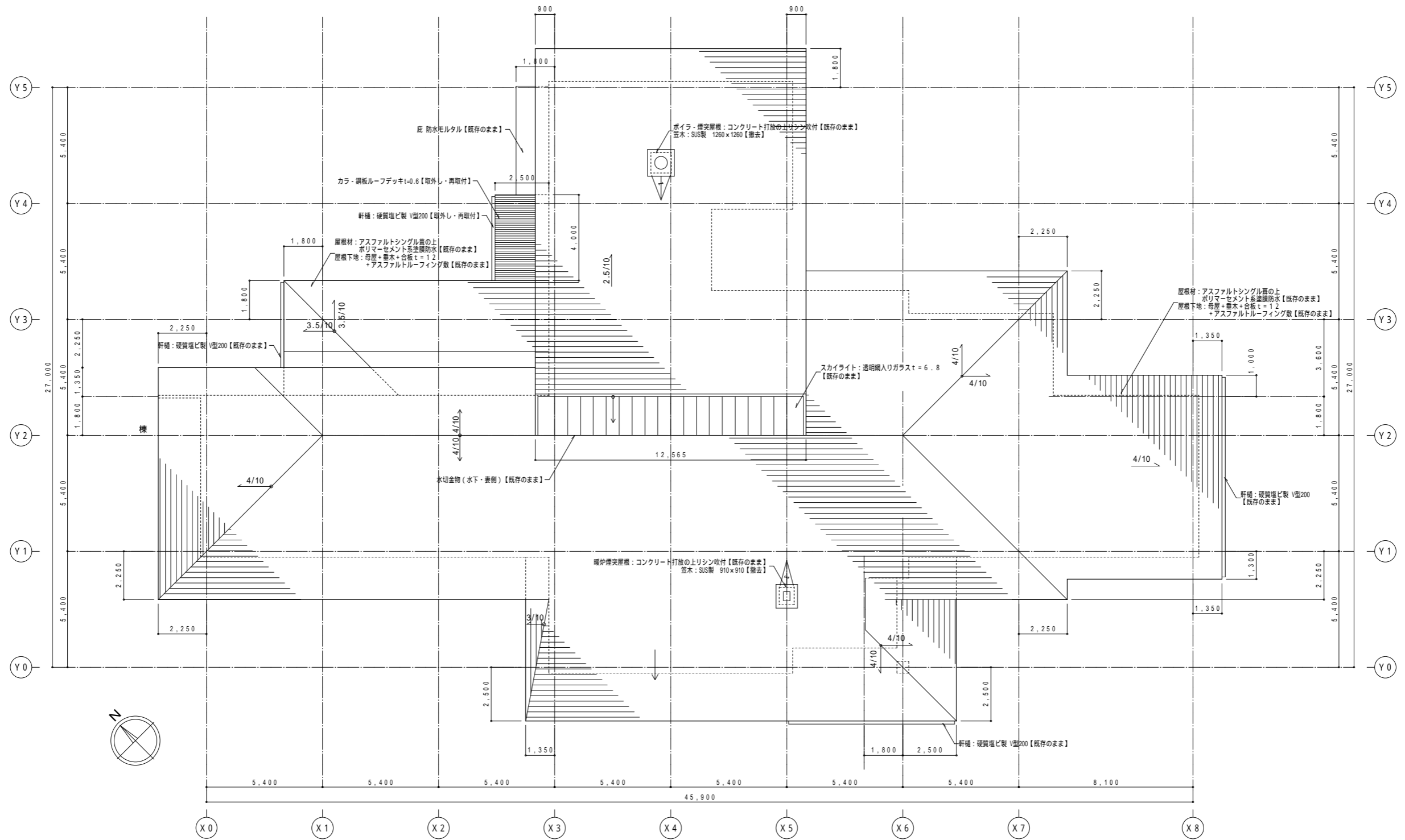
便所 (男)	
床	下地調整 (レベリング材) の上 長尺塩ビシート t=2.5 (抗菌タイプ) 【新設】
壁	下地調整+100角 半磁器タイル【一部新設】
天井	男: ケイカル板 目透し張 VP 女: ケイカル板 目透し張 吹付タイル【既存のまま】
備考	衛生器具 (洋便器・小便器) 【新設】 (設備工事) トイレブース【新設】 ライニング【新設】

便所 (女)	
床	下地調整 (レベリング材) の上 長尺塩ビシート t=2.5 (抗菌タイプ) 【新設】
壁	下地調整+100角 半磁器タイル【一部新設】
天井	男: ケイカル板 目透し張 VP 女: ケイカル板 目透し張 吹付タイル【既存のまま】
備考	衛生器具 (洋便器) 【新設】 (設備工事) トイレブース【新設】

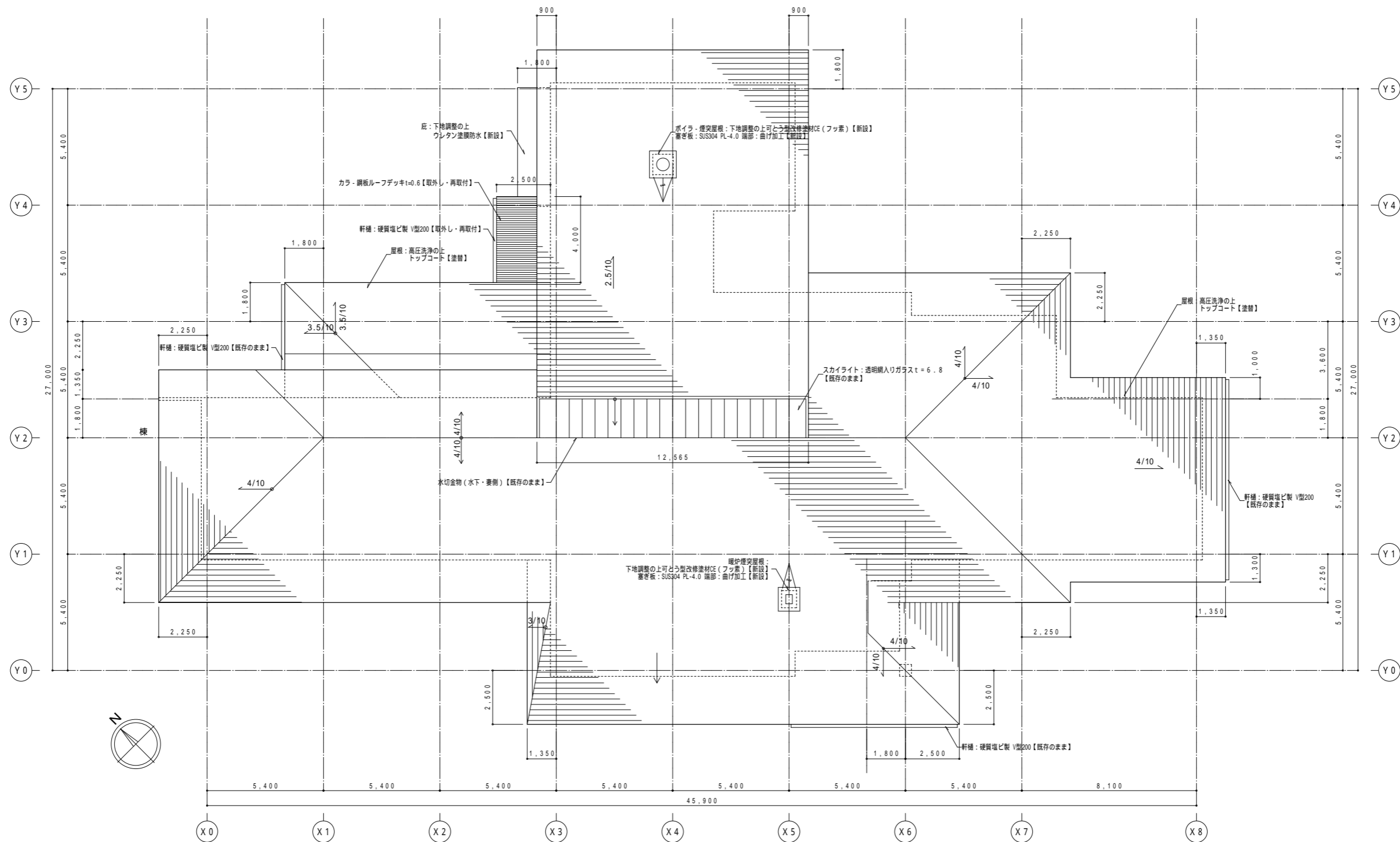
廊下	
床	フローリングブロック t=15 OSW【既存のまま】
壁	クラック補修 下地調整+E P-G塗装
天井	下地調整+E P-G塗装
備考	取付下地+アルミルーバー (木目調シート) 150x20 @200【新設】

2 階平面図

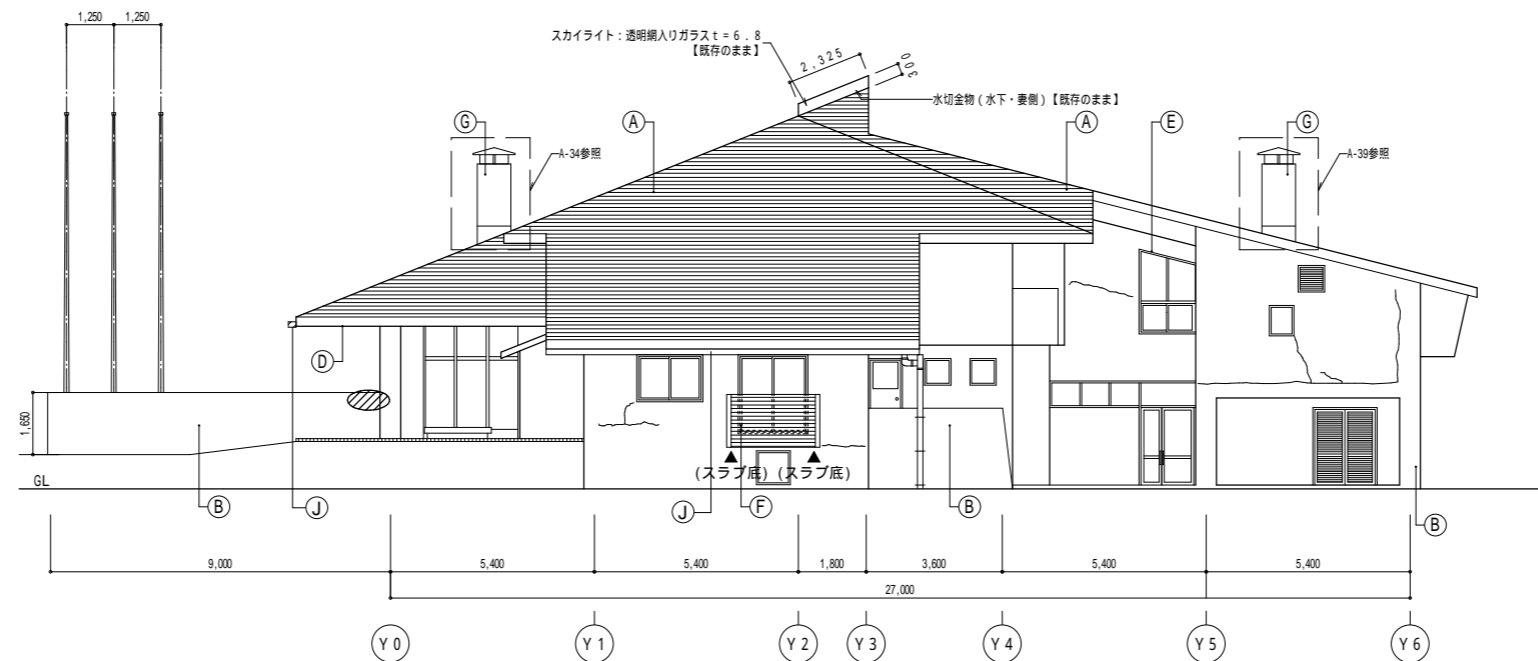
改修範囲を示す。



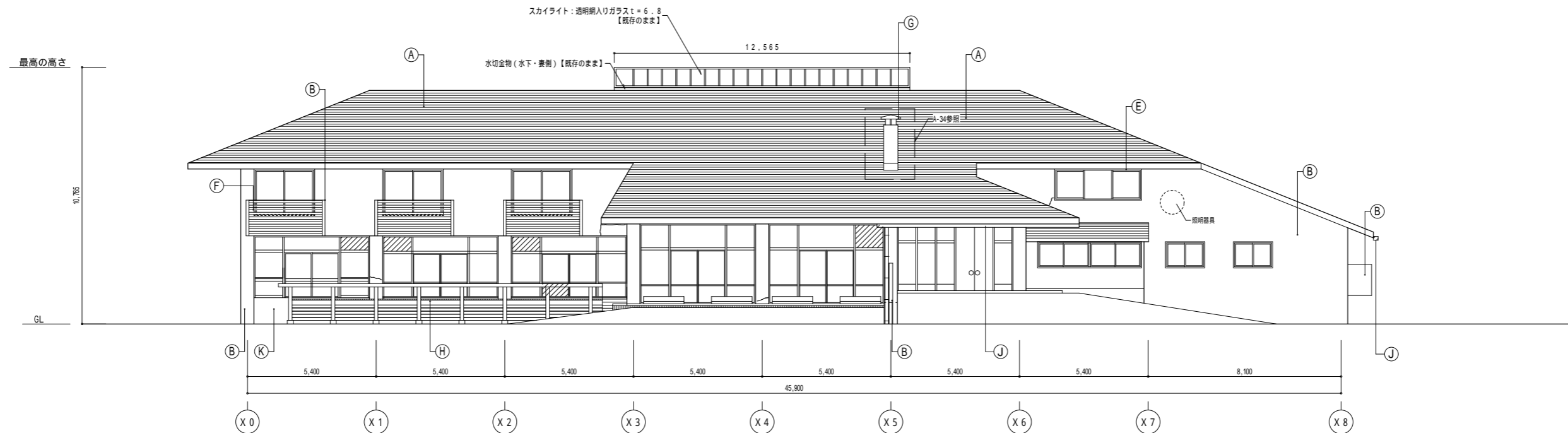
屋根伏図



屋根伏図



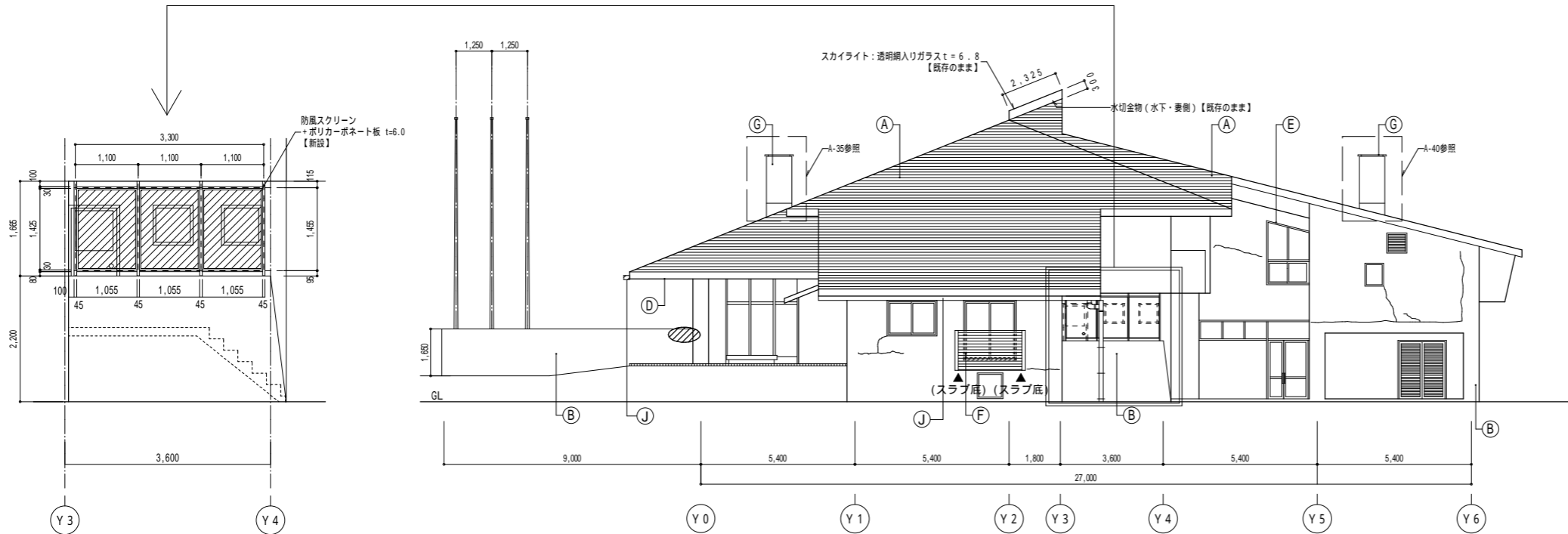
東立面図



南立面図

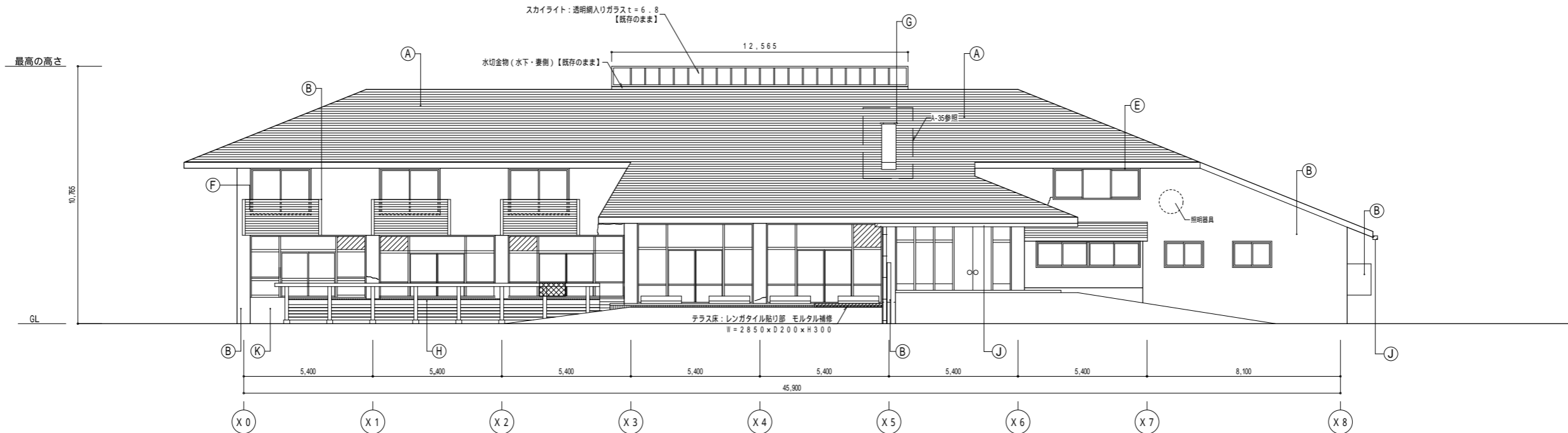
改修凡例		
凡例	改修仕様	
◀(側面)	爆裂 (300×100)	6箇所
	躯体欠損・剥離 (300×100)	1箇所
	ひび割れ (0.2～1.0mm未満)	約60m

仕上凡例		
記号	部位	既存仕上
A	屋根 (勾配屋根)	アスファルトシングル葺の上、ポリマーセメント系塗膜防水【既存のまま】 屋根下地:母屋・垂木+合板t=1.2+アスファルトルーフィング敷【既存のまま】
B	外壁・塀	コンクリート打放し(フカシt=2.0) アクリルリシン吹付【既存のまま】 一部、モルタル刷毛引きリシン吹付、塗膜防水【既存のまま】
C	庇	天端:防水モルタル・金ゴテ【既存のまま】 見付・庇裏:合板型枠コンクリート打放しアクリルリシン吹付【既存のまま】
D	軒天	コンクリート打放しの上リシン吹付【既存のまま】
E	建具・開口部廻り	窓:アルミニウム製(一部ジュラクロン処理)、扉:鋼製(ジュラクロン処理)OP塗 窓台:プレキャストコンクリート製一部防水モルタル金ゴテ+シーリング(シーリングのみ撤去)
F	2階・手摺	丸太末口100、防腐剤処理【既存のまま】
G	煙突	コンクリート打放しの上リシン吹付【既存のまま】 登木:SS製 1260×1260【撤去】
H	デッキ	床:唐松換立材t=30、手摺:丸太末口210【既存のまま】 手摺子:丸太末口180 @1800 全て防腐剤処理【既存のまま】
I	屋根	カラ・銅板ルーフデッキt=0.6【取外し・再取付】
J	軒樋・縦樋	軒樋:硬質塩ビ製 V型200【既存のまま】 縦樋:硬質塩ビ管(VP管) 100【既存のまま】
K	外巾木	コンクリート打放し モルタル金ゴテ【既存のまま】
	建具	ガラス撤去範囲



A. 東立面図
職員出入口部立面図 S:1/50

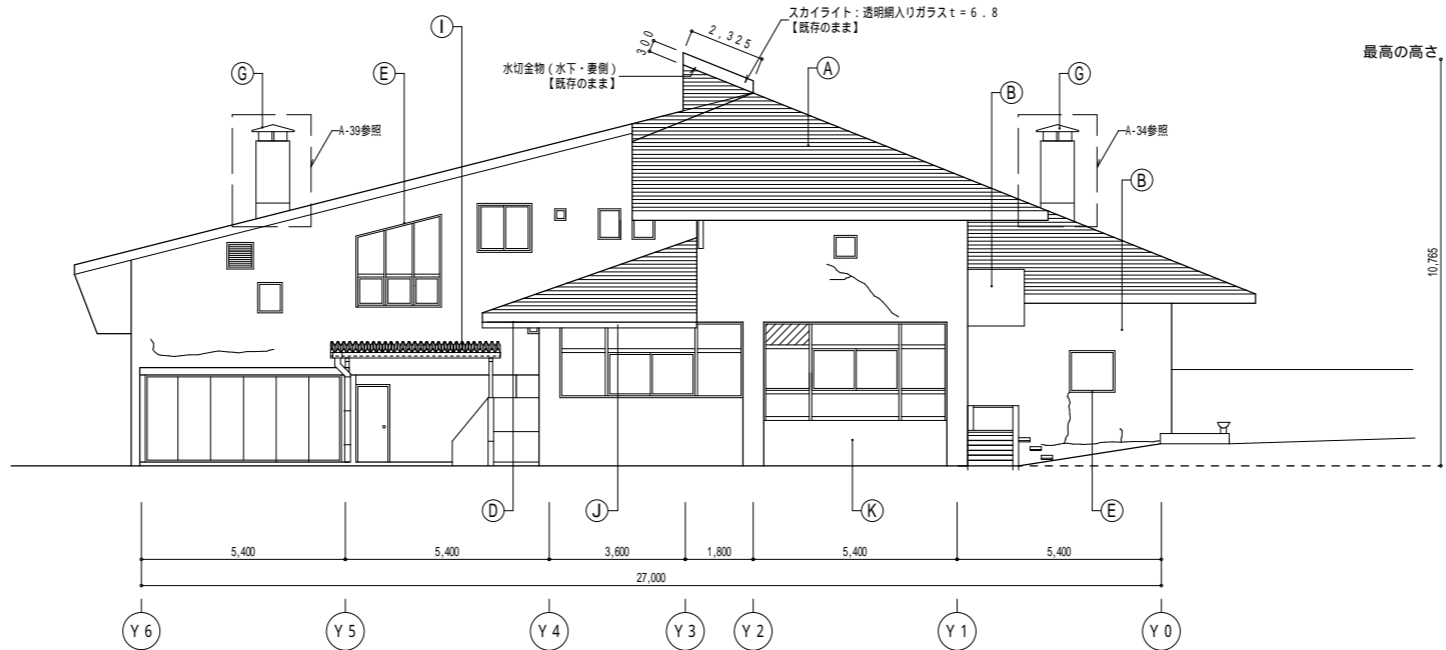
東立面図



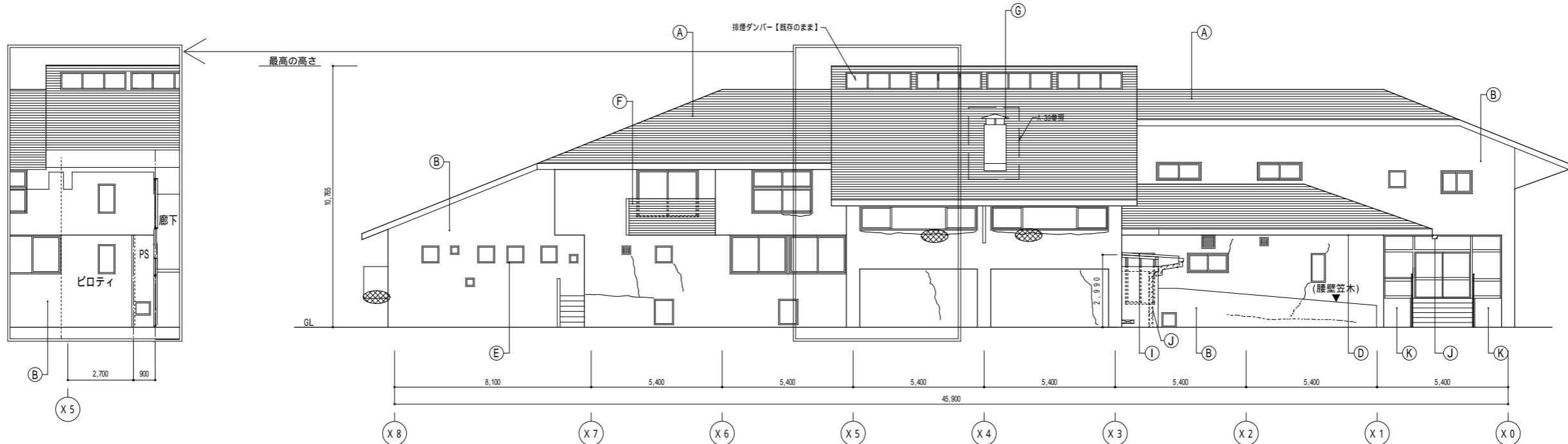
南立面図

改修凡例			
凡例	改修仕様		
◀(側面)	爆裂 (300×100)	充填工法 (エポキシ樹脂モルタル)	6箇所
	躯体欠損・剥離 (300×100)	充填工法 (エポキシ樹脂モルタル)	1箇所
	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)	エポキシ樹脂低圧注入工法	約60m

仕上凡例		
記号	部位	既存仕上
A	屋根 (勾配屋根)	高圧洗浄の上トップコート【塗替】
B	外壁	下地調整の上、可とう形改修塗材 C E (フッ素)【新設】
C	庇	天端：下地調整の上、ウレタン塗膜防水【新設】 見付・庇裏：下地調整の上、外装薄塗材 S i【新設】
D	軒天	下地調整の上、外装薄塗材 S i【新設】
E	建具・開口部廻り	変成シリコン系シーリング【新設】
F	2階・手摺	木材保護塗料 (浸透系、カビ抵抗性あり)【新設】
G	煙突	下地調整の上、可とう形改修塗材 C E (フッ素)【新設】 蓋板：SUS304 PL-4.0 端部：曲げ加工【新設】
H	デッキ	床：下地調整の上、S O P 塗装【新設】 手摺・手摺子：木材保護塗料 (浸透系、カビ抵抗性あり)【新設】
I	屋根	カラ・銅板ルーフデッキ t=0.6【取外し・再取付】
J	軒樋・縦樋	軒樋：硬質塩ビ製 V 型 200【既存のまま】 縦樋：硬質塩ビ管 (V P 管) 100【既存のまま】
K	外巾木	水洗い後、ポリマーセメント系微弾性塗材【新設】
	建具	アルミバネル (t=2.0)【新設】
	建具	網入り透明ガラス (t=6.8)【新設】




西側立面図

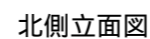
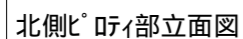
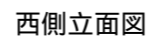


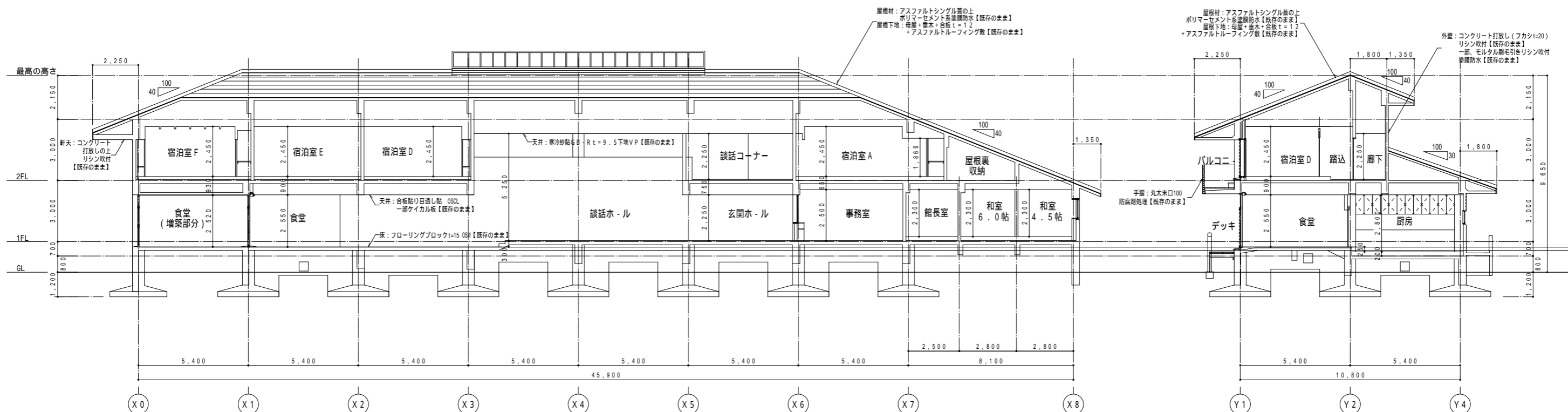
北側立面図

改修凡例		
凡例	改修仕様	
◀(側面)	爆裂 (300×100)	6箇所
	躯体欠損・剥離 (300×100)	1箇所
	ひび割れ (0.2～1.0mm未満)	約60m

仕上凡例		
記号	部位	既存仕上
A	屋根 (勾配屋根)	アスファルトシングル葺の上、ポリマーセメント系塗膜防水【既存のまま】 屋根下地：母屋・垂木・合板 t=12・アスファルトルーフィング敷【既存のまま】
B	外壁・塀	コンクリート打放し (フカシ t=20) アクリルリシン吹付【既存のまま】 一部、モルタル刷毛引きリシン吹付、塗膜防水【既存のまま】
C	庇	天端：防水モルタル・金ゴテ【既存のまま】 見付・終業：合板型枠コンクリート打放しアクリルリシン吹付【既存のまま】
D	軒天	コンクリート打放しの上リシン吹付【既存のまま】
E	建具・開口部廻り	窓：アルミニウム製 (一部ジュラクロン処理)、扉：鋼製 (ジュラクロン処理) OP塗 窓台：プレキャストコンクリート製一部防水モルタル金ゴテ・シーリング (シーリングのみ撤去)
F	2階・手摺	丸太末口 100、防腐剤処理【既存のまま】
G	煙突	コンクリート打放しの上リシン吹付【既存のまま】 登木：SIS製 1260×1260【撤去】
H	デッキ	床：唐松換立材 t=30、手摺：丸太末口 210【既存のまま】 手摺子：丸太末口 180 @ 1800 全て防腐剤処理【既存のまま】
I	屋根	カラ・銅板ルーフデッキ t=0.6【取外し・再取付】
J	軒樋・縦樋	軒樋：硬質塩ビ製 V型 200【既存のまま】 縦樋：硬質塩ビ管 (VP管) 100【既存のまま】
K	外巾木	コンクリート打放し モルタル金ゴテ【既存のまま】
	建具	ガラス撤去範囲

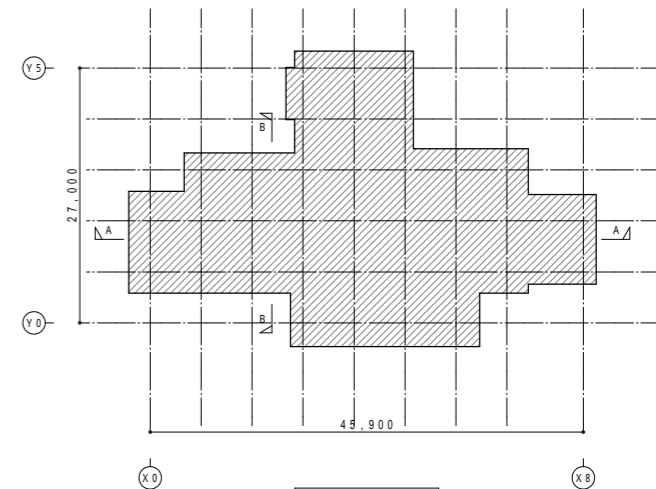
仕上凡例		
記号	部位	既存仕上
Ⓐ	屋根 (勾配屋根)	高圧洗浄の上トップコート【塗替】
Ⓑ	外壁	下地調整の上、可とう形改修塗材 C E (フッ素)【新設】
Ⓒ	庇	天誼：下地調整の上、ウレタン塗膜防水【新設】 見付・庇裏：下地調整の上、外装薄塗材 S i【新設】
Ⓓ	軒天	下地調整の上、外装薄塗材 S i【新設】
Ⓔ	建具・開口部廻り	変成シリコン系シーリング【新設】
Ⓕ	2 階・手摺	木材保護塗料(浸透系、カビ抵抗性あり)【新設】
Ⓖ	煙突	下地調整の上、可とう形改修塗材 C E (フッ素)【新設】 裏蓋板：SU304 PL-4.0 端部：曲げ加工【新設】
Ⓗ	デッキ	床：下地調整の上、S O P 塗装【新設】 手摺・手摺子：木材保護塗料(浸透系、カビ抵抗性あり)【新設】
Ⓘ	屋根	カラ・銅板ルーフデッキ t=0.6【取外し・再取付】
Ⓙ	軒樋・堅樋	軒樋：硬質塩化ビニル Ⅴ型 2 0 0【既存のまま】 堅樋：硬質塩化ビニル(V P 管) 1 0 0【既存のまま】
Ⓚ	外巾木	水洗い後、ポリマーセメント系弾性塗材【新設】
	建具	アルミパネル(t=2.0)【新設】



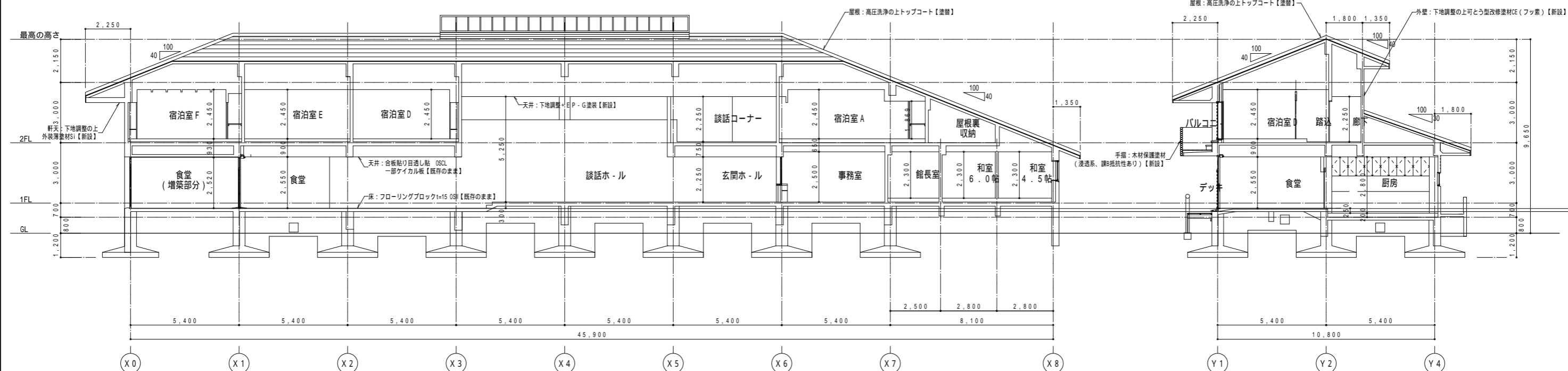


A - A断面図

B - B断面図

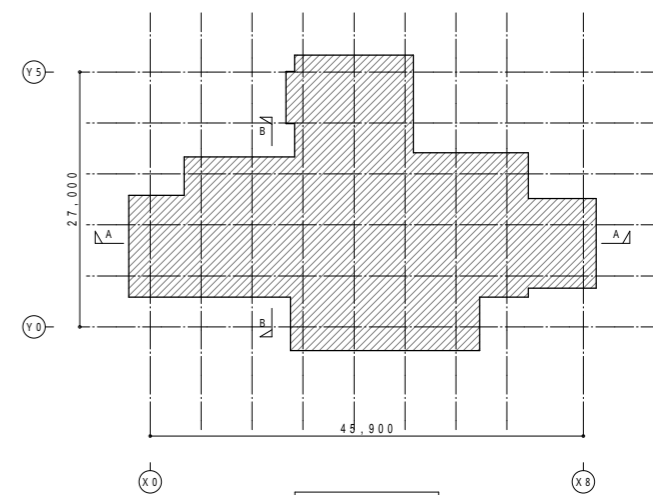


キープラン

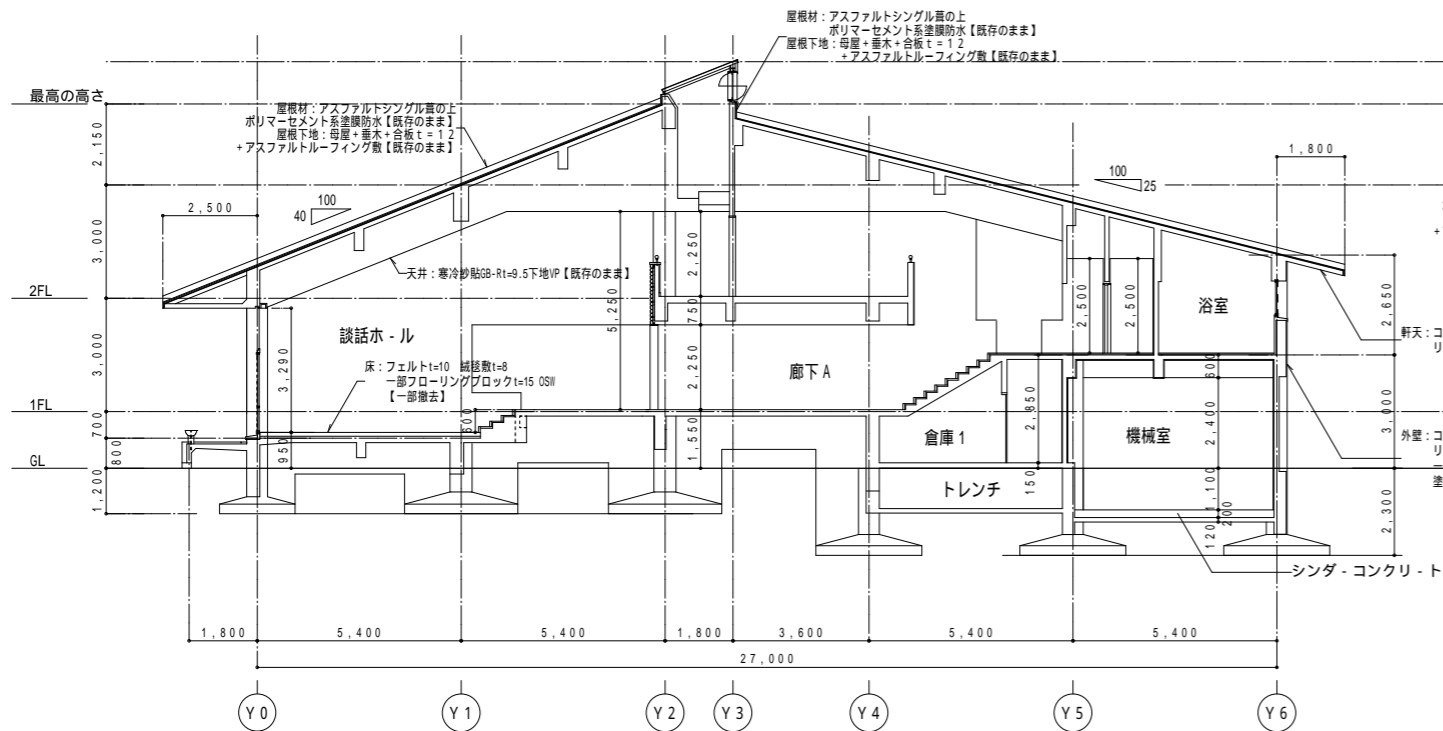


A - A 断面図

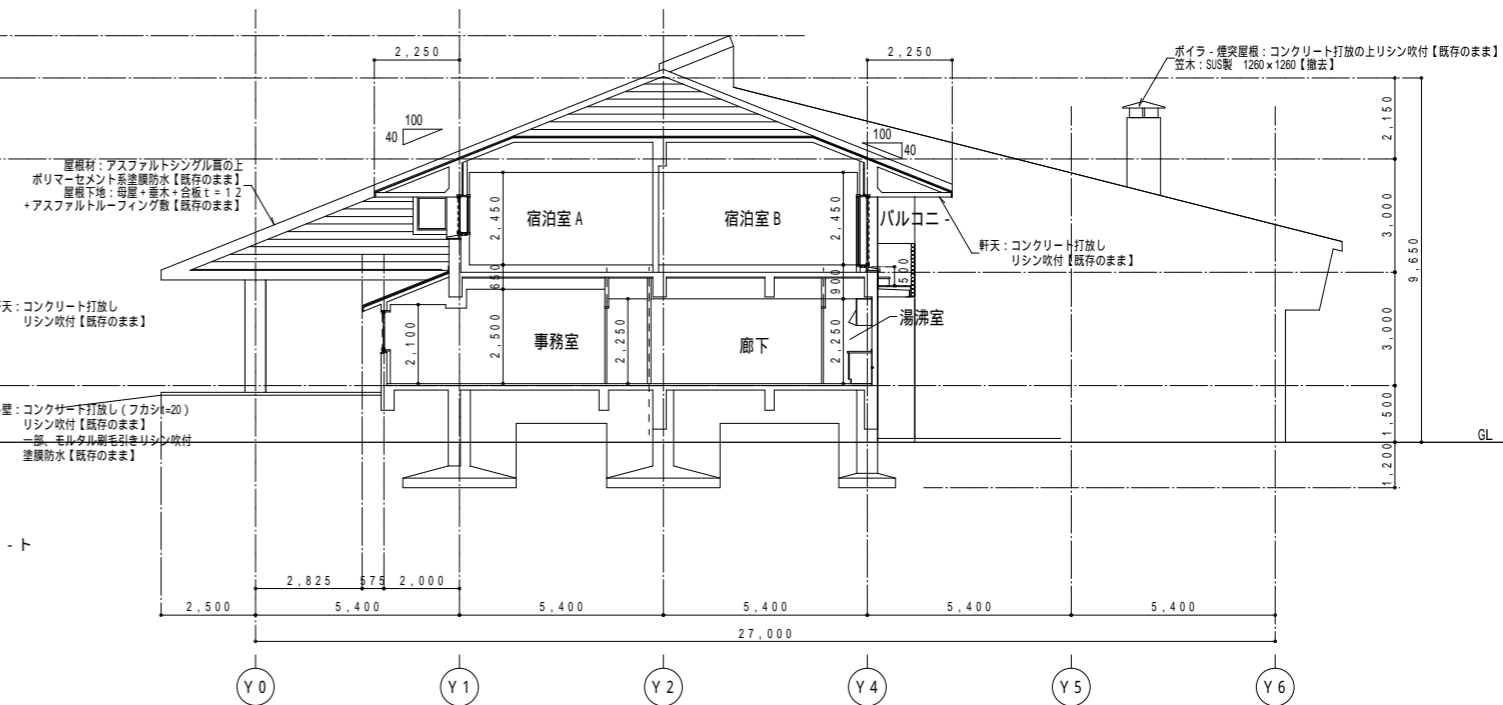
B - B 断面図



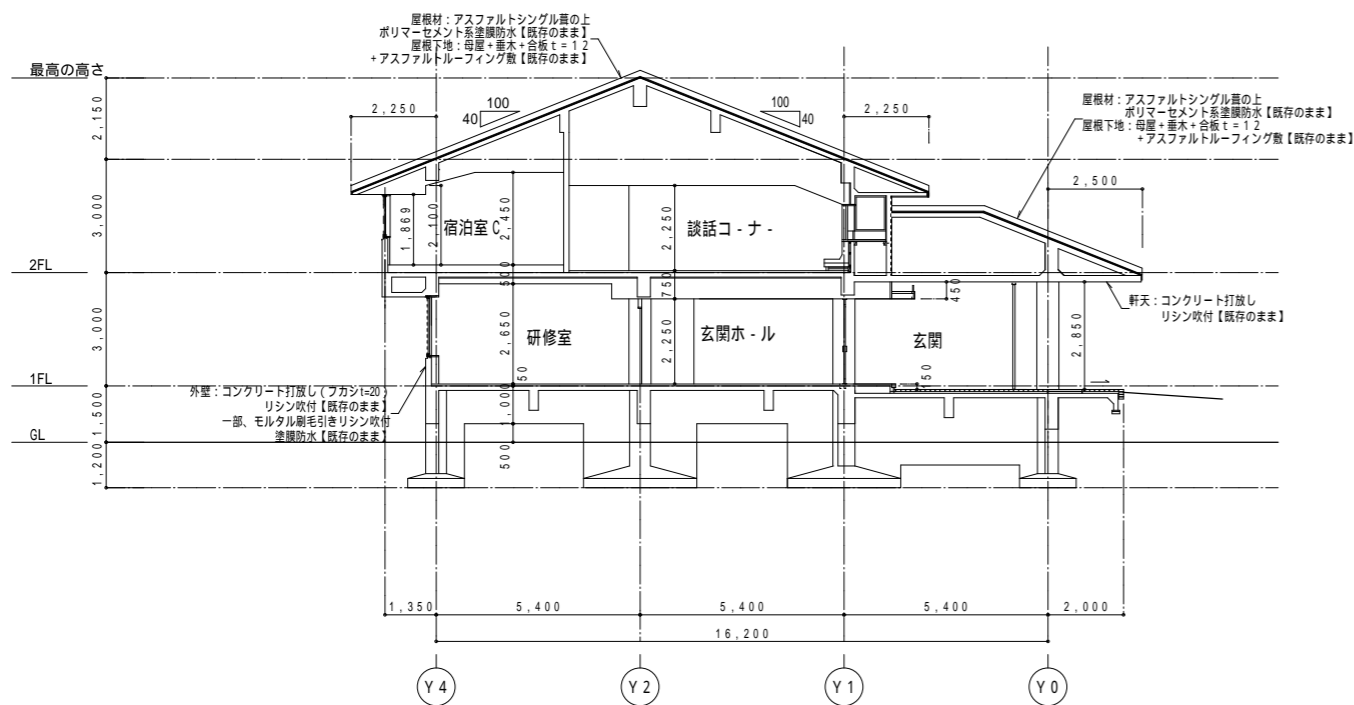
キープラン



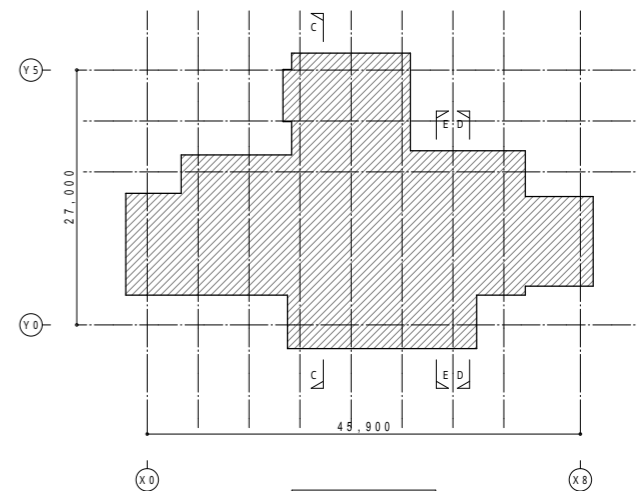
C - C 断面図



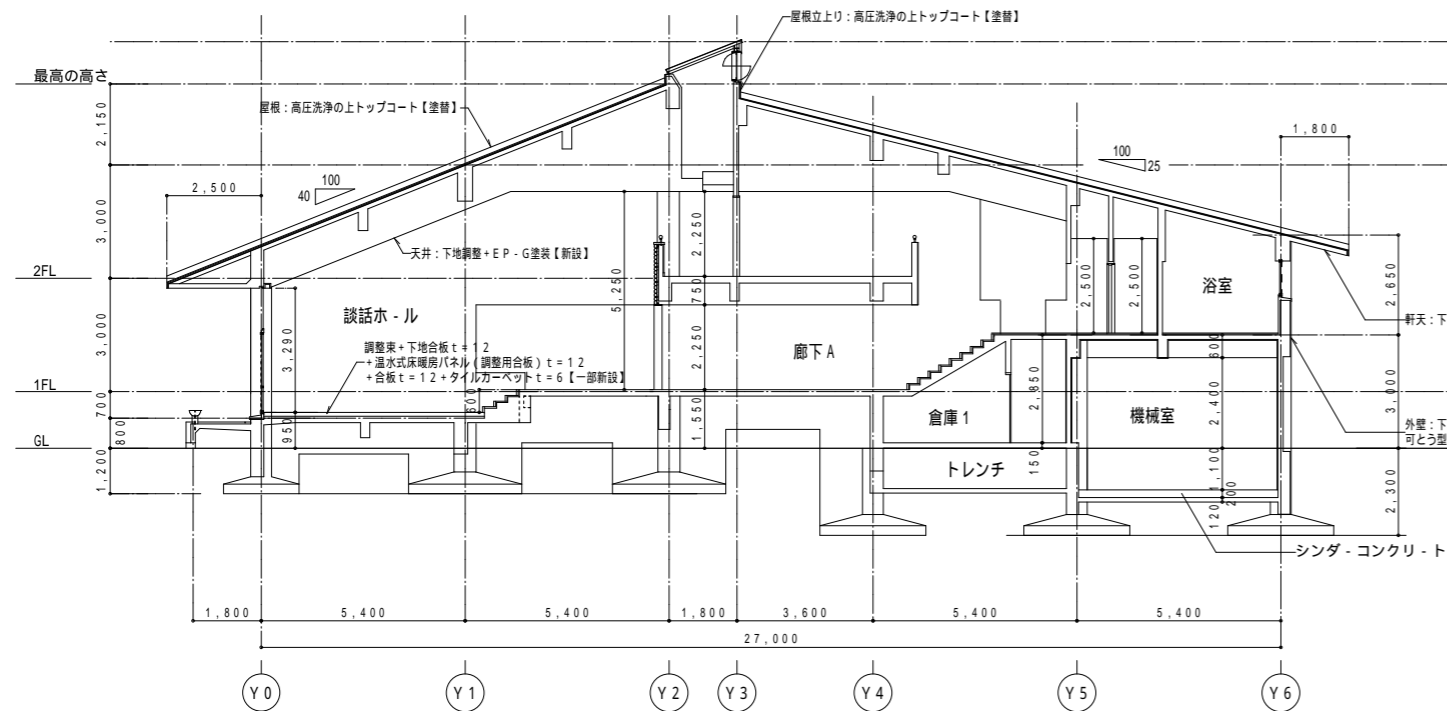
D - D 断面図



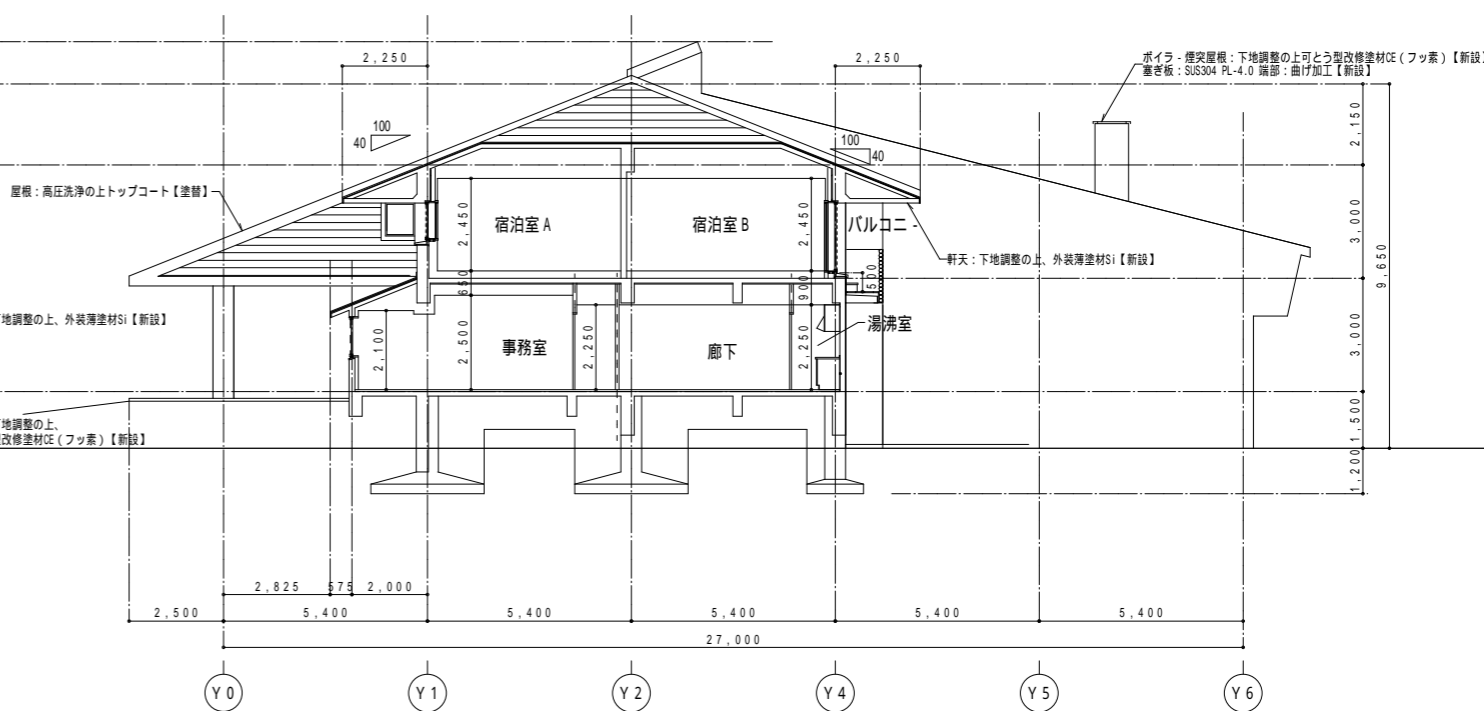
E - E 断面図



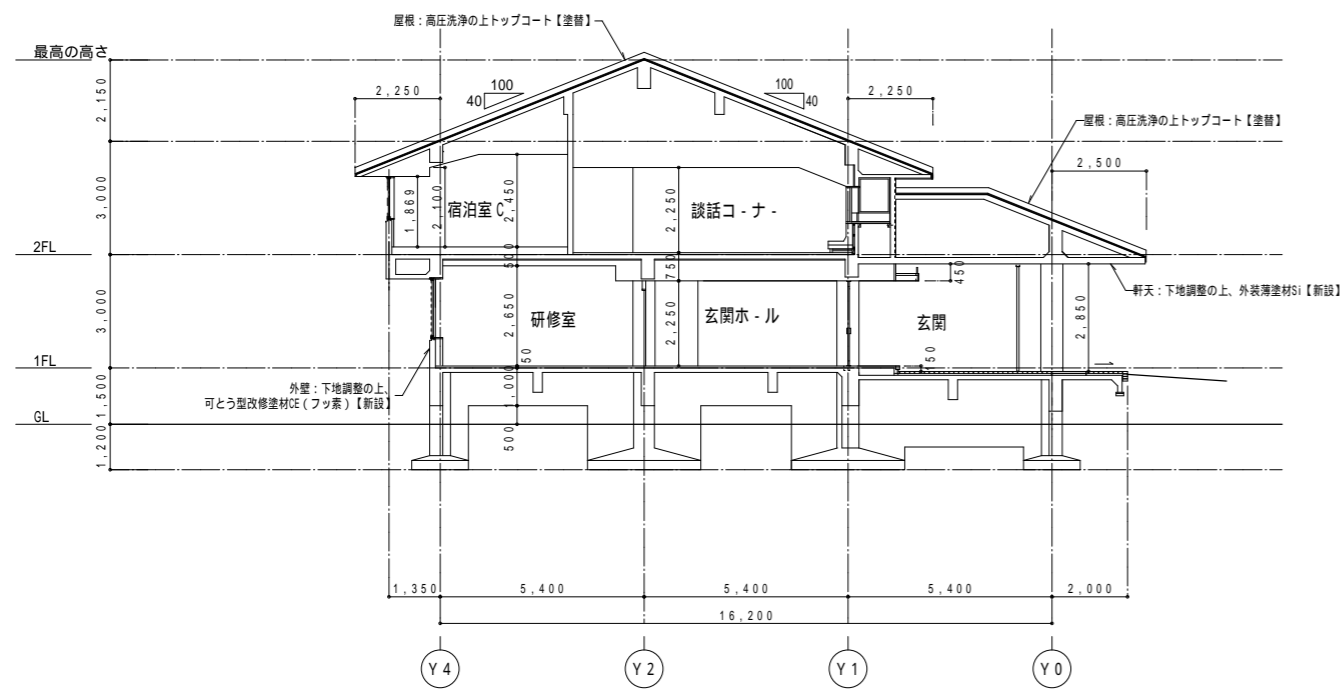
キープラン



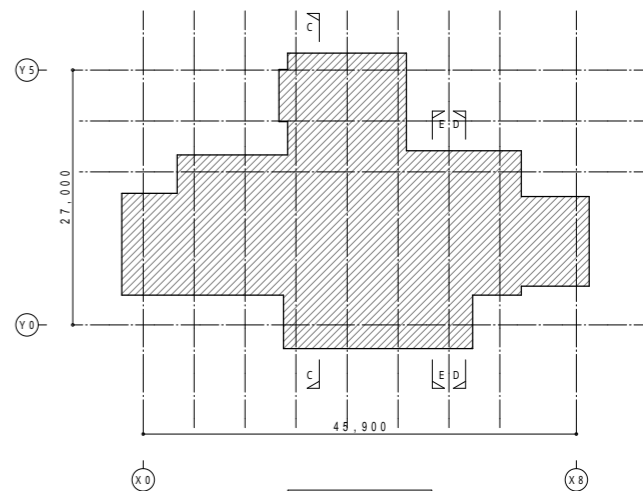
C - C 断面図



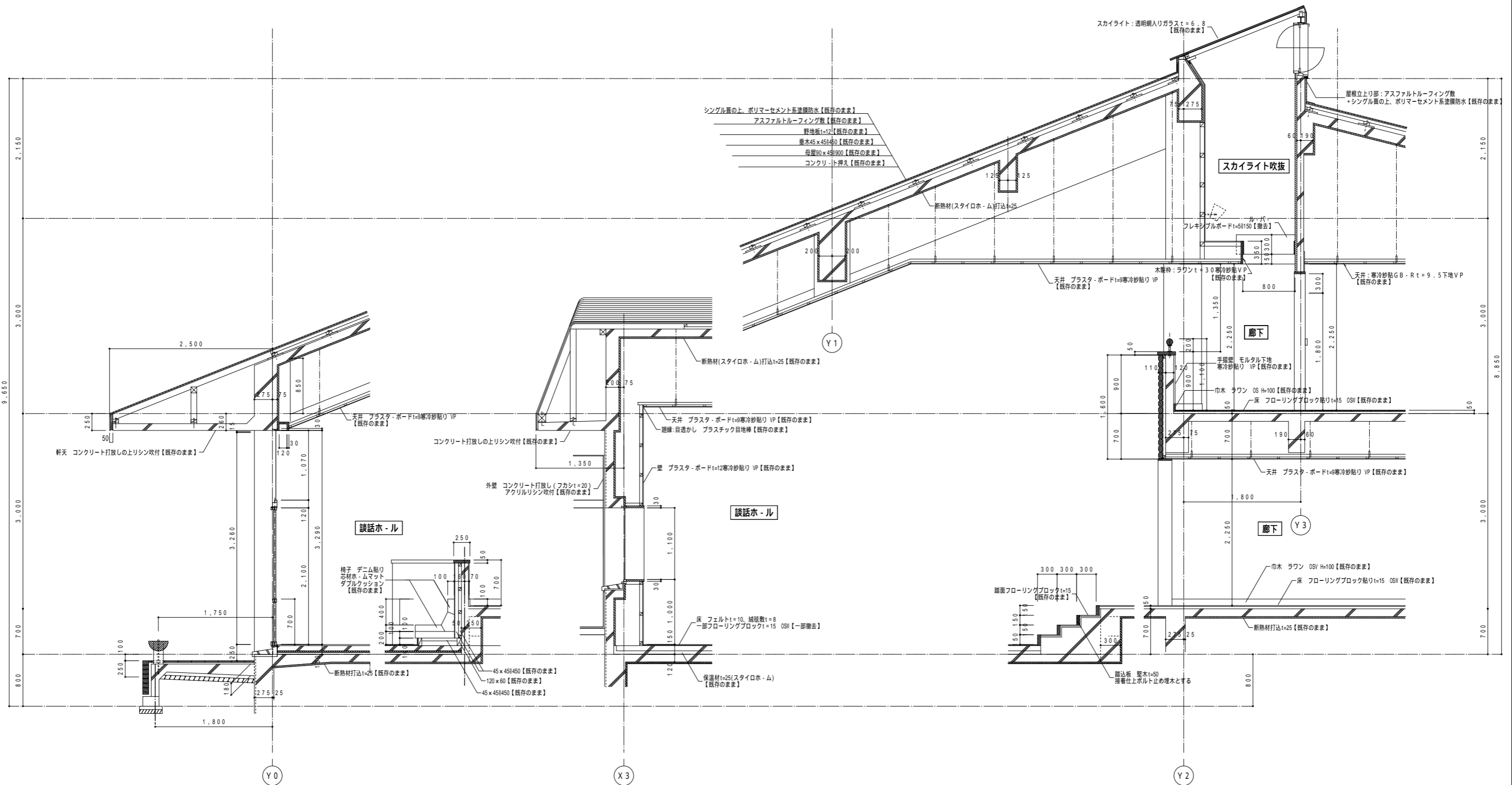
D - D 断面図

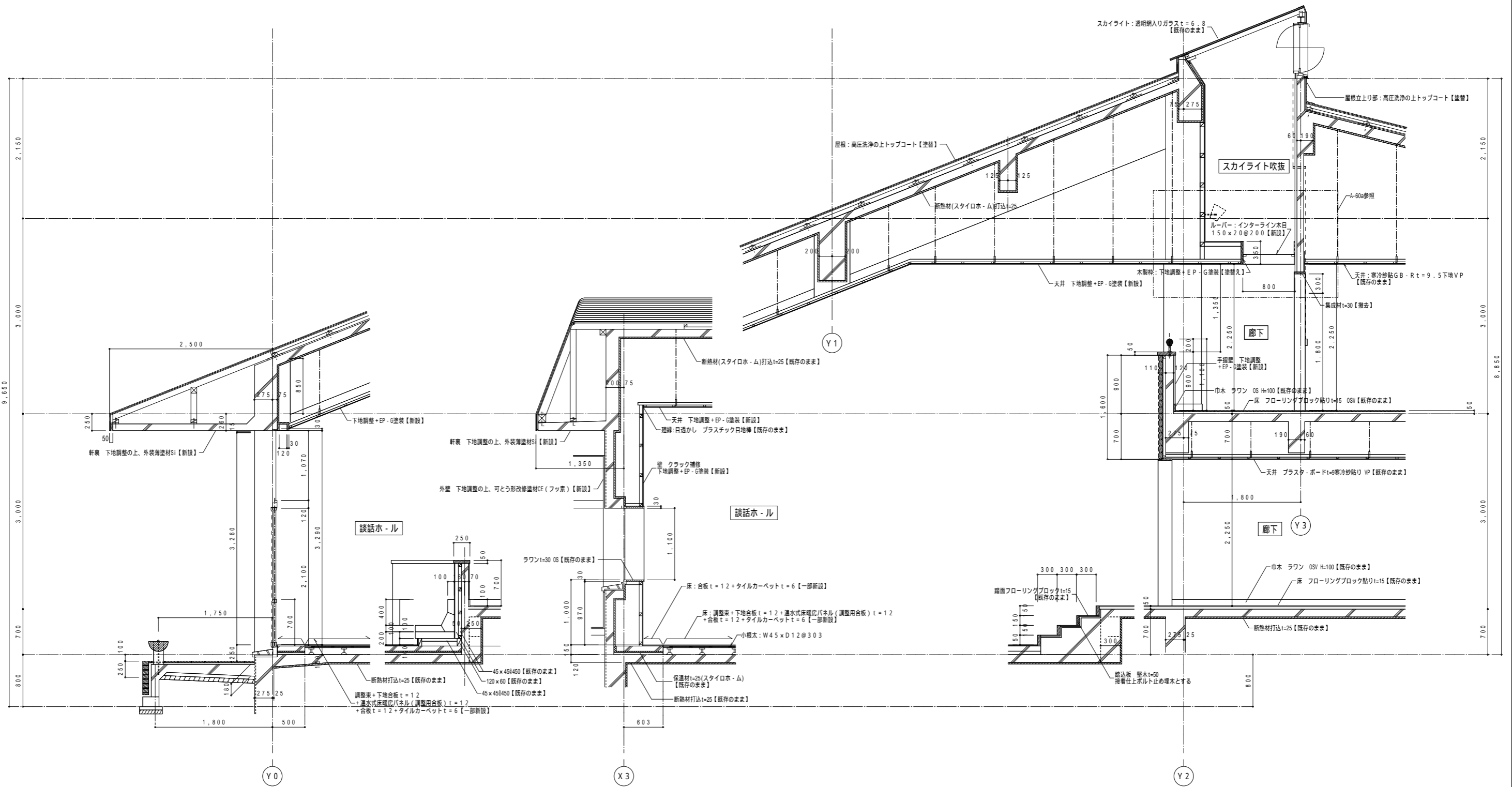


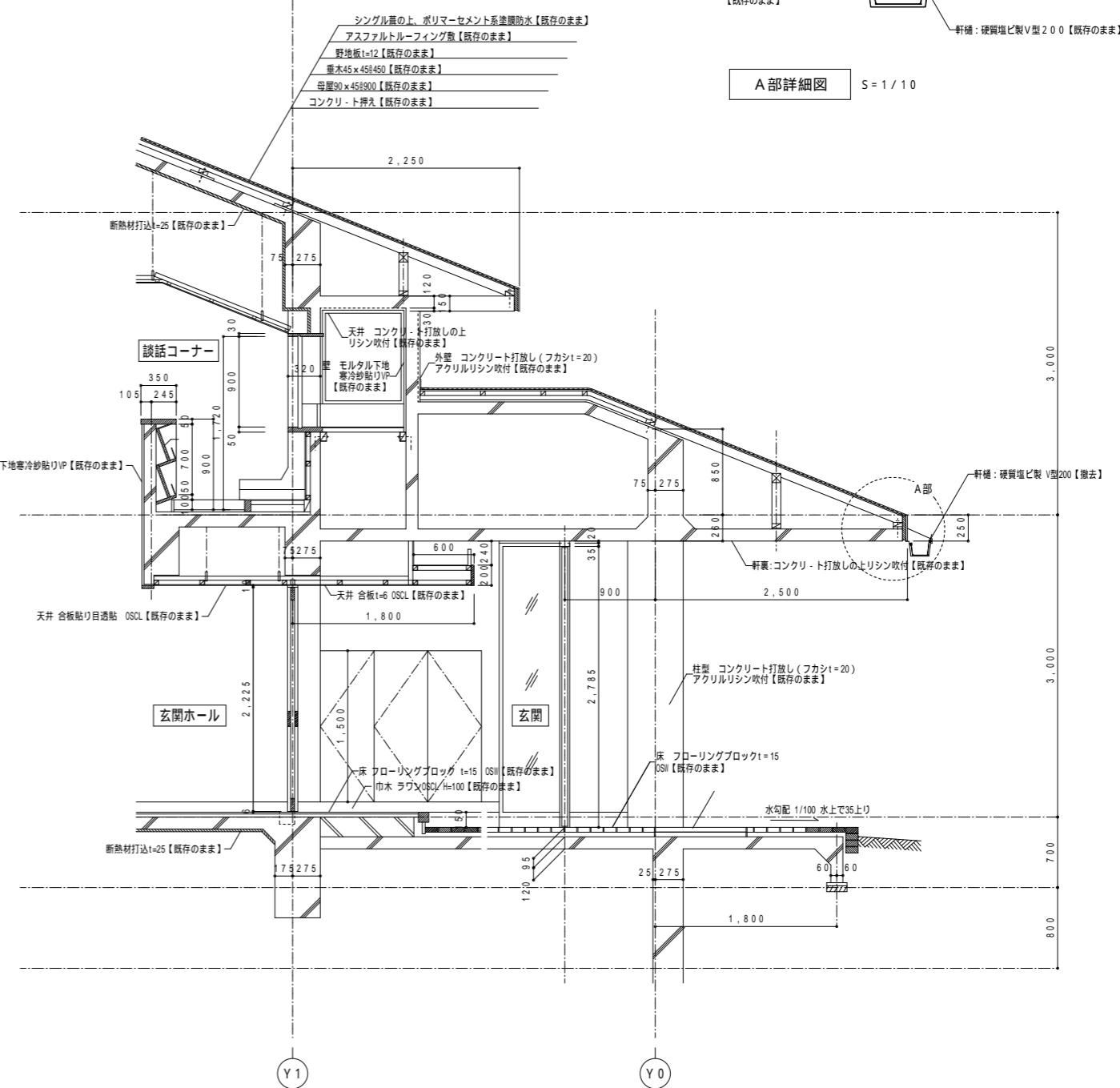
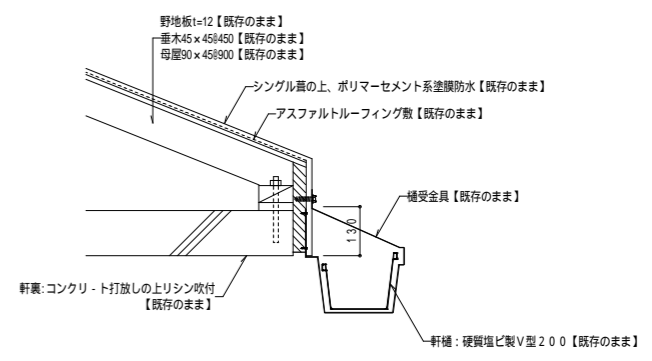
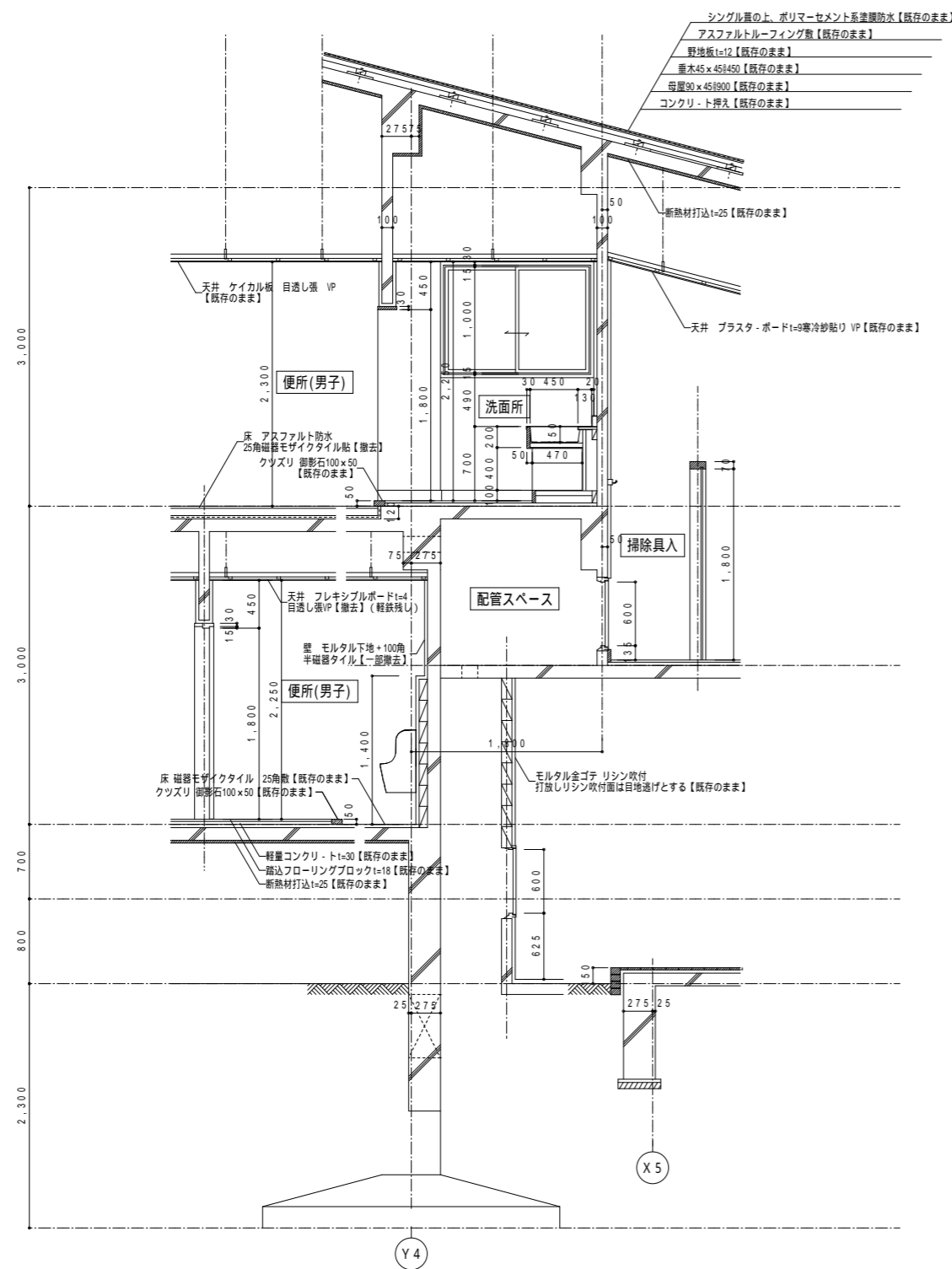
E - E 断面図

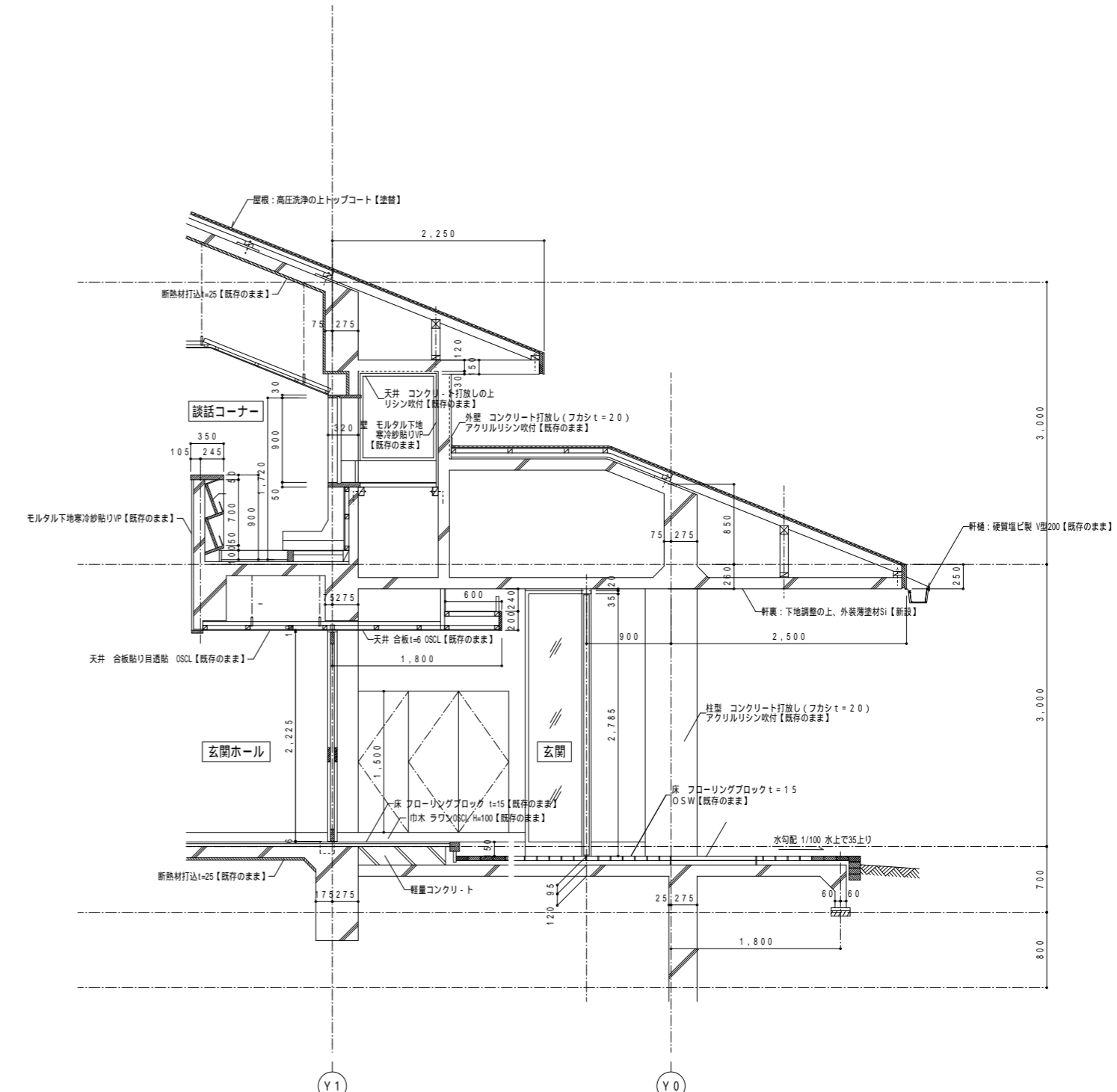
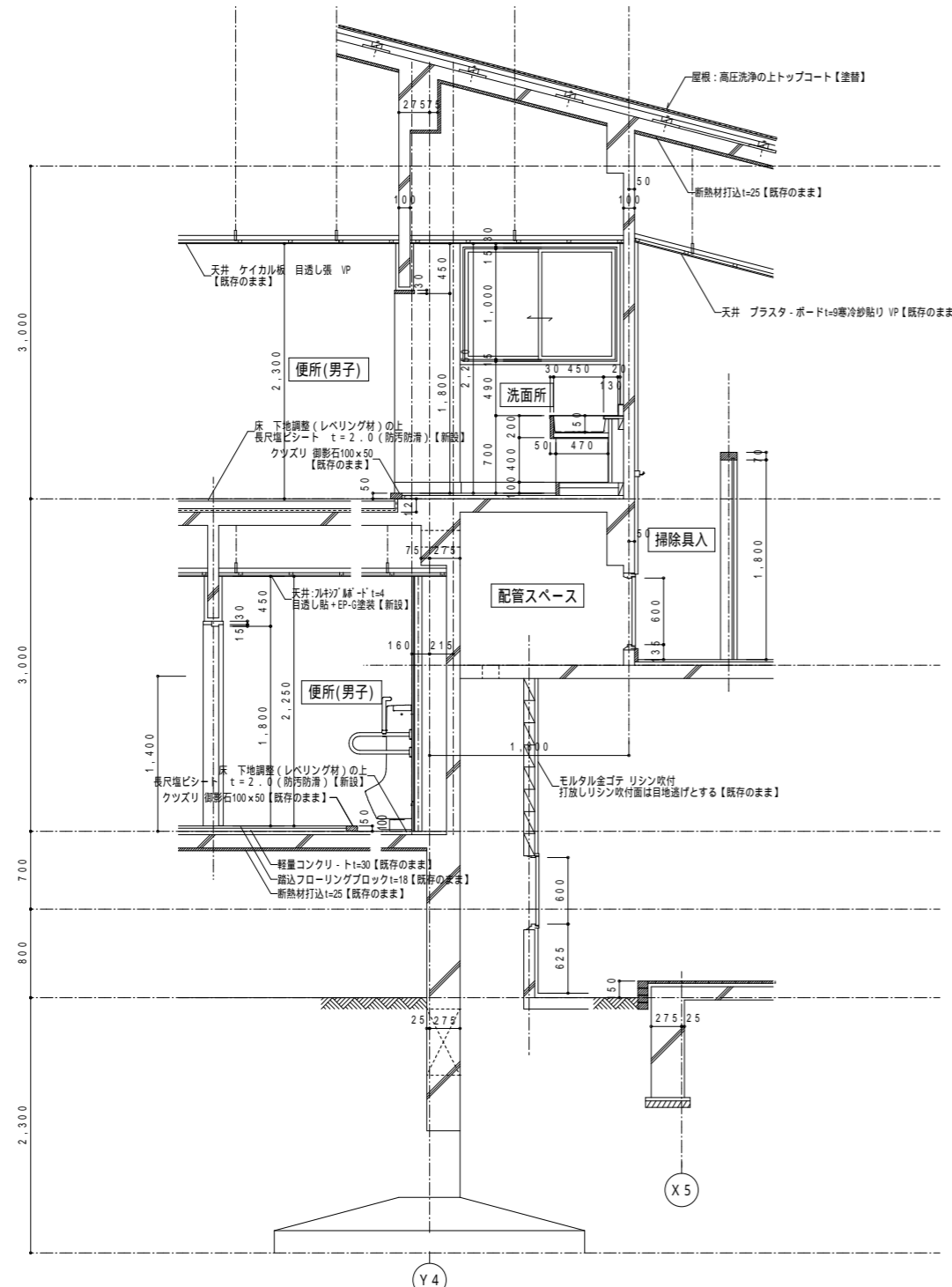


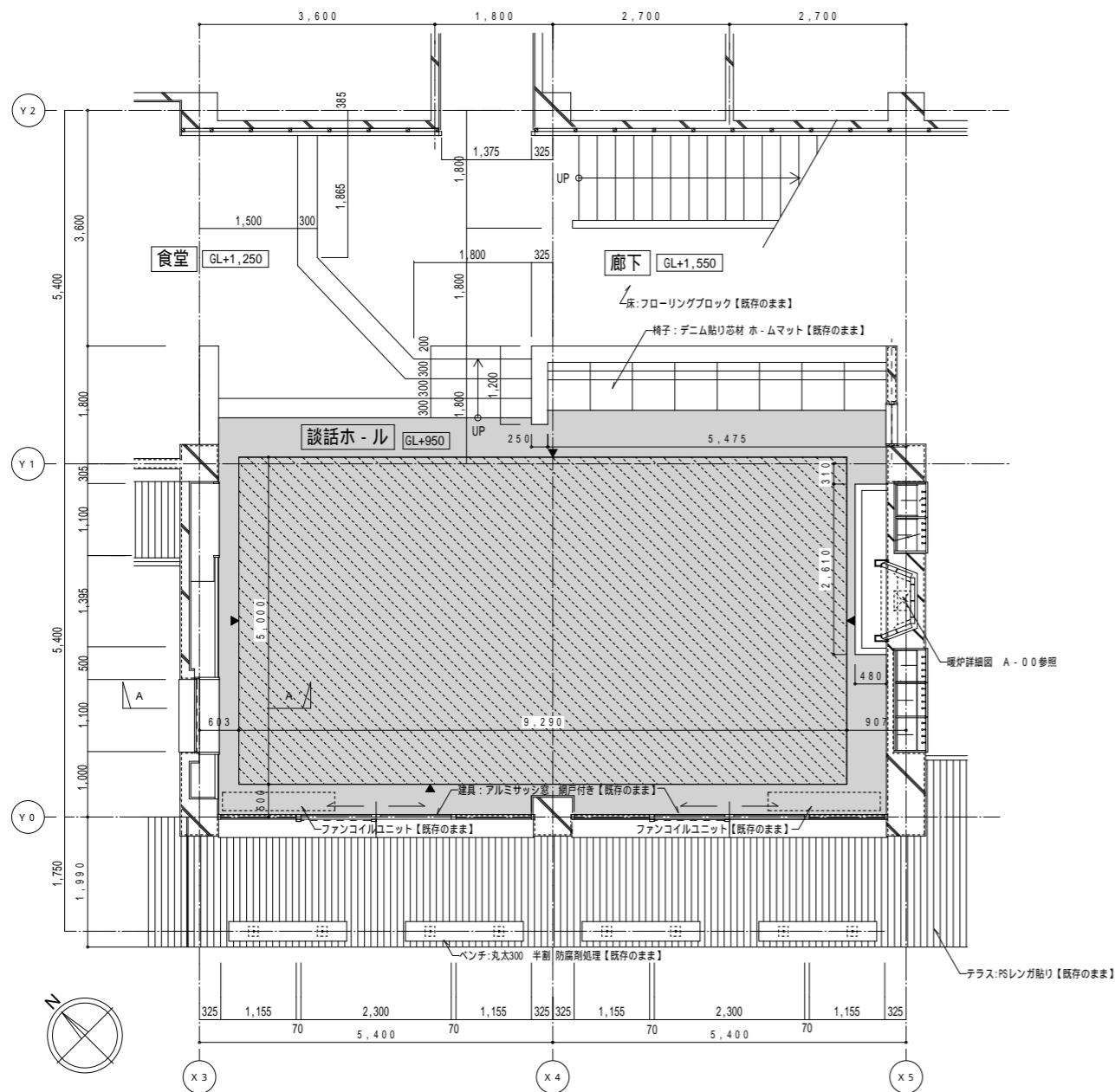
キープラン





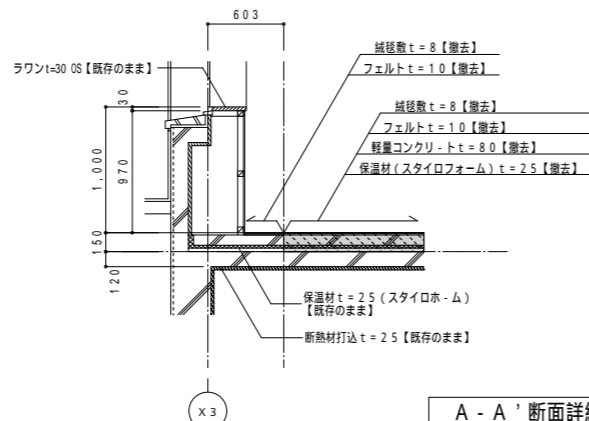




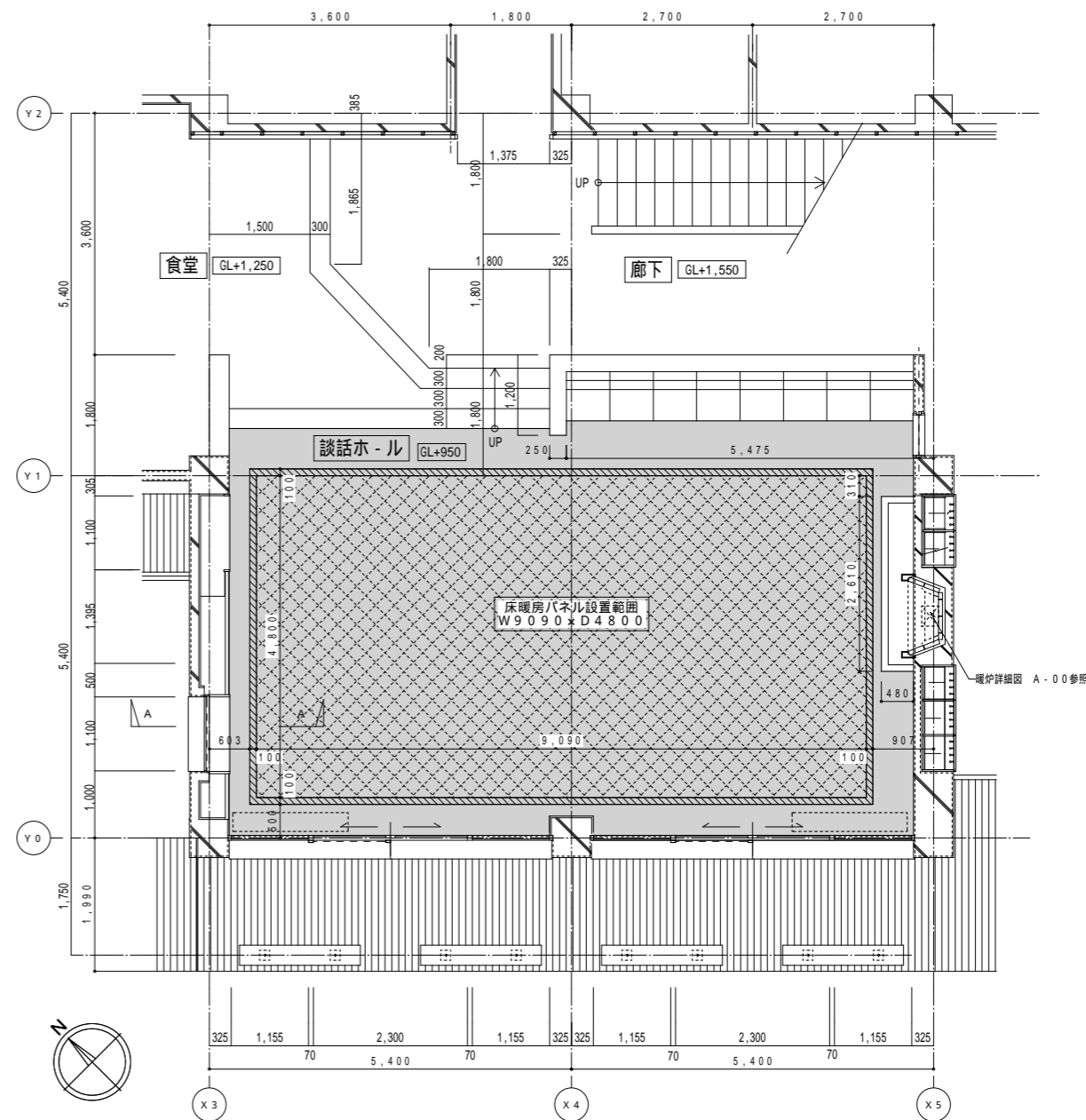


談話水 - ル平面詳細図 S=1:50
改修前

凡例 (撤去)	
	床:フェルトt=10+絨毯敷t=8 撤去範囲を示す
	床:フェルトt=10+絨毯敷t=8 +保護カッパt=80+保温材(スタイロフォーム)t=25 撤去範囲を示す
	カッター入れ箇所を示す

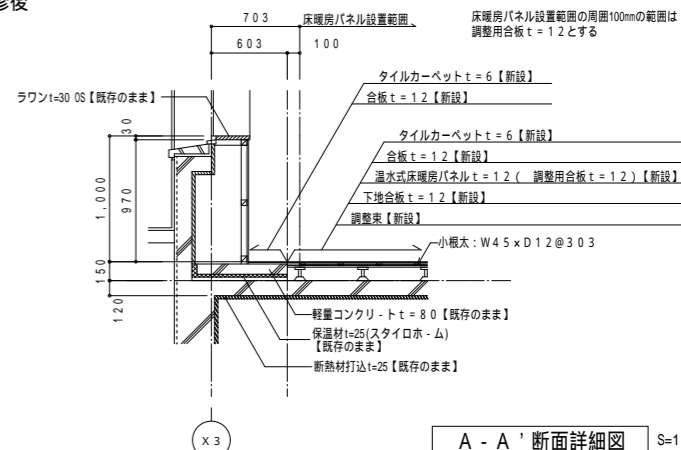


A - A' 断面詳細図 S=1:30

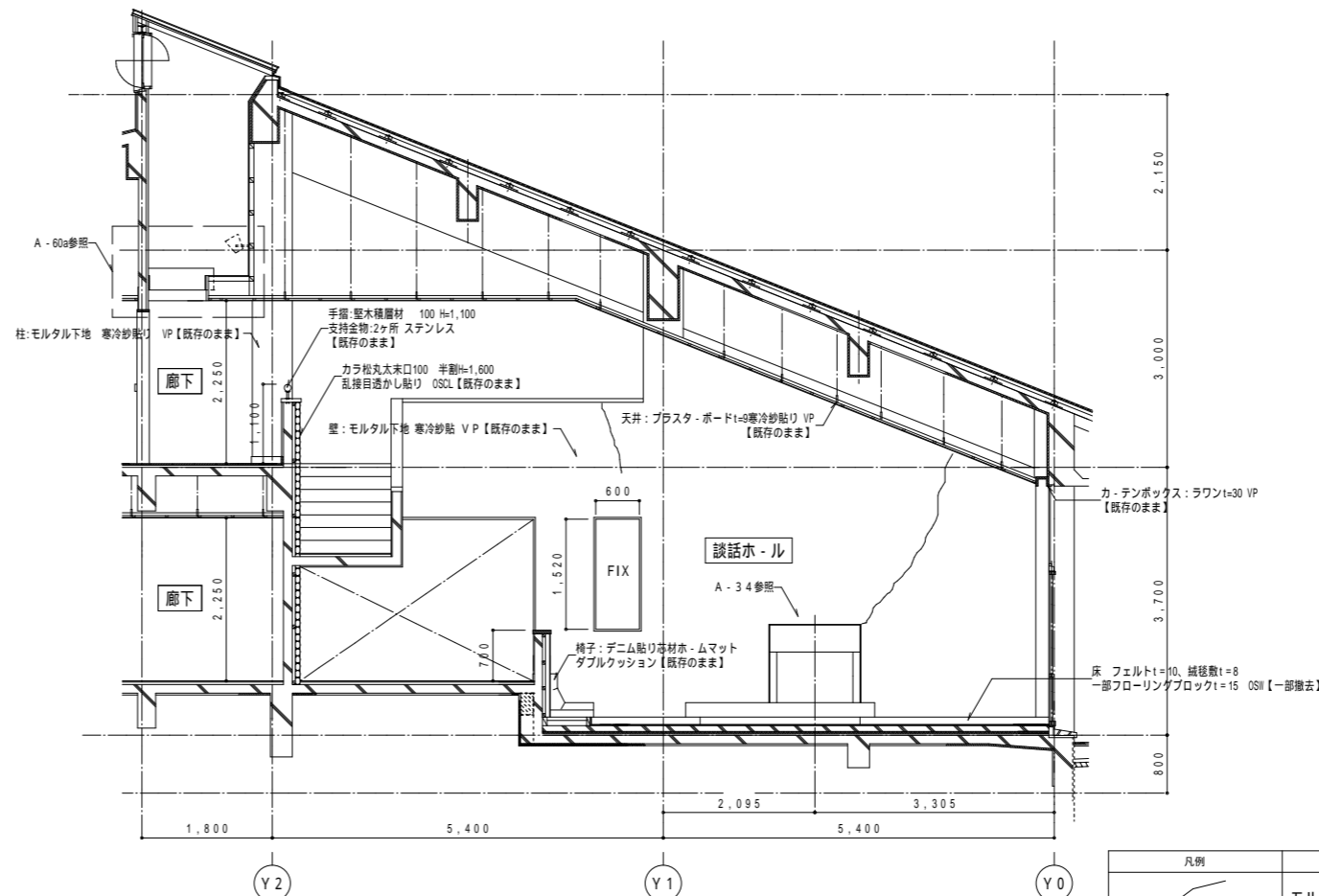
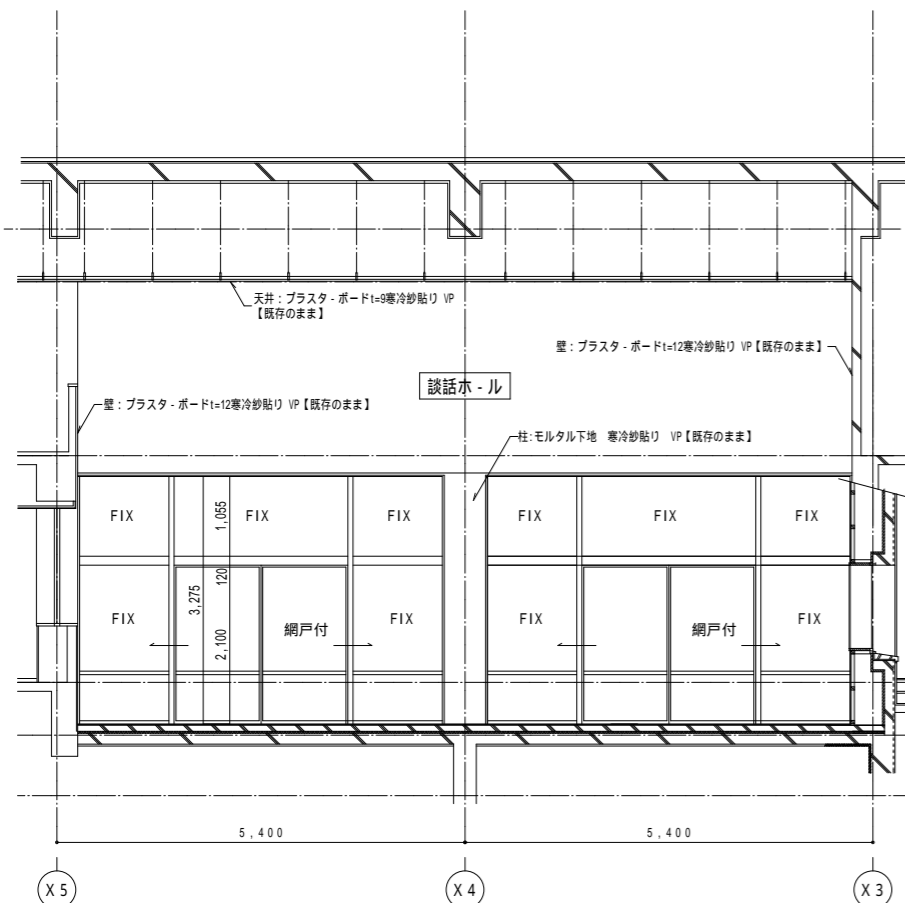
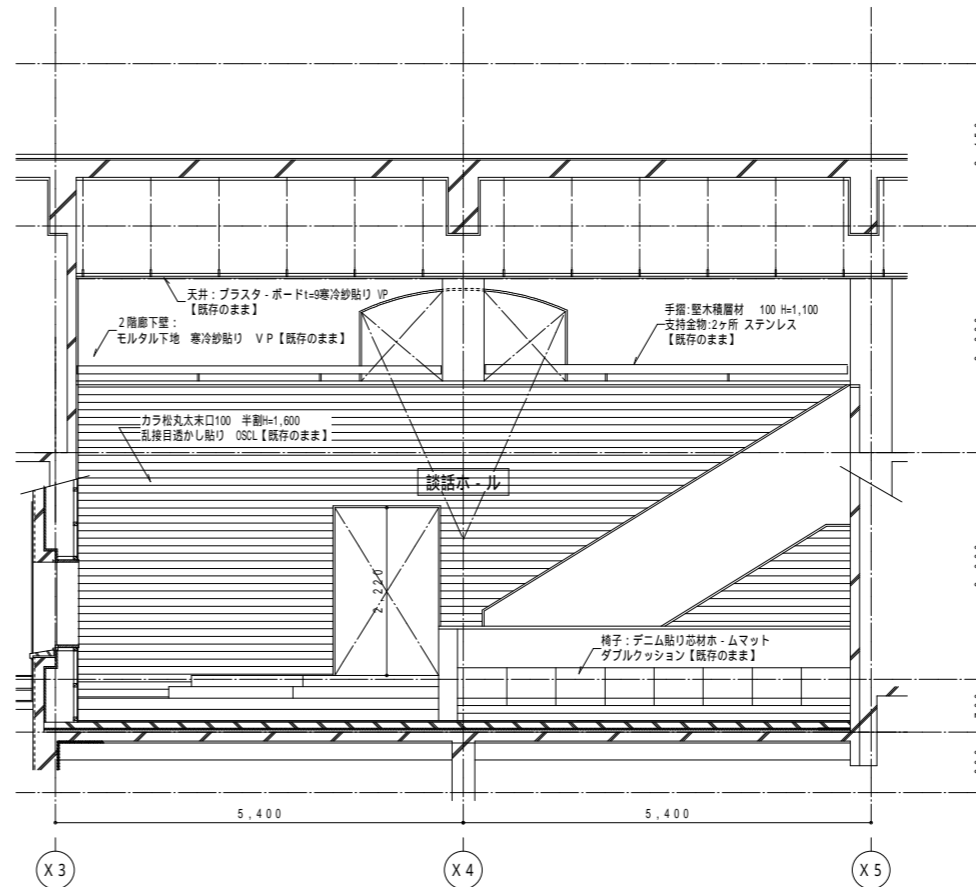
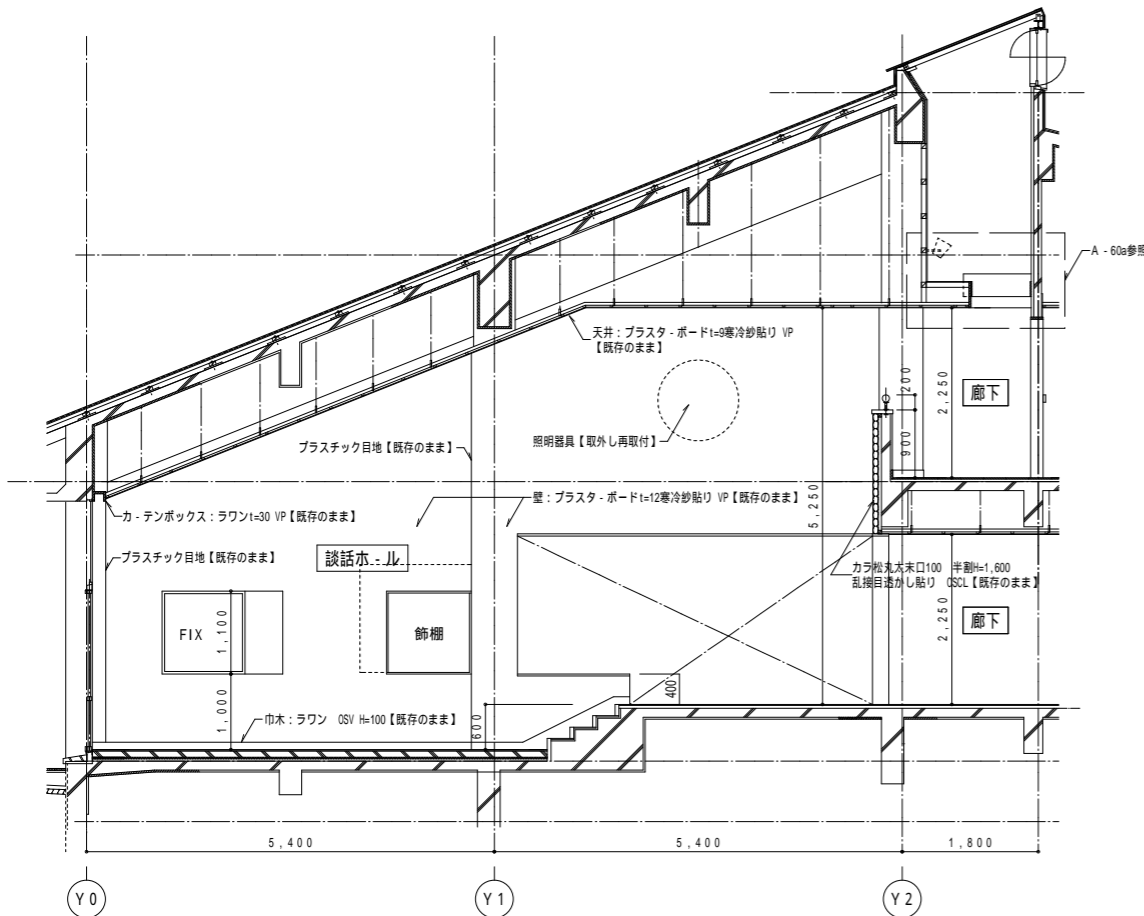


談話水 - ル平面詳細図 S=1:50
改修後

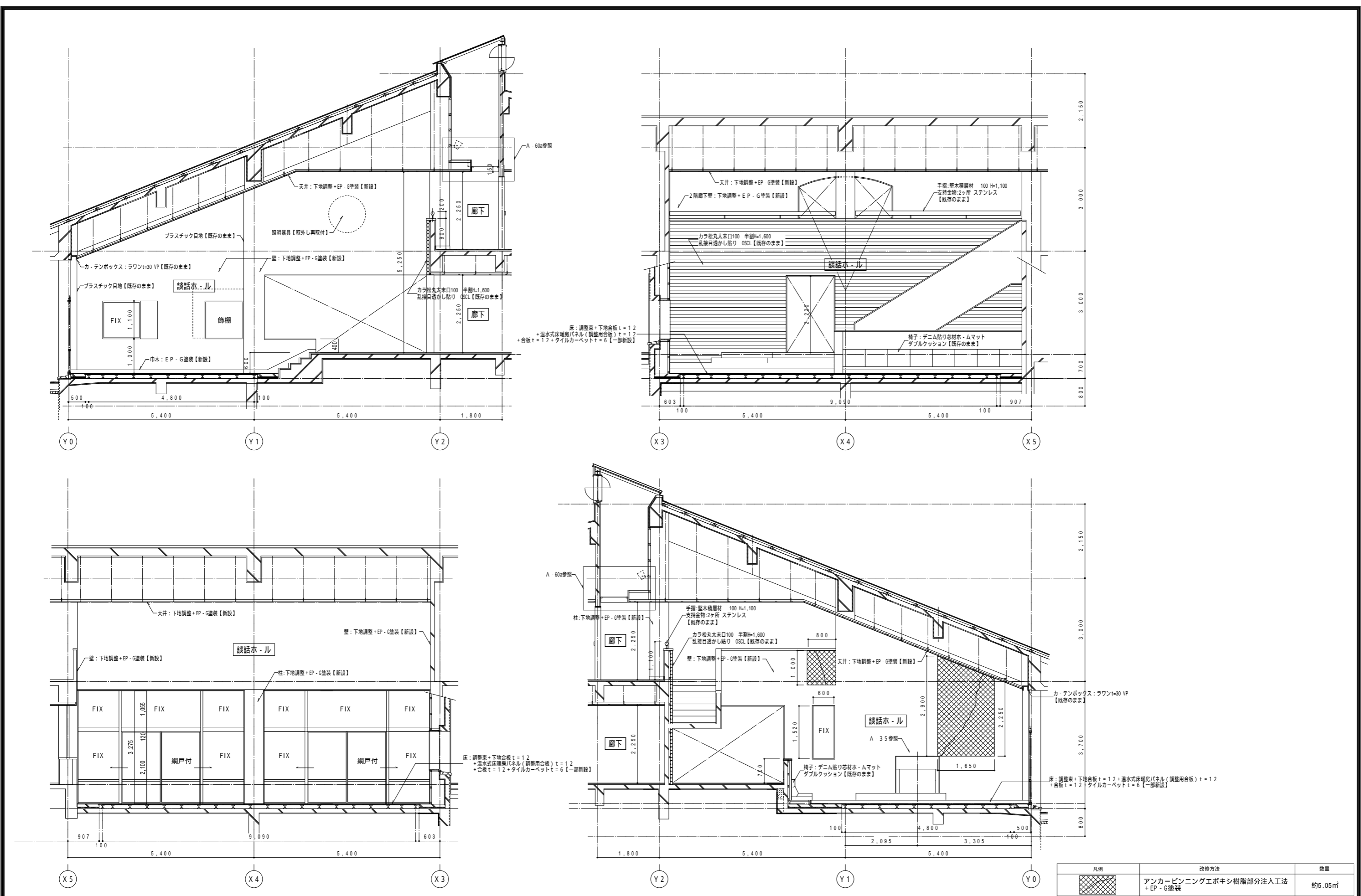
凡例 (新設)	
	床:合板t=12+タイルカーペットt=6 新設範囲を示す
	床:調整束+下地合板t=12+調整用合板t=12 +合板t=12+タイルカーペットt=6 新設範囲を示す
	床:調整束+下地合板t=12+温床用パネルt=12 +合板t=12+タイルカーペットt=6 新設範囲を示す

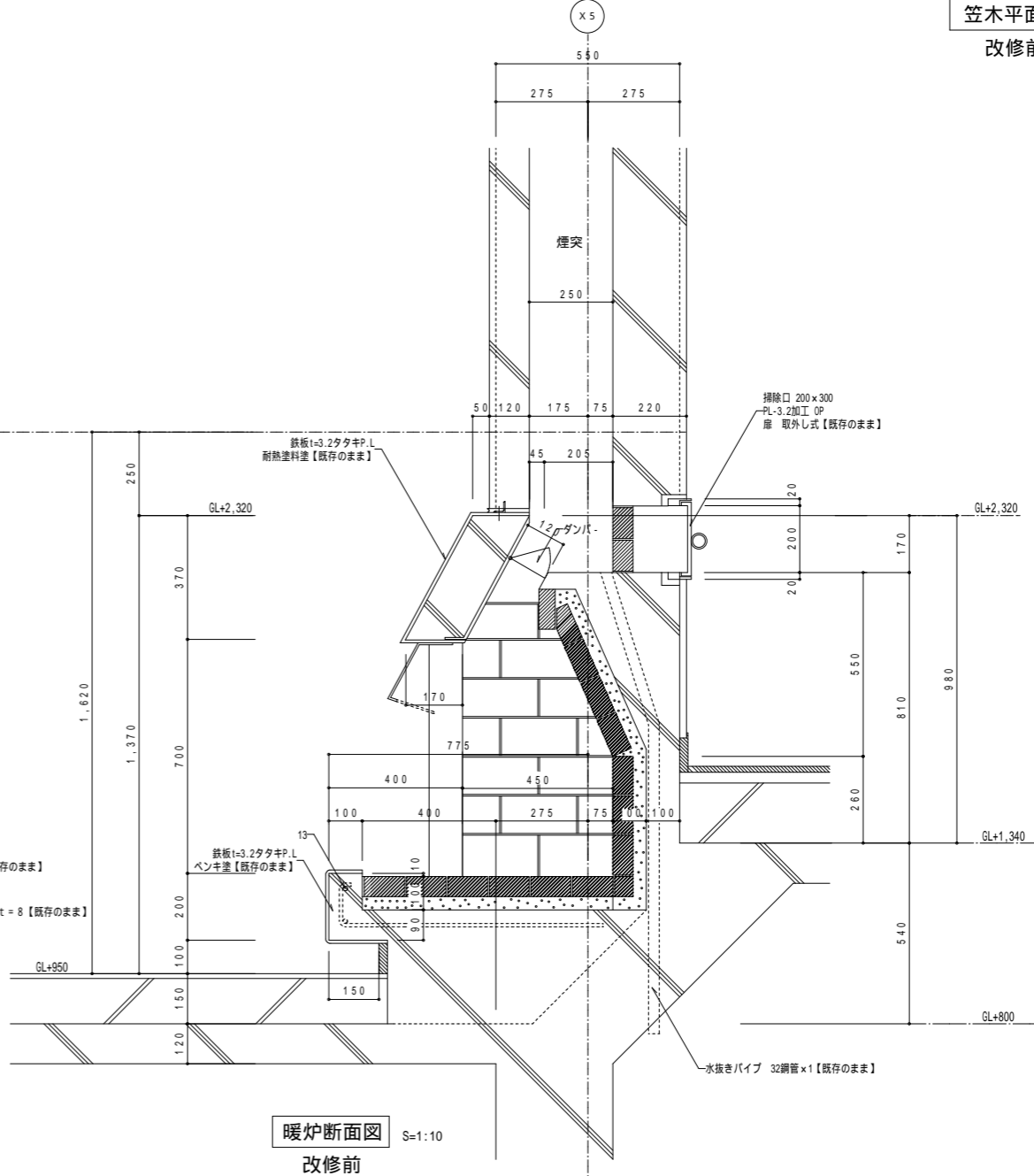
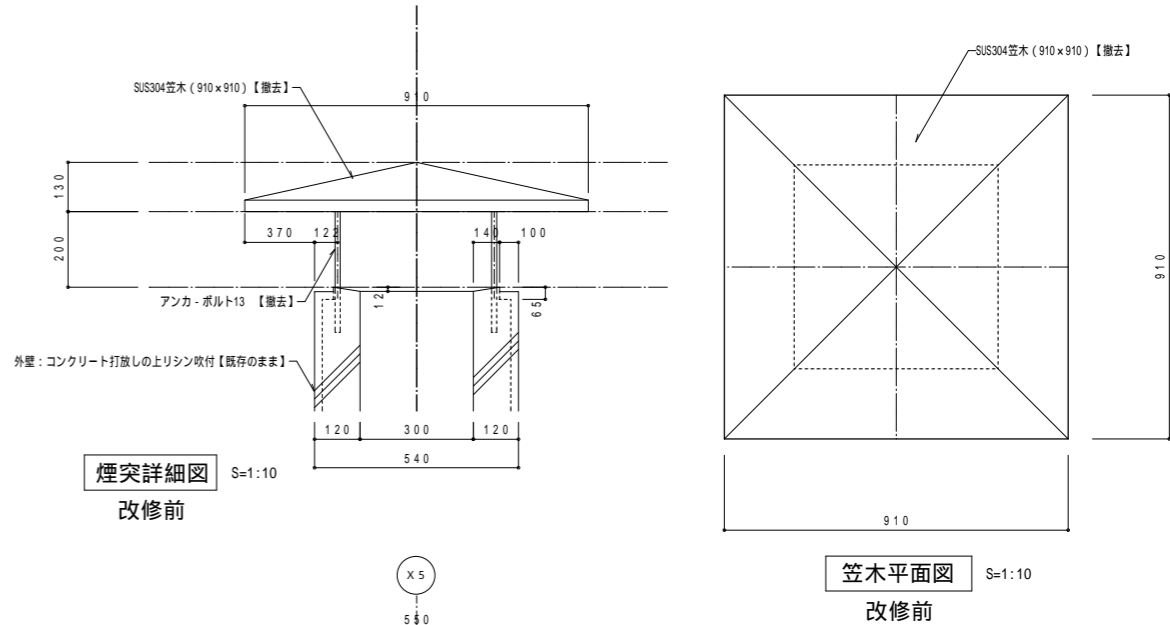
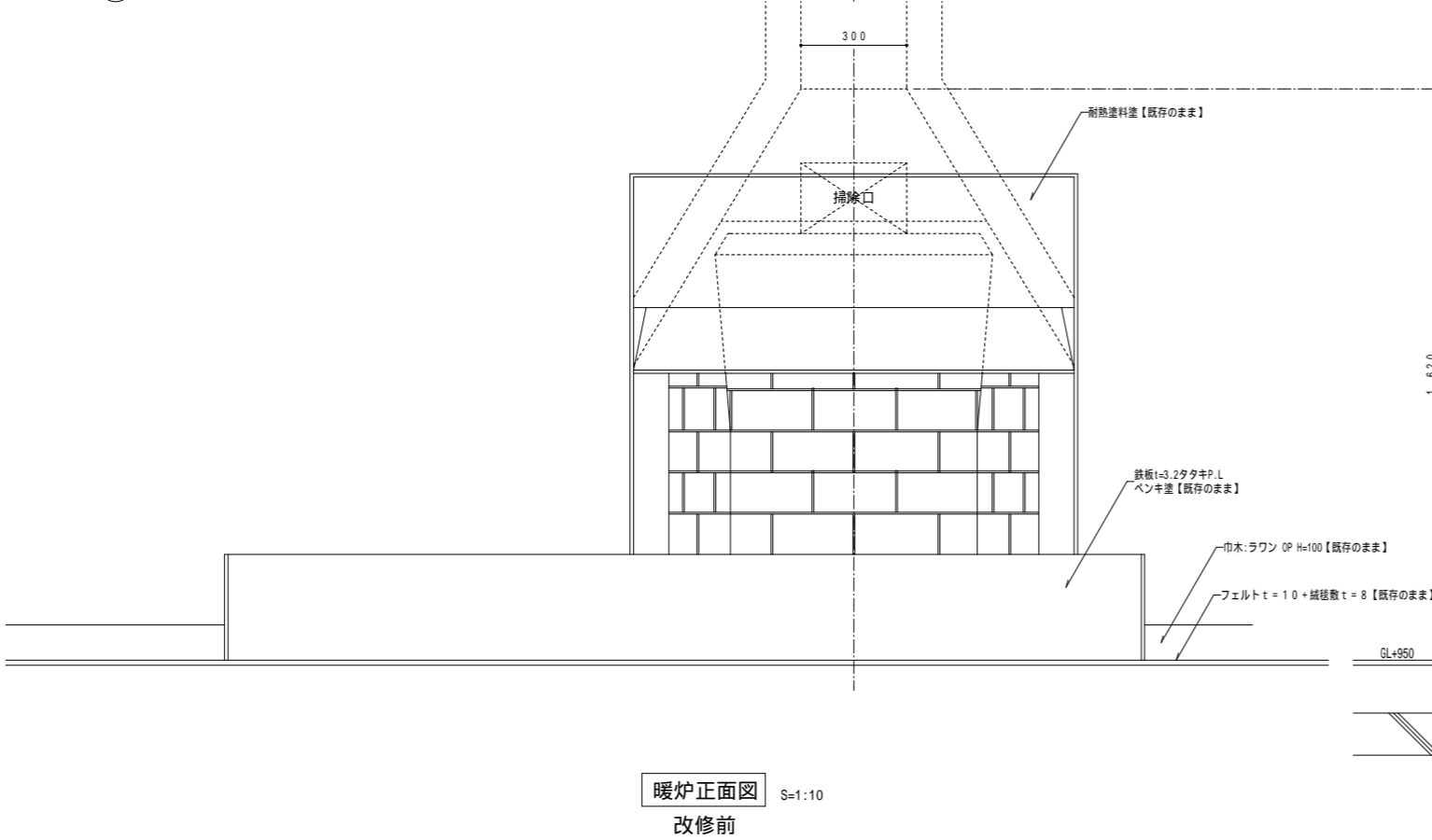
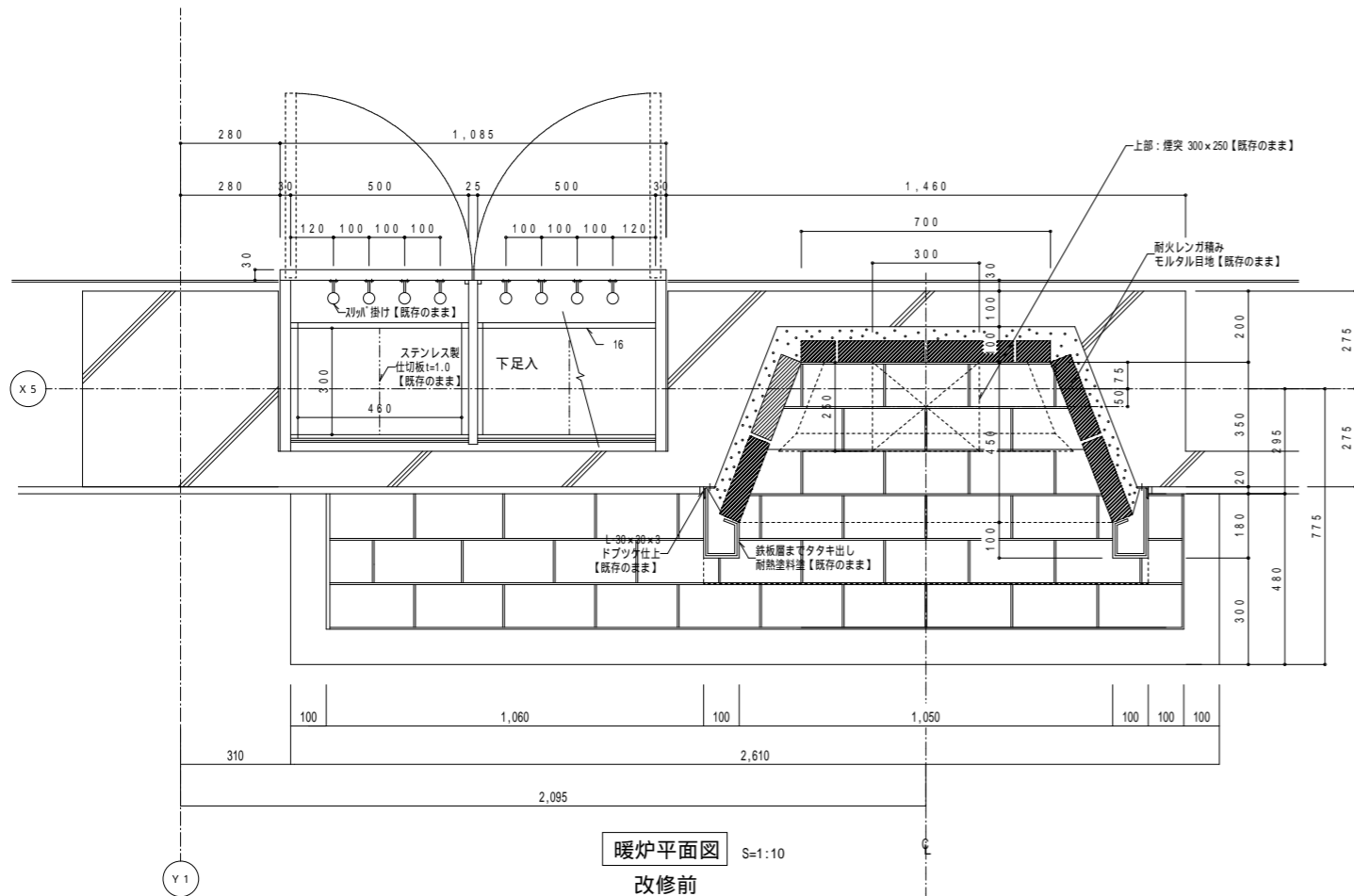


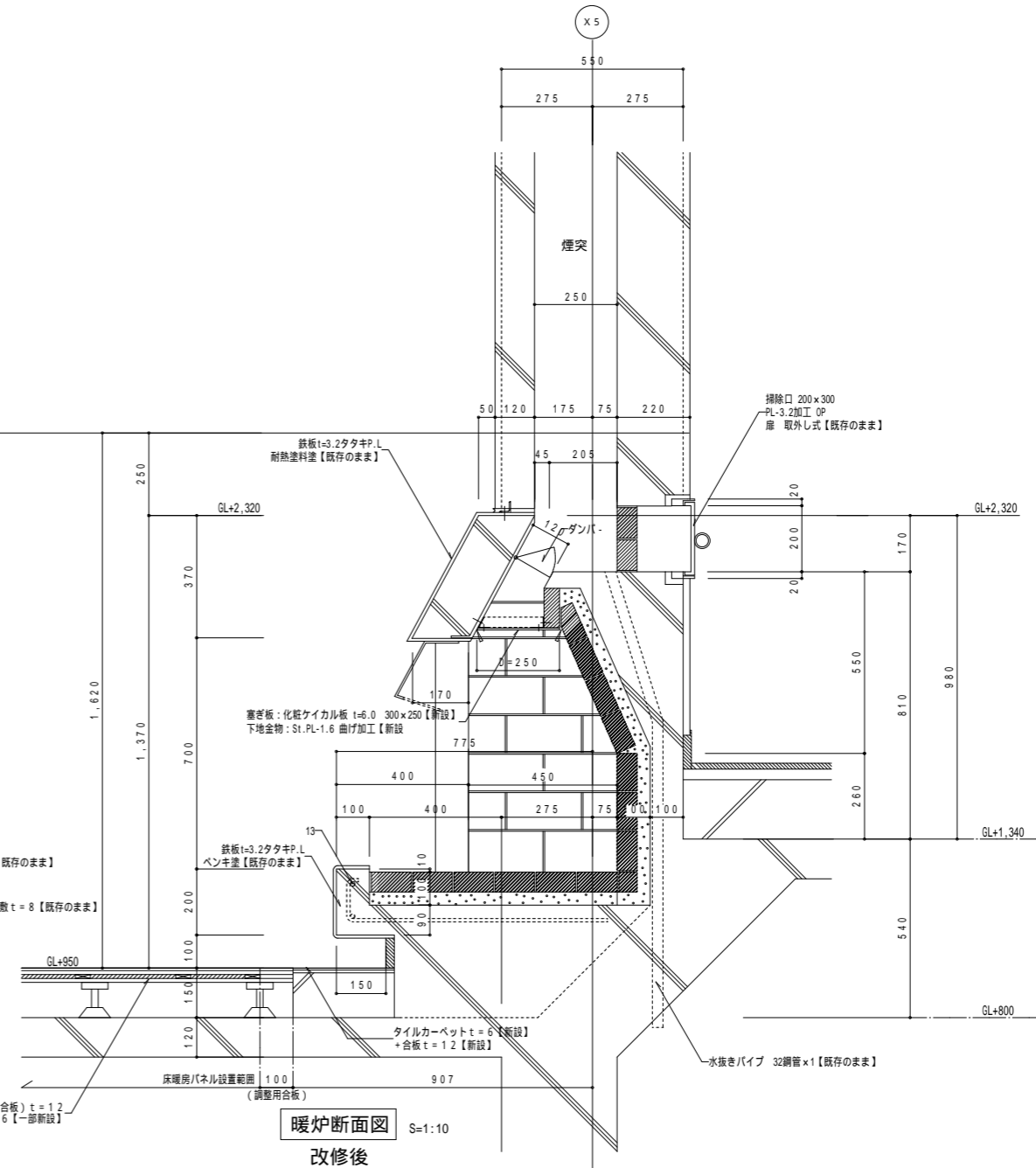
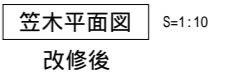
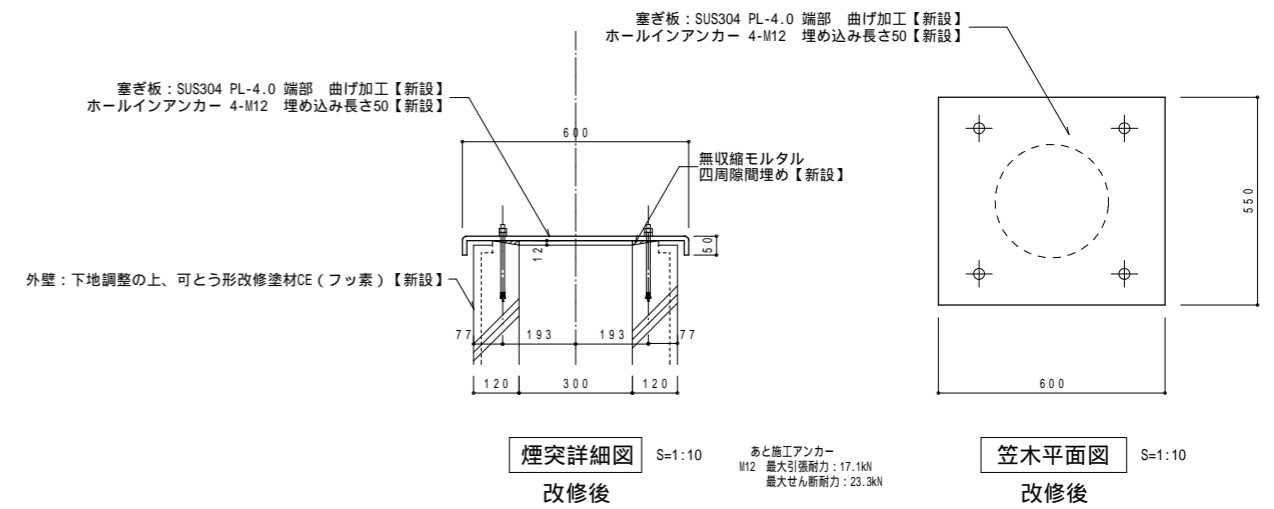
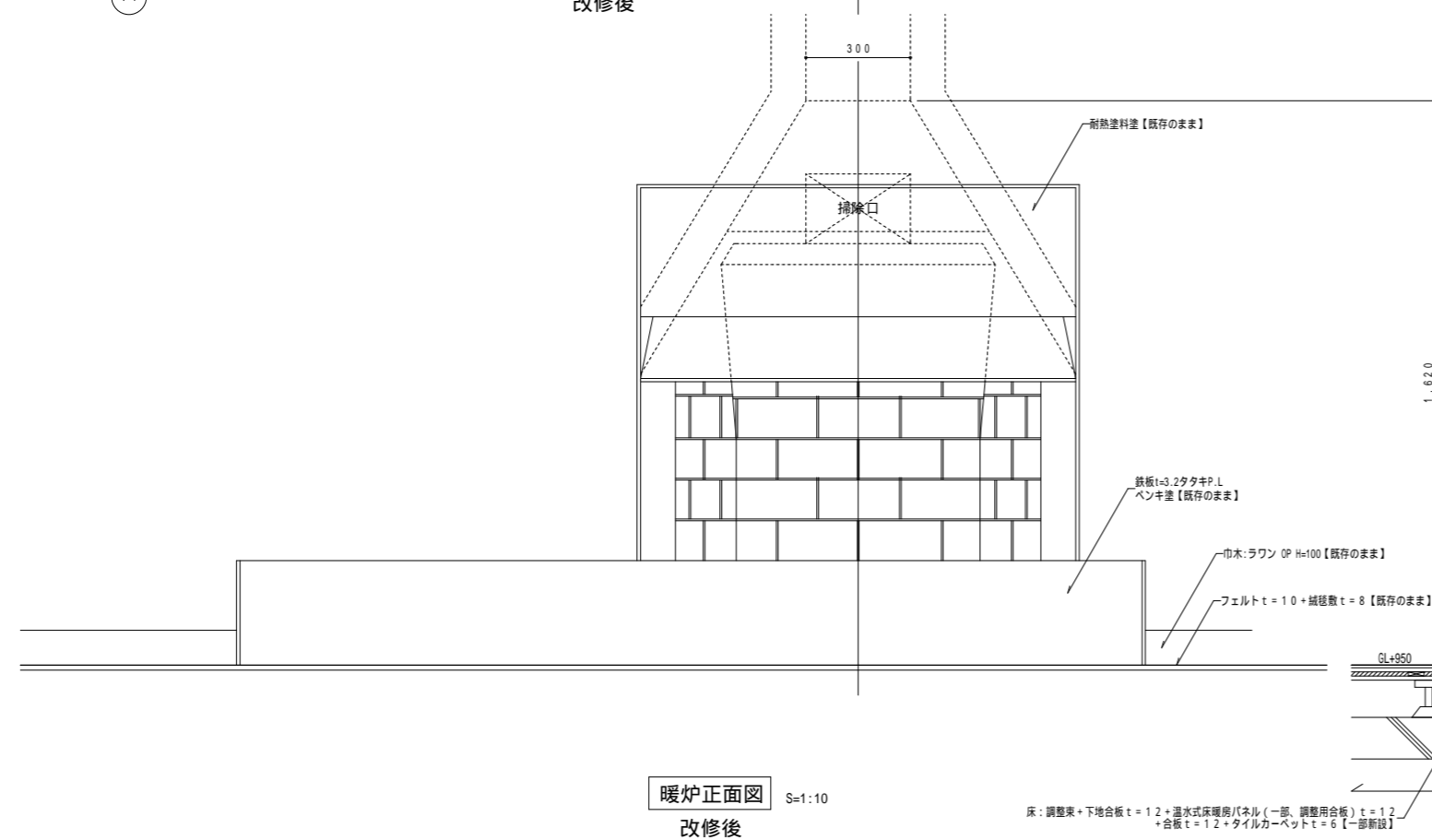
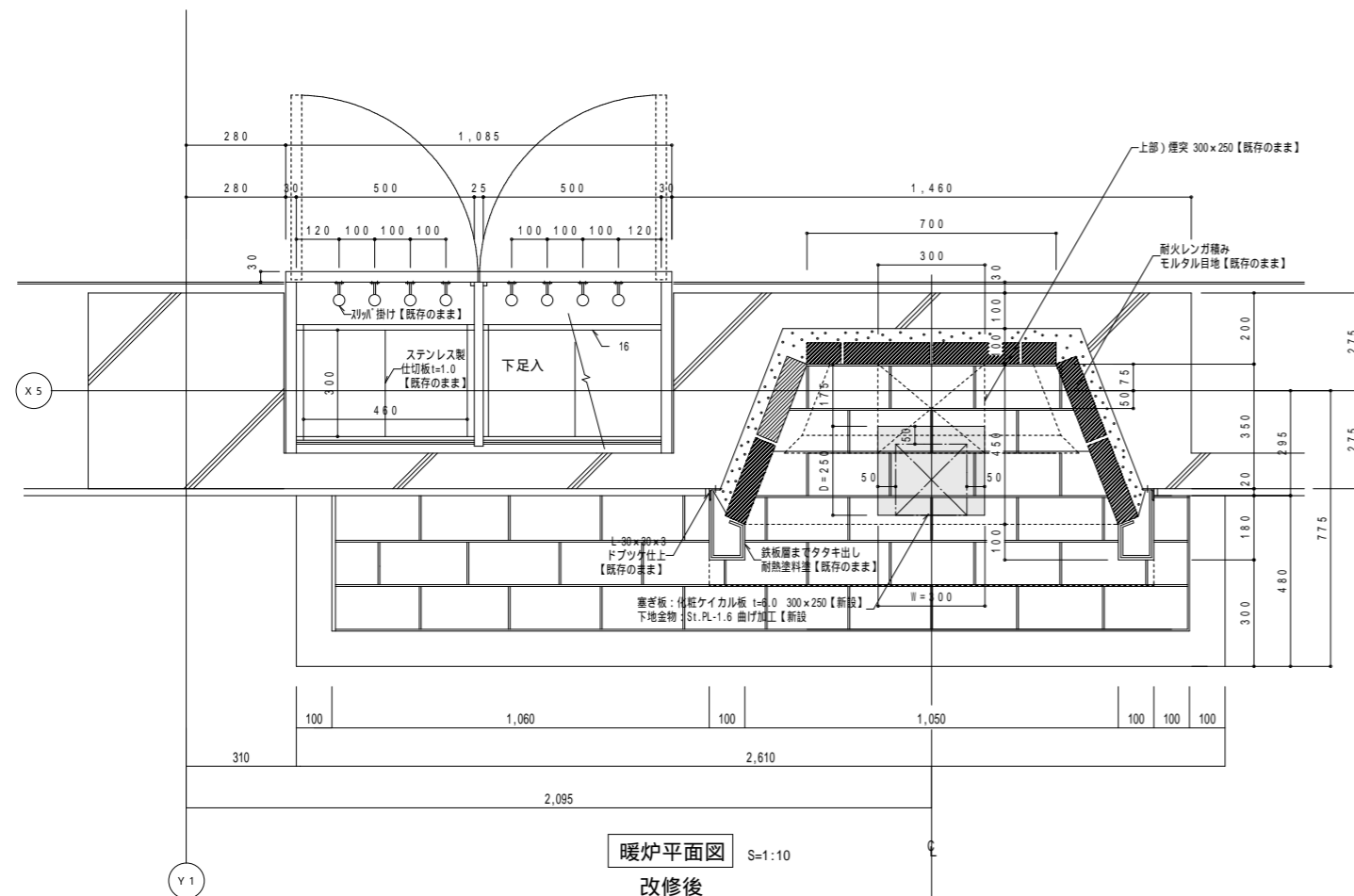
A - A' 断面詳細図 S=1:30

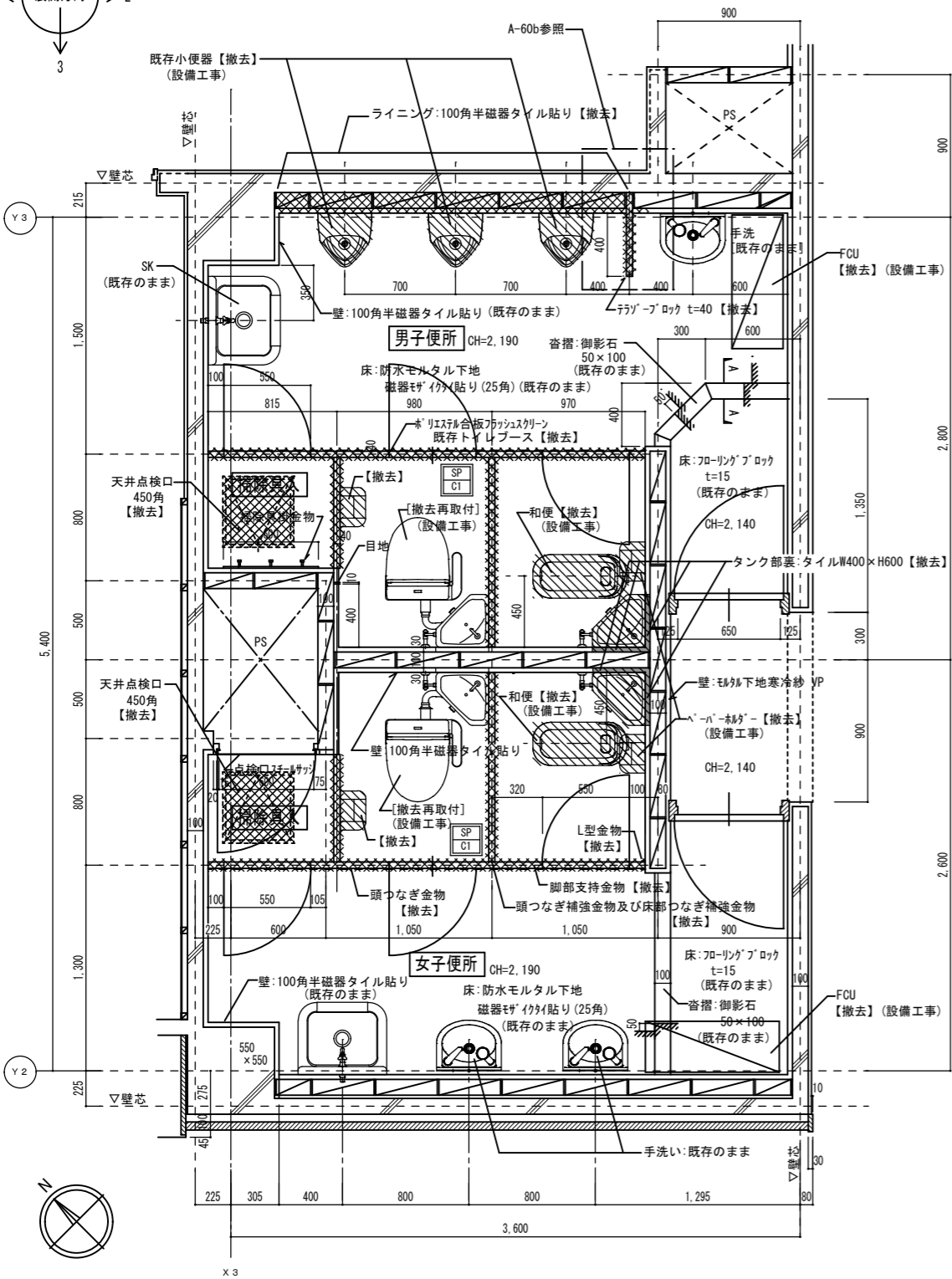
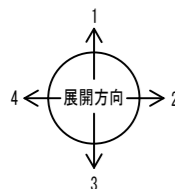


凡例	現況状況
	モルタル浮き範囲それに伴うひび割れ







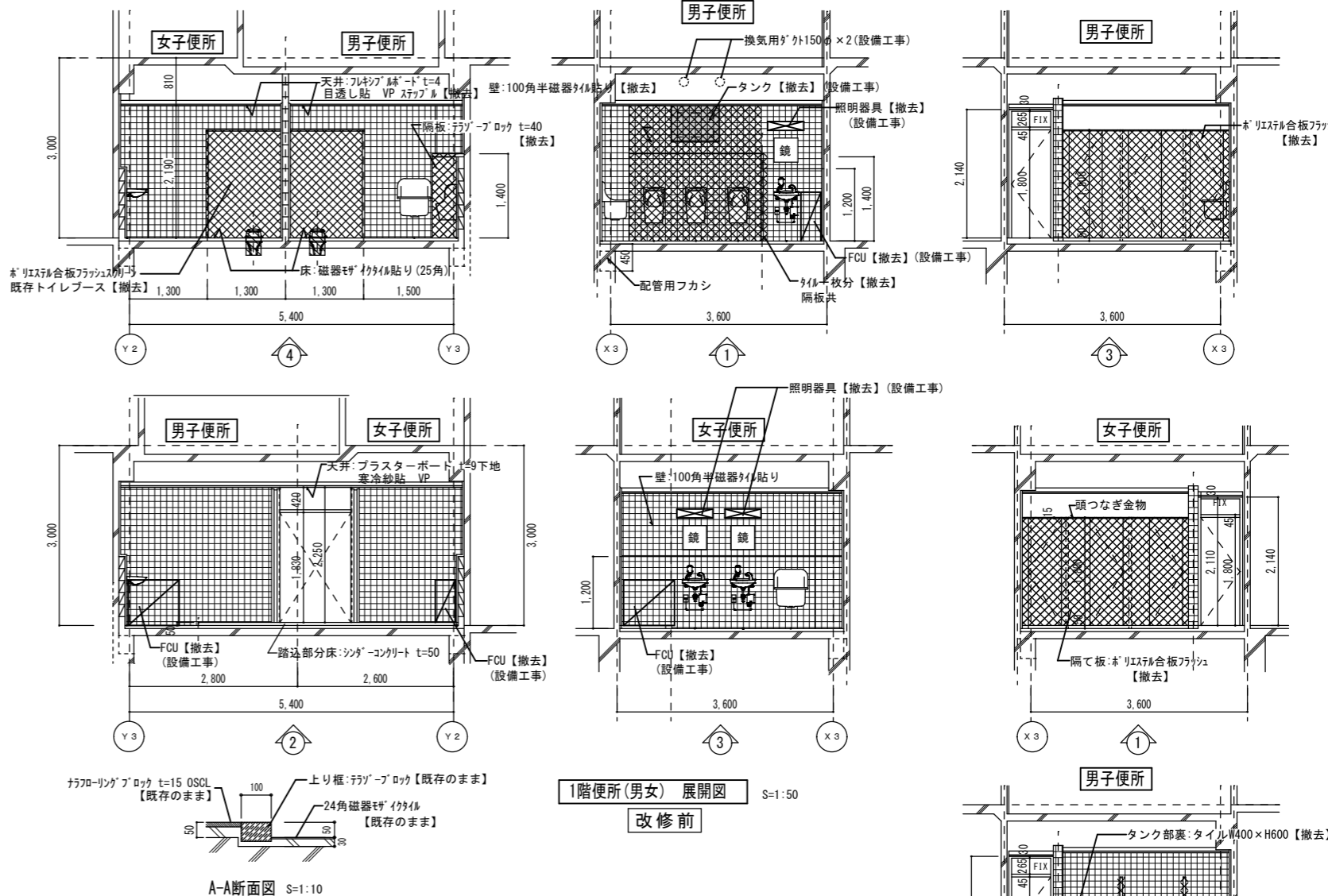


便所(男女) 平面詳細図 S=1:20

改修前

凡例

	壁・タンク裏タイル撤去 (W400×H600)
	撤去範囲を示す (設備工事)
	撤去範囲を示す (建築工事)

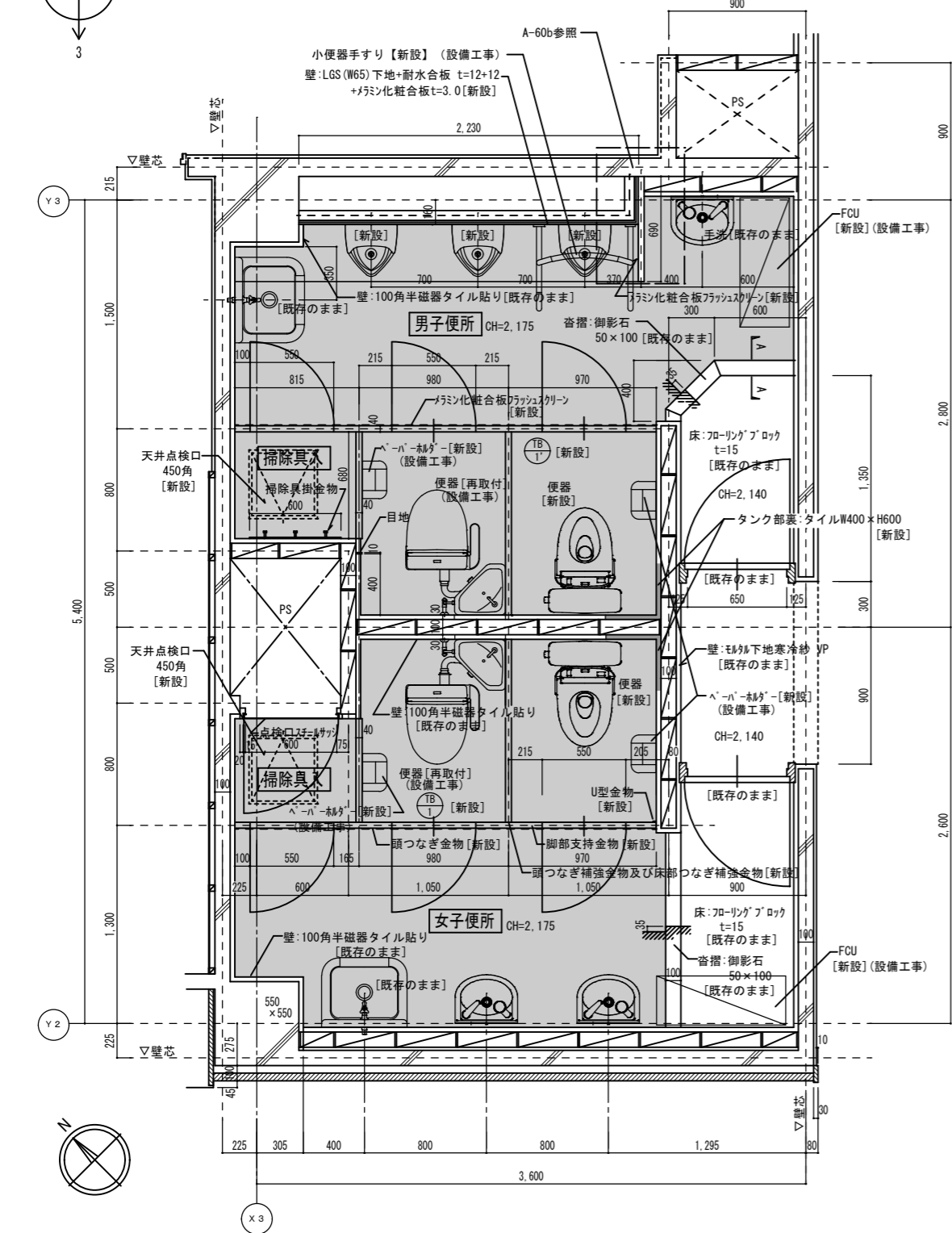
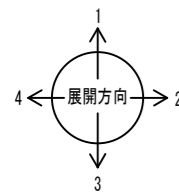


1階便所(男女) 展開図 S=1:50

改修前

記号	SP CI	1階トイレブース:片開き両面フラッシュ扉
撤去		
形状・寸法		笠木:ステンレス角パイプ 40×15 2枚 L型金物 ※四方アルミエッジ付
使用箇所	本館 男子便所・女子便所	
数量	見込 2	見込:40 扉厚:-
仕上	表面材:ポリエステル合板	
ガラス	-	
金物	付属金物一式	
改修内容	撤去	

※トイレブースと壁取合部は、L型金物の撤去に伴い
壁仕上材(100角磁器タイル)の撤去を行う。計:28枚程度

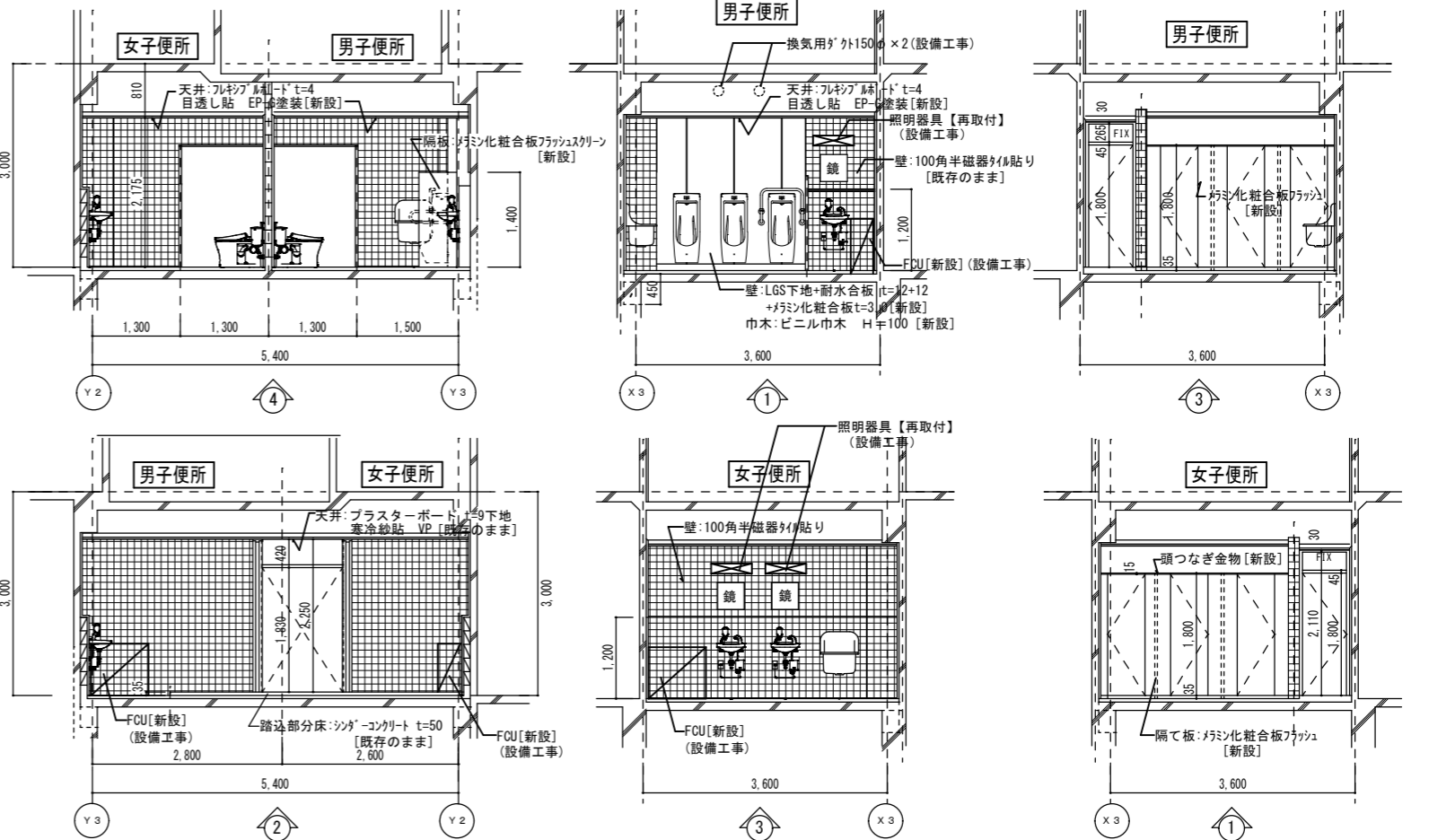


便所(男女) 平面詳細図 S=1:20

改修後

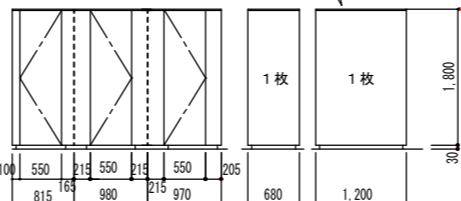
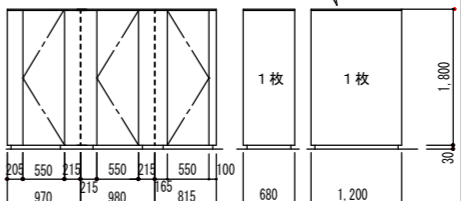
凡例

	壁:タンク裏タイル新設範囲を示す (W400×H600)
	床:LGS(W65)下地+耐水合板 t=12+12 +メラミン化粧板t=3.0【新設】

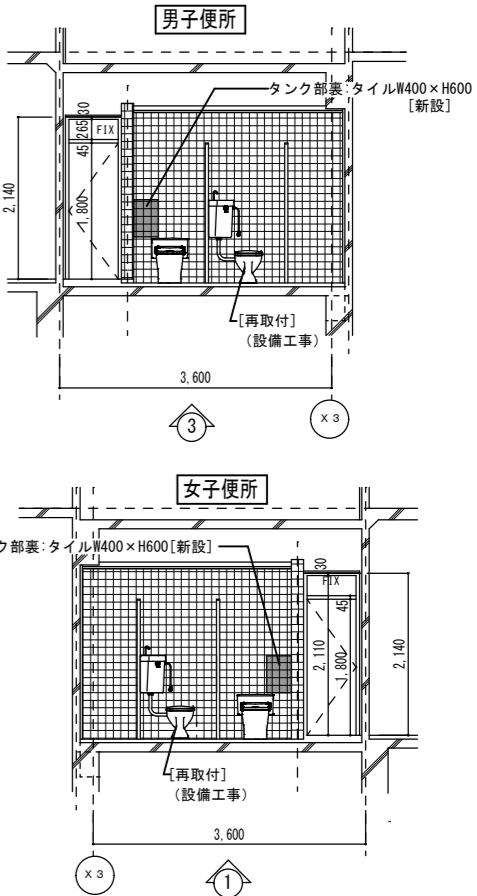


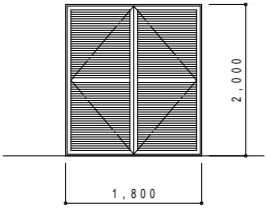
1階便所(男女) 展開図 S=1:50

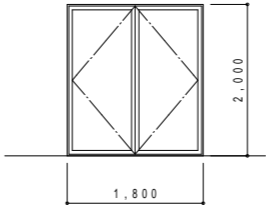
改修後

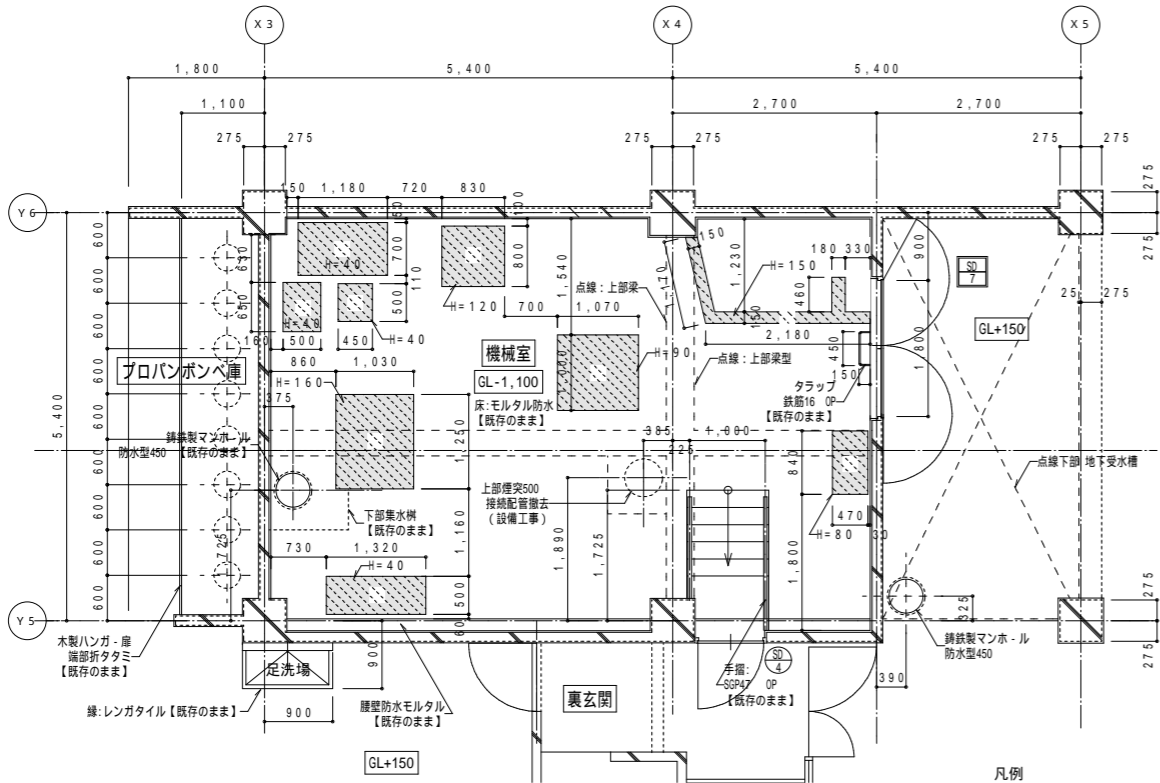
記 号	1階トイレブース:片開き両面フラッシュ扉	記 号	1階トイレブース:片開き両面フラッシュ扉
形状・寸法	<div>新設</div> <div>笠木: ステンレス角パイプ 40×15</div>  <div>※四方アルミエッジ付</div>	<div>新設</div> <div>笠木: ステンレス角パイプ 40×15</div>  <div>※四方アルミエッジ付</div>	
	使用箇所	本館 女子便所	使用箇所
数量	1 見込: 40 扉厚: -	数量	1 見込: 40 扉厚: -
仕 上	表面材: メラミン化粧合板	仕 上	表面材: メラミン化粧合板
ガラス	-	ガラス	-
金 物	付属金物一式	金 物	付属金物一式
改 修 内 容	新設 巾木タイプ	改 修 内 容	新設 巾木タイプ

※トイレブースと壁取合部は、L型金物の撤去に伴い 壁仕上材(100角磁器タイル)の新設を行う。計:28枚程度



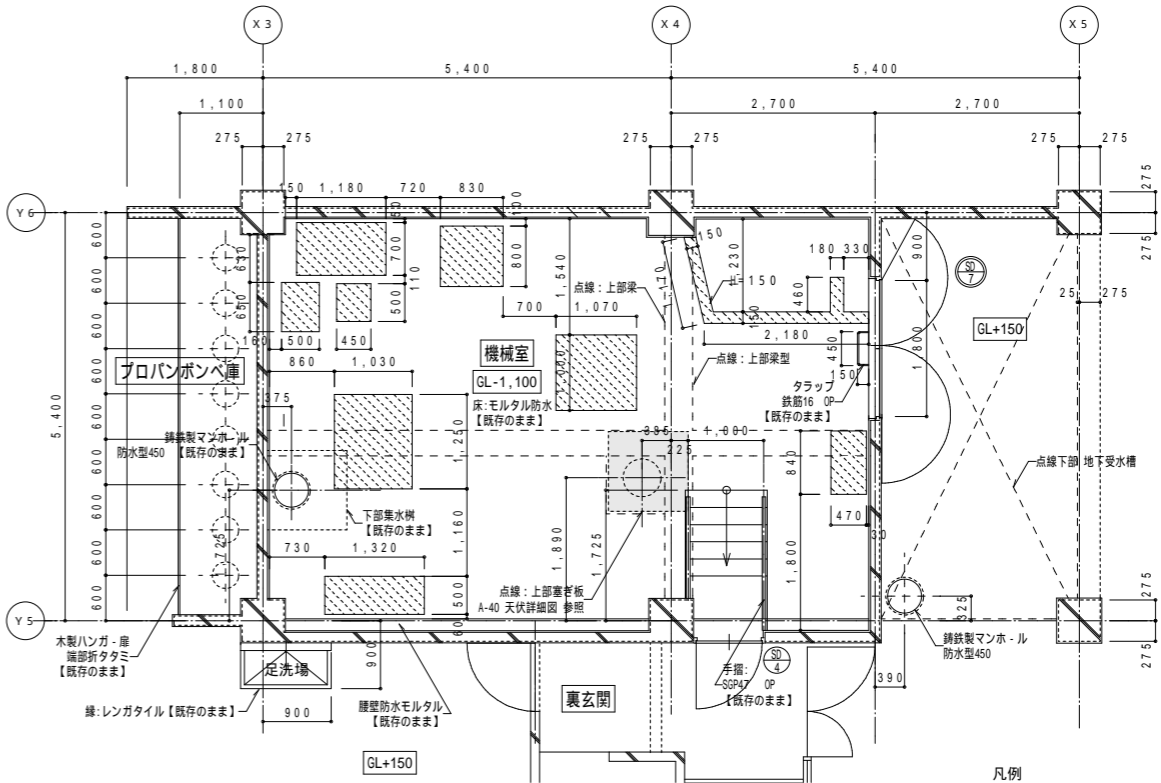
記 号	⑦ 1階 機械室：両開きガラリ扉
形状・寸法	撤去 
使用箇所	本館 機械室
数量	見込 1 見込：100 扉厚：-
仕 上	枠：PL-1.6 扉：PL-1.6
ガ ラ ス	-
金 物	空錠物クロック、フランス落し、戸当たり その他付属金物一式
改 修 内 容	撤去

記 号	⑦ 1階 機械室：両開き扉
形状・寸法	新設 
使用箇所	本館 機械室
数量	見込 1 見込：100 扉厚：-
仕 上	枠：PL-1.6 扉：PL-1.6
ガ ラ ス	-
金 物	空錠物クロック、フランス落し、戸当たり その他付属金物一式
改 修 内 容	新設



凡例	
	設備基礎（コンクリート） 撤去範囲を示す
	既存建具を示す
	撤去建具を示す

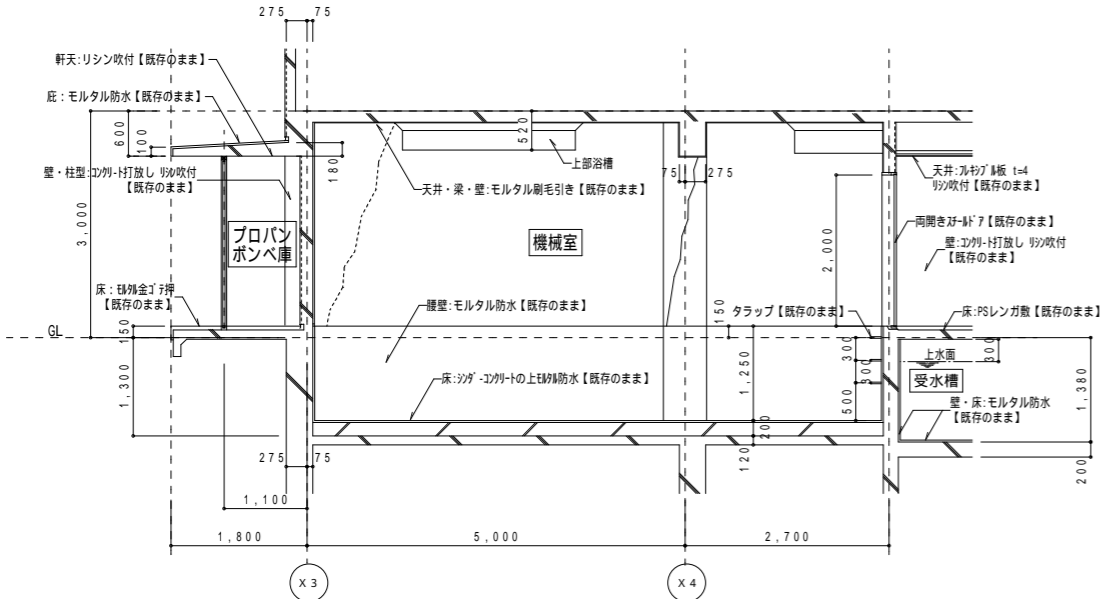
機械室平面詳細図 S=1:50
改修前



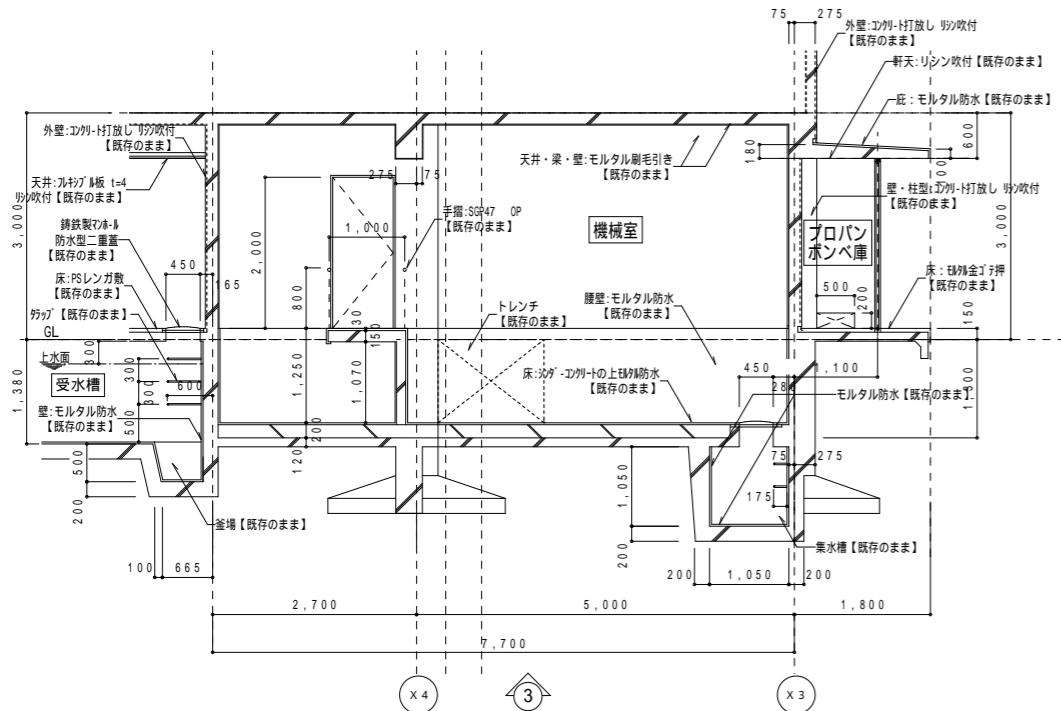
凡例	
	床：モルタル金ゴテ 補修範囲を示す
	既存建具を示す
	新設建具を示す

機械室平面詳細図 S=1:50
改修後

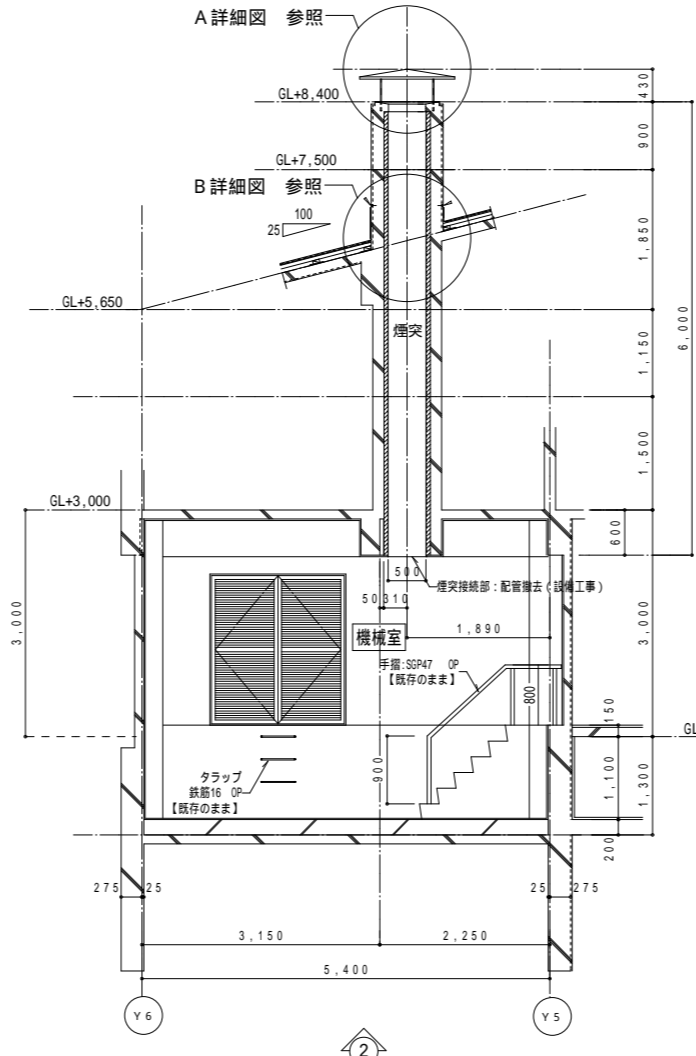
凡例	現況状況	長さ
◀(柱・壁側面)	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)	約2.3m
◀(柱・壁側面)	ひび割れ (1.0mmを超える)	約6.6m



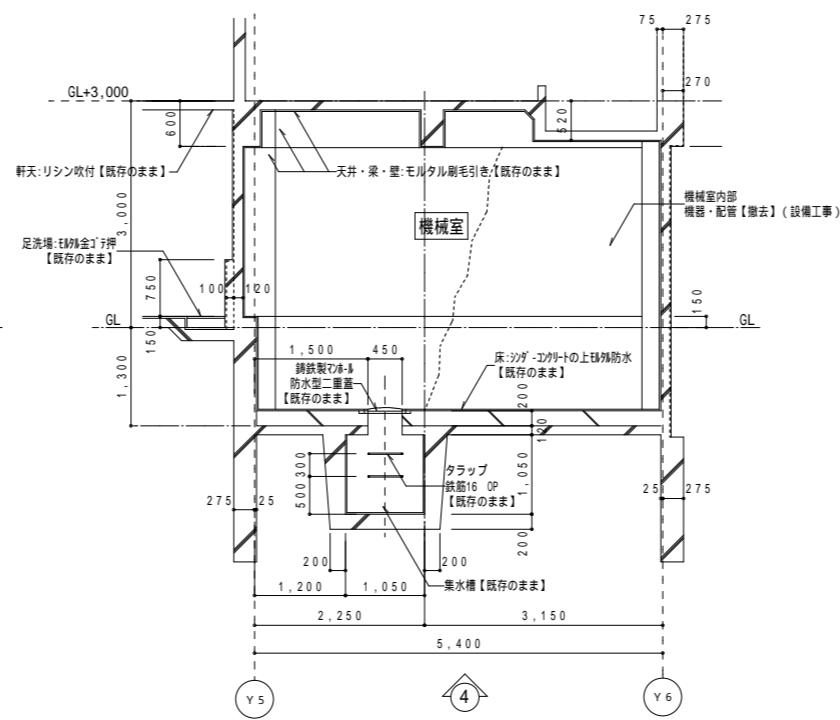
1



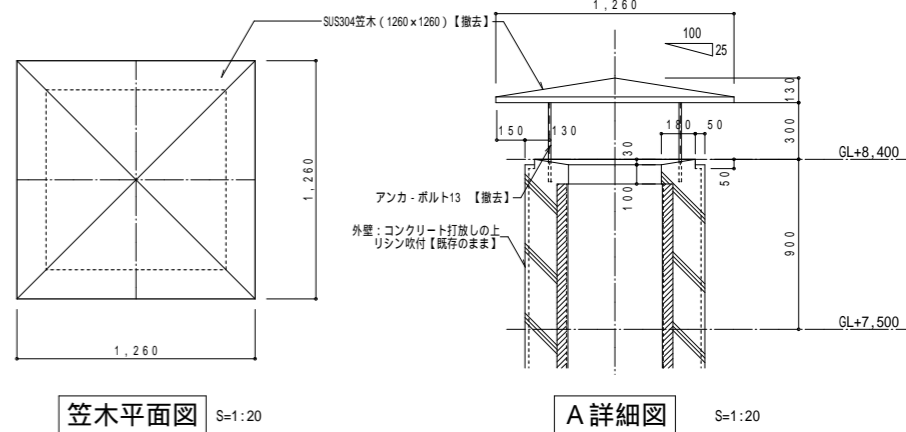
3



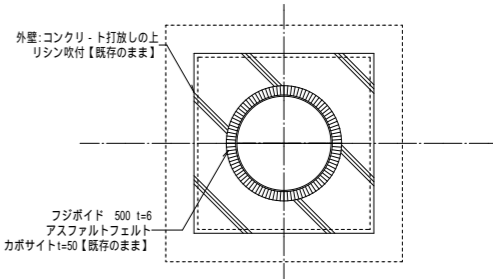
2



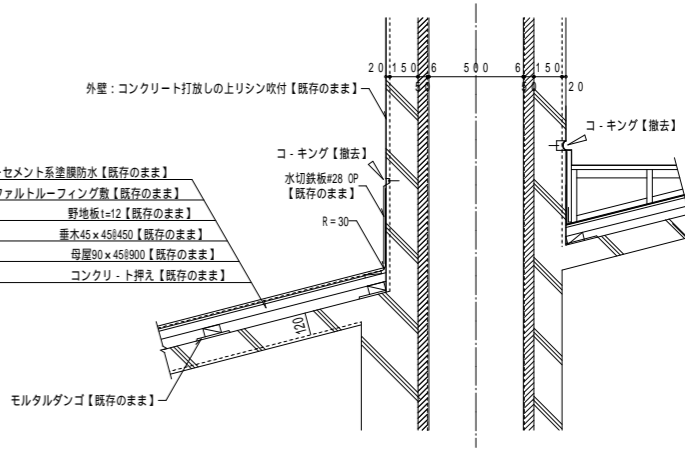
4



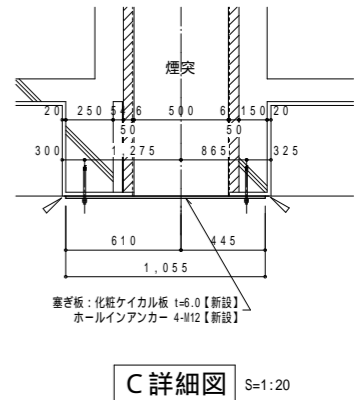
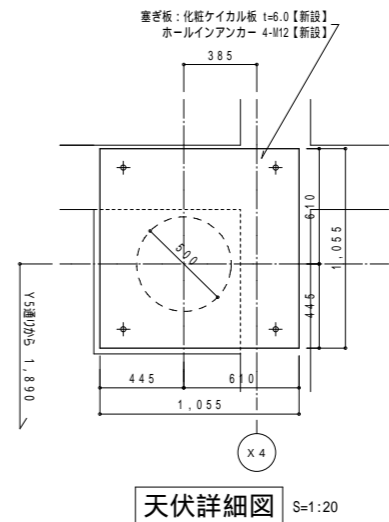
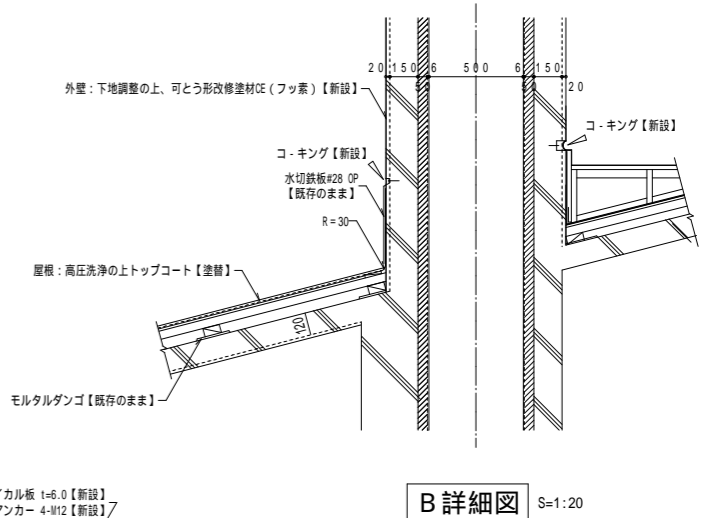
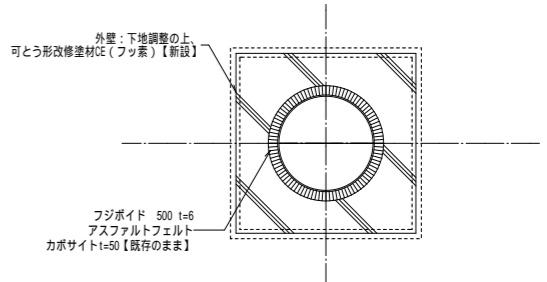
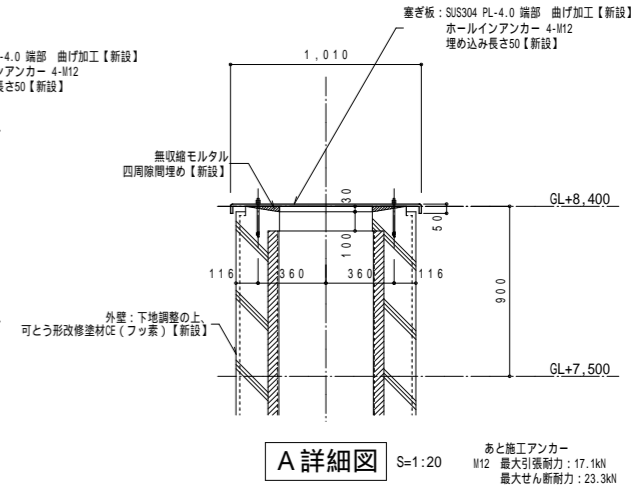
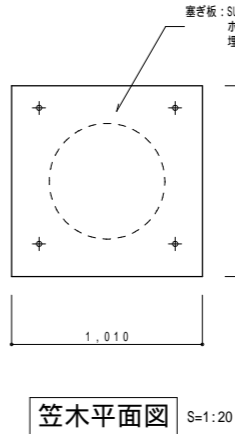
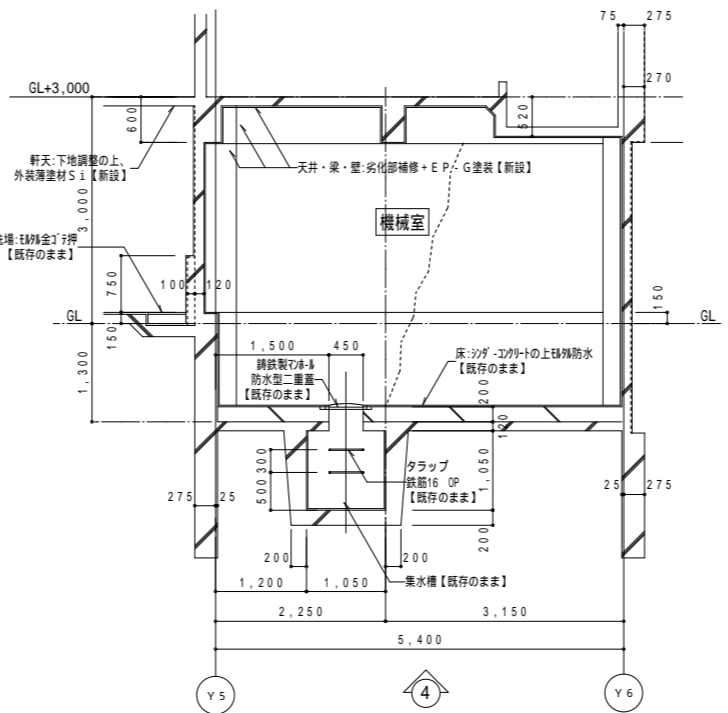
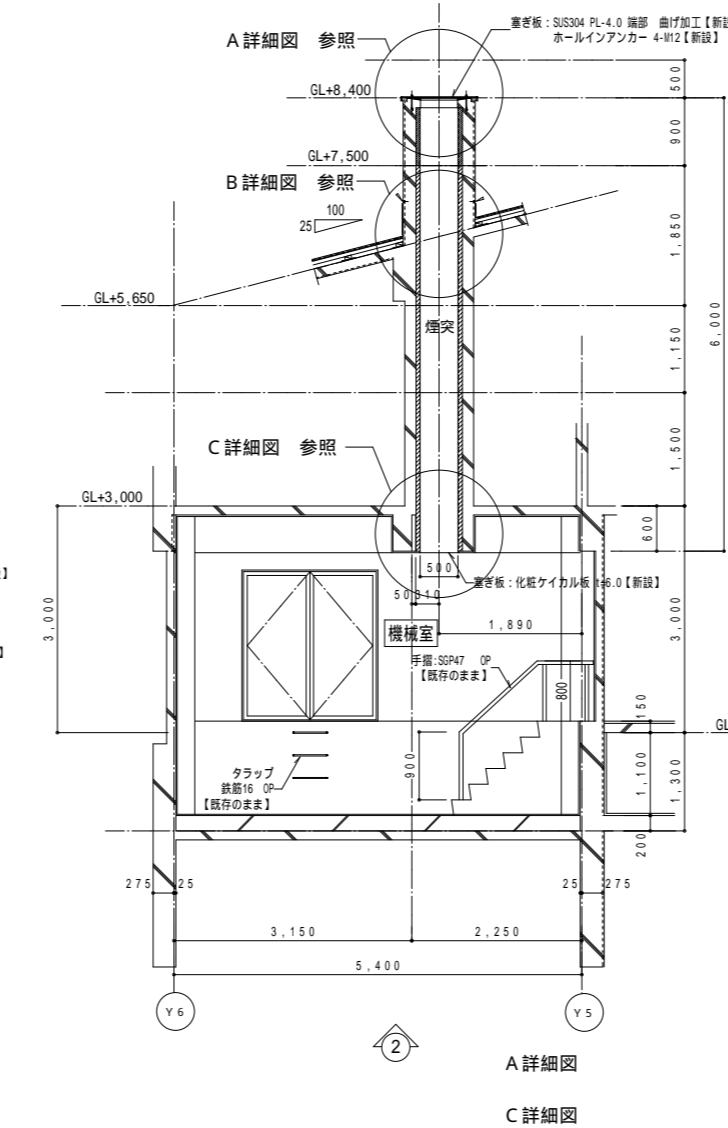
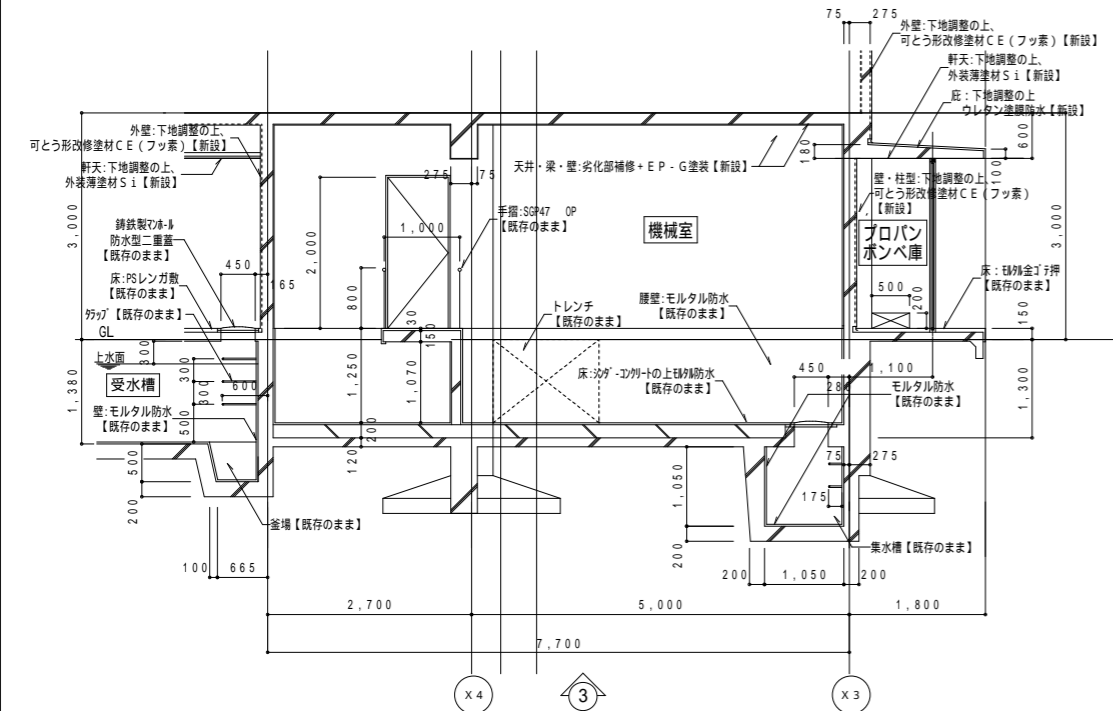
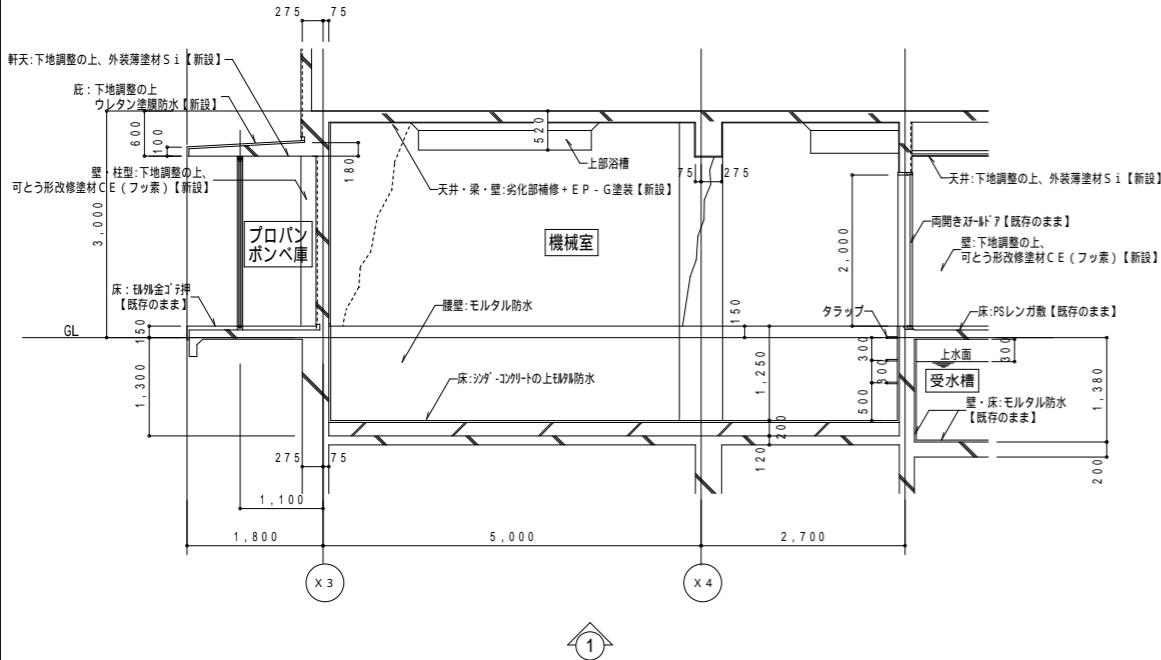
A 詳細図

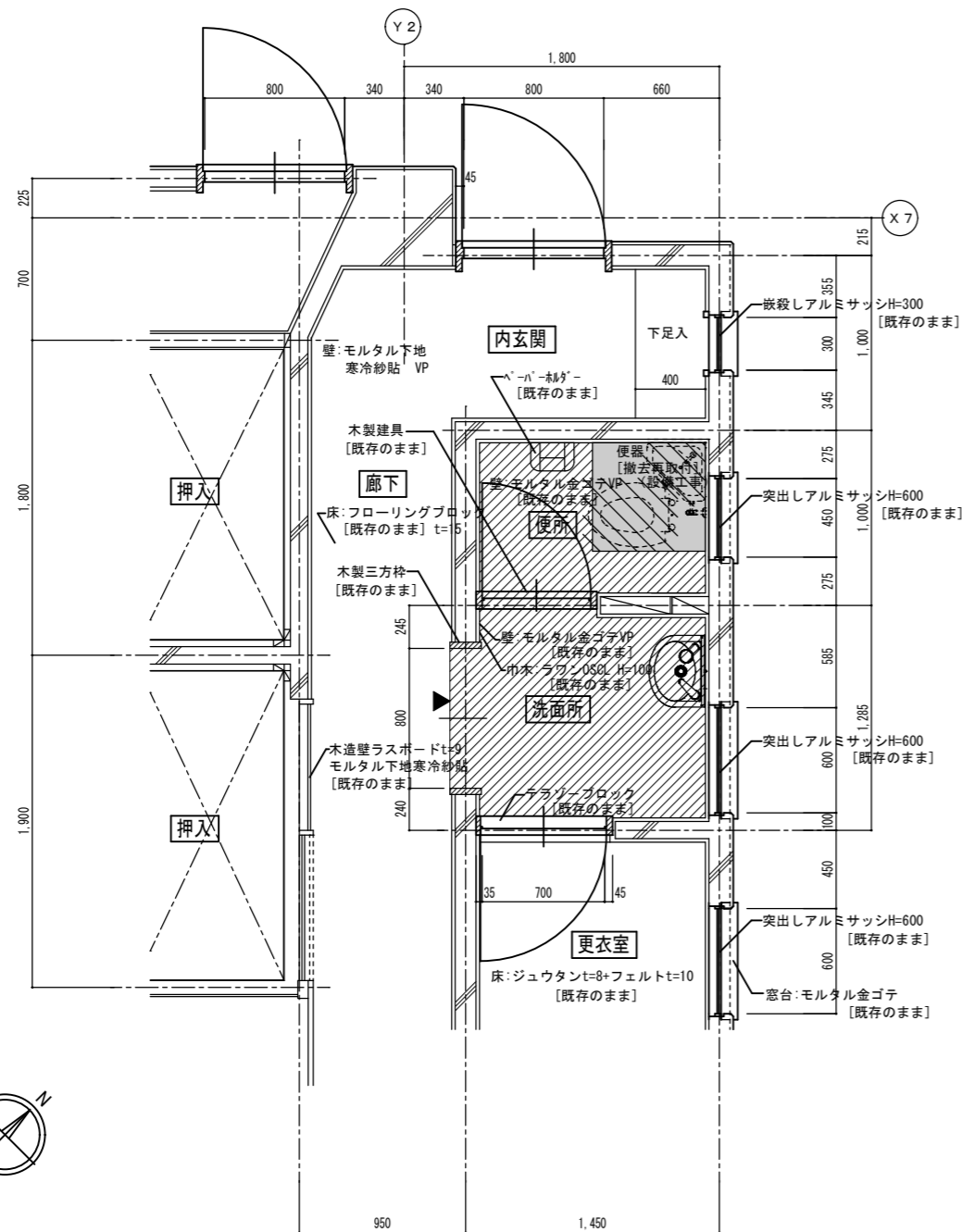


B 詳細図



凡例		改修仕様	長さ
◀(柱・壁側面)	ひび割れ (0.2～1.0mm未満)	エポキシ樹脂低圧注入工法	約2.3m
◀(柱・壁側面)	ひび割れ (1.0mmを超える)	Uカットシ - ル材充填工法	約6.6m

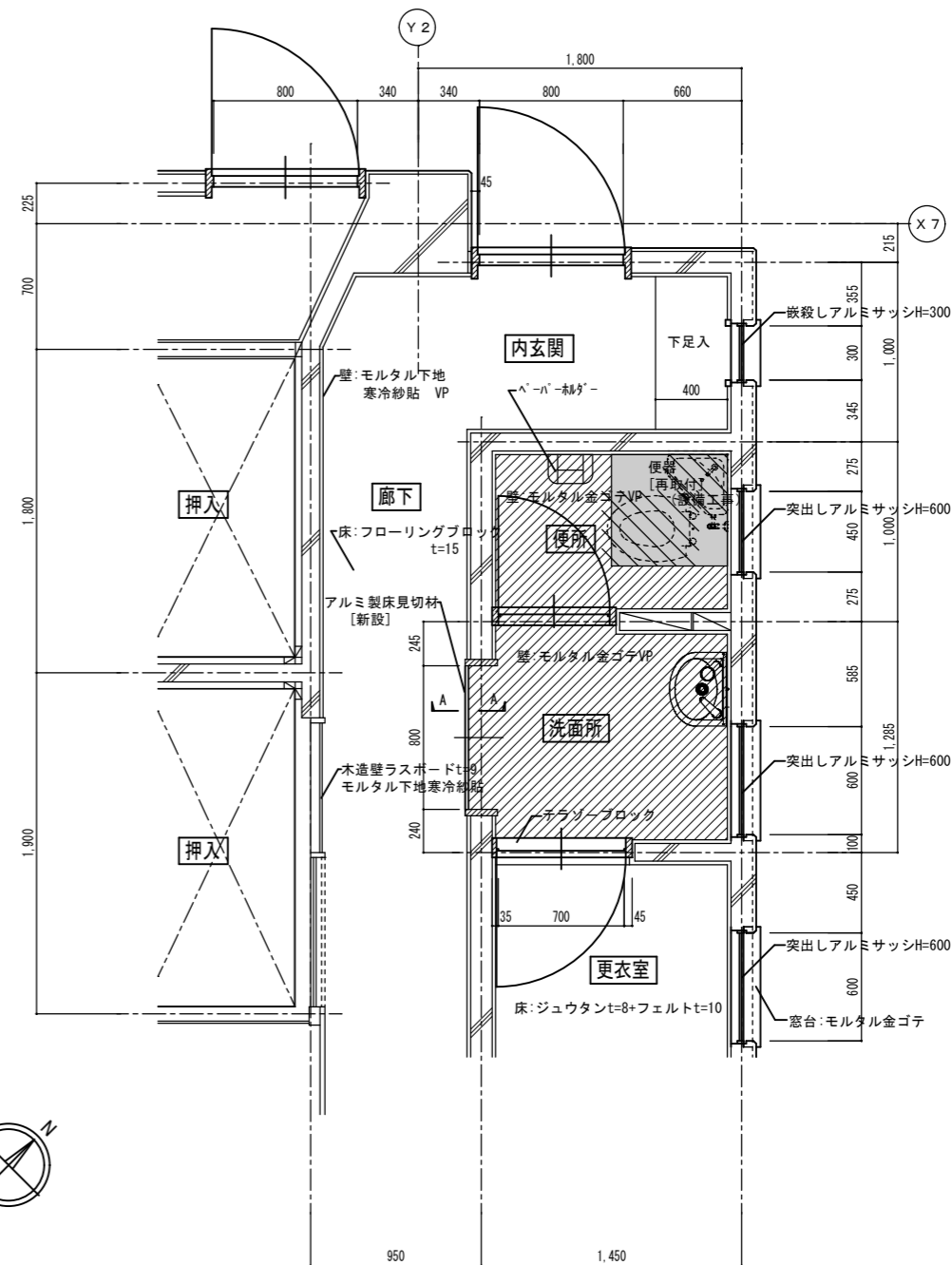




1階管理室 平面詳細図 S=1:20
改修前

凡例

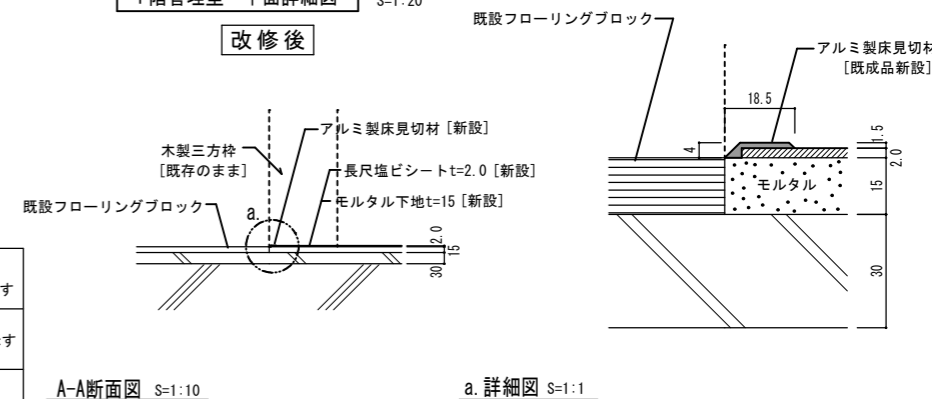
	床:フローリングブロックt=15撤去範囲を示す
	床:モルタル金ゴテ範囲 [既存のまま]
	便器:取外し再取付 (設備工事)
	カッター入れ箇所を示す



1階管理室 平面詳細図 S=1:20
改修後

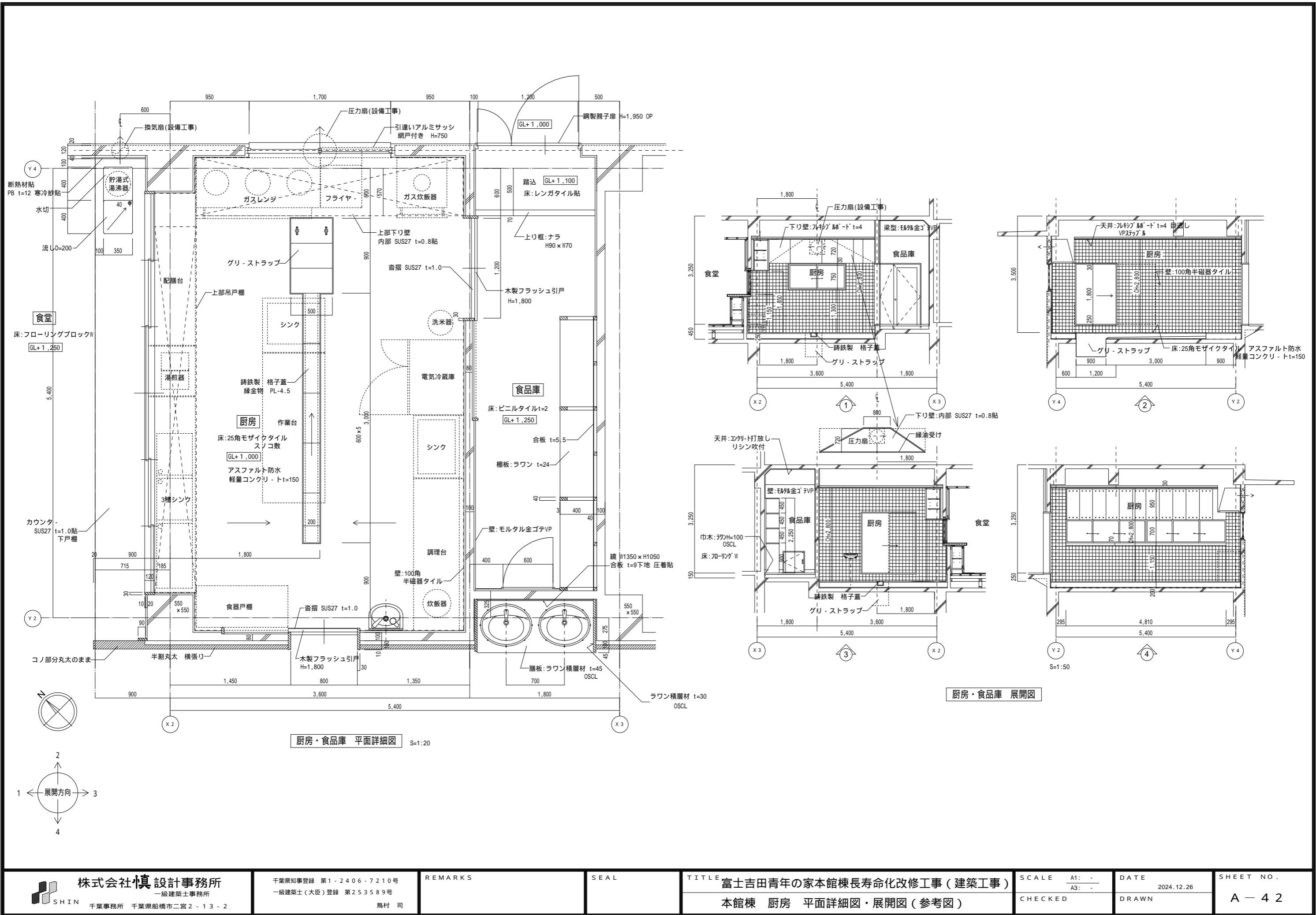
凡例

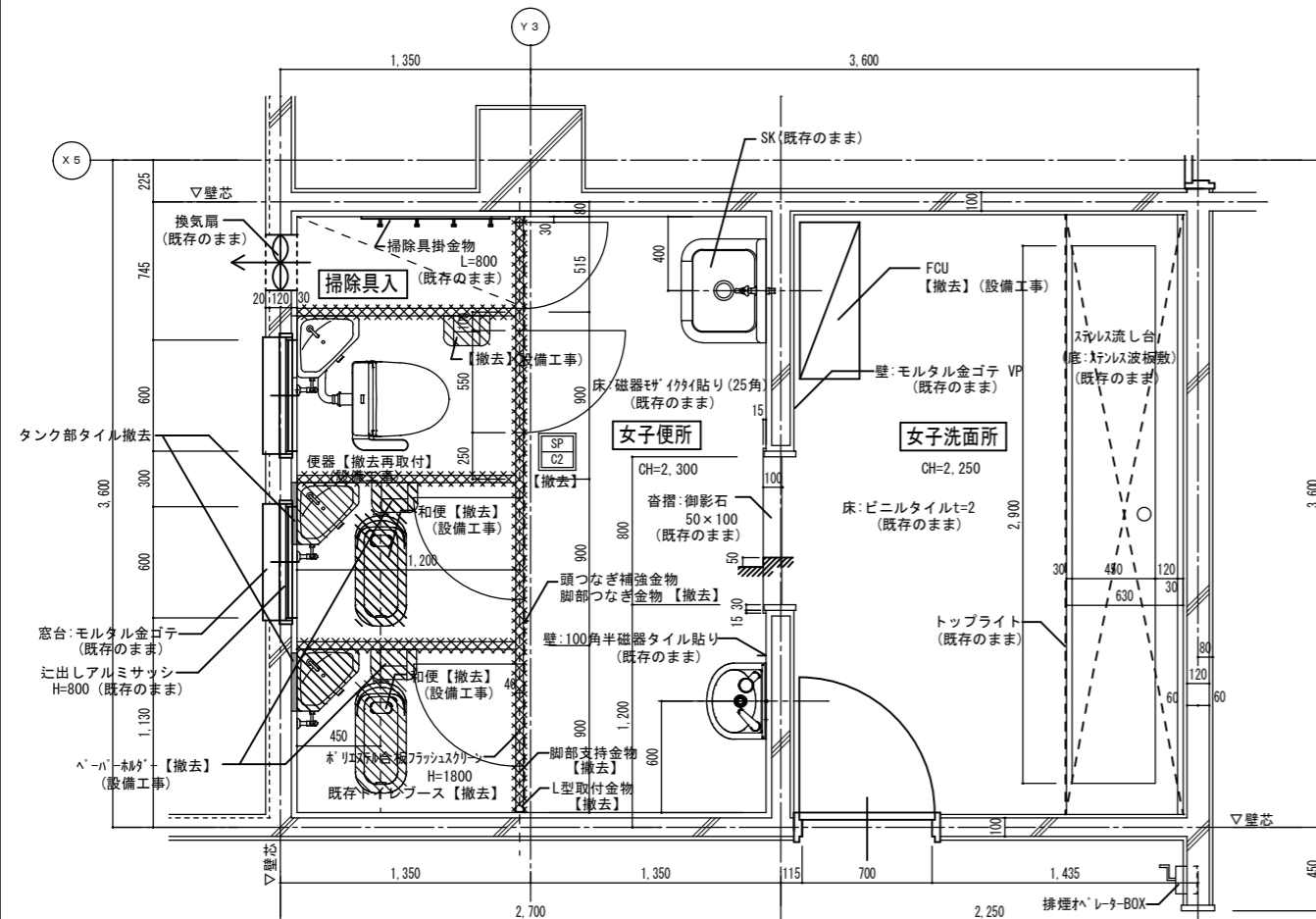
	床:モルタル下地補修t=15 +長尺塩ビシート t=2.0 (防汚防滑) 新設範囲を示す
	床:長尺塩ビシート t=2.0 (防汚防滑) 新設範囲を示す
	便器:取外し再取付 (設備工事)



A-A断面図 S=1:10

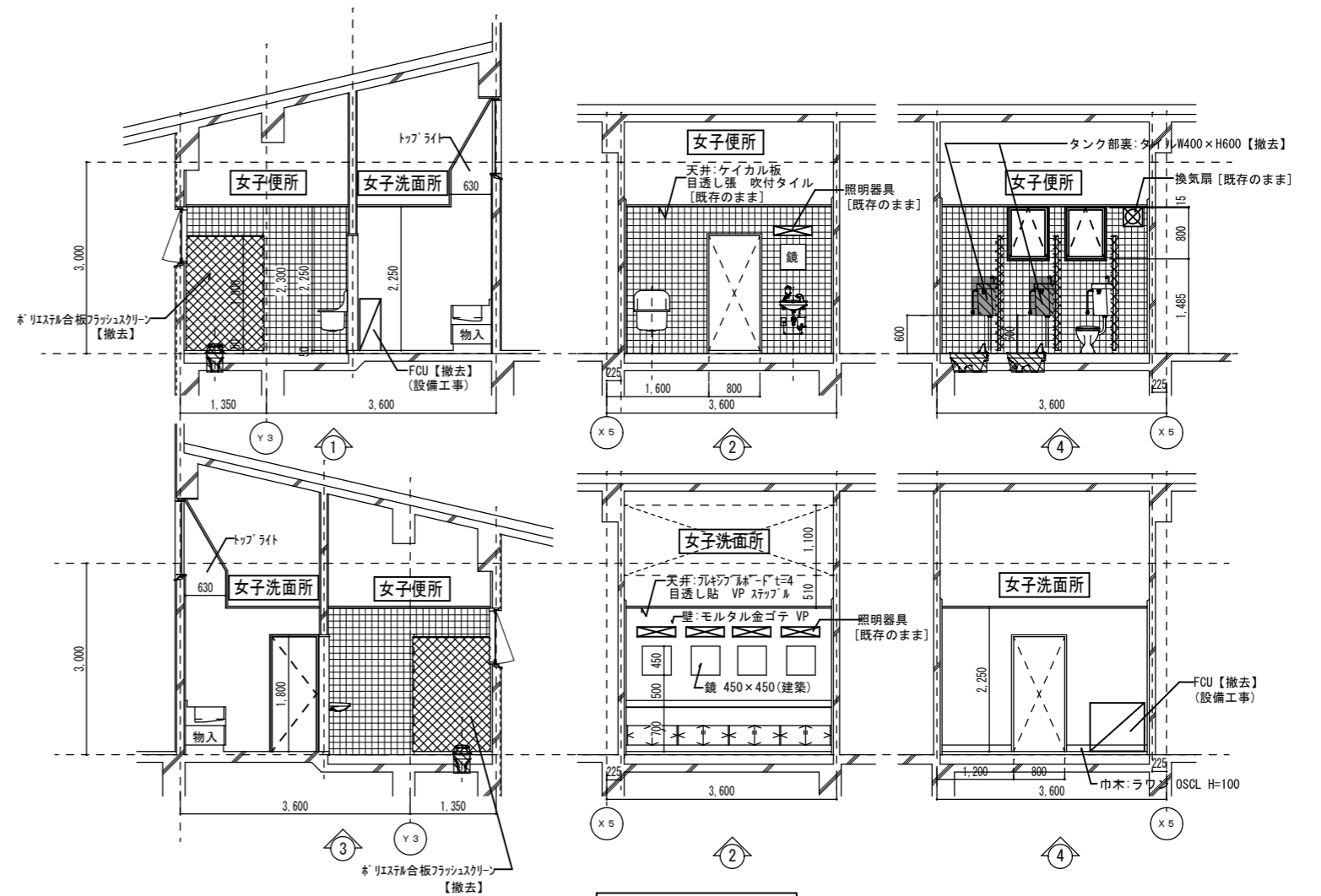
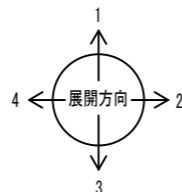
a. 詳細図 S=1:1








2階便所(女子) 平面詳細図 S=1:20

改修前



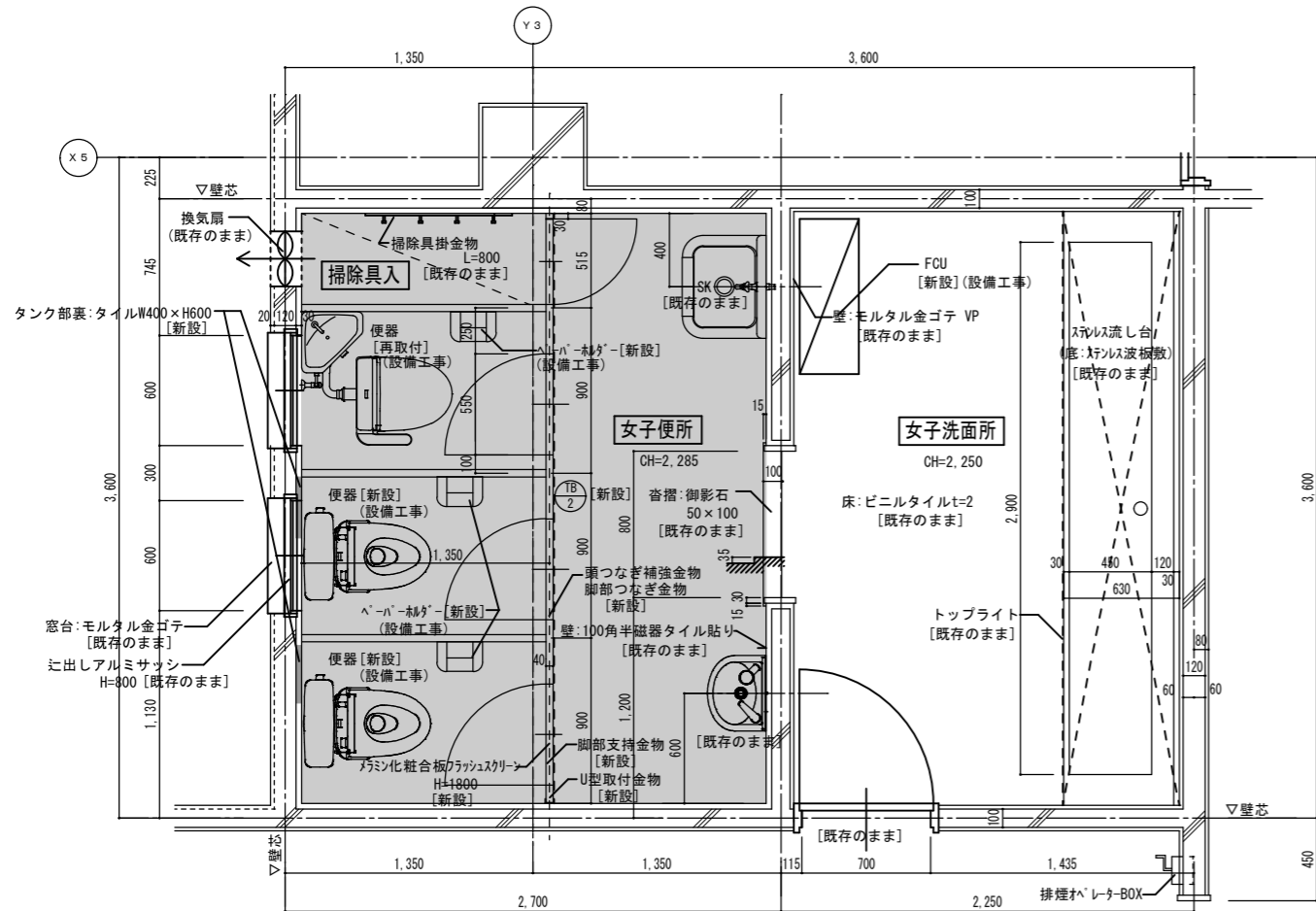
2階便所(女子) 展開図 S=1:50

改修前

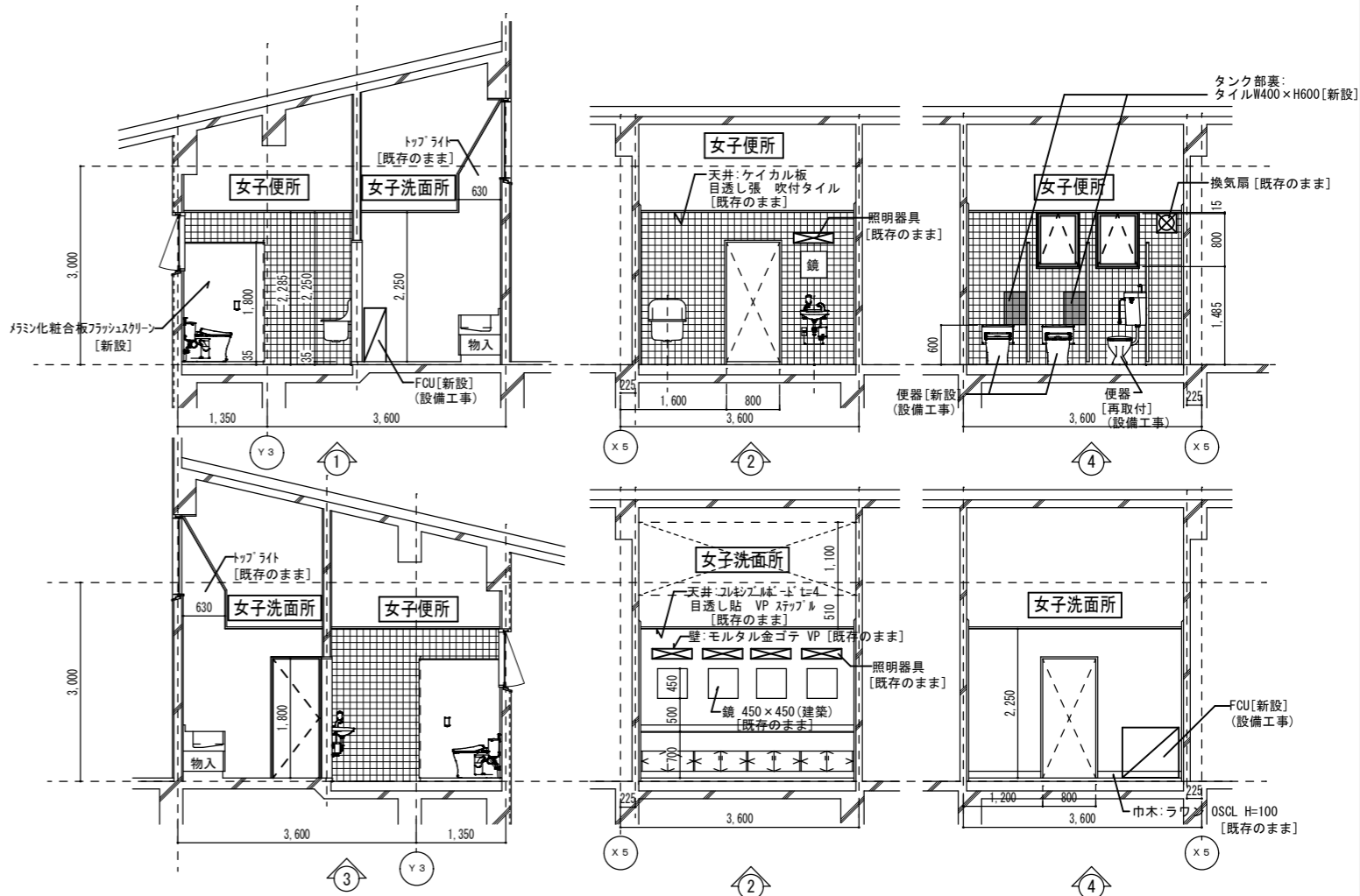
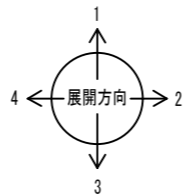
凡 例	
	壁・タック裏タイル撤去 (W400×H600)
	撤去範囲を示す (設備工事)
	撤去範囲を示す (建築工事)

記 号	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SP C2</div> 2階トイレブース:片開き両面フラッシュ扉
形状・寸法	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">撤 去</div> <p style="text-align: center;">笠木: ステンレス角パイプ 40 x 15</p> <p style="text-align: center;">3枚</p> <p style="text-align: center;">1,800</p> <p style="text-align: center;">1,200</p> <p style="text-align: center;">L型金物</p> </div> <p style="text-align: right;">※四方アルミエッジ付</p>
使用箇所	本館 女子便所
数量	1
見込	見込: 40
仕上	表面材: ポリエステル合板
ガラス	-
金物	付属金物一式
改修内容	撤去

※トイレブースと壁取合部は、L型金物の撤去に伴い
壁仕上材(100角磁器タイル)の撤去を行う。計:20枚程度



2階便所(女子) 平面詳細図
改修後



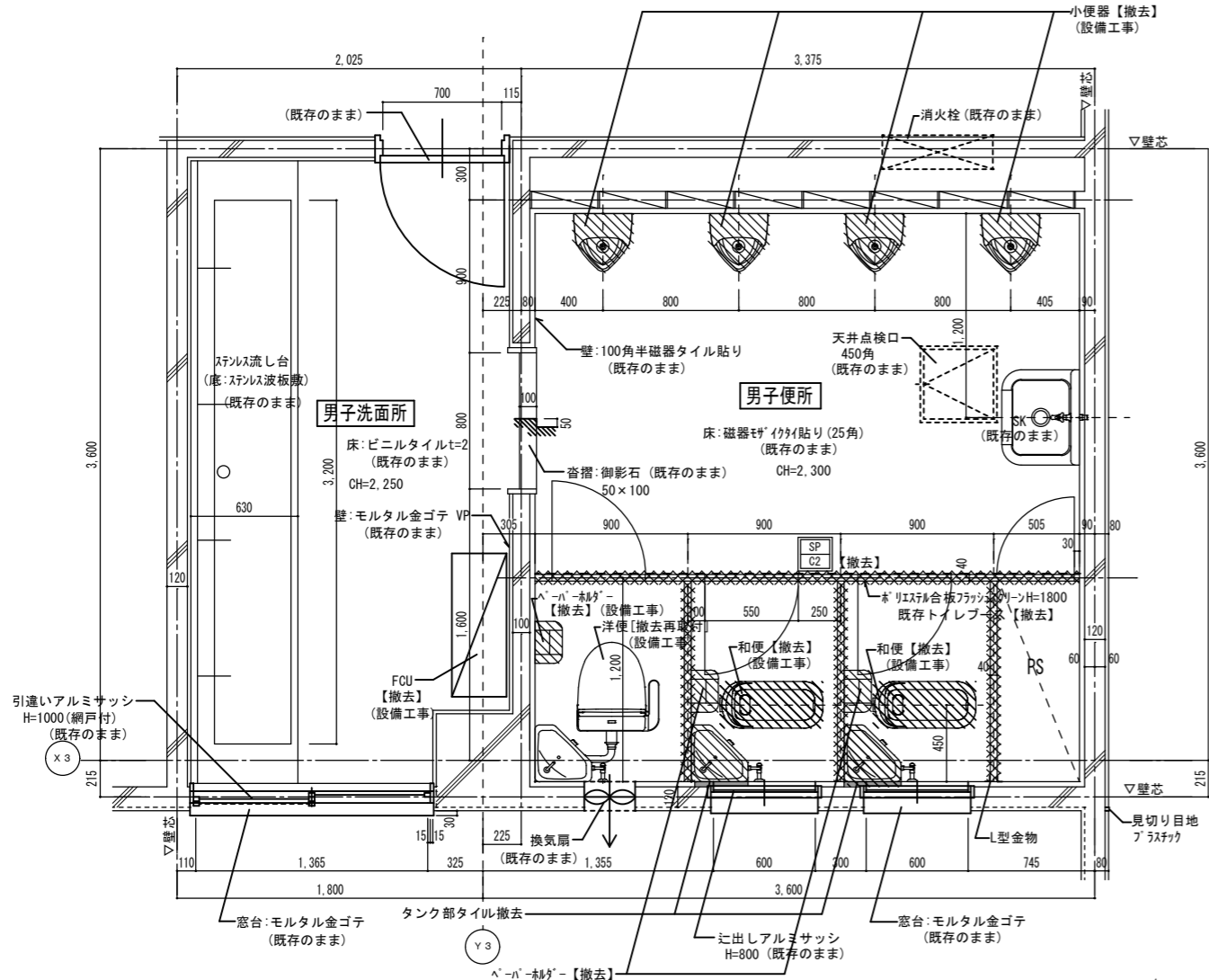
2階便所(女子) 展開図
改修後

凡例

	壁：タンク裏タイル新設範囲を示す (W400×H600)
	床：セフレベリックt=13.0の上 長尺塩ビシートt=2.0(防汚防滑) 新設範囲を示す

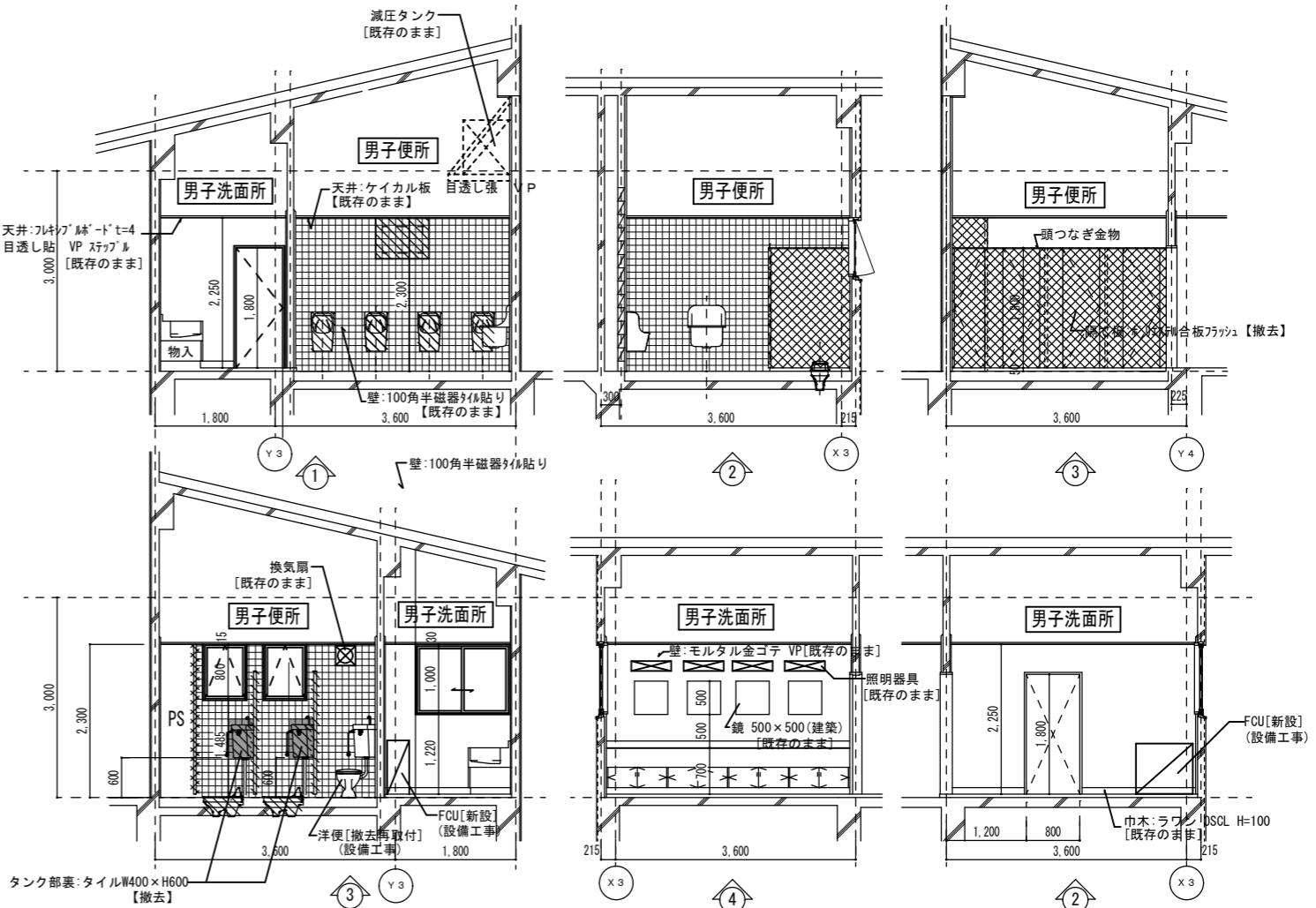
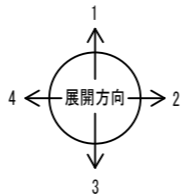
記 号	2階トイレブース：片開き両面フラッシュ扉
形状・寸法	<p>※四方アルミエッジ付</p>
使用箇所	本館 女子便所
数量	1 見込：40 扉厚：-
仕 上	表面材：メラミン化粧合板
ガ ラ ス	-
金 物	付属金物一式
改 修 内 容	新設 巾木タイプ

※トイレブースと壁取合部は、L型金物の撤去に伴い
壁仕上材(100角磁器タイル)の新設を行う。計：20枚程度



2階便所(男子) 平面詳細図

改修前



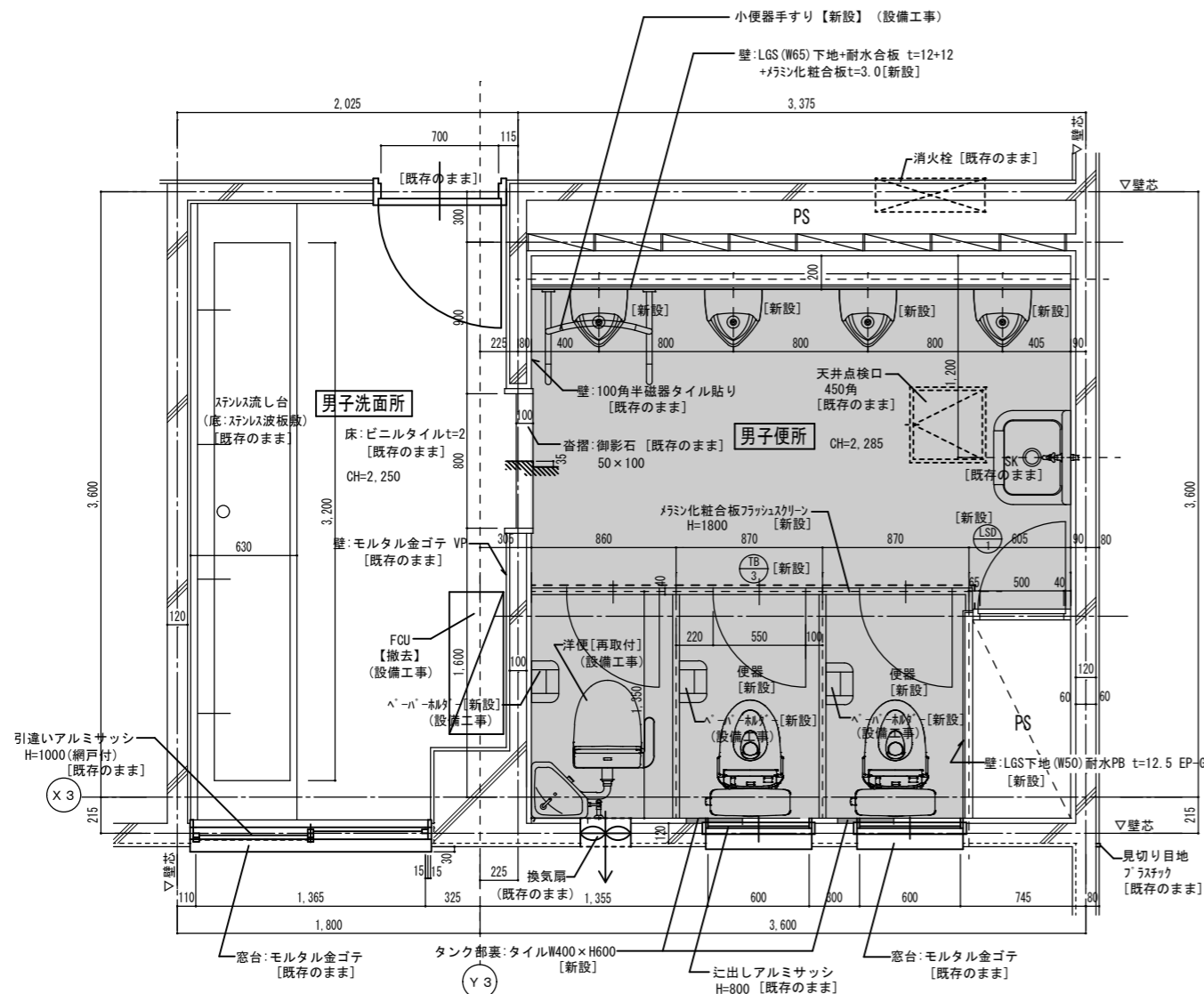
2階便所(男子) 展開図

S=1:50

改修前

記 号	2階トイレブース:片開き両面フラッシュ扉	
	SP C2	
形状・寸法	撤 去	
	<p>笠木: ステンレス角パイプ 40 x 15</p> <p>3枚</p> <p>1,200</p> <p>1,800</p> <p>50</p> <p>L型金物</p>	
使用箇所	本館 男子便所	
数量	見込	1 見込: 40 扉厚: -
仕 上	表面材: ポリエステル合板	
ガ ラ ス	-	
金 物	付属金物一式	
改 修 内 容	撤去	

※トイレブースと壁取合部は、L型金物の撤去に伴い
壁仕上材(100角磁器タイル)の撤去を行う。計:16枚程度

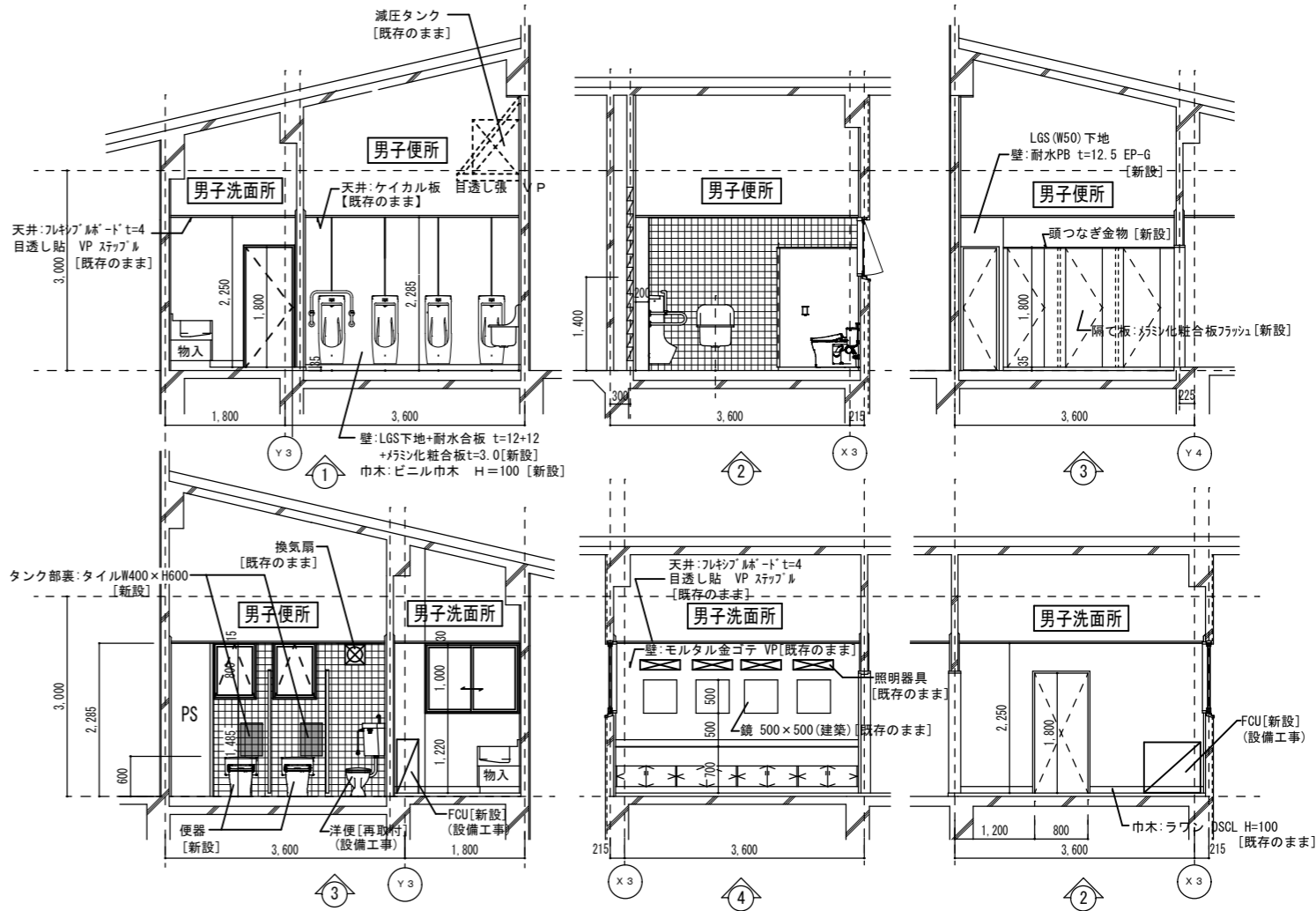


2階便所(男子) 平面詳細図 S=1:20

改修後

凡例

	壁・タンク裏タイル新設範囲を示す (W400×H600)
	床:ビニルタイル t=13.0の上 長尺塩ビシート t=2.0 (防汚防滑) 新設範囲を示す



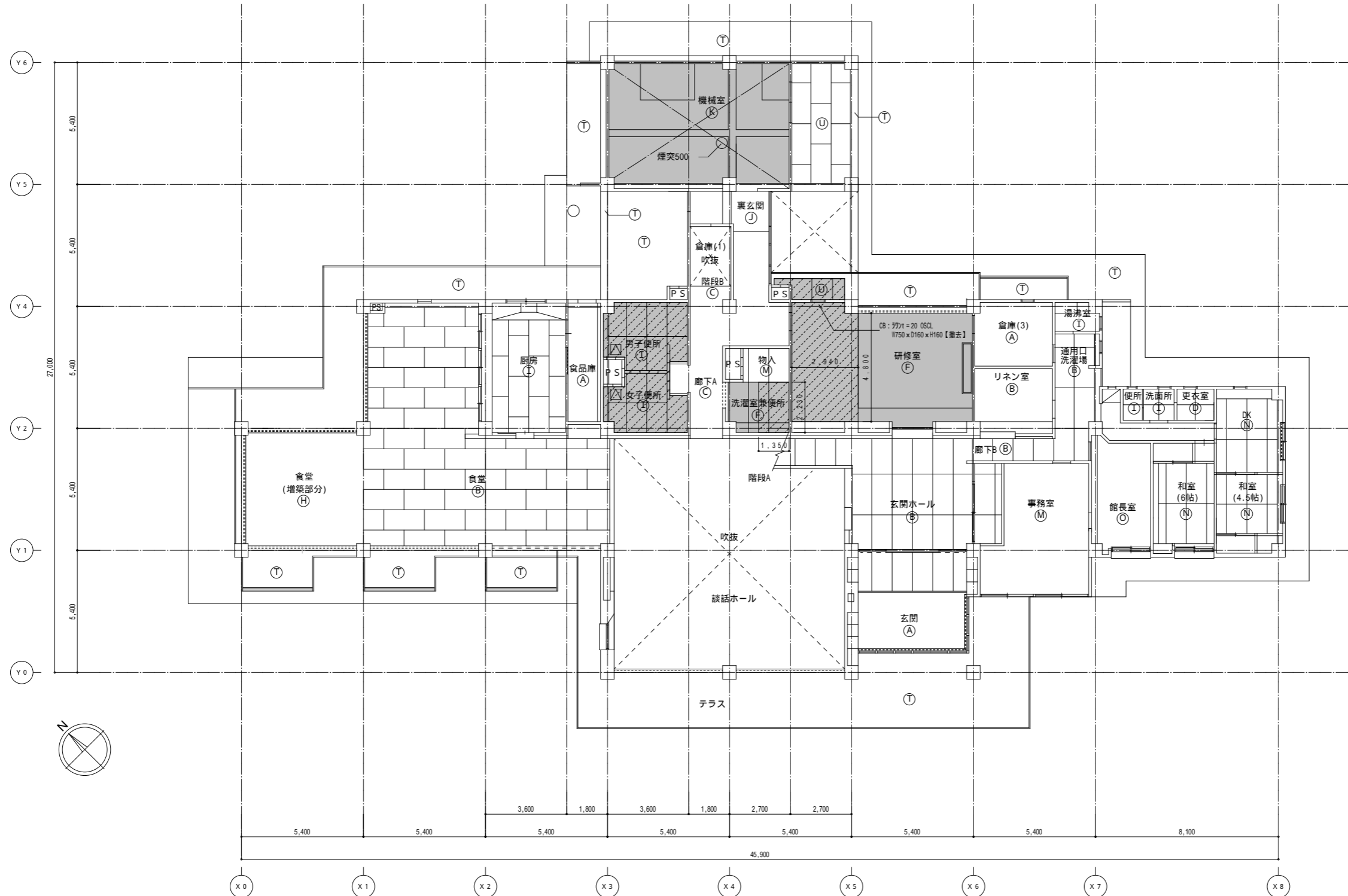
2階便所(男子) 展開図 S=1:50

改修後

記号	片開き軽量スチールフラッシュドア
形状・寸法	
使用箇所	本館 男子便所 PS
数量	1 見込: 60
仕上	SOP
ガラス	-
金物	付属金物一式
改修内容	新設

記号	2階トイレブース:片開き両面フラッシュ扉
形状・寸法	
使用箇所	本館 男子便所
数量	1 見込: 40 扉厚: -
仕上	表面材:メラミン化粧合板
ガラス	-
金物	付属金物一式
改修内容	新設 巾木タイプ

※トイレブースと壁取合部は、L型金物の撤去に伴い 壁仕上材(100角磁器タイル)の新設を行う。計:16枚程度



記号	天井仕上
(A)	合板型枠コンクリート打放しリシン吹付【既存のまま】
(B)	合板貼り目透し貼 OSCL【既存のまま】
(C)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地VP【既存のまま】
(D)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地ビニルクロス貼【既存のまま】
(E)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地ジュラクサテン吹付【既存のまま】
(F)	寒冷紗貼プラスターボードt=9 VP【一部撤去】
(G)	ケイカル板【既存のまま】
(H)	ジブトーン【既存のまま】
(I)	フレキシブルボードt=4 目透し張 VP【一部撤去】
(J)	モルタル金ゴテ VP【既存のまま】
(K)	コンクリート打放し【既存のまま】
(L)	GB-R (VP塗: 白・グレー)【既存のまま】
(M)	プラスターボードt=9【既存のまま】
(N)	プラスターボードt=9 VP【既存のまま】
(O)	プラスターボードt=9 布クロス貼【既存のまま】
(P)	合板t=3【既存のまま】
(Q)	リシンカキ落し【既存のまま】
(R)	ケイカル板 目透し張 VP【既存のまま】
(S)	ケイカル板 目透し張 吹付タイル【既存のまま】
(T)	コンクリート打放し リシン吹付【既存のまま】
(U)	フレキシブルボードt=4 リシン吹付【一部撤去】
○	カラ・鋼板ルーフデッキt=0.6【取外し・再取付】
CB	カ・テンBOX【一部撤去】
△	天井点検口 450角 アルミ製【一部撤去】
〰〰〰	天井材撤去範囲を示す
■	内部天井 仕上改修範囲を示す

1階天井伏図

S=1:100



記号	天井仕上
(A)	合板型枠コンクリート打放しリシン吹付【既存のまま】
(B)	合板貼り目透し貼 OSCL【既存のまま】
(C)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地VP【既存のまま】
(D)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地ビニルクロス貼【既存のまま】
(E)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地ジュラサテン吹付【既存のまま】
(F)	GB-Rt=9.5+EP-G塗装【一部新設】
(G)	ケイカル板【既存のまま】
(H)	ジブトーン【既存のまま】
(I)	フレキシブルボードt=4 目透し張 VP【既存のまま】
(J)	モルタル金ゴテ VP【既存のまま】
(K)	劣化部補修+EP-G塗装【新設】
(L)	GB-R (VP塗: 白・グレー)【既存のまま】
(M)	プラスターボードt=9【既存のまま】
(N)	プラスターボードt=9 VP【既存のまま】
(O)	プラスターボードt=9 布クロス貼【既存のまま】
(P)	合板t=3【既存のまま】
(Q)	リシンカキ落し【既存のまま】
(R)	ケイカル板 目透し張 VP【既存のまま】
(S)	ケイカル板 目透し張 吹付タイル【既存のまま】
(T)	コンクリート打放し リシン吹付【既存のまま】
(U)	フレキシブルボードt=4 リシン吹付【既存のまま】
(○)	カラ・鋼板ルーフデッキt=0.6【取外し・再取付】
(W)	下地調整+EP-G塗装【新設】
(X)	下地調整+外装薄塗材 S i【新設】
(Y)	フレキシブルボード t = 4 目透し張 + E P - G 塗装【新設】
(Z)	フレキシブルボード t = 4 + 外装薄塗材 S i【一部新設】
CB	カ・テンBOX【新設】
▽	天井点検口 450角 アルミ製【新設】
天井材新設範囲を示す	
内部天井・外部軒天 仕上改修範囲を示す	

1 階天井伏図

S=1:100



記号	天井仕上
(A)	合板型枠コンクリート打放しリシン吹付【既存のまま】
(B)	合板貼り目透し貼 OSCL【既存のまま】
(C)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地VP【既存のまま】
(D)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地ビニルクロス貼【既存のまま】
(E)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地ジュクサテン吹付【既存のまま】
(F)	寒冷紗貼プラスターボードt=9 VP【一部撤去】
(G)	ケイカル板【既存のまま】
(H)	ジブトーン【既存のまま】
(I)	フレキシブルボードt=4 目透し張 VP【既存のまま】
(J)	モルタル金ゴテ VP【既存のまま】
(K)	コンクリート打放し【既存のまま】
(L)	GB-R (VP塗: 白・グレー)【既存のまま】
(M)	プラスターボードt=9【既存のまま】
(N)	プラスターボードt=9 VP【既存のまま】
(O)	プラスターボードt=9 布クロス貼【既存のまま】
(P)	合板t=3【既存のまま】
(Q)	リシンカキ落し【既存のまま】
(R)	ケイカル板 目透し張 VP【既存のまま】
(S)	ケイカル板 目透し張 吹付タイル【既存のまま】
(T)	コンクリート打放し リシン吹付【既存のまま】
CB	カ・テンBOX【一部撤去】
▽	天井点検口 450角 アルミ製【一部撤去】
////	天井材撤去範囲を示す
■	内部天井 仕上改修範囲を示す

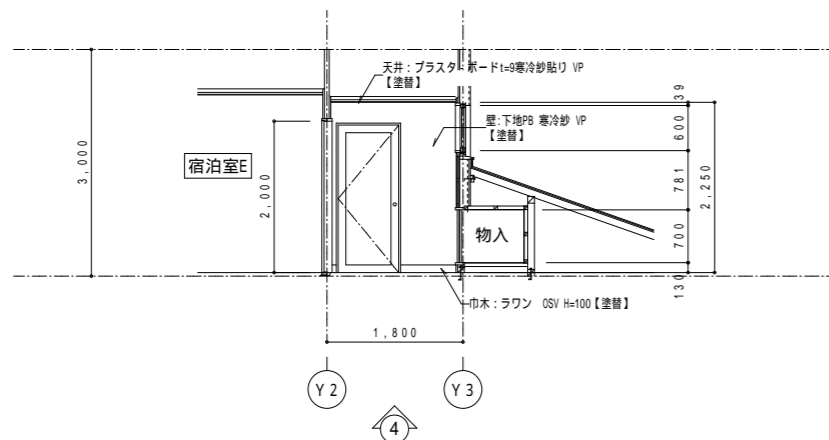
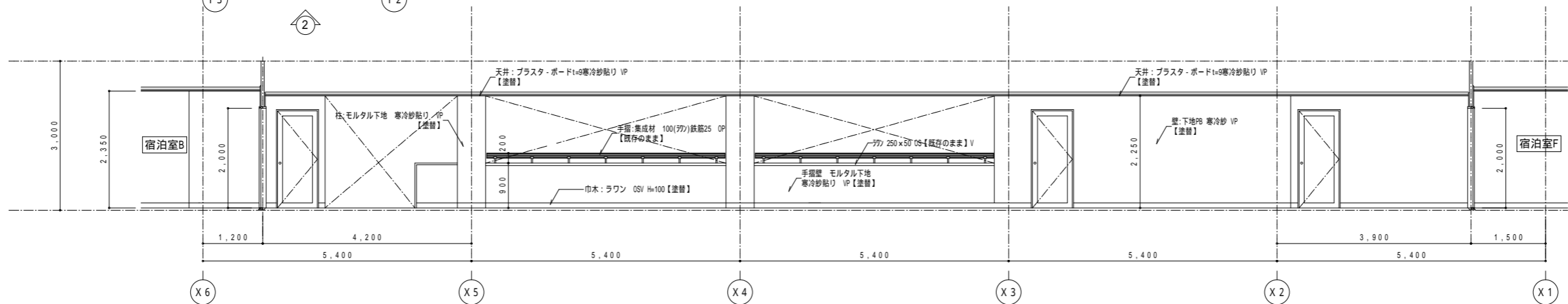
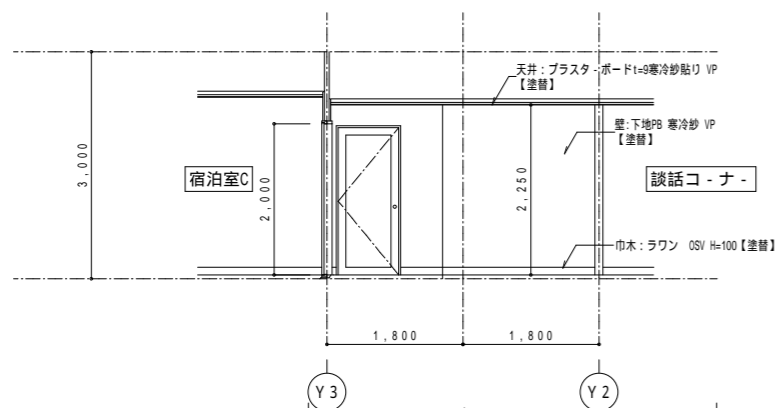
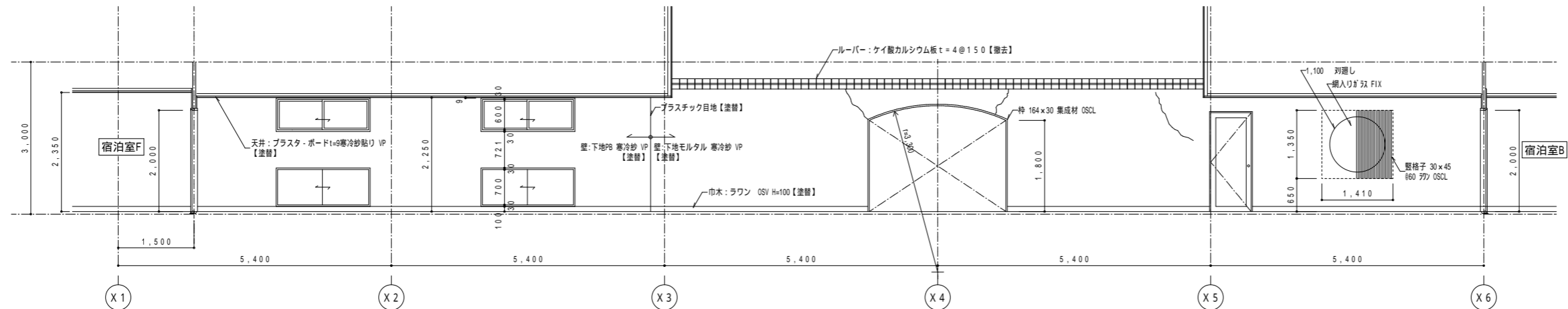
2 階天井伏図

S=1:100

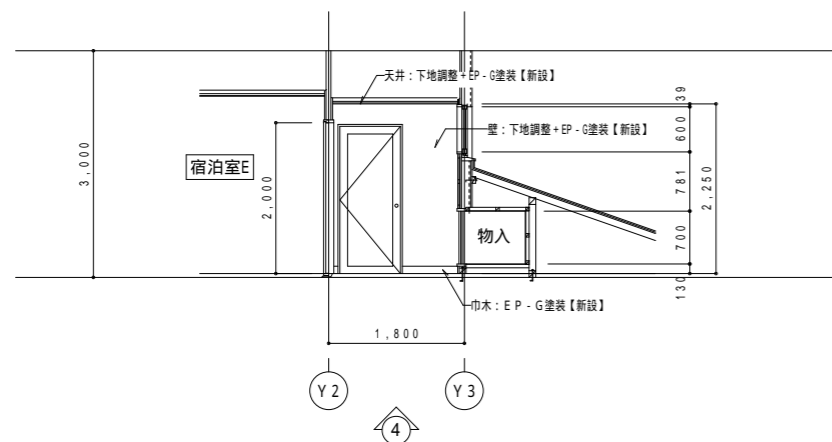
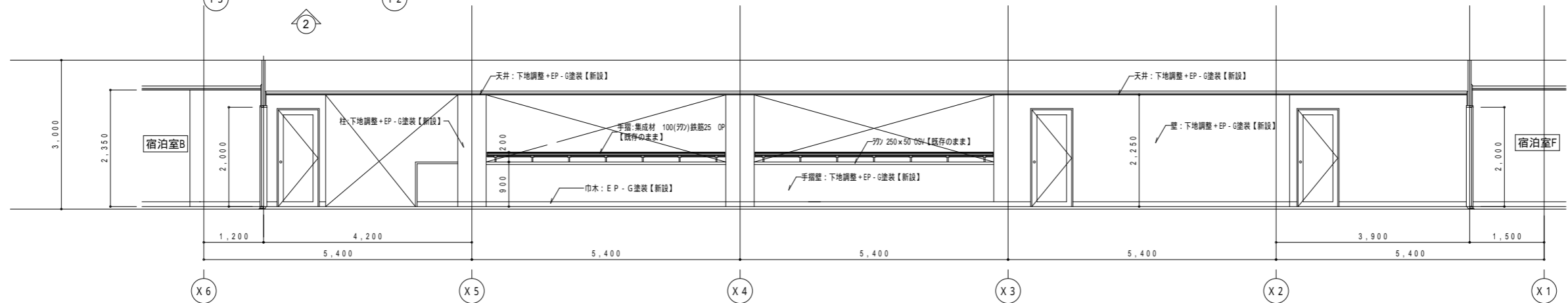
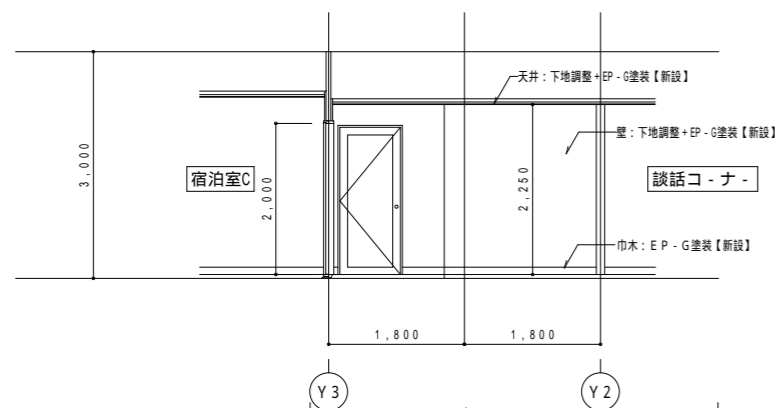
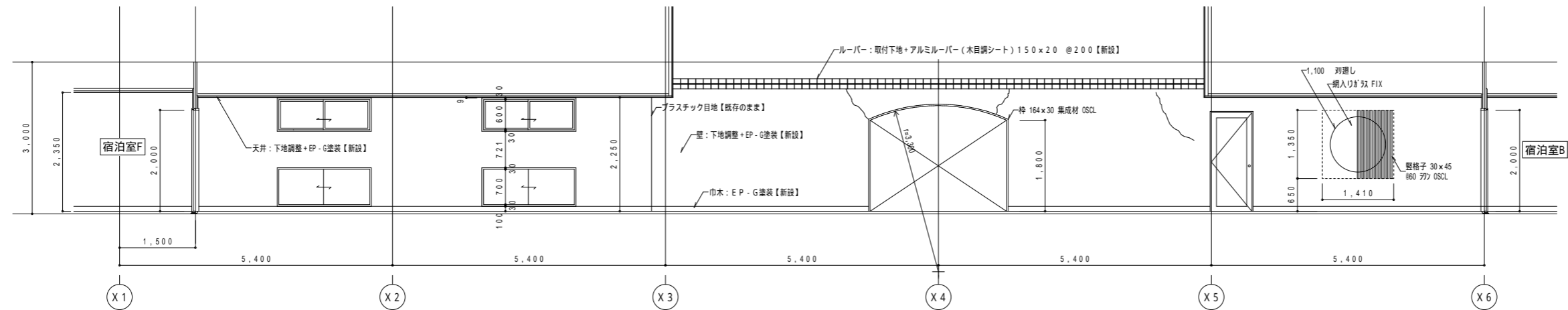


記号	天井仕上
(A)	合板型枠コンクリート打放しリシン吹付【既存のまま】
(B)	合板貼り目透し貼 OSCL【既存のまま】
(C)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地VP【既存のまま】
(D)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地ビニルクロス貼【既存のまま】
(E)	寒冷紗貼GB-Rt=9.5下地ジュラサテン吹付【既存のまま】
(F)	GB-Rt=9.5+EP-G塗装【一部新設】
(G)	ケイカル板【既存のまま】
(H)	ジブトーン【既存のまま】
(I)	フレキシブルボードt=4 目透し張 VP【既存のまま】
(J)	モルタル金ゴテ VP【既存のまま】
(K)	劣化部補修+EP-G塗装【新設】
(L)	GB-R (VP塗: 白・グレー)【既存のまま】
(M)	プラスターボードt=9【既存のまま】
(N)	プラスターボードt=9 VP【既存のまま】
(O)	プラスターボードt=9 布クロス貼【既存のまま】
(P)	合板t=3【既存のまま】
(Q)	リシンカキ落し【既存のまま】
(R)	ケイカル板 目透し張 VP【既存のまま】
(S)	ケイカル板 目透し張 吹付タイル【既存のまま】
(T)	コンクリート打放し リシン吹付【既存のまま】
(U)	フレキシブルボードt=4 リシン吹付【既存のまま】
(V)	カラ・鋼板ルーフデッキt=0.6【取外し・再取付】
(W)	下地調整+EP-G塗装【新設】
(X)	下地調整+外装薄塗材 S i【新設】
(Y)	フレキシブルボード t = 4 目透し張 + E P - G 塗装【新設】
(Z)	フレキシブルボード t = 4 + 外装薄塗材 S i【一部新設】
CB	カ・テンBOX【新設】
▽	天井点検口 450角 アルミ製【新設】
〃	天井材新設範囲を示す
■	内部天井・外部軒天 仕上改修範囲を示す

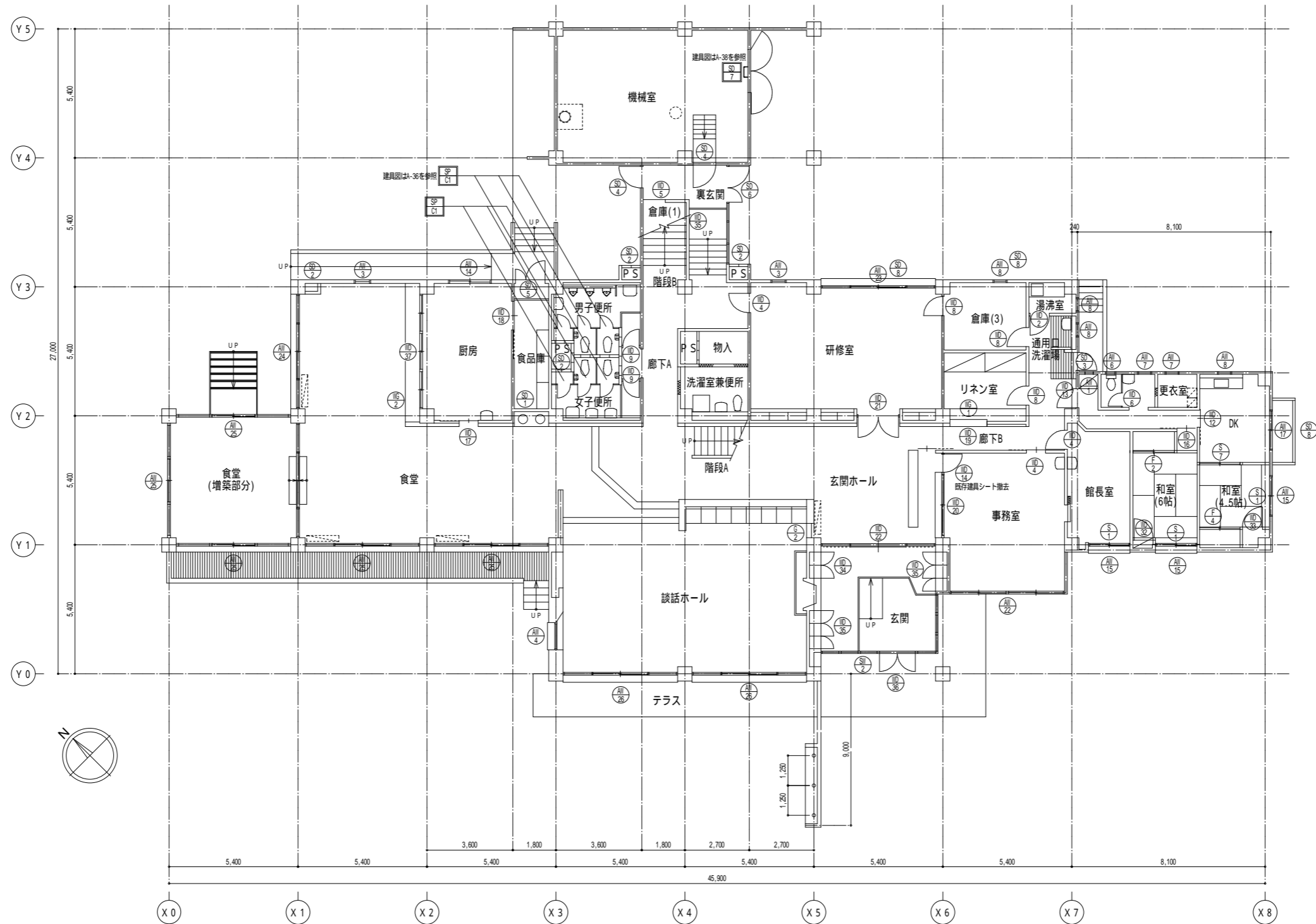
2 階天井伏図 S=1:100



凡例	現況状況	長さ
◀(柱・壁側面)	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)	約3.0m

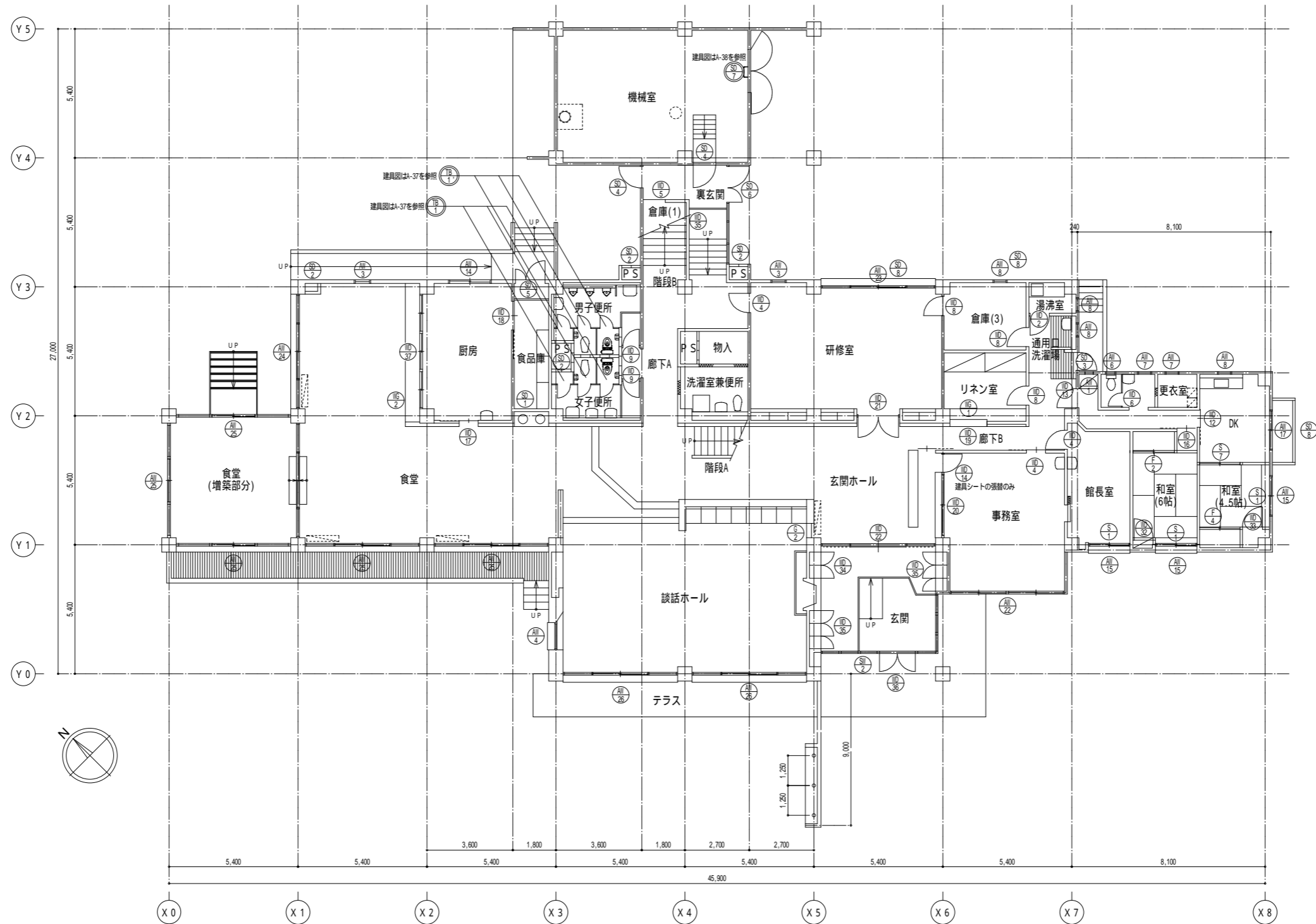


凡例	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)	改修仕様 エポキシ樹脂低圧注入工法	長さ 約3.0m
◀(柱・壁側面)			



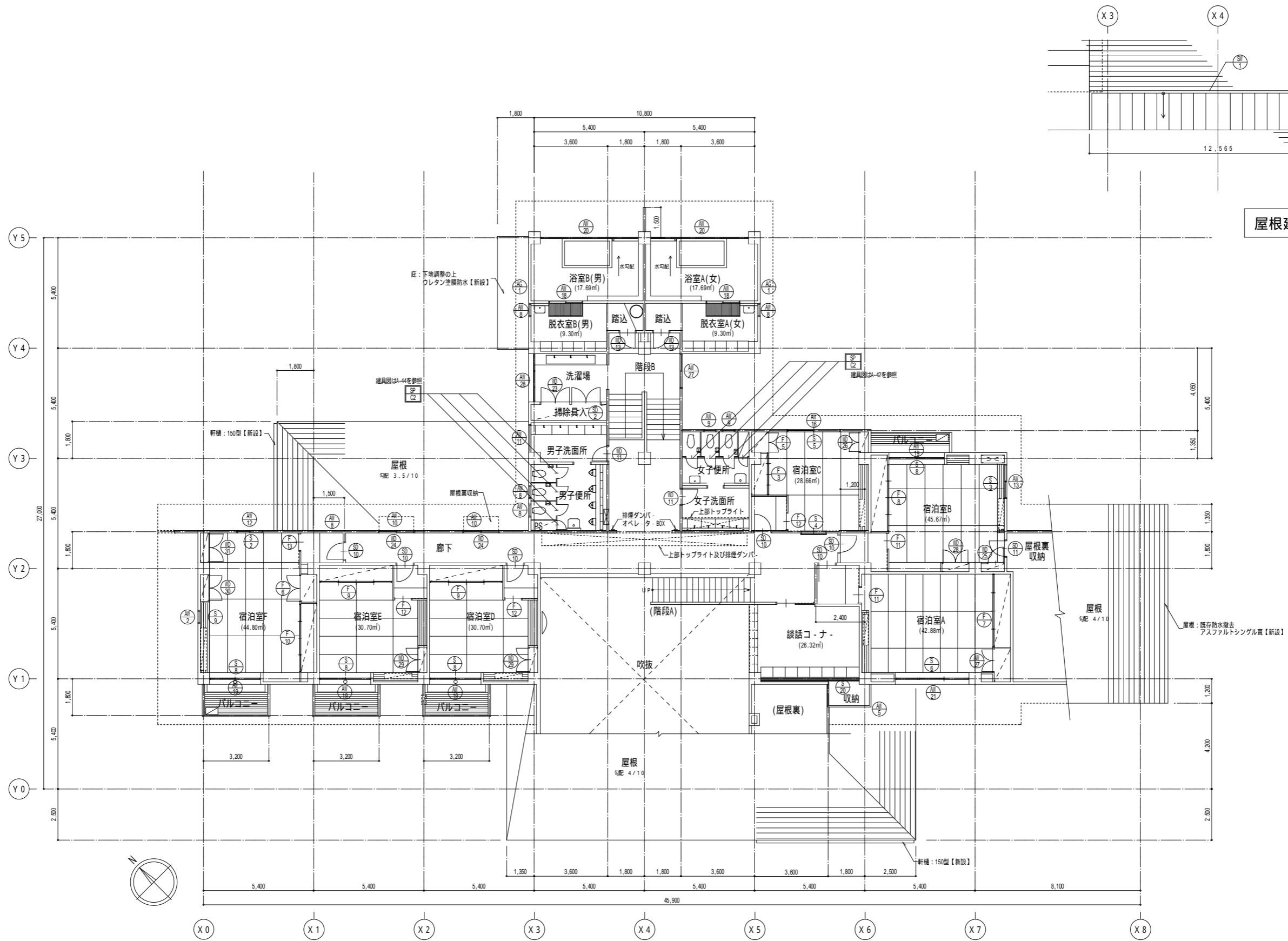
1階建具キープラン図

凡例	
	既存建具を示す
	撤去建具を示す

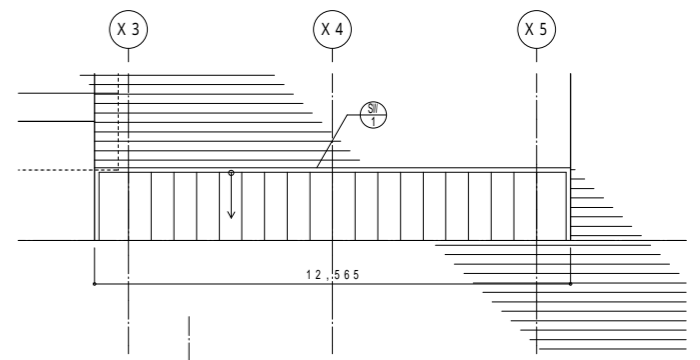


1階建具キープラン図

凡例	
	既存建具を示す
	新設建具を示す

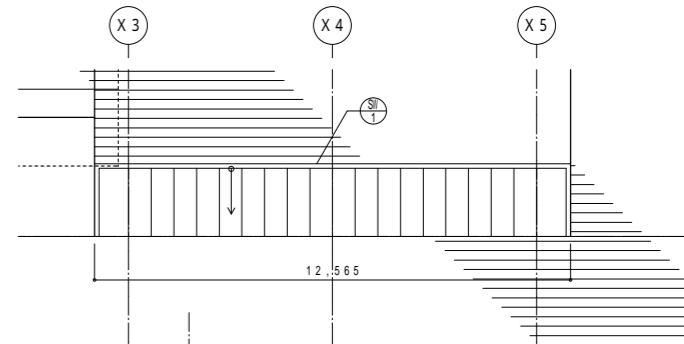
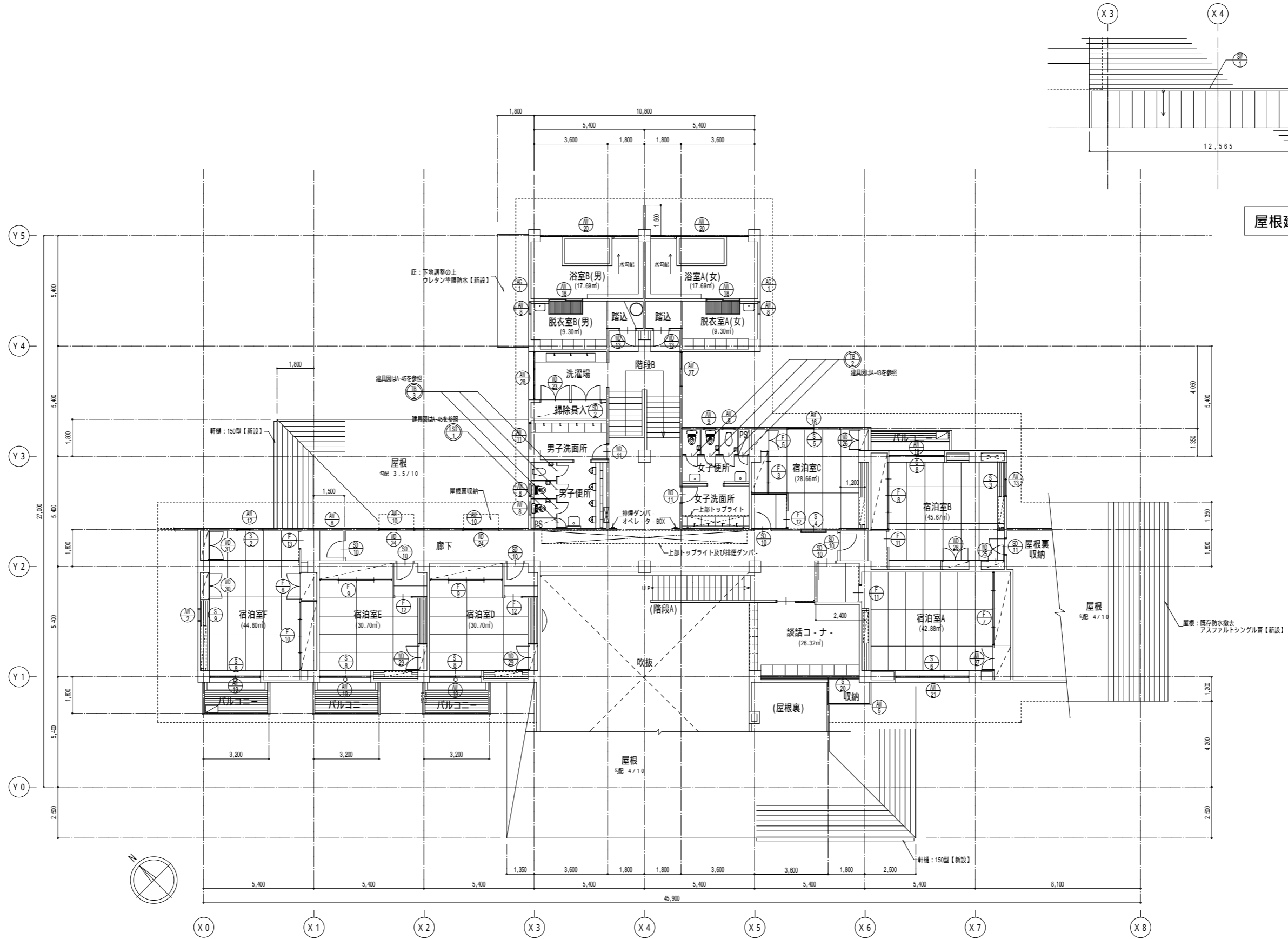


2階建具キープラン図



屋根建具キープラン図

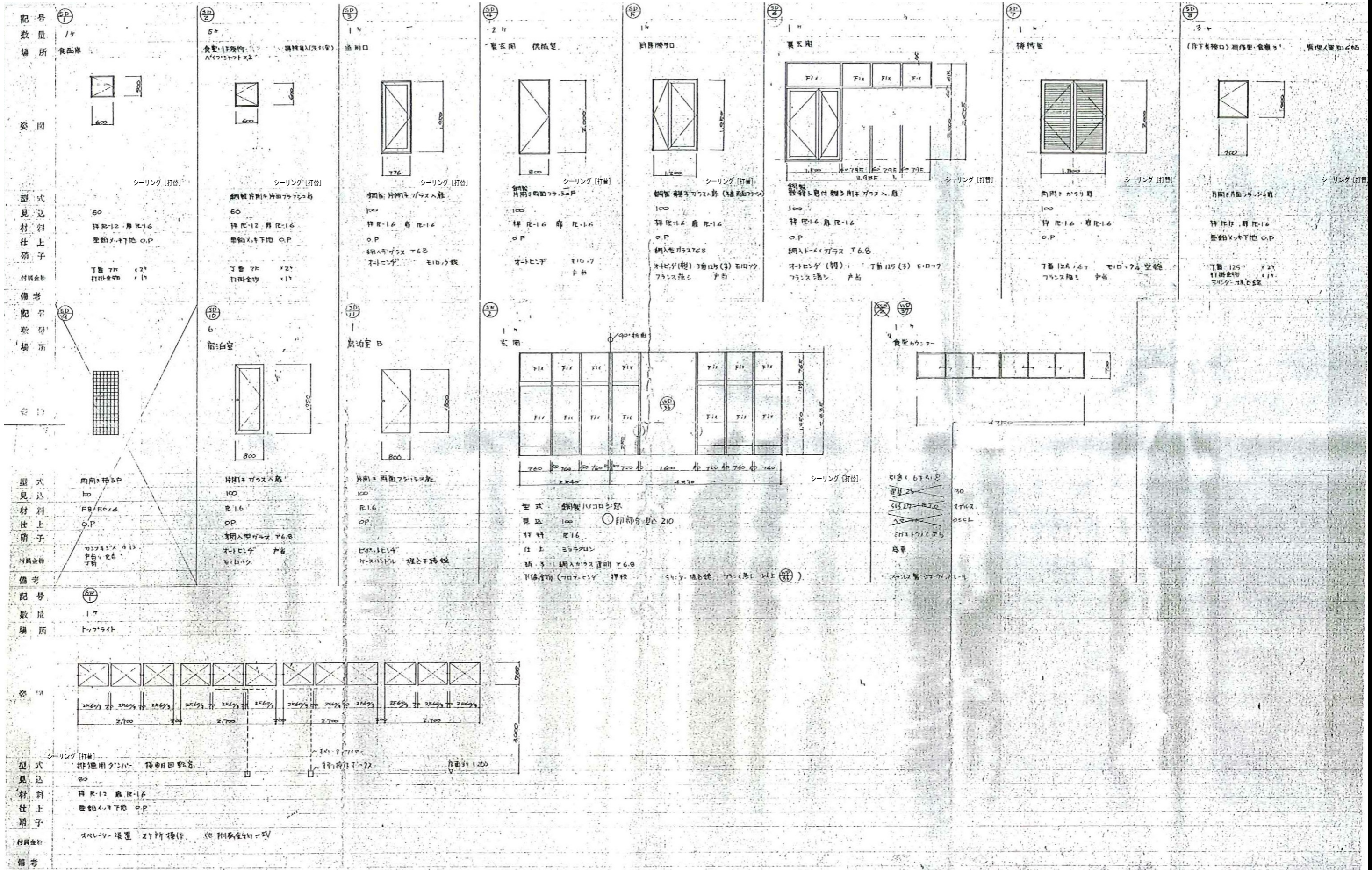
凡例	
	既存建具を示す
	撤去建具を示す



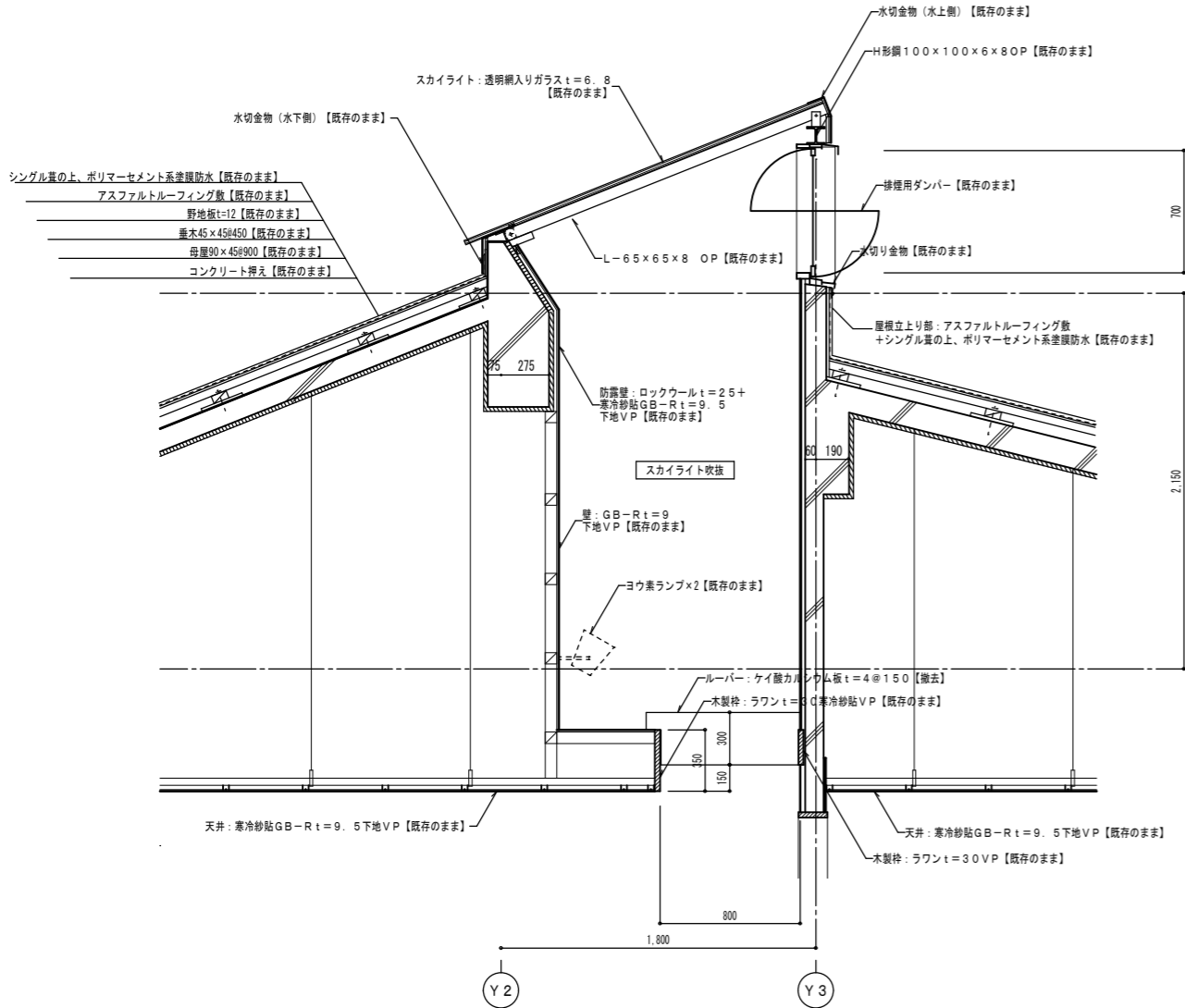
屋根建具キープラン図

2階建具キープラン図

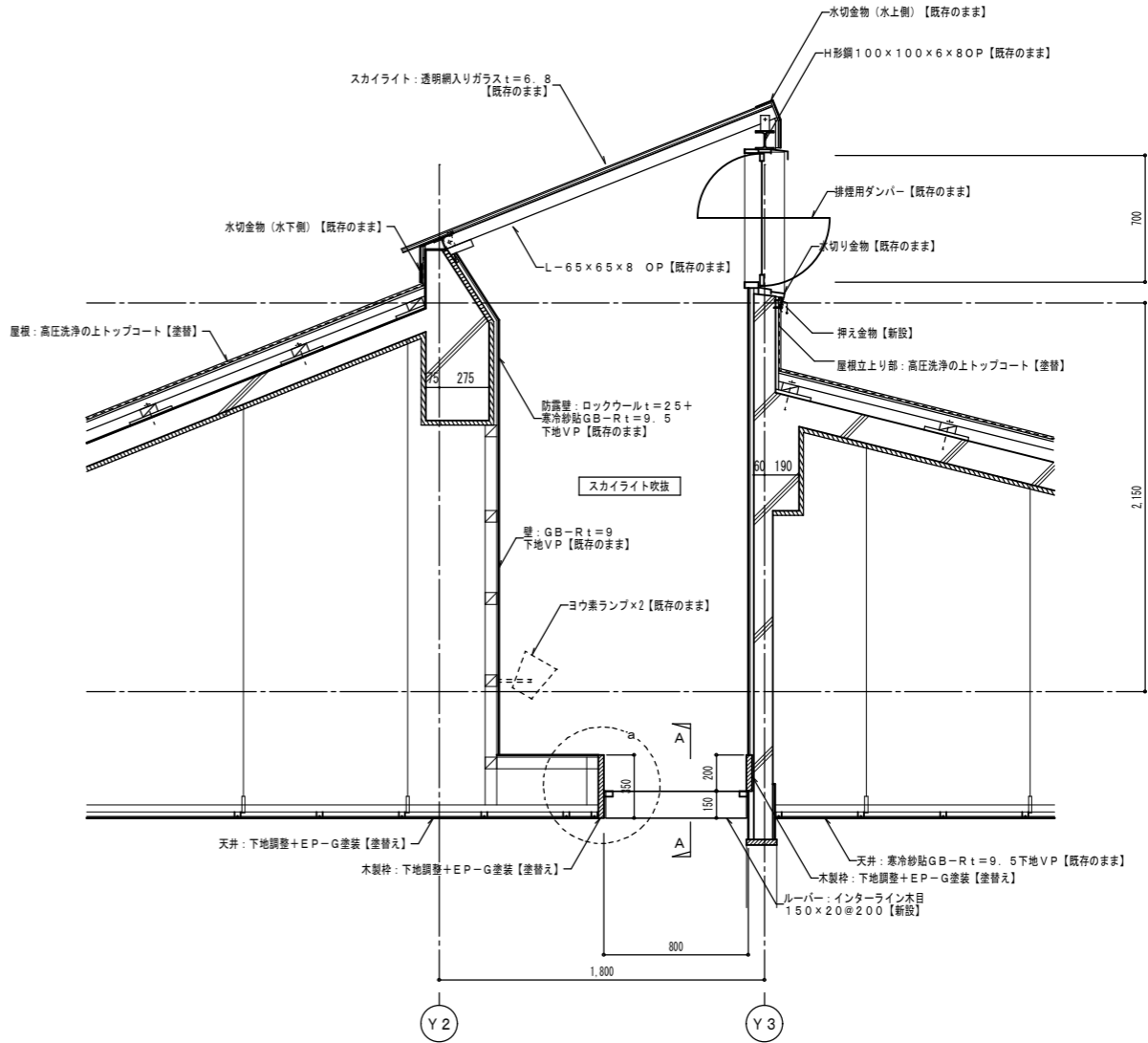
凡例	
	既存建具を示す
	新設建具を示す



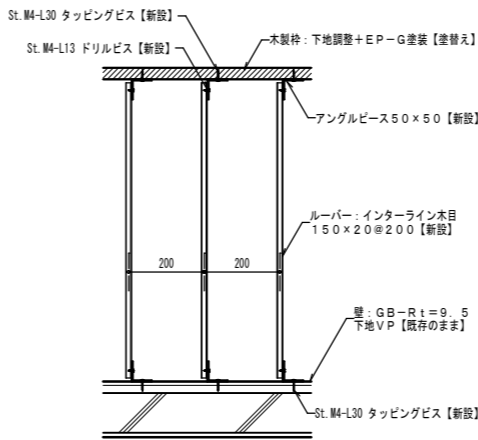
記号	AW1	AW2	AW3	AW4	AW5	AW6	AW7	AW8	AW9	AW10	AW11	AW12	AW13	AW14	AW15	AW16	AW17	AW18
数量	1ヶ	1ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	9ヶ	2ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	3ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ
場所	管理入室(内玄関)	宿泊室F	食堂 研修室	談話ホール	談話コーナー		管理入室(内玄関) 管理入室(3階内泊室)	脱衣室A B 浴室A B 洗面室DK 脱衣室洗面室	2F 男用便所	2F廊下	男用洗面所	宿泊室F	宿泊室B	廊下	浴室A B 管理入室(3階内泊室)	管理入室(2階内泊室)	管理入室(2階内泊室)	浴室A B
図面																		
型式	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓
見込	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
材料	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金
仕上	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート
硝子	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8
付属金物	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式
備考	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)
記号	AW19	AW20	AW21	AW22	AW23	AW24	AW25	AW26	AW27	AW28	AW29	AW30	AW31	AW32	AW33	AW34	AW35	AW36
数量	4ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ
場所	宿泊室B, D, E, F	浴室A B	宿泊室A	管理入室	研修室	食堂												
図面																		
型式	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓
見込	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
材料	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金
仕上	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート
硝子	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8
付属金物	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式
備考	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)
記号	AW37	AW38	AW39	AW40	AW41	AW42	AW43	AW44	AW45	AW46	AW47	AW48	AW49	AW50	AW51	AW52	AW53	AW54
数量	5ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ
場所	食堂	談話ホール	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室	階段室
図面																		
型式	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓	縦引窓
見込	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
材料	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金	アルミニウム合金
仕上	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート	ガラスコート
硝子	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8	網入透明ガラス 6.8
付属金物	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式
備考	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)	網戸付 (可動ステンレス網)



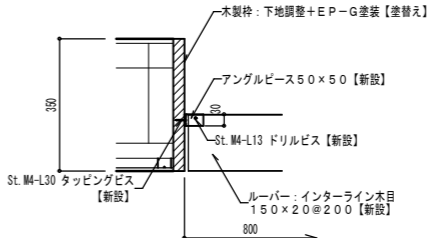
スカイライト吹抜け廻り詳細図 改修前 S=1:20



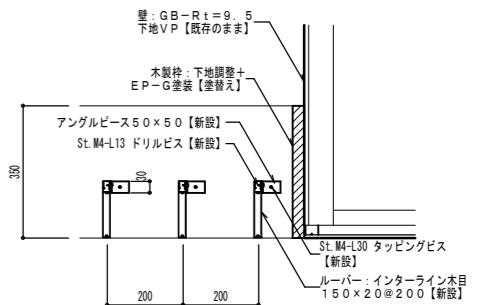
スカイライト吹抜け廻り詳細図 改修前 S=1:20



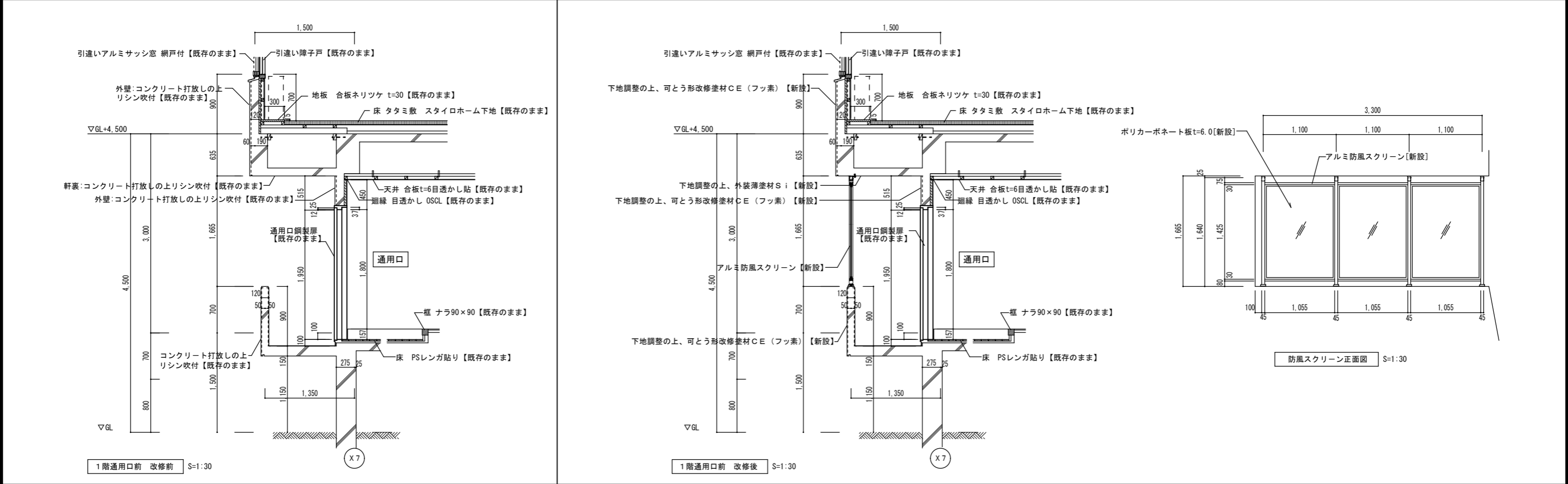
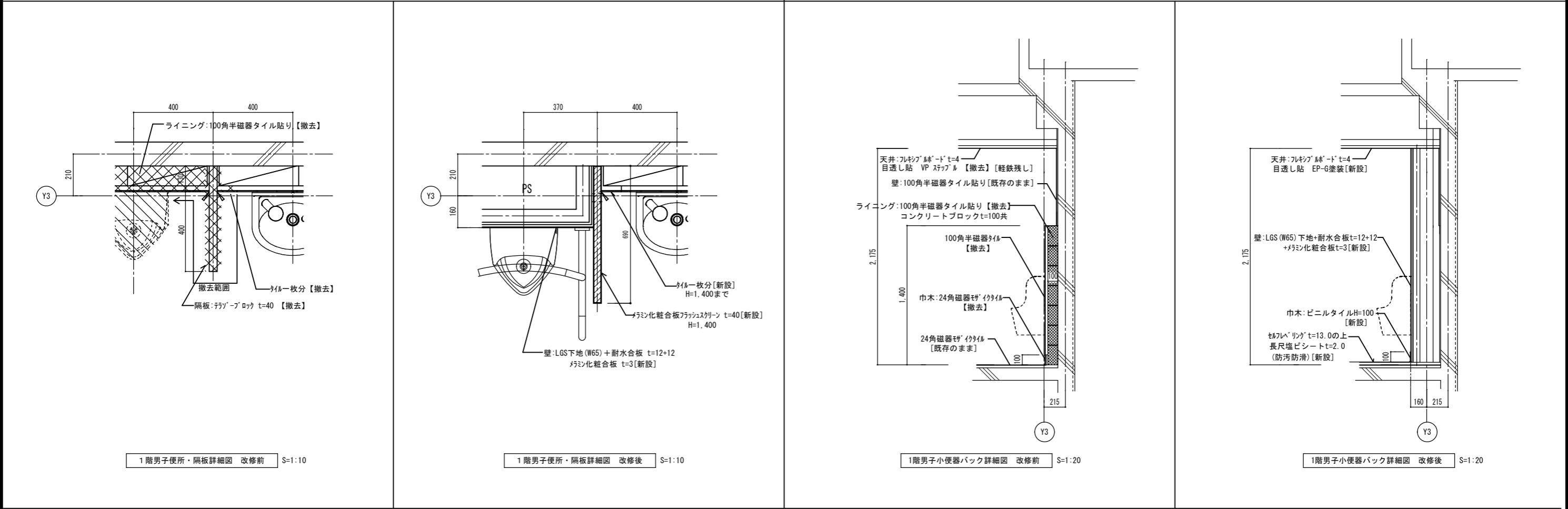
ルーバー平面詳細図 S=1:10

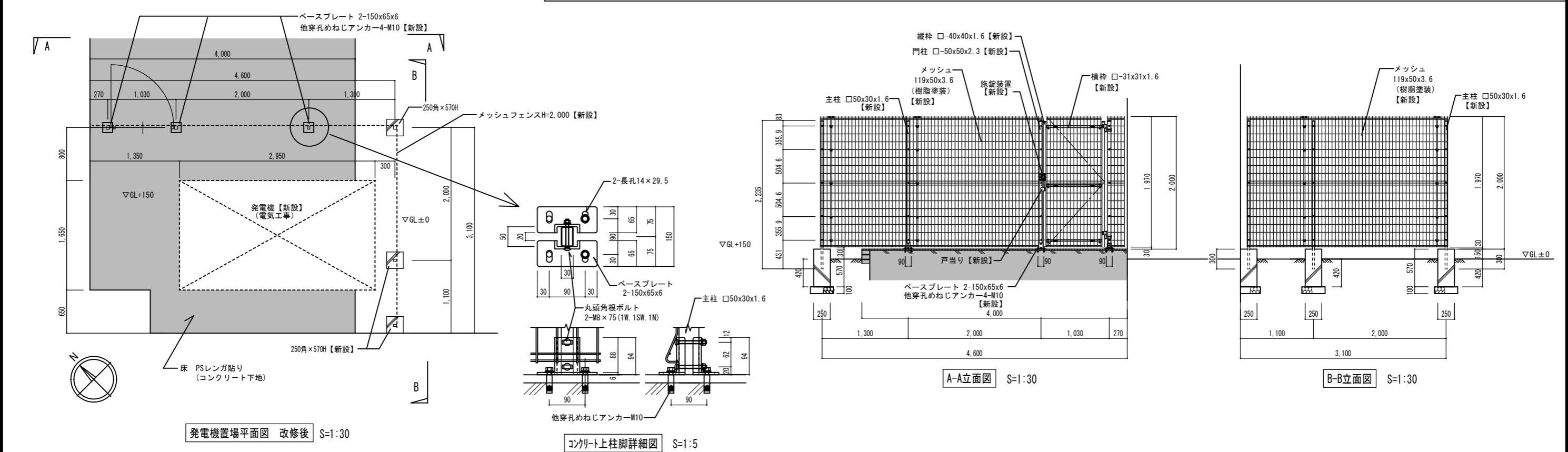
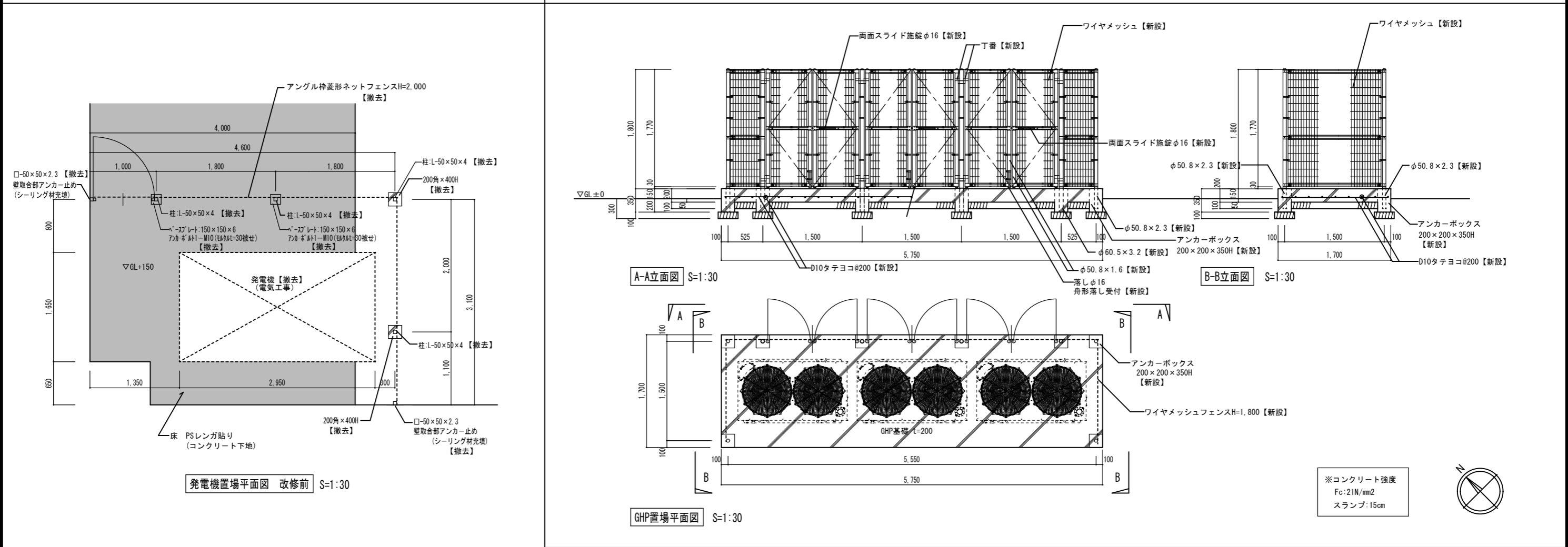


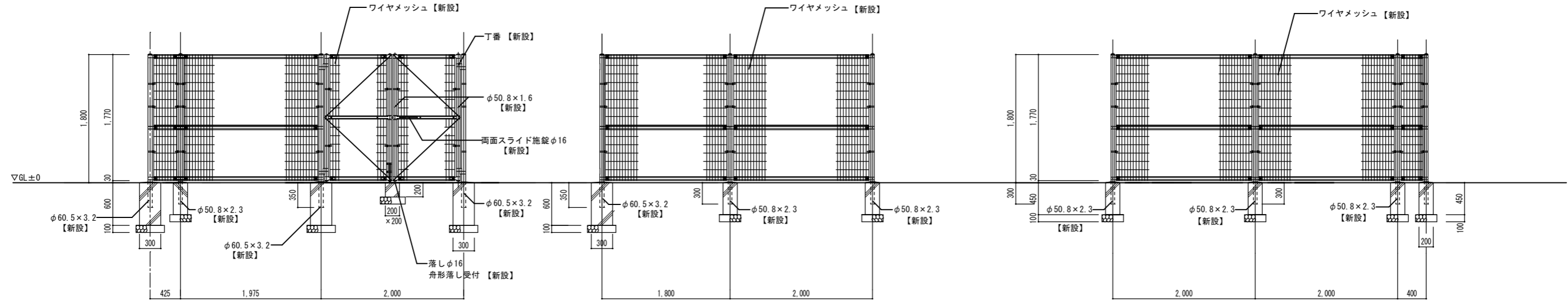
a部詳細図 S=1:10



A-A断面詳細図 S=1:10



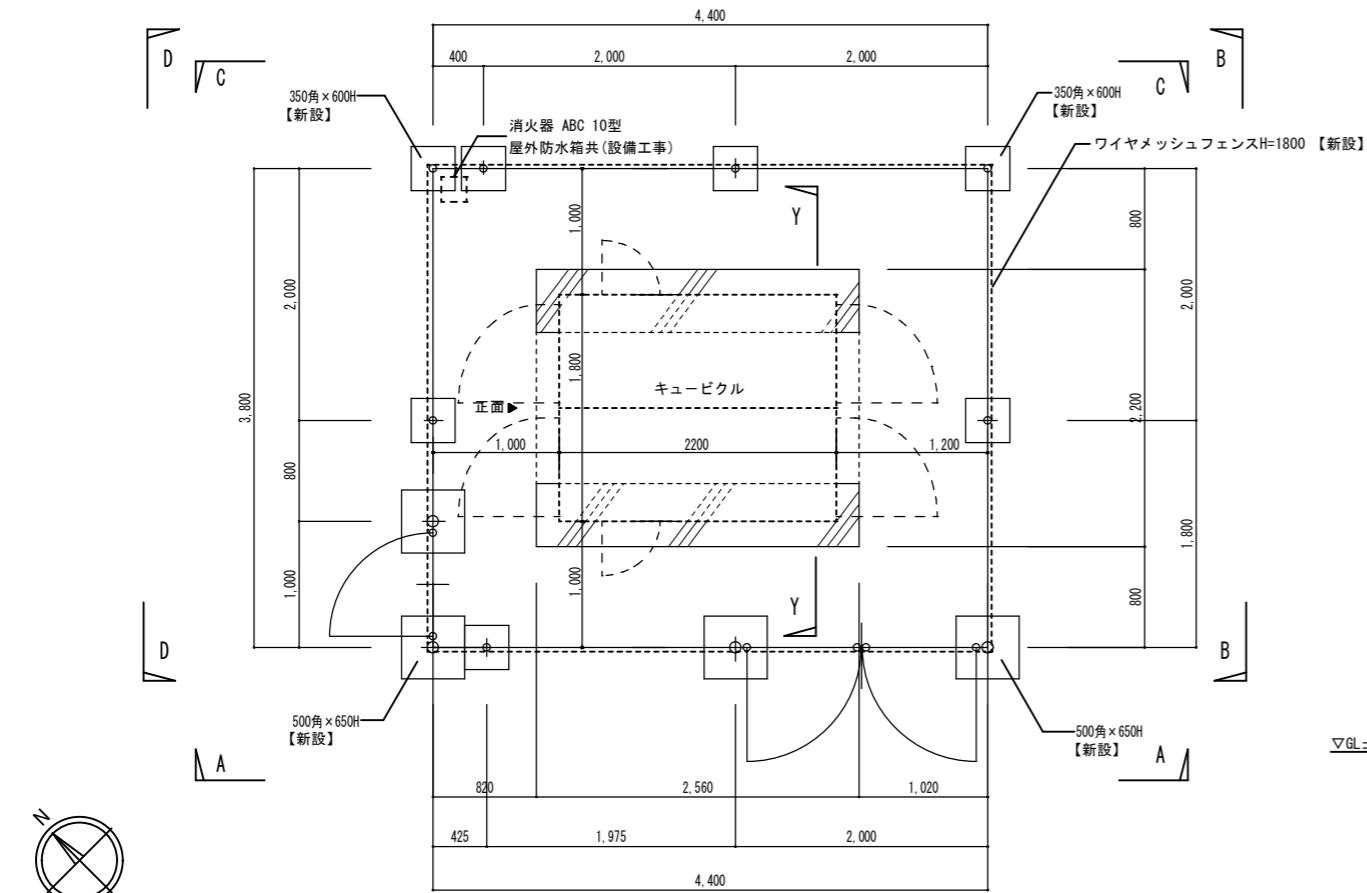




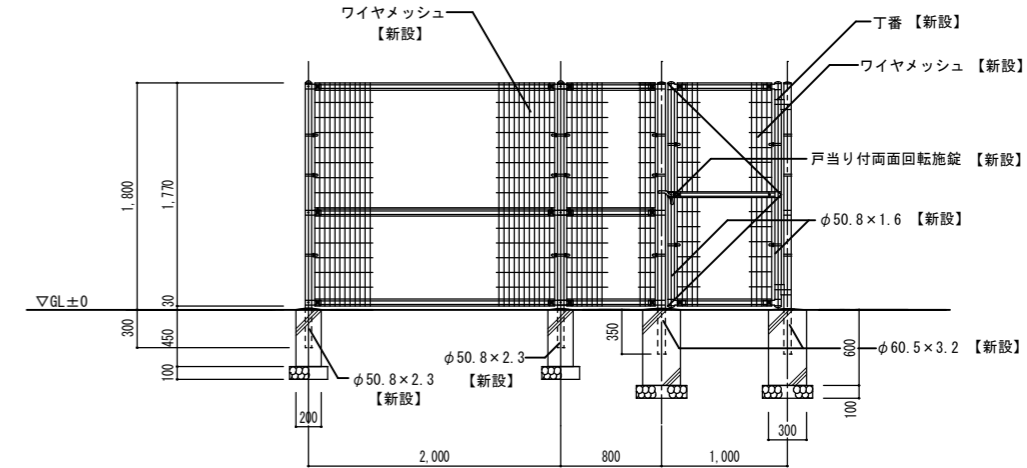
A-A立面図 S=1:30

B-B立面図 S=1:30

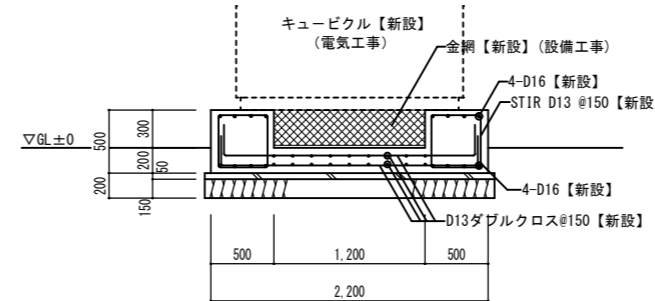
C-C立面図 S=1:30



キュービクル基礎平面図 S=1:30



D-D立面図 S=1:30



Y-Y断面図 S=1:30

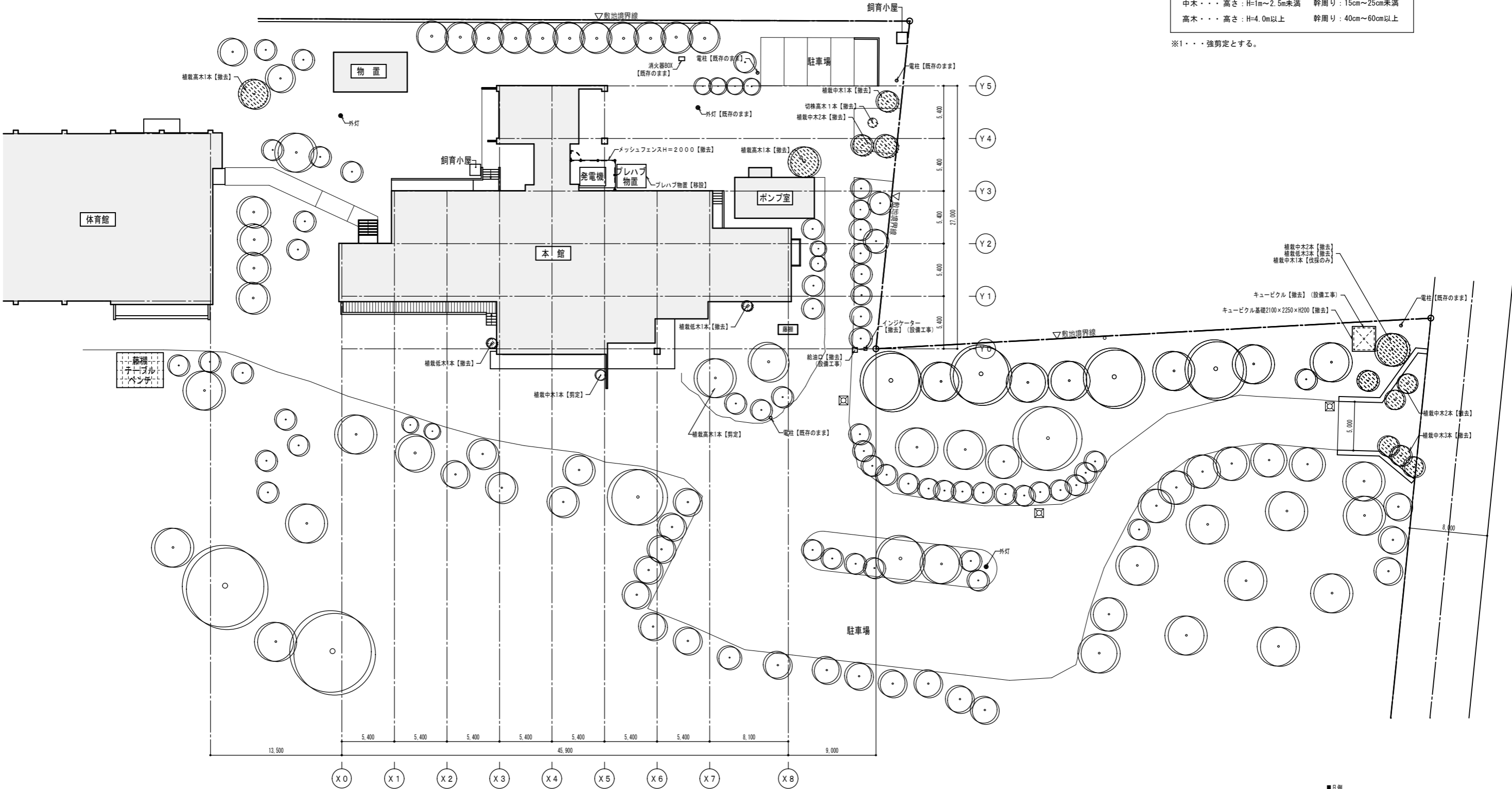
※コンクリート強度
Fc:21N/mm2
スランプ:15cm



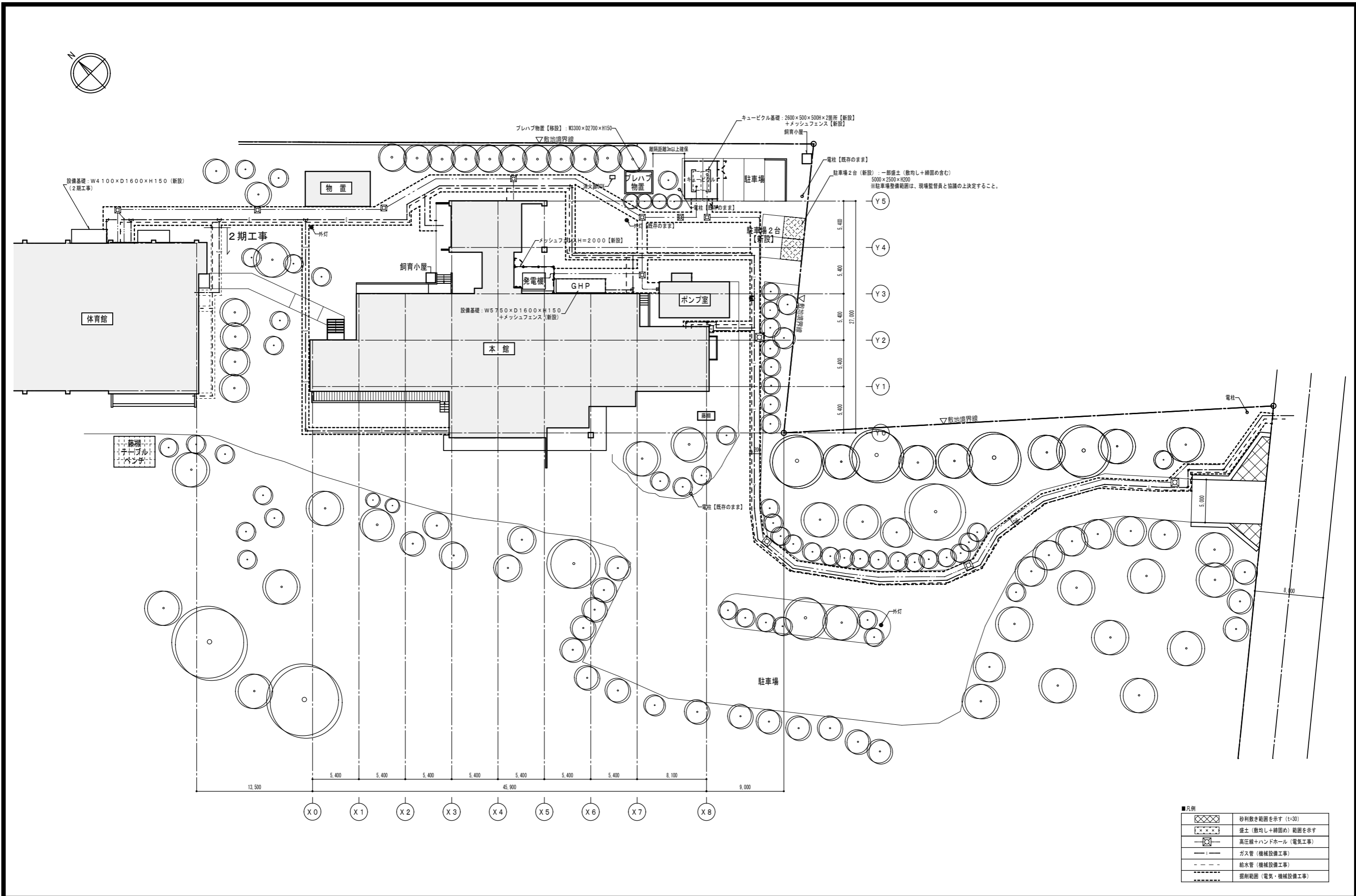
凡例				
	撤去（伐採・伐根）	伐採	※1 剪定	切株撤去
低木	5 本	1 本		
中木	10 本		1 本	
高木	2 本		1 本	1 カ所

■樹木凡例詳細	
低木・・・高さ：H=30cm～1m未満	幹周り：15cm未満
中木・・・高さ：H=1m～2.5m未満	幹周り：15cm～25cm未満
高木・・・高さ：H=4.0m以上	幹周り：40cm～60cm以上

※1・・・強剪定とする。



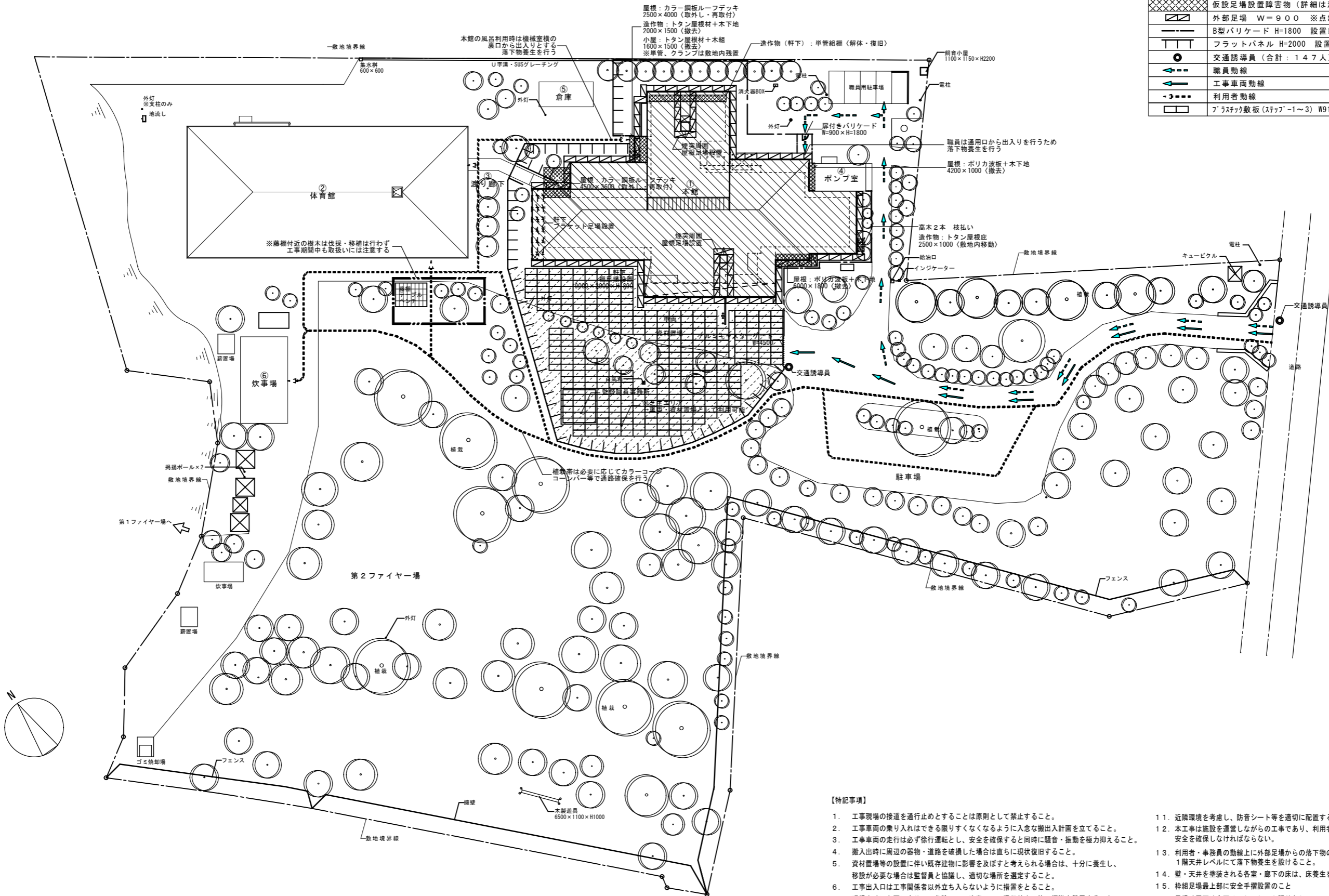
■凡例	
	植栽撤去部分を示す



■凡例	
	砂利敷き範囲を示す (t=30)
	盛土 (敷均し+締固め) 範囲を示す
	高圧線+ハンドホール (電気工事)
	ガス管 (機械設備工事)
	給水管 (機械設備工事)
	掘削範囲 (電気・機械設備工事)

■仮設計画（外部）（参考図）
令和7年8月上旬～令和7年9月下旬
令和7年11月上旬～令和8年2月中旬

〈凡 例〉	
	改修建物範囲を示す
	工事車両・資材置場範囲を示す
	仮設足場設置障害物（詳細は注記を参照）
	外部足場 W=900 ※点線は軒下設置を示す
	B型バリケード H=1800 設置範囲を示す
	フラットパネル H=2000 設置範囲を示す
	交通誘導員（合計：147人）
	職員動線
	工事車両動線
	利用者動線
	プラスチック敷板（ステップ-1～3）W915 x H1,830 342枚



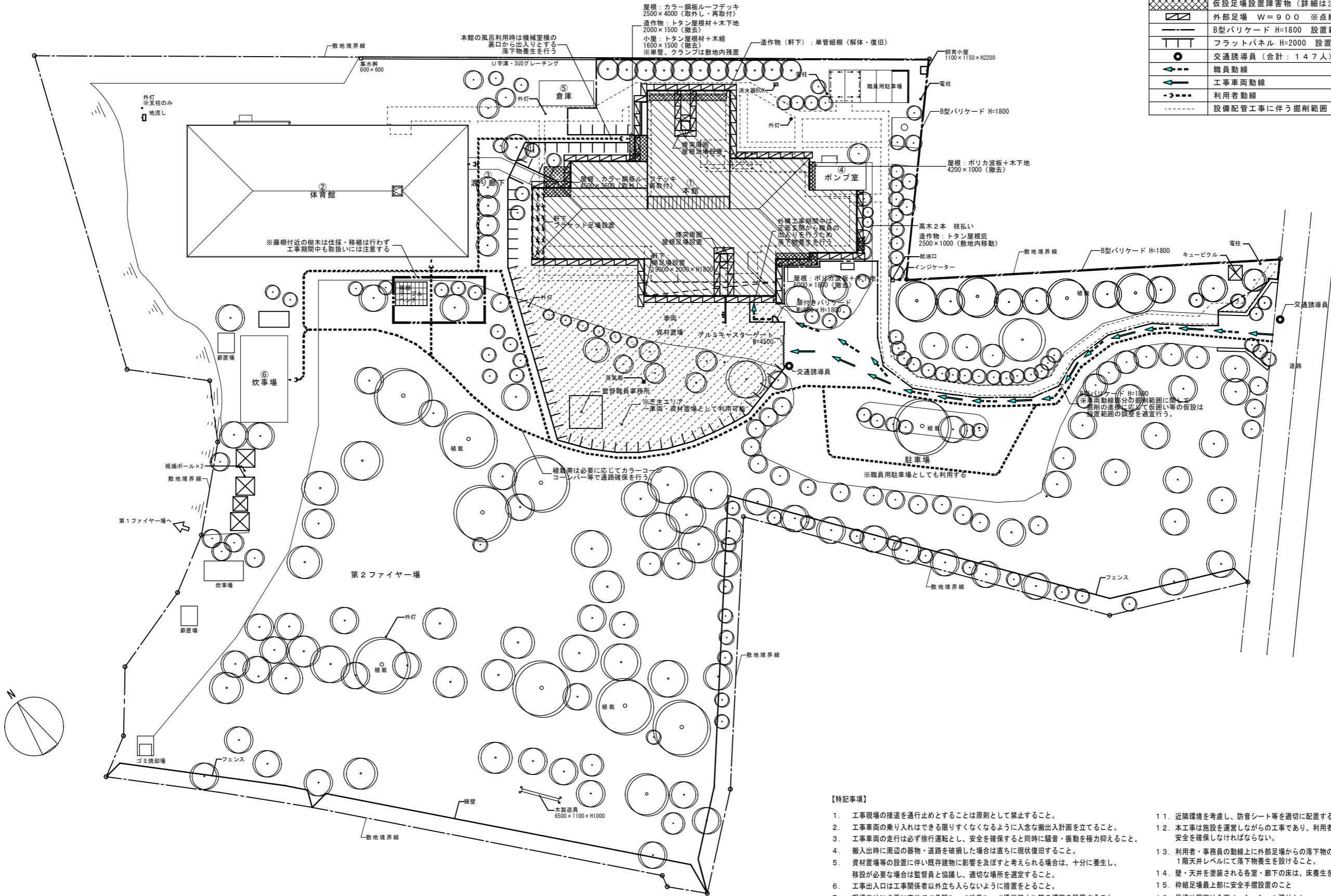
【特記事項】

1. 工事現場の接道を通行止めとすることは原則として禁止すること。
2. 工事車両の乗り入れはできる限りすくなくするように入念な搬出入計画を立てること。
3. 工事車両の走行は必ず徐行運転とし、安全を確保すると同時に騒音・振動を極力抑えること。
4. 搬出入時に周辺の器物・道路を破損した場合は直ちに現状復旧すること。
5. 資材置場等の設置に伴い既存建物に影響を及ぼすと考えられる場合は、十分に養生し、移設が必要な場合は監督員と協議し、適切な場所を選定すること。
6. 工事出入口は工事関係者以外立ち入らないように措置をとること。
7. 現場内外に必要に応じて《危険》《注意》《通行禁止》等の標識を設置すること。
8. 必要に応じてカラーコーン、コーンバーで通路確保、立ち入り禁止措置を行うこと。
9. 植栽・工作物などが工事に支障をきたす場合は、監督員と協議の上適切な措置を施すこと。
10. 近隣への騒音・振動等の影響を極力少なくし、やむを得ず発生する工事がある場合は事前に周知し、理解を得ること。
11. 近隣環境を考慮し、防音シート等を適切に配置すること。
12. 本工事は施設を運営しながらの工事であり、利用者・職員に対しての安全を確保しなければならない。
13. 利用者・事務員の動線に外部足場からの落下物の恐れのある部分（玄関）には、1階天井レベルにて落下物養生を設けること。
14. 壁・天井を塗装される各室・廊下の床は、床養生を行い施工する。
15. 枠組足場最上部に安全手摺設置のこと
16. 足場外周面は全面メッシュシート張りとし、外壁とのすき間には各層毎に隙間落下養生ネットを、3層毎に落下防止養生足場板を設置する
17. 内部足場周囲は、床養生（合板9mm＋ブルーシート）をすること

※本仮設計画は参考図であり、実施にあたっては監督員・施設と協議の上立案すること。

■仮設計画（外部）（参考図）
令和7年10月前半
→地中埋設配管工事期間含む

〈凡 例〉	
	改修建物範囲を示す
	工事車両・資材置場範囲を示す
	仮設足場設置障害物（詳細は注記を参照）
	外部足場 W=900 ※点線は軒下設置を示す
	B型バリケード H=1800 設置範囲を示す
	フラットパネル H=2000 設置範囲を示す
	交通誘導員（合計：147人）
	職員動線
	工事車両動線
	利用者動線
	設備配管工事に伴う掘削範囲



【特記事項】

1. 工事現場の接道を通行止めとすることは原則として禁止すること。

2. 工事車両の乗り入れはできる限りすくなくするように入念な搬出入計画を立てること。

3. 工事車両の走行は必ず徐行運転とし、安全を確保すると同時に騒音・振動を極力抑えること。

4. 搬入出時に周辺の器物・道路を破損した場合は直ちに現状復旧すること。

5. 資材置場等の設置に伴い既存建物に影響を及ぼすと考えられる場合は、十分に養生し、移設が必要な場合は監督員と協議し、適切な場所を選定すること。

6. 工事出入口は工事関係者以外立ち入らないように措置をとること。

7. 現場内外に必要に応じて《危険》《注意》《通行禁止》等の標識を設置すること。

8. 必要に応じてカラーコーン、コーンバーで通路確保、立ち入り禁止措置を行うこと。

9. 植栽・工作物などが工事に支障をきたす場合は、監督員と協議の上適切な措置を施すこと。

10. 近隣への騒音・振動等の影響を極力少なくし、やむを得ず発生する工事がある場合は事前に周知し、理解を得ること。
11. 近隣環境を考慮し、防音シート等を適切に配置すること。

12. 本工事は施設を運営しながらの工事であり、利用者・職員に対しての安全を確保しなければならない。

13. 利用者・事務員の動線に外部足場からの落下物の恐れのある部分（玄関）には、1階天井レベルにて落下物養生を設けること。

14. 壁・天井を塗装される各室・廊下の床は、床養生を行い施工する。

15. 枠組足場最上部に安全手摺設置のこと

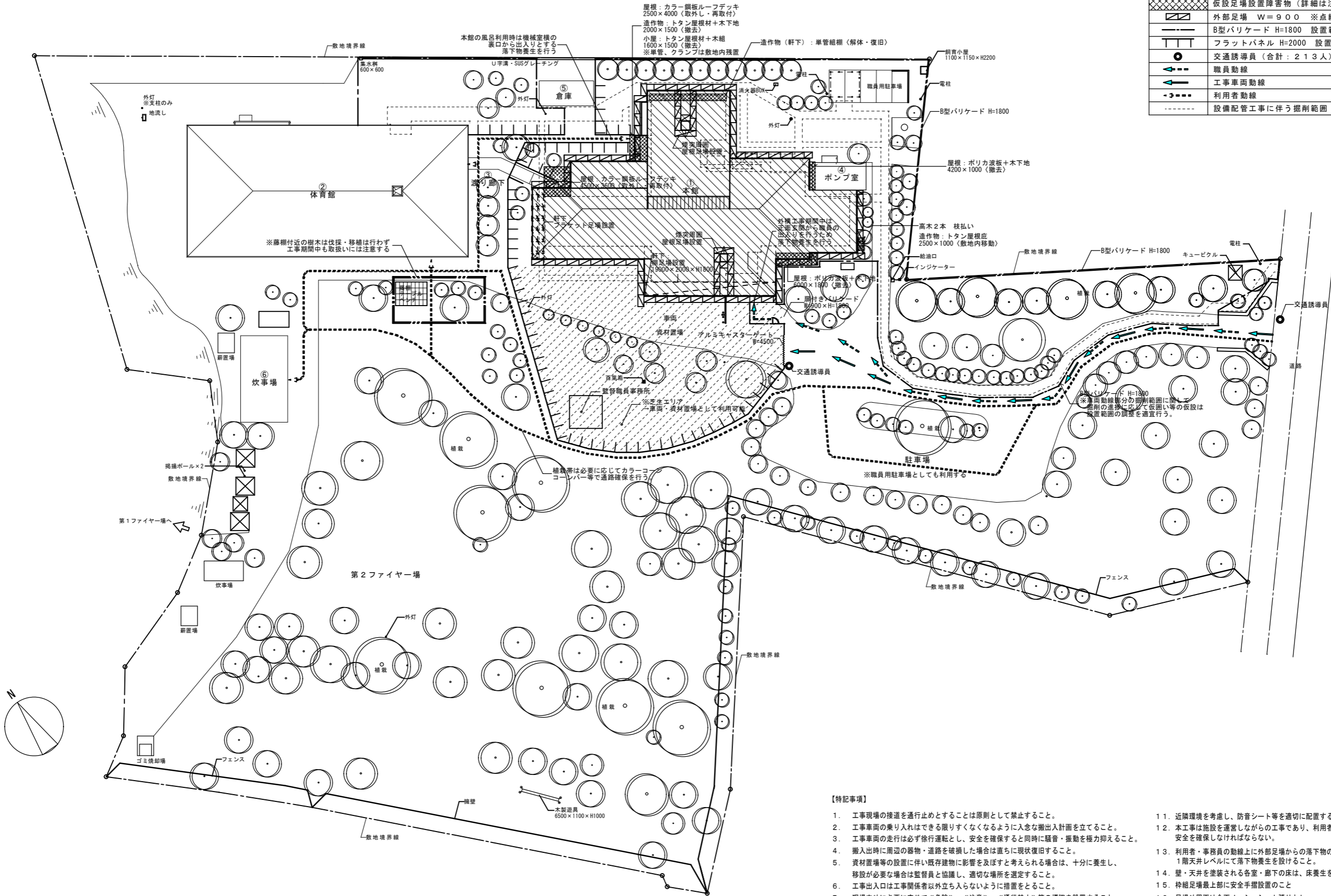
16. 足場外周面は全面メッシュシート張りとし、外壁とのすき間には各層毎に隙間落下養生ネットを、3層毎に落下防止養生足場板を設置する

17. 内部足場周囲は、床養生（合板9mm＋ブルーシート）をすること

※本仮設計画は参考図であり、実施にあたっては監督員・施設と協議の上立案すること。

■仮設計画（外部）（参考図）
令和7年10月後半
→地中埋設配管工事期間含む

〈凡 例〉	
	改修建物範囲を示す
	工事車両・資材置場範囲を示す
	仮設足場設置障害物（詳細は注記を参照）
	外部足場 W=900 ※点線は軒下設置を示す
	B型バリケード H=1800 設置範囲を示す
	フラットパネル H=2000 設置範囲を示す
	交通誘導員（合計：213人）
	職員動線
	工事車両動線
	利用者動線
	設備配管工事に伴う掘削範囲 W=1200

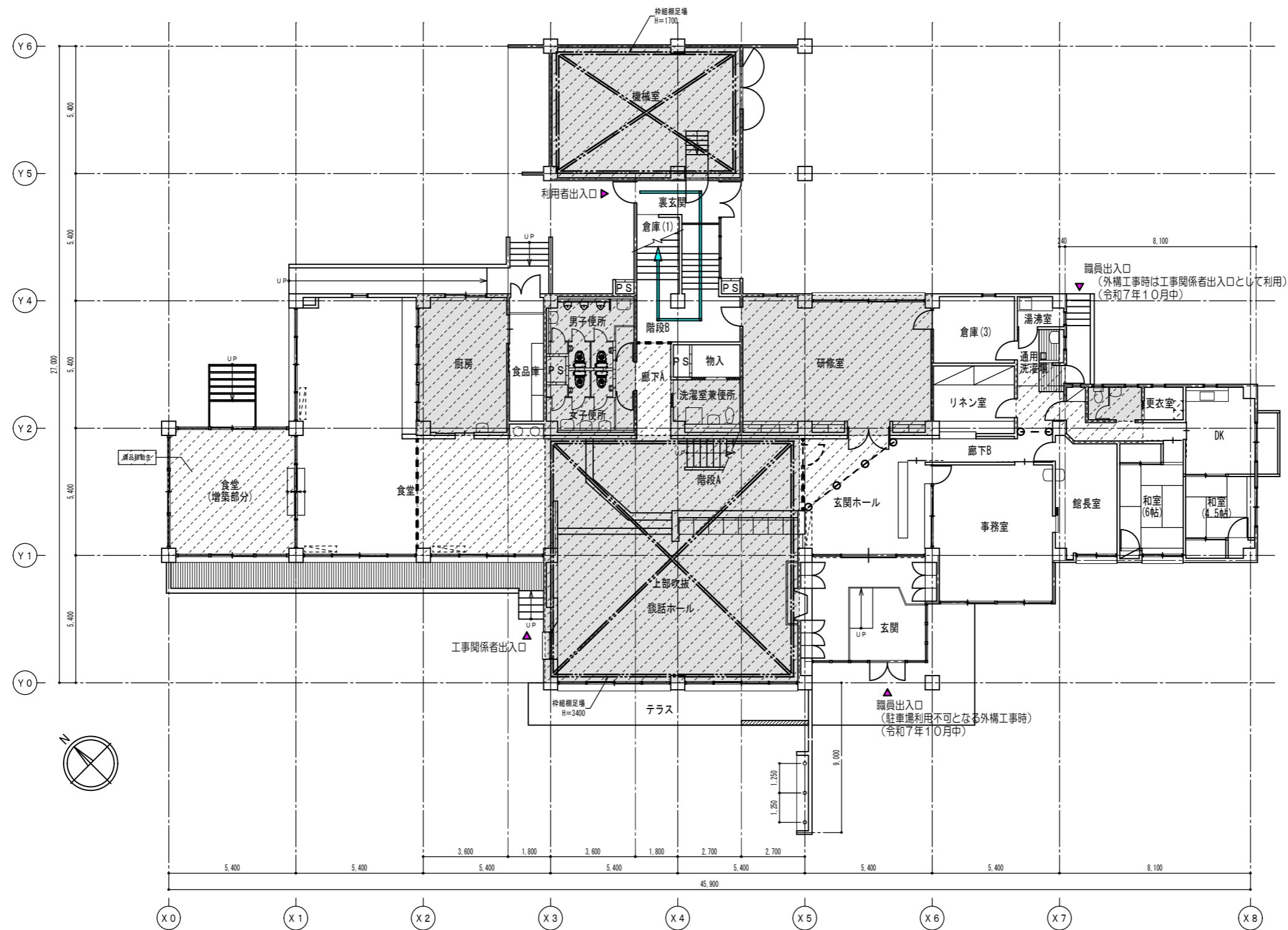


【特記事項】

1. 工事現場の接道を通行止めとすることは原則として禁止すること。
2. 工事車両の乗り入れはできる限りすくなくするように入念な搬出入計画を立てること。
3. 工事車両の走行は必ず徐行運転とし、安全を確保すると同時に騒音・振動を極力抑えること。
4. 搬入出時に周辺の器物・道路を破損した場合は直ちに現状復旧すること。
5. 資材置場等の設置に伴い既存建物に影響を及ぼすと考えられる場合は、十分に養生し、移設が必要な場合は監督員と協議し、適切な場所を選定すること。
6. 工事出入口は工事関係者以外立ち入らないように措置をとること。
7. 現場内外に必要に応じて《危険》《注意》《通行禁止》等の標識を設置すること。
8. 必要に応じてカラーコーン、コーンバーで通路確保、立ち入り禁止措置を行うこと。
9. 植栽・工作物などが工事に支障をきたす場合は、監督員と協議の上適切な措置を施すこと。
10. 近隣への騒音・振動等の影響を極力少なくし、やむを得ず発生する工事がある場合は事前に周知し、理解を得ること。
11. 近隣環境を考慮し、防音シート等を適切に配置すること。
12. 本工事は施設を運営しながらの工事であり、利用者・職員に対しての安全を確保しなければならない。
13. 利用者・事務員の動線に外部足場からの落下物の恐れのある部分（玄関）には、1階天井レベルにて落下物養生を設けること。
14. 壁・天井を塗装される各室・廊下の床は、床養生を行い施工する。
15. 枠組足場最上部に安全手摺設置のこと
16. 足場外周面は全面メッシュシート張りとし、外壁とのすき間には各層毎に隙間落下養生ネットを、3層毎に落下防止養生足場板を設置する
17. 内部足場周囲は、床養生（合板9mm＋ブルーシート）をすること

※本仮設計画は参考図であり、実施にあたっては監督員・施設と協議の上立案すること。

■仮設計画（内部1階）（参考図）

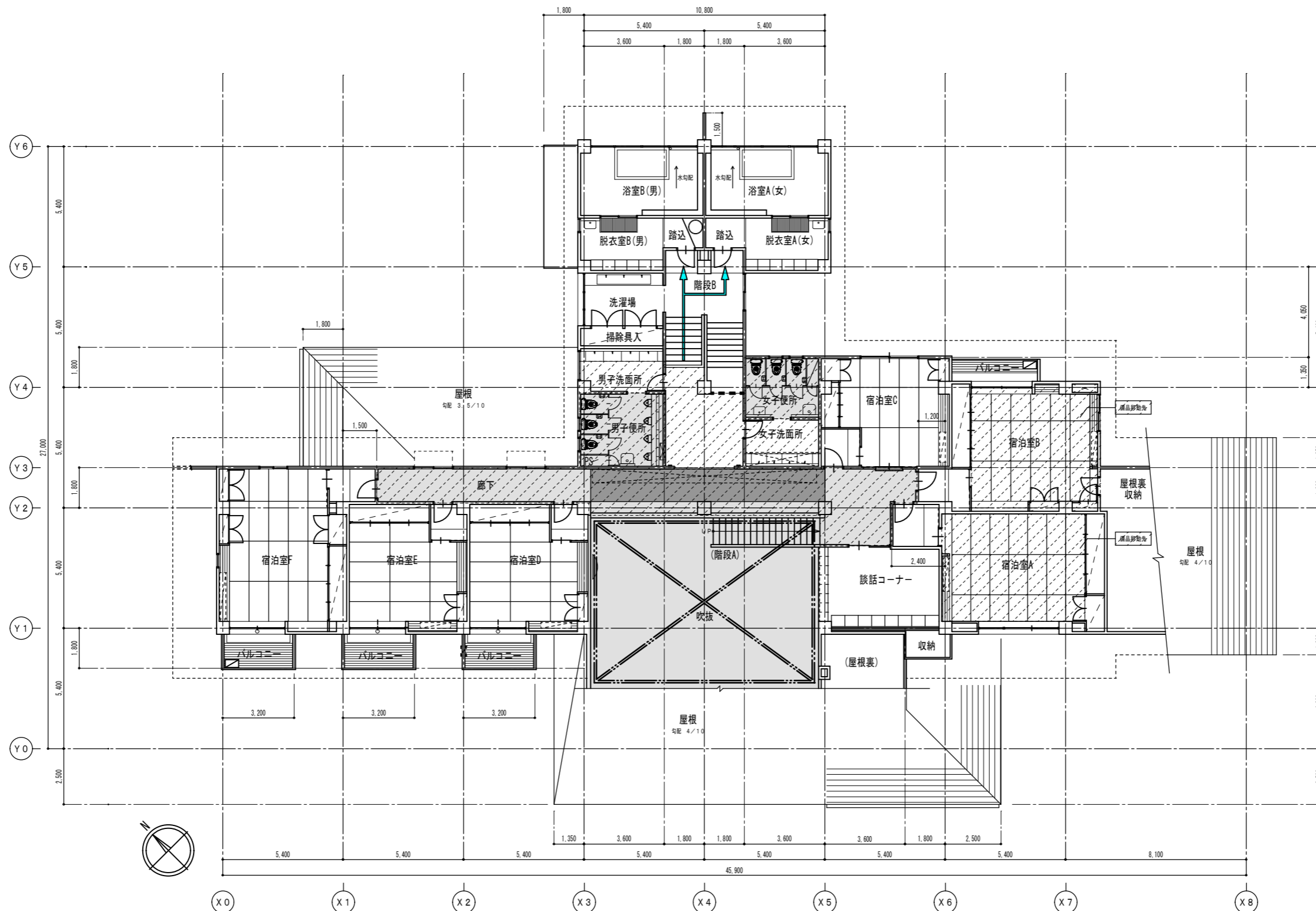


- 利用者動線を示す。
- カラーコーン、コーンバー位置を示す。
- 仮設間仕切り位置を示す。
- 改修範囲を示す。
- 床養生シート範囲を示す。
- 桟橋脚立場の範囲を示す。

※本仮設計画は参考図であり、実施にあたっては監督員・施設と協議の上立案すること。
※改修工事を行う部屋及び床の養生シートを行う部屋については、床清掃を行うこと。
※工期：令和7年9月20日～令和8年1月15日を予定

1階平面図

■仮設計画（内部2階）（参考図）



2階平面図

- 利用者動線を示す。
- カラーコーン、コンバー位置を示す。
- 仮設間仕切り位置を示す。
- 改修範囲を示す。
- 床養生シート範囲を示す。
- 枠組棚足場の範囲を示す。
- 床・壁隔離養生範囲を示す。

※本仮設計画は参考図であり、実施にあたっては監督員・施設と協議の上立案すること。
※改修工事を行う部屋及び床の養生シートを行う部屋については、床清掃を行うこと。
※工期：令和7年9月20日～令和8年1月15日を予定